NYONIN TAISHŪ

女人藝術

女人大衆

九月號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

淀君

三上於菟吉作・大衆文學全集追加集の一

三上君の歴史小説は所謂大衆文藝とはその選を異にし、藝術的香氣に於て奔放なる構想に於て一怪奇なる藝術境を現はしてゐるものと自分は信じてゐると菊池寛氏はいふ。

平凡社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

W・M ブラウン著
神近市子譯

神と資本家

四六判並製
定價壹圓拾錢
送料六錢

正しき宗教の批判

全米國の資本家階級からは毒蛇の如き恐怖と戰慄を覺へさし、無産階級からは慈父の如き尊敬と信愛とをかち得た**『共産主義と基督主義』**は大司教神學博士W・Mブラウン氏が偉大なる精神的苦闘の經驗を最も赤裸々に率直に勇敢に物語つたところのものである。

『宗教は民衆の阿片なり』と言つたマルクスの言葉を眞の體驗から實證したところのものが本書である。

『神と資本家』はこのブラウン氏の**『共産主義と基督主義』**の改題されたものである。

諸氏は本書を一讀してよく基督敎の全面を知り、批判と否定のメスを下されよ。

天より神を地より資本家を×れ

發行所 東京市上野櫻木町五〇 **大鳳閣書房** 振替東京八〇六七六番 電話下谷二六五一番

ソヴエート農村

女人藝術第三巻九月號目次

—禁轉載—

各地の生活風景

論文

婦人と子供教育
寫眞

創作

詩・歌

實話

讀者通信

女人大衆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

嘗て如何なるブルジョア作家も描き得なかつた

一九三〇年の文化史だ

先に「ミス・ニッポン」を放彈して古き日本を嗤つた朗かな青年群司君！

彼の眼は街を照らすサーチライト、彼の姿は變幻自在なメフイストフエレス！處女のやうな彈力と機關銃のやうなテンポを以て彼のくりひろげる

マダム・ニッポンとは何か？

マダム ニッポン

群司次郎正著

百パーセントのエロと辛辣な都會暴露

今後の文學はみんなこの通りになる！

定價壹圓貳拾錢

送料八錢

アルス月報御申込送呈

東京・神田 アルス

振替東京二四八八八

電話九段三二七五・三二七六

この悲慘な失業者の宿を見よ

全國百萬を算する失業勞働者の大部分は家もなく食物もなく、空腹を抱えて屋外にねるのである。彼等が行く可き道はたつた一つだ！ ××へ

下　嵐の夜淺草仁王門のまわりにねる失業者

右　公園のベンチにねる老人失業者



時事新報社寄贈



東京日々新聞社撮影

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER







夏の婦人の勞働—海女

上、盥を脊追つて仕事に出かける彼の女達

左、たくましい勞働婦人の肉體美

右、ブルジョア娘の遊びとは違ふ海女の作業

時事新報社寄贈

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

東京麹町區
一番町五
振替東京
六四二二三

第一書房

良書の刊行第一書房
書齋の孔雀第一書房
美しき伴侶第一書房
斯界の騎士第一書房

室生犀星著

抒情遺詩集 鳥雀集

原稿を紛失したと思つてゐた若い頃の詩を七十篇ばかり發見したので詩集を作りたいといふ話、私は室生氏の若い頃の詩が好きだから早速一冊にして刊行したのである。――『これらの抒情詩は孰れの詩集にも輯錄されてゐない作品ばかりである。强ひて系統を求めるならば、遠く抒情小曲集に根ざしその餘韻を引いてゐる。これらの詩は廿歲から廿三歲頃までを生活したものであり、上京までの可憐な抒情を表はしたものである』と序文にしたためてある如く、室生氏愛好者にとつては絶好の寶玉である。

四六判美本
定價一圓八十錢

萩原朔太郎選
室生犀星詩集
第一書房刊行以外の詩集に入つてゐない代表的な詩ばかり
新菊判美本
二圓五十錢

生田春月著

詩集 象徵の烏賊

氏の最後の詩集は、著者が特に自信を持つてゐただけに、到るところ非常な好評を受けてゐる。過去の詩集によつて故人を評價してゐた人達は、新たに此の詩集によつて故人を見なほさなければならない。生田春月の價値此の一卷にあり、これでこそ第一書房が此の一冊を自分の書目の詩人の列に加へ得た喜びを味ひ得るのである。せめて故人の生前に、此の詩集の出來榮えを一目なりと見せめてあげたかつたのであるが、それは今更悲んでも盡きないうらみである。

四六判美本
定價二圓

木下杢太郎詩集 四圓八十錢

田中冬二著
詩集 **青い夜道** 二圓五十錢

堀口大學譯 佛蘭西現代詩家集
月下の一群 三圓五十錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

女人藝術

九月號



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

1.——ラヂオに興じてゐる農村の子供達



ソヴエートの母子保護施設

神近市子 譯

ソヴエート、ロシアに於ては婦人も子供も國有化されてなどはゐない。またプラトーの共和國の集合的親子關係も存在はしない。しかしソヴエート政府は、子供に對して世界の如何なる國よりも遙に大な責任を負ふてゐる。子供の物質的な養育は、社會保險法や晝間托兒所、及諸學校の訓練によつて或る程度迄規定が設けられてゐる。兒童訓練の全組織は、子供自身により豐富な、より健康的な生活を與へるだけでなく、子供の世話に關する家庭の雜用から母親を解放し、母親達に社會といふ家族の活動に參加することを得せしむるように計畫されてゐる。

レーニンが一九一九年に婦人勞働者のある會合で云つた如く、

『家庭に於ける婦人の地位は、尙閉ぢ込められてゐる。婦人を完全に解放し、婦人に男子と同じ眞實の平等を保證する爲めには、家族的諸機能が社會化され、婦人が一般的生產勞働に參加する事が必要である。

『此處で我々が考慮してゐる問題は、勿論單に勞働の生產性や勞働の長さ、生產高、條件等の點で婦人の地位を平等化さうとするのではなく、婦人が家庭に於いて男子と違つて奴隸のやうに扱はれてはならな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

2.——天幕學校で會話の授業を受けてゐるピオニール



いと云ふことを保證するにある。諸君は皆完全なる平等の權利を以つてしても尚、婦人は抑壓されてゐると云ふことを知つてゐる筈だ。何故となれば彼女達の雙肩には、家庭の全負擔が落ちかゝつてゐるからである。家庭勞働は最も多くの場合婦人がなし得た最もやくざな仕事であり、又最も困難な仕事である。それは全然無價値であり、婦人の進步に助力し得る如何なる要素をも含んではゐないのである。

『社會主義的理想を追ひながら、我々は社會主義の完全なる實現に向つて戰はんと欲するのである。しかも此處にこそ偉大なる事業の活舞臺が婦人に對して開けてゐるのである。我々は今や社會主義建設の爲めの戰場淨化を眞劍に準備しつゝある。そして社會主義社會の現實的建設は、婦人の完全なる平等を達成し、くだらぬ、退屈で無意義な家庭の雜用から開放された婦人と共に新らしき事業を遂行する時にのみ始まるであらう。その爲めには來るべき多くの長い年月に亘つて我々は忙殺されるであらふ。其處には突然の結果乃至は華やかなる效果はないであらうが…』

子供の世話、食物の準備、洗濯其他の家庭的仕事——これらは家庭的雜用から婦人を解放せんとするこの過程に於いて考慮されてゐる問題であつて、常に子供の世話の問題が第一番に來る。

ロシアに於ける母と子供に關する事業は人民保護委員會の『母及幼兒局』の下に集中され、レベデーヴア博士が擔當してゐる。この部の事業を見たことのあるモスコー訪問者は、誰れでも賞讃の辭を贈ることを押へることができなかつたのである。最も耳目を聳動させるものはモス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

3.——馴鹿にまたがつて銃猟に行くシベリアの子女



コー河畔にある偉大なる『母性の大宮殿』である。其處では母と子の健康と更生とに關するあらゆる問題に就て科學的な研究と臨床治療を行ひ、疾病と死とに闘爭する計畫を立て、醫師、産婆、小兒科醫、看護婦等に對する講座を開き、模範的設備があり、最後に美しい展覽會がある。此處で略圖や圖解等によつて、他の諸國と比較してロシアの死亡率が高いことを指摘してゐる。ポスターは胎教の必要なことや豫防法の必要なる所以を示してゐる。多くの模型は嬰兒發育のあらゆる段階、出産の經過、正常な子供の發育、疾病と畸形の原因結果等を示してゐる。工場や農村から來た婦人達は、間斷なく列を造つてその中を案内されてゐる。

ロシア一流の美術家連は、この出品の爲めに美しい油畫を畫いた。また此處には全國に送られた幾組かのポスターの原圖が陳列されてゐる。農村に關したもの〻一つは『母及幼兒相談所』の應接間に子供を連れて待つてゐる母親達の長い行列が畫いてある。その反對のには小さな十字架の林があつて、說明を讀むと『相談所が一杯である時は、墓地はからつぽだ！』とある。も一つのには輝やかしい顏をした農婦が一方の腕に健康な子供を抱き、他の方には一冊の本を持つて立つてゐる、『母親が字が讀めるようになればなる程、子供は健康になる』と云ふ標題が書いてある。も一つには派手な服裝をした姙娠中の農婦が大きな材木の荷を運んでゐるところを畫いてあり、その次には乾草を投げてゐるところで、その下では彼女の夫が同じような姙娠してゐる牝牛と馬をやさしくいたはつてゐるところが畫いてある。其他のものには、母親が喰べてよいものと惡いもの、子供に與へてよいものと惡いものとが圖解によつて畫いてあり、寄生蟲、蠅、汚物、非衛生的な環境等の危險を表し、何故に子供

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

4.——父親達の手傳ひも組織をつくつてやる農村ピオニール



は農民の習慣であるミイラのやうに襤褸で卷き、その腕を据の處でしつかりとピンで止めてはいけないかと云ふことを說明してある。到るところに、母親達は子供を自分達の乳で育てよといふ宣傳がある。この最も評判の良いものには、一匹の犢が瓶から牛乳を飲んでゐる子供を責めるように眺めて『何故お前は私の母さんのミルクを飮むのだい？』と詰問してゐるところを表してゐる。も一つのは、彼等の權利を要求してゐる赤坊の大衆的示威運動で、演壇から身振りをしてゐる子供が熱辯をふるひ、旗幟を持つて『蠅からの擁護！』『乾いた清潔な襁褓を與へよ！』『我々の母の乳を與へよ！』『新鮮なる空氣と日光を與へよ！』『バーブカ（舊時代のロシヤに澤山ゐたとり上げ婆）にあらず、產婆を與へよ！』『健康なる兩親！』等を要求してゐるところを示してゐる。

此處を過ぎて、訪問者達は晝間托兒所に行き、その汚點のない淸潔さや新式の設備や科學的な食餌法等を見たのである。彼等は其處にゐる間に、母親達の學校として役立つた相談部やミルク臺所、棄兒養育所、模範的な產院等を見た。彼等は母親と幼兒に對するソヴエート・ロシアの諸計畫は、世界の如何なる國のものよりも優れたものであると確信した。併し、彼等の最後の結論は、ほとんど異口同音にこれらの諸計畫は紙上に於てのみ存在するのであり、またモスコーに於けるこの種の設備は單に訪問者によき印象を與へる見物所として急造されたものであるか、或は精々遠い將來何處か他處に完成することが出來るかも知れないものとしてはかない希望によつて急造されたのであると云ふのである。

確に彼等の計畫は、それを履行する能力よりは遙かに越えてゐる。資力の涸渴はこの種の計畫の多くのものゝ實現を阻害してゐる。小都市に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



於ける子供のための諸施設は、時々はモスコーの模型にならつた無意義な戯作である。母及幼兒部の存在を嘗つて耳にしたことがない農村もある位である。

併し、私はモスコーの東方、イヴァノーボ・ヴォズネセンスクに行つて、モスコーで見物した何れよりも立派でさへある晝間托兒所を其處で見た。同様に立派なのを、南部へ行く途中のドン河上のロパトフでも、また尚遙かに南の、エルブルーズ山がその雪に覆はれた山腹を擡げてゐる『五つの丘の市』ピアティゴルスクでも見た。私は四年前クエッーカー教徒がその着手を援助したところの農村晝間托兒所の開場式を見た。そしてウクライナに於てはこの事業は歐露に於けるよりも盛んであるといふ話を聞いた。そしてまた、如何なる様式に中央の計畫が最後に流れ〳〵て遠く一千露里も離れたマスローフ、カット迄及んでゐるかを見たのである。

モスコーでは十一月にレベデーヴァがゼンアットデル會議に向つて、農村に於ける晝間托兒所の事業を擴大する爲めに、過激な方法を取らねばならぬと報告してゐるのを聞いた。工場や工業中心地に於ては尚は今未だ充分ではないが、兎も角彼等は前進してゐる。けれども農村婦人達だに彼女達の赤坊を田畑に連れて行くか、家にゐる小さな姉達の子守に托するかしてゐるのだと彼女は云つた。

マスローフカットでは十二月に、レベデーヴァの歎願の結果として中央から發せられた指令が既に效果を發揮してゐるのを見た。サボティナと云ふアルハンゲルスコエから來たゼンアットデルの組織者が或る日、夏期晝間托兒所を開く計畫を携へて來た。昨年彼女はその地方に最初の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

6.——チフリズ地方幼稚園の衛生檢査



ものを開設したのであつた。今年は尚二箇所を組織する計畫を立てたのであつた。アルチボフカの小村の分の資金は既に集められた。マスロフ、カットの農民は貧乏で非常に遲れてゐるので、彼等自身が率先してやることは多く期待することが出來なかつた。併し、國有農場の勞働者達は多く農村の貧農達から募集したのであつたが、國有農產物管理に對する彼等の共同契約中に、毎年一定額を晝間托兒所設立の爲めに積立てる協定を含ましめ、そしてこの財源によつて數百ルーブルを利用することが出來た。農村共同組合と相互扶助委員會とは各々百ルーブルを保證した。アメリカ兒童委員會の代表者はサボティナに向つて設備に必要なものを全部供給することを約した。それ故に夏期中を通じて晝間托兒所を開くためには、小額の追加を集めるだけで充分であつた。

この問題を討論する爲めに召集された農村婦人の會合では、非常な激論があつた。三人の豪勢さうな年老いた百姓女が部屋の一隅に毛皮の衣服にくるまつて陣取つてゐて、事々に頭を振つてゐた。

『私共は晝間托兒所なんてそんなものなしに子供を育てたものなんだよ。だのに何故今日、母親達は同じようにしてはならないのだね。』と一人が言つた。

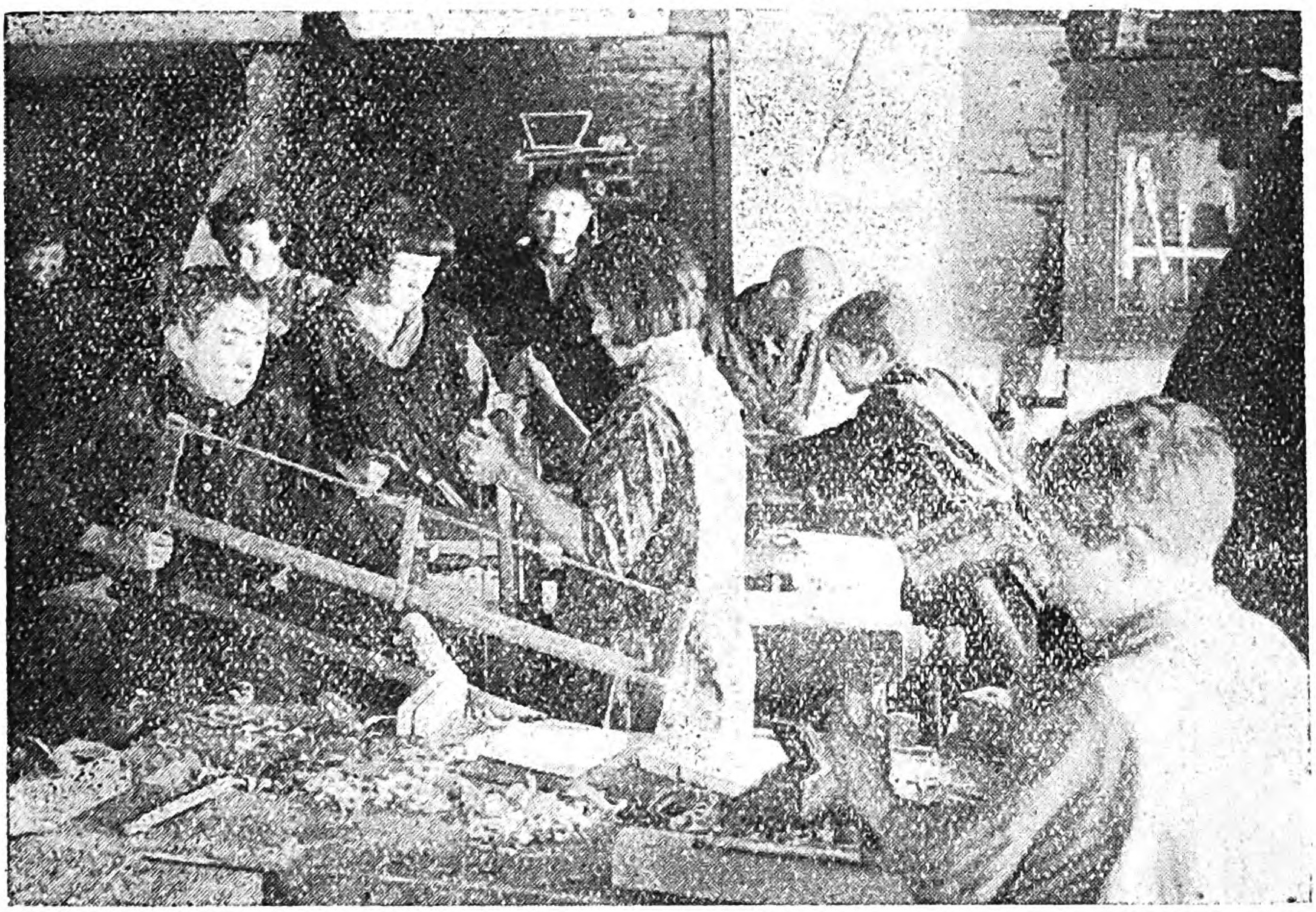
『それその手で私共から税金を取立てようとするんだよ。税金を拂つてゐる間は子供を連れて行つて見むいてくれるだらうが』と他の一人が警告した。

『おまけに、多分十字架を頸から外して行くんだらうよ。この罰當りめが――今にわかるて』と第三のが云つた。

年老いた婦人の大多數は、晝間托兒所の計畫に反對したが、若い婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

7.——ソヴエートの學校の手工勞働教育



達はそれに贊成した。兵士の未亡人で、自分の小さな子供を昨年の夏小さな從兄弟に委せて家に殘してゐる間に水に溺れて死なしたマルーシャと云ふ女は、若い婦人達に味方して辯護した。

『晝間托兒所が私共の子供を良く世話して吳れないと云ふのは、嘘です。私は他の村でも自分でそれを見たのです。其處では子供達は立派に育てられ、その上清潔です――。』

『さうだよ。』と隅にゐる三人の内の一人が遮つて云つた。『それそこなんだよ。聞けば每日子供を入浴させると云ふが、どうしてそんな扱方をしてゐて、子供達を丈夫に育てることが出來るつもりかね？』

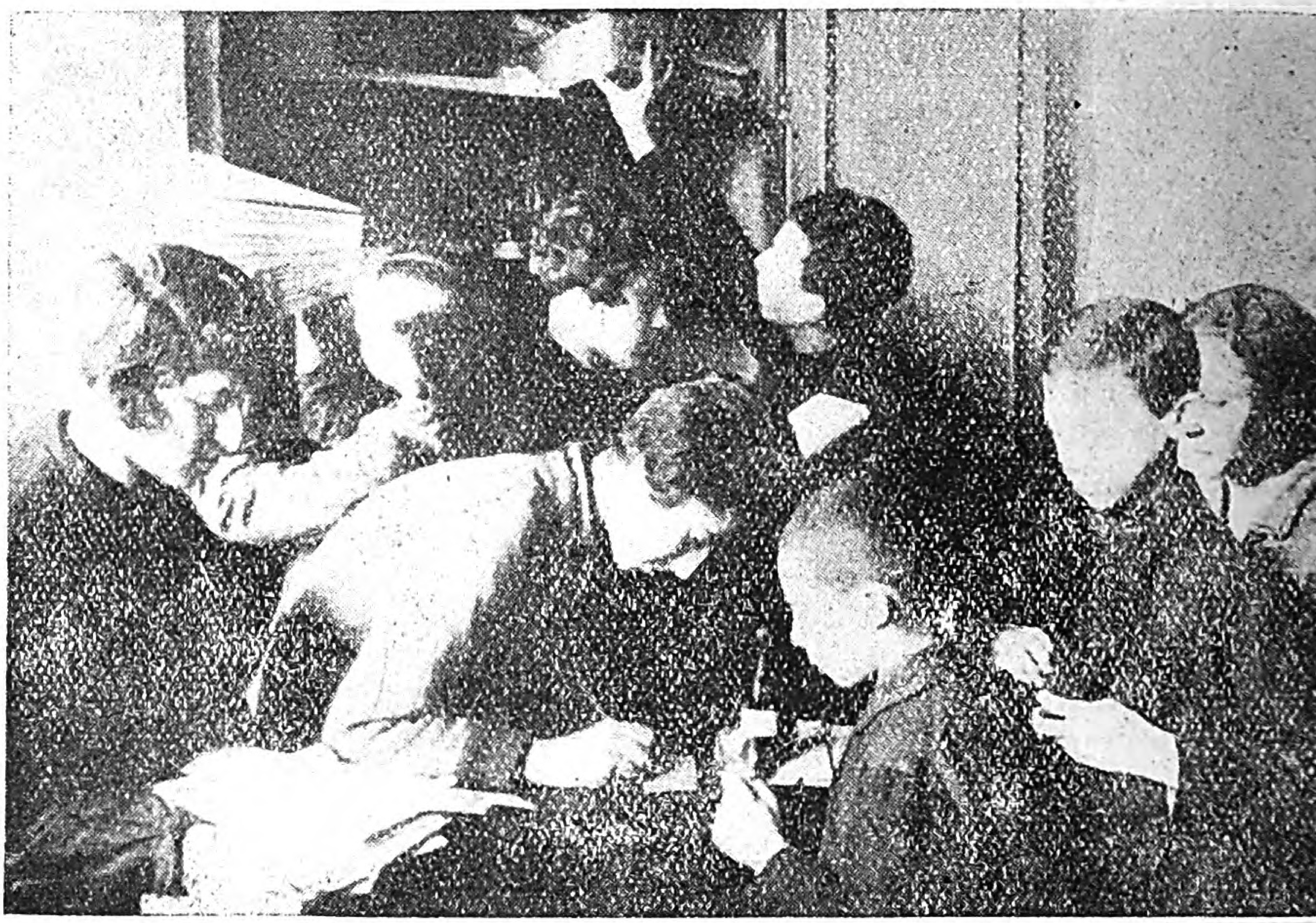
『心配は無用ですよ。』とマルーシャは續けて云つた。『私のヴアシヤに起つたことよりもその方がましだわ。いゝえ、あの、祖母さんの手から匍ひ出して、さうだとわかつた時にはもう半分豚に嚙まれてゐたニーナの、子供に起つたよりもましですわ。たとひ自分達は子供を持たないにしても、他人の手助けをなすべきです。女にとつては、子供を育てることは容易な業ではないのですもの――そしてそんな苦しみをし乍ら育てゝ、そんなに急に死なすなんて……一體何の役に立つんです？』

するとまた隅の方でぶつ〳〵云つたりつぶやいたりする。

『だが、お前のヴアシヤが溺れて死んだのも、皆神樣の御心であつたんだよ。お前はそれに逆らつたつて何にもすることは出來ないよ。ね、マーシヤ、我と我身をすりへらすもんぢやない〟それがえゝだ。今ぢや、あの子は天使達と一緒に天國にゐるんだよ。何をくよくよすることなんかあるものか？』

若い女達はその問題を續けて行つた。彼女達は自分で村を遊說してま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



はつて、必要な追加資金を得ることに同意した。そして三月八日には、五月十五日に晝間托兒所が開設されると云ふことを發表した。

國有農場から來た大工達は、丁度其時空家であつた一軒の百姓小屋を削つたり、清潔にしたり、木造部を白く塗つたり、小さな空色の寢臺やテーブルや椅子等を造つた。明るいポスターが壁に鋲留され、陽氣なカーテンが掛り、花が窓に飾られた。一群の農民達はそれらの飾附を口を開けて眺めてゐた。

『おや、おや！』と一人が叫んだのが聞えた。

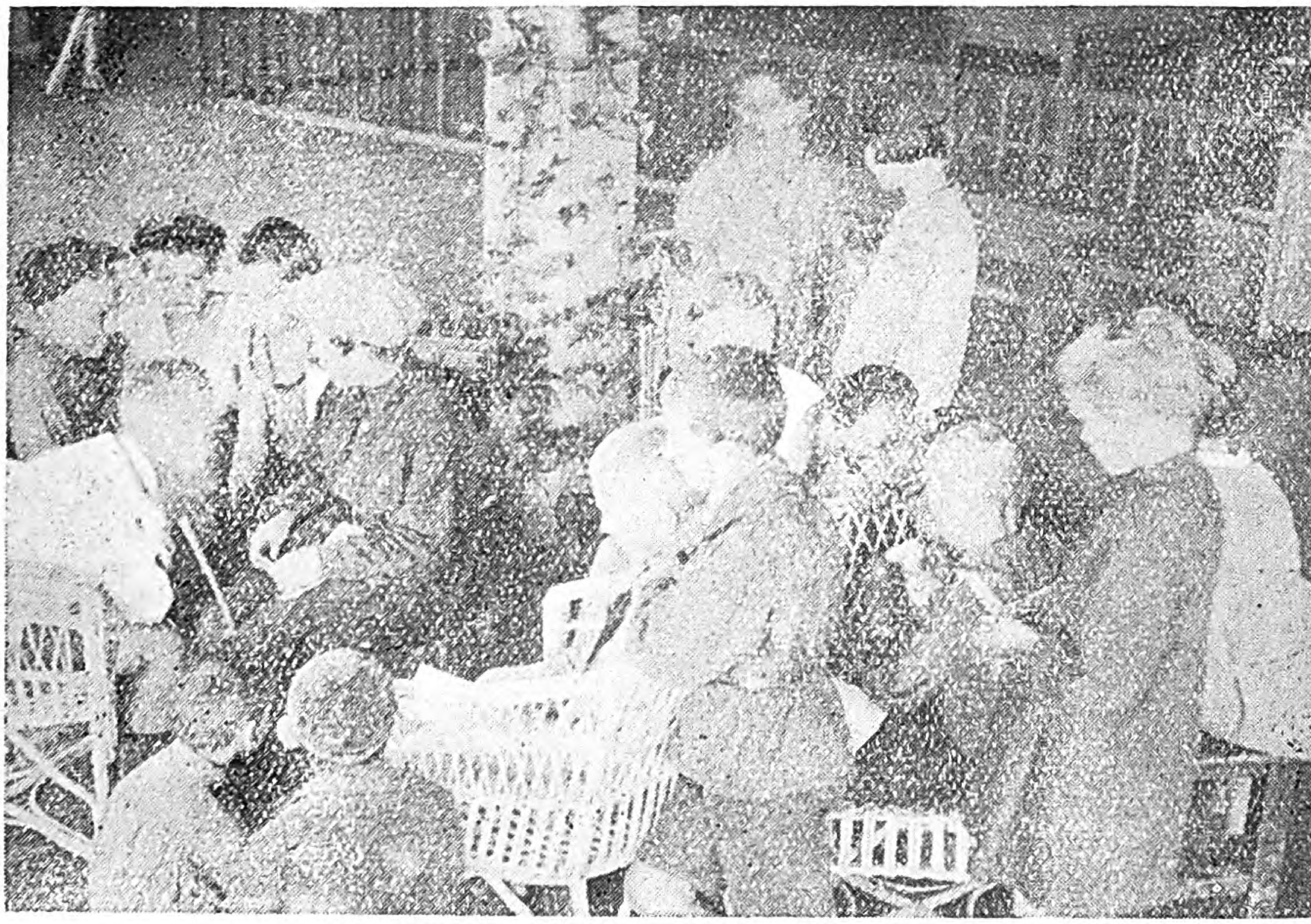
『金をかけるだけあつて、仕事もはかどるもんだなあ。そしてこれが皆子供達の爲めだとよ。何んて可哀相なもんだ！』

すると、も一人が――『まさかこんな綺麗な所に子供を入れようとするんぢやあるまいな？』

最初は、申込は仲々なかつた。一人の婦人は、何故自分の子供を托兒所に入れないかと質問されて『でも何故さうしなければならないのです？家には小さな子守がゐますよ。』と答へた。彼女の『小さな子守』と云ふのは、何處へでも赤坊を連れて歩いてまはる七歳か八歳の娘のことである。併し、遂には手にあまる程の申込があつたのである。

都會から來た保姆學校出の保姆であるリーデイア、ミカイローヴナが擔任となつて、三人の農村出の百姓女を當てがはれ、それを助手として敎育した。老年のサーシャは、清潔なことの必要を自分の頭で理解することが出來なかつた。リーデイア、ミカイローヴナが、子供達は農家の仕事場のあの汚い處から離れた砂箱の中で遊ばせなければならぬとか、或は泥まみれの着物は取更へねばならぬとか云ふと、彼女は『でも家で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



は、子供達は豚と一緒に遊んだり寢たりさへするのに、どうしてそんな馬鹿なことをするのですか？』と云つて反對した。

　クマ河の濁つた水がすぐ側にあつたが、井戸から掬ひ出した清淨な水のタンクが何時も準備してあつた。リーディア、ミカイローヴナがサーシヤに向つて、水は桶からついで、どの子供にも新らしい水で洗つてやれと云ふと、彼女は手を握りしめて云つた。『ホー、でも、こんな綺麗な水を子供達の爲めに使ふのはもつたいないですよ。まあ〳〵あなたは私にまかせて、三四人の子供を同じ水で洗はさせて御覽なさい。すればこんな無駄はなくなりますから。』

　農家で用ひられる水の一滴々々が、婦人の脊によつて運ばれることを思ひ合せれば、その立場を理解することもさして困難ではない。

　彼女は濡れがちな小さい鼻を拭くようにと、淸潔な四角な布を當てがはれてゐた。併し、リーディア、ミカイローヴナが脊を向けると何時も、彼女は垢だらけ、顏を自分の汚い下着の裾で拭いてゐるのを見附かるのである。叱られると、彼女は抗辯した。『でも、リーディア、ミカイローヴナさん！子供達の鼻は汚いのに、手巾はこんなに綺麗なんですもの！』

　これは中央の覇氣滿々たる計畫が、最後に農村に到達するところの事實の一例證に過ぎない。數年前迄農村には、只一つの托兒所さへなかつた。今では町や都會に於ける年中開いてある托兒所の外、農村には四千以上の夏期晝間托兒所がある。その或るものは非衞生的であると云ふことは疑ひはしないが、一般の農家以上に或る程度の改善がなされてゐることは確かである。醫事部の指令は明細であり、且また可成高いところ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

10. ――ピオニールに赤いハンカチを結んでもらふヴオルガの功勞者



に標準を置いてゐる。それらは今日未だ、農民の子供達の小部分のみに行き渡つたに過ぎないが、それは重要な發端をあらはしてゐる。

この事業に於てなされた進歩には、異常なものがある。饑饉最中に見た孤兒院の荒寥たる連續が、不安な空虛な手を持つた小さい黄色い顏をした赤坊の亡靈で一杯になつてゐたのを私は想ひ出す。墓掘人が彼等を埋め了はせることができない程早く死んで行つた爲めに、小屋が小さな死屍で一杯になつてゐたのを私は想ひ出す。併し、それは饑饉の急迫せる時代のことであり、また醫者や看護婦が、彼等自身半ば飢ゑながらも、恐ろしい鬪爭に抗して數千の子供達の生命を兎も角も救つたと云ふことは、全く英雄的な努力に外ならなかつた。けれども主として都會地に於ける十數箇所の晝間托兒所を見た後に、私が畫いた畫面は廣い日當りのよい部屋――陽氣な上掛がついた寢臺の列に就てゞあり、滑臺と斜溝臺と小さい四肢の運動のための階段等がある遊戲場のことであり、大きな色つきの滑車、壁にかけた繪畫のことである。朝になると、彼等の母親達は仕事に行く途中に子供を連れて來る。家できる彼等の衣服をぬいで、小さな寢臺の中に寢かしつけ、彼等を入浴させて、清潔な着物をきせる。正規的な時刻に、寢たり食事したり遊んだりする。母親達は一日三回托した子供達に乳を與へに來る。其他の子供達は衞生的な炊事場の食物を與へられる。其處には熟練した食事係が各年齡に應ずる適當な食物を用意してゐる。午後になると、母親が來て、子供を家に連れて歸る。體を洗つて貰ひ、食物を與へられ、滿足して歸るのだ。衞生的に最も完備した環境と科學的な世話でさへ、子供の開きつゝある智力に對しては、家庭的雰圍氣の種々な刺戟が與へるものを與へ得ないかも知れない

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

ソヴエートの婦人と子供グラフ解説

1 ソヴエートでは全國にラジオを普及させる事につとめてゐる。

2 モスクヴ近郊の農村におけるキャムプ生活。

3 シベリア地方ではクウリク教授の發明による科學的銃獵法を採用してゐるのである。

4 ピオニール達は共同農場に集り、畑からとりのぞいた石ころで馬屋の土臺をつくるなど大人と同じに組織的に働いてゐる。

5 一九二八年十一月ボクダノフが彼の作物を十歲から十二歲までの少年少女によんできかせ、その感想をきいた。

6 幼稚園では園兒達が三人の委員を選擧して、衞生檢査を受けるのである。

7 ソヴエートでは普通化學教育に附屬して手工勞働教育がなされてゐる。

9 教育と慰安の目的で設けられてゐるソヴエートの子供の爲の劇場では、子供達が劇の印象を先生や劇場のマネージャーに語つたり劇の批判をこゝろみたりする。

10 一九三〇年五月の國際子供週間にヴォルガのピオニールは彼等の功勞者に感謝してその胸に赤いハンカチをかざつた。

11 農村の婦人は一早くトラクターの使用技術を覺え込んで、耕作や刈入れに眞先きに仕事に出かける。子供達は珍らしさと喜びの目を見張つて見送る。

12 一日五百トンの輸出用の無煙炭を產出するソヴエートの坑山は

と科學と經驗とが教へてゐるので、周圍の事物にはより以上の變化と色彩とを添へてゐる。都市や町に於ける晝間托兒所はほとんど立派に組立てられ、設備されてはゐるが、それらは托兒を必要とする母親達の四分の一以上は收容してゐない。併し、其の數は漸次增加してゐる。

母親と子供の保護に就いて達成されたものを、完全に理解するためには、一册の小史が必要である。古い制度から受取つた子供のための施設の遺產は極めて貧弱であつた。婦人擁護のための遠慮勝ちな帝政主義的諸法律でさへ、ケレンスキー時代には廢棄され、婦人勞働者の狀態を緩和する實際的手段は臨時政府は一つとしてとらなかつたし、この問題解決の助けとなる只一つの施設さへも發見しなかつたのであつた。

ソヴエート政府成立後一週間以內に、五萬以上の婦人を代表する第一回の勞働婦人大會がペトログラードに召集されて、母性の天賦の才能の問題を考へた。大規模の母性及未丁年者政府保護のためのコロンタイの提議は討論の基礎となつたが、婦人勞働者達自身も多くの寄與をした。そして、彼女達の意志は其後通過した社會保險となつて法律中に直接反映した。ソヴエート政府は正常な出產率を維持すること、健全なる新時代を保證すること、及び社會的に有用勞働に從事する婦人達自身の健康と體力とを防衛すること等の必要を十分認知してゐたし、また母權を一つの社會的機能乃至責任として是認した。一九一七年十二月二十二日の『疾病の場合の保證に關する法令』は、後日更により包括的且細目に亘る法制が、婦人保護の爲めにその上に築かれた基礎であつた。この法律は勞働者の賃銀を控除することなしに、保險基金を設けて、ソヴエート共和國領土內のあらゆる賃銀勞働者を性、人種、國籍或は勞働の性質長

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

五年計畫によつて着々機械化されつゝある。

13 勞働者農民の國ソヴエートの紡績工場の社會主義的合理化による能率増進は、直接彼女等を幸福にしてゐる。

14 ソヴエートでは勞働者の爲に特別な教育機關を設け、失業者達に、その場合に適した新らしい技術を敎へてゐる。

17 モスクワにおけるラジオ會議の討論はラジオによつてコーカサスの集團農場にゐる鬪士達もきく事が出來るのである。

18 今年の四月二十五日完成したトルキスタンとシベリアを連結する鐵道はソヴエートが世界にほこるものゝ一つで、一九二七年工事に着手され政府はこれの完成に五ケ年を費し一九三一年に完成の見込みであつたところ勞働者達の異常な努力によつてそれより一年早く既に完成した。この鐵道はセミパラメンスクから南部ルゴバカまで一四四二キロメートルを走り、二〇三、七〇七、〇〇〇ルーブルの費用を要した。
寫眞は青年共産主義同盟員が鐵道開通の用意をしてゐるところ。

19 コミンタンでは五ケ年計畫の詳細を記したプログラムを機械店の店頭にかゝげて勞働者達が隨時に學ぶ便宜をとつてゐる。

20 モスクワマネーア街十六番地には家政婦によつて始めて共同食堂が組織され、二皿のおいしい食事が四五コペック（約四十五錢）でわけられる。

21 ソヴエート同盟第五回中央執行委員會——一九二九・十二月

22 辯士の演説をきゝ入るソヴエート同盟の婦人委員達。

短に係りなく包括し、後には、自分達自身の勞力によつて働き、他人を搾取しない凡ての者に迄及ぼして行つた。それは實際に生産に從事してゐる凡ての婦人、同樣に、あらゆる勞働者の妻にも適用した。

母性の保護と保險とのためのあらゆる手段は、一方には、コロンタイが指導する『社會厚生委員會』により、他方には、勞働委員會によつて遂行された。前者は必要な諸施設を組織し母性の負擔を輕減するために、勞働婦人に對して物質的援助を與へたが、後者は勞働の標準や前章に述べた勞働保護の爲めの諸法律を採用した。一九一八年一月には、『母性及幼兒保護局』が正式に組織されて、母性保護のための諸施設は皆その管理の下に置かれた。同時に新局の特別委員會が組織されて、下記の任務を司つてゐる。

一 子供に對する母親の手を省くこと。——嬰兒に與へる最良の『乳の滴』は母親の乳房から出るものである。

二 社會主義的家族内の一員たるに適する、廣範な理解ある雰圍氣で子供を教育すること。

三 健全なる精神的肉體的發育への基礎を置き生活に對して歡喜的態度をとらしめるであらふところの條件を子供の爲めに作ること。』

レベデーヴァ博士はての新局の長に任命された。それは最初、『社會厚生委員會』の下にあつたが、其後勞働委員會の下に置かれ、最後に、保健委員會の一部分となつた。何となれば該局は三歳迄の子供に干與してゐたので、勞働委員會とは密接な連絡を維持してはゐたが、その力點は社會的と云ふよりも寧ろ醫學的でなければならなかつたからである。

一九二二年迄はこの局が管理する諸施設の數は間斷なく増加した。一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

11. 婦人のトラクター操縦者が仕事に出かける所



九二二年には、指數は急角度に上つて行き、次の年にはこの國の危機がこの事業に對する中央政府の補助を撤回して、地方企業や官營機關等に委讓することを餘儀なくしたために、突然落ちたのであつた。

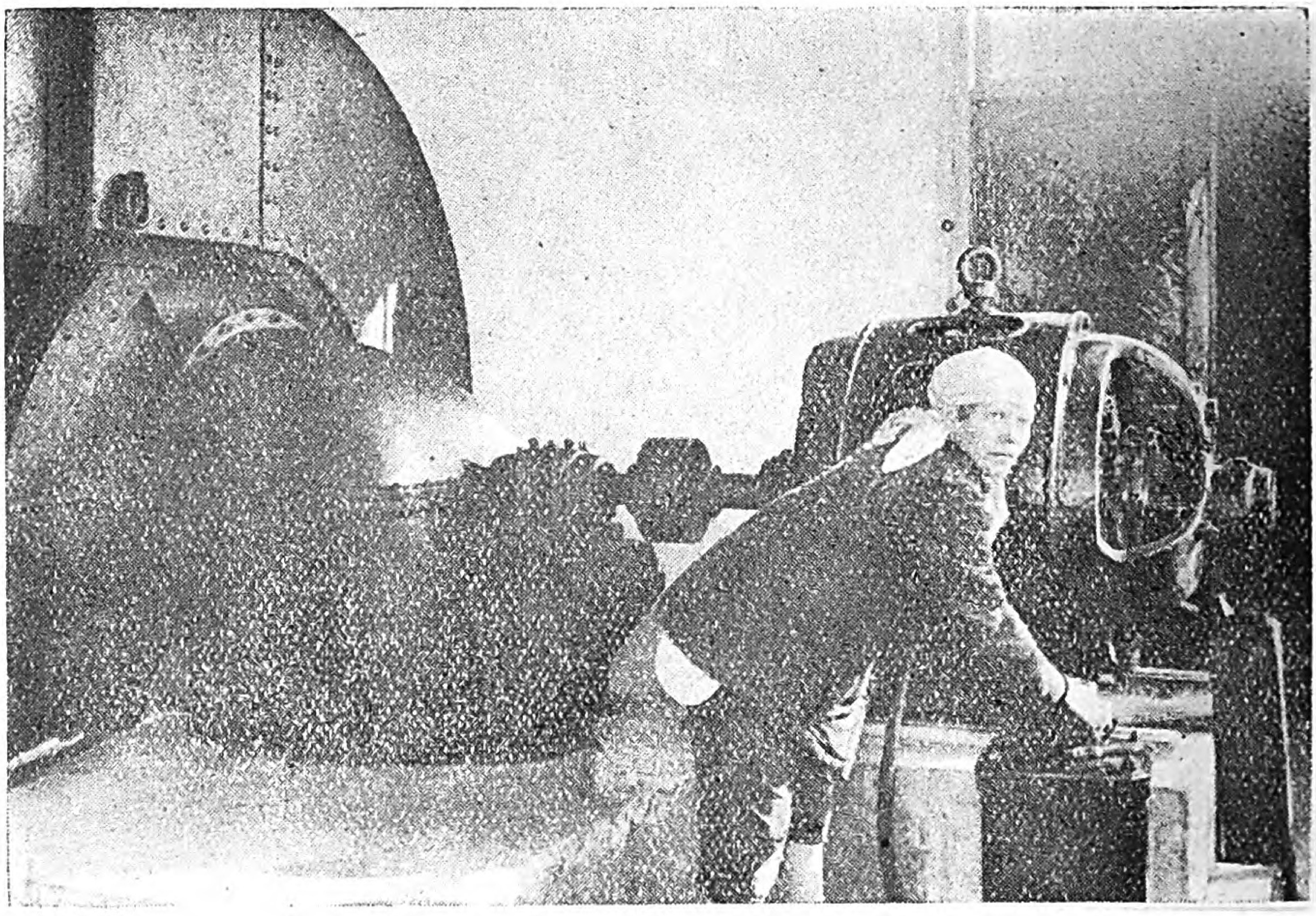
最初の計畫は、忠告や醫術上の助力を與へたりする機關と同じく、母親の就業中に子供の世話をすることの出來る機關をも補助する爲めに國家が全責任を負ふと云ふことであつた。併し、最早これも不可能であつたので、擔任者達は努力の弛緩があつてはならぬと決心して、可能なるあらゆる補助財源を振出して、事業を續行した。『母性及幼兒局』の行渡つた宣傳は効果があつた。工場・商店・保健局・協同組合・相互扶助協會・住宅共同組合・地方政府委員・ゼンアットデル等——あらゆる方面の人々から寄附金が集つた。一九二六年に、農村の晝間托兒所の補助のために費した百三十萬ルーブルの內半分は、農村諸團體や農民達自身によつて寄附されたのであつた。殘額は國家に地方政府によつて支給された。一九二七年の初めには、連續的施設の全數は夏期晝間托兒所を除外して、一九二三年にあつた數に達した。そして今日尙ほその數は着々と增加してゐる。もしも夏期晝間托兒所を含めたならば、その數は前にあつたよりも遙に凌駕してゐる。

その增加率は公開的の施設の方が絕對に有利であり、非公開的の施設は頗る減少してゐることは左の一覽表によつて明らかである。(註)

ソヴエート同盟
1926
739
8
104
489
9
585
281
140
317
2.622

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

12 鑛内專用の電氣通風器と婦人勞働者



母及び幼兒保護の諸施設

ソヴエート聯邦

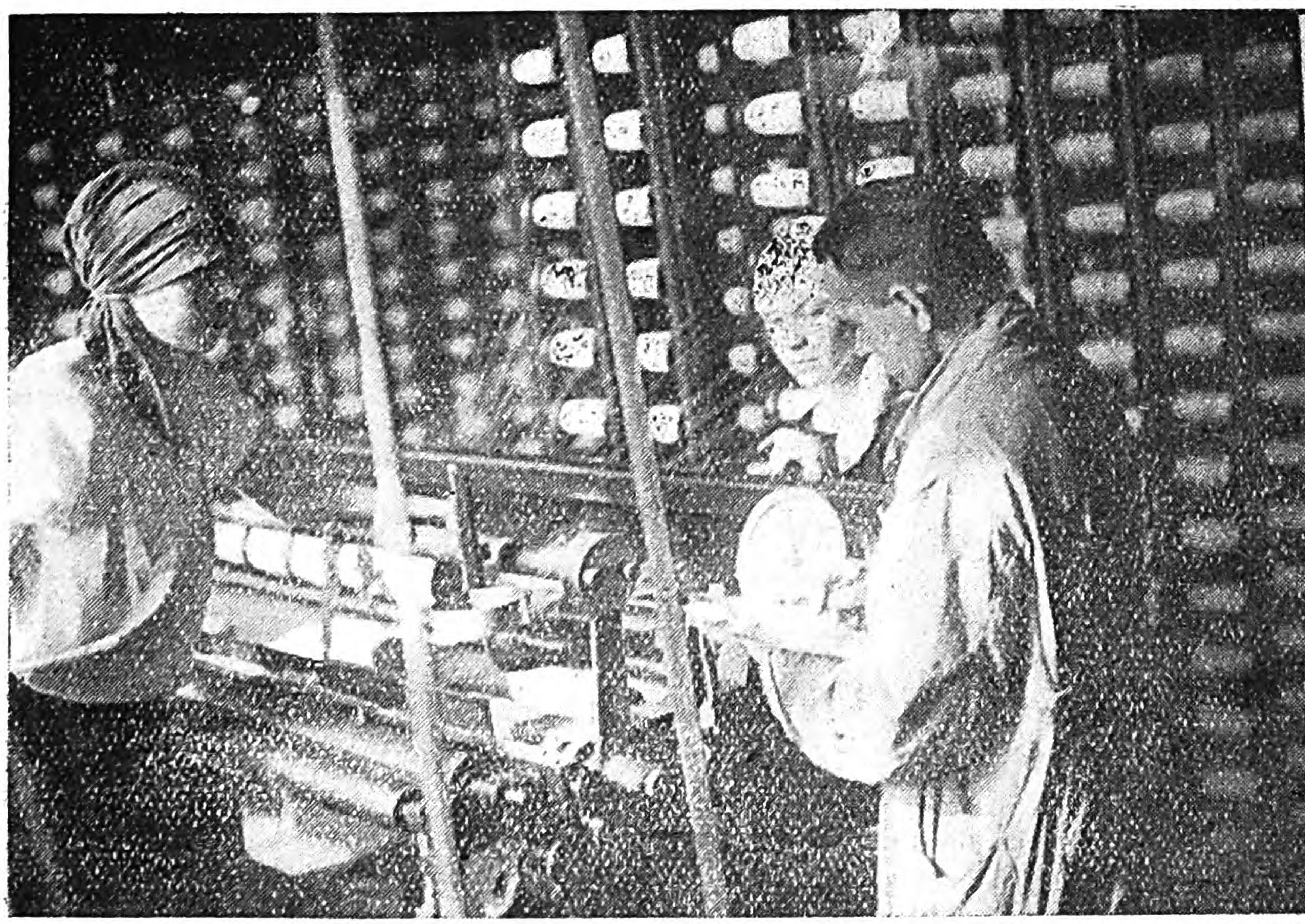
年號	1917	1918	1919	1920	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1927
工場及び工場區域晝間托兒所	14	78	126	565	668	914	447	503	536	603	631
常設村落晝間托兒所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7
母及び子供ホーム	2	10	17	99	125	237	110	91	80	94	106
育兒院	7	92	121	310	418	765	491	362	313	287	245
貧困な母の共同授產所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	11
子供相談所	2	39	58	133	161	179	137	165	262	290	447
姙婦相談所	—	—	—	—	..	29	28	95	169	199	270
官立相談所	—	—	—	—	—	—	—	30	130	128	128
村落相談所	—	—	—	—	—	—	—	7	117	122	268
計	29	219	322	1.167	1.372	2.124	1.213	1.253	1.607	1.839	2.113

夏期托兒所の數は下の如し

	ソヴエート聯邦	ウクライナ	ソヴエート同盟
1921	—	16	46
1922	125	123	248
1923	209	266	478
1924	524	426	956
1925	1.853	733	2.614
1926	2.919	873	3.968

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

13 紡績工場の能率増進檢査



嬰兒のための健康相談所は一九二二年以後如何なる種類の機關よりも增加した。そして農村相談所、法律相談所、『貧困な母親達のためのホーム』は最近數年間に增加した。革命當初、人々の貧困の狀態と子供達の養育とは、共に完全に社會化さるべきだと考へた多數の共產黨員達の哲學が、多くの非公開的の設備をさせたに拘らず、一九二〇年に於てさへ母親と嬰兒の更生に關する會議の席上に自分自身長年の共產黨員であるレベデーヴアは、母親と嬰兒との間に能ふ限り密接な關係を維持するがごとき種類の施設を可としてそれを强調力說したと云ふことを知るのは、興味あることである。幼兒養育所に就いて彼女はかう云つた。

『當局は孤兒や棄兒の世話をすることの必要を是認はするが、それにも係らず、この樣式の施設を少くとも望ましいとは考へない。何となれば、幼兒から母親の乳房を奪ふことは必ず幼兒死亡率の增加を伴なふからである。併しながら、この過渡期の間に我々が處置すべき棄兒の問題を持つてゐる限りは、この樣式の施設を繼續することは必要であらう。併し、自由な樣式の施設が發展した處は、何處でも棄兒の數が非常に減少したと云ふことは意味深長なことである。』

棄兒及孤兒養育院の嬰兒達が續々と死んで行つた時、母及び幼兒保護局は彼等を個人の家に『預ける』試みをすることを決定した。一九二四年には、彼等はモスコーのソヴエートを說いて、二百名の棄兒と孤兒とを、子供の世話料を仕拂ひ、その子供を監督し得る深重に選拔した個人の家庭に送ると云ふ試驗を保證させたのである。これが退步的だと云つし最初はこの計畫に反對した黨の人々も、棄兒中の死亡率がこの新らし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

14.——新建築物の漆喰塗りをする婦人勞働者



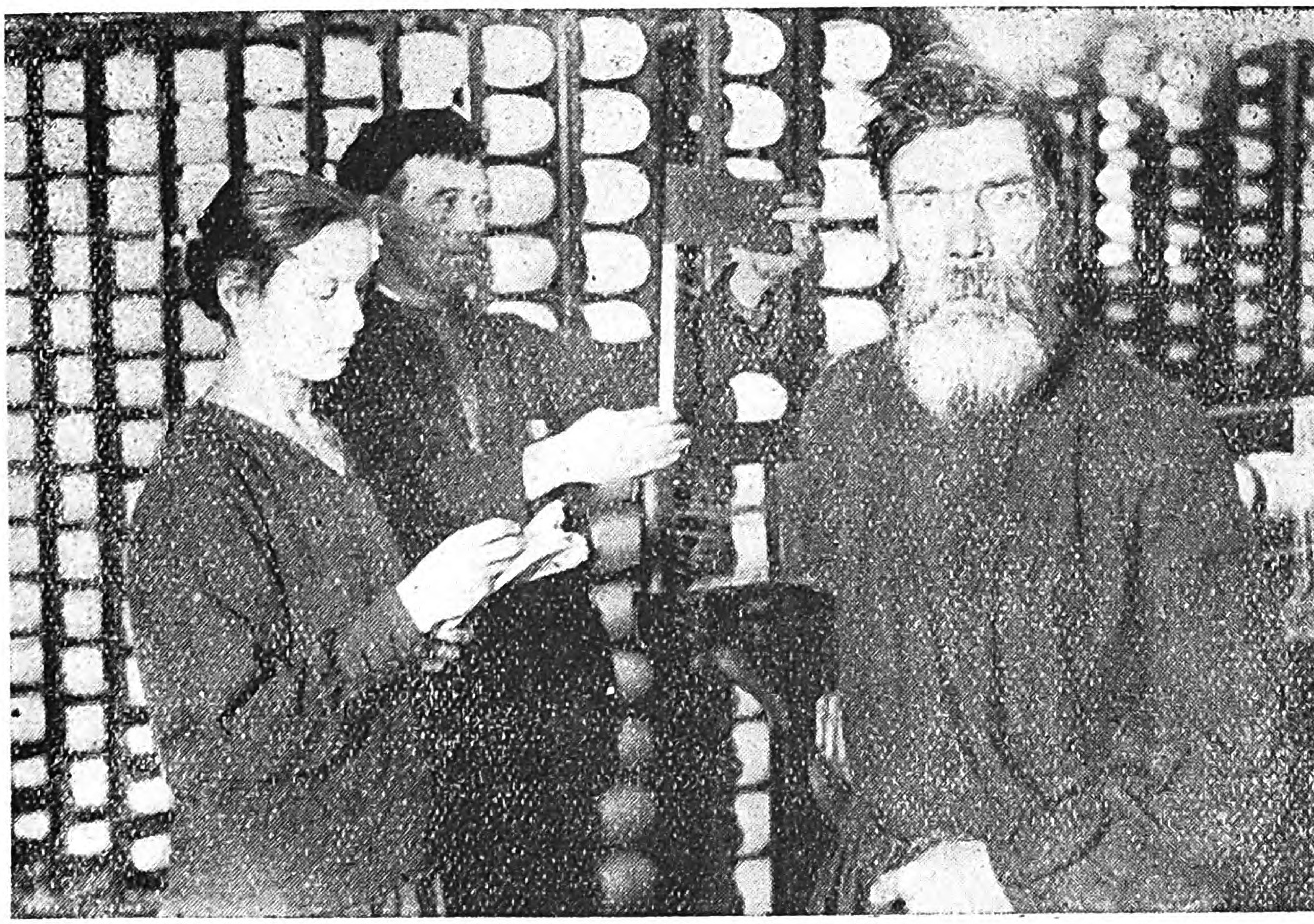
い方法によつて半數に減じたと云ふ事實に直面して兜を脱いだ。それ以來、この計畫は多くのところで採用された。レベデーヴァは私とこの問題を討論してから云つた。

『もしも我々が更に好い設備と更に良く訓練された職員とを我々の機關の中に持つてゐたならば、事態はもつと違つてゐたかも知れません。けれども、我々の現在の狀態では、家庭の方が養育所よりもより多く幼兒發育の爲めの刺戟的環境を持つてゐると云ふことは疑ひありません。我々はこの方法で死亡率を減少せしめたばかりでなく、遙に大部分の嬰兒に適當な發育を保證しました。と云ふ譯は、大抵の場合、我々の養育所で育てられた嬰兒は、精神的にも肉體的にも後れてゐたからです。』

レベデーヴァは尚、棄兒の數は内亂時代以來非常に減少したと私に語つた。以前は、モスコーだけで收容する棄兒は、一年に約二萬あつたのに、現在では、全ソヴエート共和國を通じて略々その數であるに過ぎない。私は、共產黨の人々とゼンアツトデルの組織者達が私に說いて見せる、未來——其處では子供達は完全に彼等の兩親達から引はなされてゐるのであるが——に建設される筈であるところの嬰兒や子供達の爲めの美しい家庭の繪畫と、母及幼兒局の現實的政策の間にある矛盾について幾らか當惑した。私はレベデーヴァ博士に、彼女は如何にしてこの問題に對する局としての態度を決定するつもりであるかと質問した。

『ソヴエート政府は——』と彼女は說明した。『母親とあらゆる年齡の子供達との健康と、青年の社會的教育とを監督すべきであると考へて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



15.——すべての機械に赤旗のひるがへる集團工場

ゐます。これらの任務は保健省と文部省との間に分擔されてゐるのです。けれども彼等の健康を保護する問題が第一であつて、必要な場合には社會教育の原則はその爲めに犠牲にしなければなりませぬ。現在、團體教育の原則は、第一には資金の涸渇、第二には社會教育の方法が適當に解決されてゐない。第三には人々の性格と心理とが團體的訓練を未だ喜ばないと云ふ理由で、部分的に適用され得るばかりです。吾々は如何なる方法でもそれが實際の應用上、子供にとつて最善であると立證するものがあればそれを利用しますし、また今後も利用し續けるでしやう。』

レベデーヴァ博士は、相談部を進歩させることは彼女の屬する局の最も主要な職務であると考へてゐる。舊ロシアから繼承した小數の相談部は幼兒の爲めのみのものであつて、姙娠期迄には及ばなかつた。彼等は家庭に於ける援助を與へなかつたし、また教育事業も行はなかつた。然し、現在ではそれらは獨逸及亞米利加に於ける最も模範的施設の方針に從つて發達しつゝある。最良の相談部では專屬の搾乳場を持つてゐて、必要な者に補助營養を與へてゐる。そして受胎期から三歳に至る迄母子を共に繼續して世話をしてゐる。また講演會、圖書館、展覽會等を開いてゐる。彼等の中の小數の人々は、アメリカの社會事業に關する調査をし乍ら、豫防運動に入る第一歩として、特別な集團と熱心な仕事を開始した。婦人代表者達は訓練された社會勞働者の代理として、其處で働いてゐる。巡回育兒婦の計畫は原則に於ては承認されたが、アメリカに於けるこの種類の事業の水準に達する迄には長い時間かゝるであらう。『社會勞働者』がその計畫を續行するに大切な働き手であることをロシアが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

16. ——共同農場の契約書に署名する勞働者達



發見するやうになつたことは、興味あることである。保健人民委員會議長セマシュコは、最近の演説に於て聲明して、社會衛生學——それを彼は『健康に對する有害な社會的原因の影響とそれらを取り去る手法の研究』と規定した——は一九二二年に初めて醫科大學に紹介せられたのであると云つた。彼は、ロシアに於ては貧困のみが凡ての有害な社會的原因の取り除きに對する唯一の妨害物であり、醫師は實際に、社會的勞働者になりつゝあると述べた。

農村に於ては、目的は相談部をして社會的の中心たらしめることであり、婦人達に、彼女達の子供を生む以外に其他の問題に就ての忠告を與へ、衛生學の原理等々を教授することにある。其他多くの農村に於ても、婦人代表者達は巡回育兒婦を勤務する代りに養育院に行つて、母親達と相談部との間の連絡を取つてゐる。別個の相談部が組織されてゐない所では、農村病院或は藥局を一定の日或は數日間、母親達が子供を伴つて行く爲めに解放してあるのが普通である。村醫者達は、多くは婦人であるが、この事に對しては素晴らしい貢獻をして、その發達を助けるためには臨時の時間をも自由にさくことも稀れではなかつた。併し、農村行きの醫師乃至看護婦等を得ることはまだ極めて困難であり、また醫術的職業に失業がある限り、多くの農村は醫術上の援助を持たないのである。

社會保險に對する法律が廣汎に普及してゐるにしても、それは尙ほ、産業、執務員、專門勞働者、及び農業勞働者に及ぼしてゐるに過ぎない。農婦に對しては未だ保險はない。ソヴエート政府は現行の社會保險を以つて決して最後的だとは考へてゐないが、當面それ以上に出る狀態

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

17. 北部コーカサス地方の集團農場のラヂオ



にはゐないのである。母及幼兒局は農村に『相互保險組合』を組織することによつて、この間隙を滿さうと援助を試みつゝある。農婦達はそれによつて、年齢と生活狀態に應じて極めて小額の仕拂をうけ、以つて出產補助金を保證されることが出來た。しかし、私はこの運動が未だ非常な進歩を示したことを發見しなかつた。が、『社會救濟評議會』はこの局の下で、多少廣汎に組織されてゐる。その仕事は正規の保險が行屆いてゐない貧困な母親達を援助する爲めに、資金を調達するにある。

生きた統計と云ふものは、結局何が起つたかと云ふ事の最善の索引である。ロシアの統計も凡ての他の國家の統計の如くに間違つてはゐるが、それにも係らず、革命以來、幼兒死亡率は、少くとも大都市に於てほとんど半減したと主張するが、それには信ずべき正當の根據がある。

ミハイロフスキー博士は、一九二五年十二月、母及幼兒局の第三回會議に於て、歴史が示してゐる如く、あらゆる戰爭の間は、結婚及出產の數に減少があり、死亡率が增加してゐると指摘した。戰後は結婚數に增加があり、それに從つて三年乃至四年間は出產率の增加がある。次いで出產率は低下する。歐羅巴は世界大戰以來既にこの循環を經過した。併し、ロシアに於ける出產率は、他の諸國と反對に、低下しなかつた。一九二二年、ロシアに於ける結婚數は戰前の二倍の數であつた。一九二二年――二三年にはそれが戰前の水準、人口千に對する八に落ちて、戰前の標準を僅に下る出產數であつた。一九二三――二四年迄には人口千中十三の結婚があつて、それは現在迄その平均を保つてゐる。離婚法發布直後の年間には非常に多數の離婚があり、當時數千の我慢強い夫婦達はそれを利用しようと突進したが、現在では離婚數の六乃至七パーセント

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

18. トルキスタンとシベリアの間の鐵道建設



に過ぎない。(他の材料によると最大限度十パーセントである。)

戰前のヨーロッパ、ロシアに於ける出産率は、千人中四百三十八人であつたものが一九二三年には千人中四百二十五人に低下し、一九二五年には四百三十人に増加した。その時以來、出産率は既婚夫婦の實數に比例して、戰前以上に増加し、それと同時に嬰兒死亡率は非常に減少した。一九二五年、モスコーに於ける千名の婦人勞働者に出した問に對する回答によれば、一九一七年には嬰兒死亡率は三十五パーセントであつた事實に反して、一九二五年には十七パーセントに減少したことを示した。この問題に關する正確な統計は全ロシアに對しては通用しないけれども、廣汎に分離した地方に於ける調査によれば類似の樣相を與へてゐる。戰前(一九一一年——一三年の)ヨーロッパ、ロシアに於ては人口の自然増加は一萬に對する一六五人であつたが、一九二五年迄には二百一人に達した。ミハイロフスキー博士に從へばこの出産率の増加と死亡率の減少は他の戰爭關係國に於いては見ない現象である。

產兒調節及墮胎の問題は母及幼兒局の監督下には直接入らないが、局はそれらの解決に對して緊密に干與してをり、またそれは母性の問題に就て重要な關係を有してゐるので、それを若干說明することが玆に必要である。墮胎がロシアで公認されたと云ふ事實は屢々それが奬勵されてゐると云ふ意味に解釋された。しかしそれは反對に、墮胎の増加は醫術業者及政府當局者間の非常な警戒の原因となつたのである。私は今玆に七册のパンフレットを持つてゐる。それはモスコーの色々な書肆で購つたもので、母及幼兒局、人民保健委員會乃至國家出版部で出版されたものである。それらのパンフレッ

10. 勞働者達は夕食後店頭のプログラムで五年計畫について學ぶ



トは墮胎や手術をなし得る條件等に關する法律を十分説明してゐると同時に、全部がすべて最も有望な條件の下でさえ、傷害の可能性あることを指摘し墮胎による死亡と疾病の統計を擧げ、且又小供を持つことによつて生命が實際に危險に瀕するか、彼女又は夫に小供の健康を危殆ならしめる疾病があるか、或は彼女の經濟的條件が小供を養ふことが不可能であるが如きものである時等極度の必要ある場合の外は墮胎に訴へないようにと婦人に向つて勸告してゐる。墮胎公認の唯一の理由は、非合法的に無智に實行された墮胎に結果する死亡と病氣とを少くし、不測な危險を最少限度に保證するにある。

墮胎に反對する宣傳は文書に限られてはゐない。廣汎に利用されてゐる映畫がその害毒を教へると同時に、出産の全經過に就いて教訓を與へ、それと共に、非合法的に墮胎を行ふ産婆其他の欺瞞手段等に就いてはゼンアットデルは發表し、編纂してゐる。如何なる取上げ婆（バーブカ）或は醫師と雖も、不法行爲を發見された者は法律の假借なき處罰を受けなければならない。あるバーブカは昨年彼女が行つた手術の爲めに隣村で『下獄』 てゐる。モスコーの新聞紙は、有名な而も非常に尊敬された内科醫であるゴットリーブ博士が、一患者が死亡したことから自宅で金儲けの爲めに、適當な衛生條件なくして手術をやつたことが露見したといふ事件を最近報道してゐる。檢事は法廷に向つて、博士に禁錮五年の最大限度の刑と其後五ケ年間の開業停止とを求刑した。

母及幼兒局のゲンス博士は他の何人よりもこの問題に就いてより多くの研究を行つたに相違なく、またその原因をつきとめる努力として種々なる人々の集團中で徹底的な調査を行つた。現在ロシアに於ては革命前

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

20. 共同食堂で御飯を受取る主婦達



よりも多くの墮胎があることは疑ひなく、またその數も增加してゐるけれども、それは未だ、抑壓手段を擁護する者達が主張する程大きなものではないと彼は私に語つた。以前には何等の記錄もなかつたので、その增加率は一部分今日の優れた統計によるのでなければならない。合法的墮胎の增加は必ずしも墮胎の總數の增加を意味するものではない。何となれば多くの婦人達は適當に施術をして貰ふことが可能であることを知つてをり、小數の者のみが古い方法を用ひてゐるのであつて、『地下的墮胎』の數は每年減少してゐるからである。墮胎の數は每年僅かの增加があるが、出產に對する墮胎の比率は減少してゐる。例へば、モスコーでは、一九二五年、二萬一千の出產に對して、七千件の墮胎があり、一九二六年には四萬の出產に對して一萬一千件の墮胎があつた。ゲンス博士によれば、嬰兒死亡率と棄兒數の減少は大體墮胎の公認と云ふことに歸着する。墮胎の大部分は都會に起つてゐる。農婦達の無智と便宜のないことの理由で、農村に於ける墮胎の五十乃至六十パーセントは尙非合法的である。比較的に、小數の子供のない婦人が墮胎をしてゐる。都市では墮胎する婦人の過半數は一人の子供がある二十代から三十代の間の婦人であり、農村では、三人乃至それ以上の子供のある三十乃至四十代の間の婦人であつた。一般に質問に對して答へられたところの論據は、墮胎の大多數は物質的缺乏か大家族かにもとづき、次には、醫學上の原因と、あるものは優生學、またある時は、未婚婦人の場合では、都市に於けるよりも農村に於ける方が遙に強く作用する要素としての恥辱感乃至は種々雜多なる理由にもとづいてゐる。數人の者は現在の結婚關係の不安定を理由として擧げてゐた。ゲンス博士は多くの墮胎の主要な理由の一つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

21.婦人委員に取り捲かれたルイコフ、カリニン其他



は、住宅難であると信じてゐる。何となれば墮胎希望者の多くは一室に三人乃至四人、またはそれ以上同居してゐる婦人であるからである。

母及幼兒保健局は、その一般的綱領と教育事業の發展は、將來に於いてかゝる大規模の墮胎が繼續して行はれることを防ぐ最上の保證であると看做してゐる。この罪惡と戰ふために何等かの直接的な實際手段を發見する問題に直面して、レベデーヴァ博士及ゲンス博士は共に、一九二五年十二月の母及幼兒會議への報告中に墮胎を撲滅し得る唯一の豫防手段として、産兒調節法を流布せしむることを勸告した。

數年前初めてロシアに來た時、私は此の問題に對する目にあまる官僚的態度――否官僚的態度の缺如に非常に當惑した。市中の藥局やレジノトレスト（ゴム企業家合同）では種々避姙の用品を目立つように陳列し、印刷した心得書を無料で頒布した。勿論それは地方民にとつても、或は都會民にとつてさへも無效であつた。彼等はそれらのものが現存することを知りもしなければ、また必要な材料を購買するにはあまりにも貧弱であつたからである。私は當時この問題に對する決定的な政府の態度を發見しようと努めたが、無駄であつた。保健省の職員や政府當局者は、彼等自身産兒の調節を計ることを忌避してゐるやうであつた。が、この消極的態度は、西歐諸國の産兒調節宣傳が用ゐてゐる言語の爲めに、産兒調節なるものは社會主義社會に於ては存在の餘地をもち得ない社會的疾病に對するブルヂョア的萬能藥なりと多くの共産黨員が看做した事實によつて、部分的に説明される筈である。彼等は、無限に續けて子供を生むことを希望するかどうかを自分で選擇することを婦人連に許すと云ふよりは、寧ろ種族を意識的に制限するといふ觀點に立つてこの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



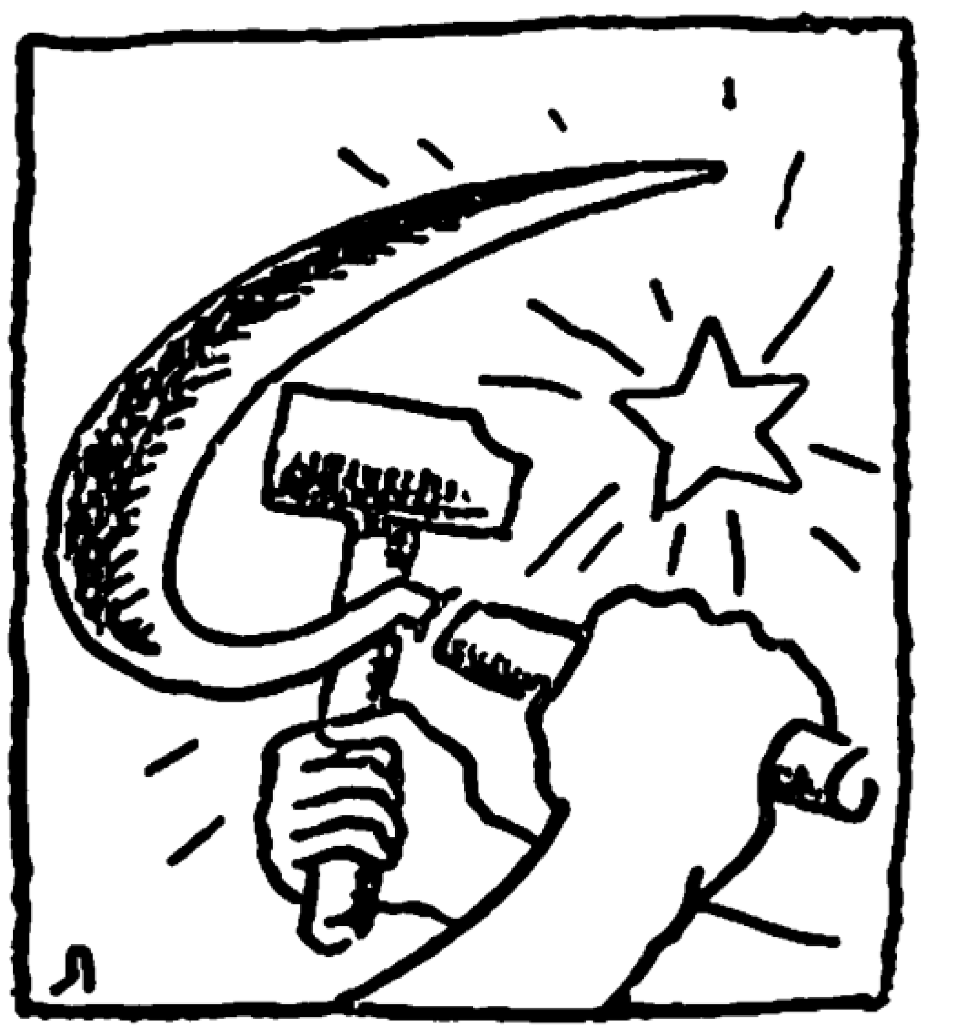
22.——クレムリン宮殿内で文化と風習の研究

問題を解釋したのである。

併し漸次にこれら凡ての反對論は減少してをり、現在この問題に對する態度は四年前にあつたものと比較して非常に異つてゐる。これに對する最初の政府としての手段は一九二三年に取られたのである。當時母及幼兒局の第二回大會は所謂産兒調節なるものを是認はしたが、一委員會を構成して、誰れにも知られてゐる方法を調査し、新しいものを創案して紹介すべきことを可決した。その年の秋、クループスカヤ産院の主席醫師であり、その委員會の一員であるレヴヲ博士は愼重に論じた小册子を刊行して、委員會が調査してゐる種々な方法を、決定的な推薦をなすことなく、記述した。次の夏、レーニングラードの局の會議では國家と社會の爲めに産兒調節論を非難はしたが、醫師の忠告によつて或種の方法を用ひることを認可した。一九二六年度の局の大會に於ては、政府としての手段が遂に取られ、墮胎を克服する方法として相談部を通して、産兒調節の知識を普及することを是認した。委員會は今尚、百パーセント信頼し得ると推奬し得られる方法の發見に從事してゐる。幾多の醫師は動物の牝に、妊娠に對する免疫注射をする實驗をして、この方法によつて六ケ月乃至一ケ年中に亘る不姙期間を、其後決して子孫を持つ可能性を妨げることなしに、惹起することが出來ると主張してゐる。保健局は昨年世間に熟知せられてゐる方法を詳細に記述してゐる小册子を發行した。そしてこの種類の文獻は何處にでも販賣されてゐる。

(註) 公開的の托兒所は子供達が一日一定の時間或は終日收容され、或は健康診斷の爲めに連れ來られるところであり、非公開的の托兒所は、そこに子供達が生活せしめられる。卽ち育兒院等を意味する。(ゼシカ・スミスの『ソヴエートロシヤの婦人』から)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



プロフインテルン第五回大會と日本の×色勞働組合運動

隅田龍子

一　國際勞働組合會議

七月十五日から、世界勞働者階級の首都、モスコーで開かれる筈になつてゐたプロフインテルン（赤色勞働組合インターナショナルの略稱）第五回大會は、その後、大會の完全な準備のため、八月十五日まで延期されることになつた。

プロフインテルン第五回大會と共に、他に二つの注目すべき國際會議が開かれる。一つはジエネバに於ける國際聯盟の國際勞働組合會議、他の一はストックホルムに於ける國際勞働組合聯盟の會議である。

國際聯盟は、一九一四――一九一八年にわたる世界大戰後、戰勝國の資本家共が、劣敗戰國に對する支配權を確保しやうとして設立したものだ。大戰の生々しい慘禍は、歐洲の勞働者階級を根底からユリ動かした。幾千萬の戰死者、ヤモメ、みなし兒を出し、その上戰爭による一切の損失を勞働者階級の搾取によつて埋め合はせやうとする資本主義的合理化に對し、自己の階級的立場を自覺した勞働者階級は益々多く社會主義の旗の下に走つて行つた。これを見てアワて出した各國の資本家共は第二インターナショナルの改良主義ダラ幹共と握手して國際聯盟の中に國際勞働組合會議を設けた。

國際勞働組合會議の目的は、世界帝國主義の搾取に反抗する植民地、半植民地の××的勞働組合運動を妨害して、母國に於ける資本家共の手先、改良主義勞働組合運動の下に結合することである。

この會議に日本からは鈴木文治が出掛けた。過日の東京日日新聞紙上には高松宮殿下と御同船申上げた鈴文がハルカに故國のメーデーをしのんだと云ふ通信が出てゐた。賃銀値下げと首切の大嵐に反抗する勞働者階級の必死の鬪爭を他にして、鈴木文治と同じやうな各國の裏切りダラ幹共は、勞働階級の何人によつて選ばれもしない資本家の代表や、自國の××主義運動をザンコクに抑壓してゐる政府の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

役人共と大饗宴を張り、世界の帝國主義國家に反抗する植民地半植民地の××的勞働組合運動を妨害し、資本家共の手先になつた自分達の手に指導權を握るために、勞働者階級をゴマ化し眠り込ませるために改良主義的毒素を國際的に宣傳しやうとしてゐる。

もう一つの、國際勞働組合聯盟は、アムステルダム・インターナショナルのお歴々の裏切り紳士共によつて開かれる。この會議は、賃銀を引き下げ、勞働條件を惡化させて肥滿してゐる資本家共の産業合理化政策を援助するヨーロッパ諸國のダラ幹共の會議である。

國際聯盟と手を握り合つた紳士共は、××主義戰爭準備のための資本家の産業合理化政策を「産業平和」、「階級協調」のスローガンで粉飾し、何千何百萬の失業者の放逐と、勞働强化と、反抗の壓殺をもつて支持し、反ソヴエートの戰線を組織しつゝある。

この前の國際勞働組合會議は一九二九年に開かれた。一九二九年は、世界恐慌による國際資本主義の矛盾がロコツにバクロし始めた時だ。一時的にも安定を得やうとする熱病的産業合理化の大嵐は幾千萬の勞働者のクビを切つた。賃銀値下げと首切りに反抗する勞働大衆のフンゲキは、組織未組織を問はず闘爭へ〳〵とかり立てた。第十二回國際勞働組合會議はこの一九二九年に開かれたが、彼らは大衆の窮乏化と飢ゑに苦しむ數千萬の失業者については一言も語らなかつた。支那××や印度××に於て慘虐な白色テラーと戰ひつゝある勞農大衆の苦難の闘爭については沈默を守つた。試みに第十二回會議の中心議案を上げて見ても、いかに彼らが資本家の手先になつて、××ヂョア共の政策を代表してゐるかゞわかる。

一、産業災害豫防

二、船舶の荷積み荷下ろしに使用せらるゝ勞働者の災害保護

三、强制勞働（材料がないので詳細は不明）

四、使用人（主として商業使用人）勞働時間

大衆の急速な××化を前にして、かうした議案を中心に開催されてゐる國際的裏切り幹部に對して、各國の勞働者階級の憎惡は大衆の左翼化と共に進んでゐる。日本でも、總同盟の大衆の中からさへ國際勞働組合否認・ダラ幹をやつつけろ！ の聲が上つてゐる。

完全に資本主義國家の一機構になつたこれらのダラ幹共は、イギリス勞働組合會議に印度の若き勞働者運動を結びつけイギリス帝國主義への供物にしやうとタクランだが印度勞働者の急進化のために失敗した。彼らはまた、支那、印度、インドネシア等々に於て、××主義運動破壞のためには、イギリス帝國主義者や國粹主義者と結んで叛徒鎭壓や死刑に積極的な役割をやつた。日本の宮崎龍介が、總同盟から支那に派遣されて、支那革命の壓殺者蔣介石と握手したのは有名な話である。

プロフインテルンの影響の下に、太平洋沿岸に於ける植民地半植民地の××運動の先頭に立つてゐる汎太平洋勞働組合書記局に對立するために、日本の鈴木文治や印度のチョシ等が國際ダラ幹共の援助によつて汎アジヤ勞働組合會議設立をタクらんだが、支那、印度の××運動の進展によつて再三流會をつゞけた。一九三〇年四月ボンペイ市に開く豫定であつた同會議も、惡辣極まる彼らの策動にもかゝはらず、印度勞働者の××的進出によつて一とたまりもなく壞

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

滅してしまつた。

かうして、第二インターナショナルのダラ幹共の裏切りが、支那印度インドネシアその他の植民地半植民地の××的進出によつて叩きのめされつゝある時、大衆闘爭の左翼化と發展は、×國主義盜棒共に搾取され抑壓される勞働者階級の、眞實の味方として××運動の先頭に立つてゐるプロフインテルン、及び東洋に於ける汎太平洋勞働組合書記局の勝利を約束してゐる。

二　プロフインテルン第四回大會

プロフインテルン第四回大會は、一九二八年モスコーに於て開かれた。この大會は、革命的國際勞働運動の歷史的「一轉向點」であつた。なぜさう云はれたか？

一、一九二七年以後、世界資本主義の安定の均衡は破れ、市場は狹ばめられ、就業勞働者の勞働强化と、大量的な馘首が行はれた。その結果、一般的には勞働階級の生活を惡化し、各資本主義國內に數百萬の失業者を街頭へ放り出した。就業勞働者の賃銀値下げ馘首反對の闘爭は失業勞働者の飢になやむ闘爭と結合して階級對立は尖銳化し、大衆は×××になつて行つた。しかも、國際資本の安定の動搖の克服は、勞働者階級に一切の負擔を轉化させる產業合理化の强行以外に道けない。各資本主義國は產業合理化の名の下に、勞働者階級に對する慘忍な搾取率の强化を組織し始めた。これに對する勞働大衆の不滿反抗は、イギリスに於ける炭鑛夫のストライキ、中部ドイツ地方に於ける金屬勞働者五萬のストライキ、サツコ、バンゼツチの死刑に反對するパリの市街戰、ボンベイに於ける製絲勞働者一萬の賃銀値下げ反對のストライキ、印度革命の進展、等々大なれ小なれ、資本主義合理化に反對する大衆運動の波は益々××化しつゝあつた。

二、一方ソヴエートロシヤの兄弟達は、社會主義經濟の組織が一國に於ても立派に成功することを身を以つて世界プロレタリアートの前に示した。世界の勞働者大衆は、これによつて輝やかしい確信と希望を更らに新たにすることが出來た。この影響と結びついて、植民地半植民地の××運動が、急速に發展した。新らしい國の××的勞働組合運動の成長として太平洋沿岸を中心とする汎太平洋勞働組合書記局が設立され、ラテン、アメリカ諸國を中心とする、ラテン、アメリカ勞働組合書記局が設立されやうとしてゐた。

汎太平洋勞働組合書記局は、支那、印度、及び東洋に於ける反動の支柱である××××××勞働組合運動に特別の注意をもつて援助し、まだプロフインテルンに加盟してゐない他の國々をも赤色勞働組合インターナショナルの××の下に結集することが出來た。

三、ソヴエートロシヤの社會主義經濟の發展、植民地半植民地に於ける××運動の進展、國內に於ける對立の激化と大衆闘爭の左翼化――これらすべての矛盾の成長は、各帝國主義國家のプロレタリアート獨裁破壞のための反ソヴエート戰線の經濟的、軍事的武裝の强化、植民地に於ける××的勞働組合運動の抑壓、國內プロレタリアートに對するテロルの狂暴化、となつて現れた。

四、それと共に第二インターナショナルの日和見ダラ幹共のロコツ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

な裏切りが始まつた。彼らは、「產業平和」（總同盟の產業平和！のスローガンを思へ！）「階級協調」をとなへ、ブルヂョア國家の代理人となり、反共產主義戰線の先頭に立つた。

五　資本家の經濟的閉め出しと戰ひ、××のテロルと戰ふと同時にダラ幹の裏切りと戰はねばならなかつた。勞働者大衆は、新らしい狀勢に適應する新らしいストライキ戰略戰術を求め、特にロシヤプロレタリアートの援助と×色勞働組合への結合を求めて來た。

第四回プロフインテルン大會は、かうした國際狀勢を前にして開かれた。大會はこの狀勢を大衆の××的逆襲による「內亂と×××時代」とし「資本主義の第三期（崩壞期）」と分析した。

プロフインテルン第四回大會は、この新たなる狀勢にもとづいて幾千萬幾百萬の勞働者に選ばれた五十餘ヶ國の代表者達によつて、大衆鬪爭の指導と大衆獲得の問題、××的反對派の活動の問題、益々非合法に追やられつゝある×色勞働組合の活動の問題、植民地半植民地に於ける×色勞働組合の活動の問題・帝國×××反對、等々について根本的な方針、戰略戰術を規定した。この意味に於て第四回大會は「國際勞働運動の轉向點」であつた。第四回大會はかゝる狀勢の下に於ける經濟鬪爭の指導は、すべての××黨、すべての×色勞働組合、××的反對派の中心的任務であるとし「大衆に近づけ！」「工場に入れ！」　なぜならこれこそはファシスト的反動、白色テロ、戰爭の危機及び改良主義的廢頽に對する鬪爭に勝利する唯一つの道だからである」（ロゾウスキー）と云つてゐる。

この轉向に當面して第一にその正體をバクロしたのは、プロフインテルンの中に巣食ふてゐるダラ幹共であつた。彼らはこの經濟鬪爭の獨自的指導の方針と戰術とに執拗に反對したが、その後の國際的諸經驗は、この轉向と新戰術の採用が根本的に全く正しかつたことを證明した。

一九二九年一月には、ドイツのストラスブルグに於て、ストライキ戰略戰術を討究するための特別な國際會議が開かれ、ストライキ委員會の構成、特に婦人勞働者をこれに參加させること、×色勞働組合が益々非合法に追ひやられてゐる國々に於ける工場委員會及びその他の鬪爭組織の獲得等々について重要な方針を定め、同年十二月の會議に於ては、ドイツ、フランス、チエッコスロヴアキア、日本、印度、等に於ける婦人勞働者が、資本家官憲のテロルの下に第一線に立つて活躍してゐる事實を指摘し、プロフインテルン加盟の各赤色組合に向つて、婦人勞働者の急進化の組織的確保、婦人勞働者の信頼を獲得するための積極的鬪爭を要求してゐる。

三　第五回大會

第四回大會後一ヶ年半の月日が過ぎた。その當時正に擡頭しやうとしてゐた大衆運動の逆襲の波は、第五回大會が開かれやうとしてゐる現在に於ては、完全に蹶起し始めてゐる。

ドイツ、フランス、ポーランド、ギリシヤ等々では數百萬の勞働者がストライキに參加した。印度の勞農大衆は平和の說教者ガンヂーをケットバして反帝國主義革命運動に進出し支那革命は中國共產黨の指導下に農村、都市にソヴエートを樹立しつゝある。（八月一日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

東京朝日新聞)。日本では黨、協議會に對する言語に絶するテロルにも拘らず大衆の左翼化は鐘紡三萬五千、市電一萬五千のストライキとなつて現れた。そしてこれらの××的蹶起は、植民地半植民地の××運動による經濟恐慌と帝國主義諸國に於ける恐慌と結びつきによつて、アメリカ六百萬、ドイツ三百萬、イギリス二百五十萬、日本百五十萬、等々全世界にわたる千數百萬の失業者の反抗と密接に結びついて、益々世界資本主義を爆發へと押しやりつゝある。

ソヴエート同盟の工業化五ヶ年計劃はスバラシイ成果をさめ、「五ヶ年計劃を四ヶ年で」のスローガンの下に急速なテンポを以つて進行しつゝある。

現下に於けるソヴエート同盟のスバラシイ經濟的發展の成果の政治的意義は、プロレタリア獨裁に挑戰する國際資本主義の共同行動ソヴエード同盟及び全コミンテルン全プロフインテルンの各支部に對するテロルの狂暴化、植民地半植民地の××運動の壓殺と、市場獲得のための帝國主義國家間の分裂の危機は、各帝國主義國家をして經濟的軍事的武裝へと追ひやり、ソヴエート同盟を主とする植民地半植民地の××運動の發展は、「戰爭を××」への權力獲得のための直接の闘爭に全プロレタリアを當面させる。

第五回大會はこの狀勢を前にして開催される。大會は、第四回大會以後の諸經驗の成果、失敗、弱點、誤謬の總決算と共に自己批判を中心にして、新たに失業者の組織の問題、婦人青年勞働者の問題等が加へられ右の如き日程をもつて進行される。

一、執行局の報告と××的國際勞働組合運動の任務
二、新帝國主義××との闘爭
三、ソヴエート同盟の社會主義的建設に於ける勞働組合運動の任務
五、××的勞働組合の闘士の問題
六、選擧

この日程を通じて、工場内の下からの戰線統一の問題の經驗と方針、大衆闘爭の指導權の獲得と政治的なゼネラルストライキ等々全國際勞働組合運動の當面してゐる政治的問題が討議決定されるのである。

四　日本に於ける××勞働組合運動

××的國際勞働運動が當面してゐるこれらの問題は、同時にまた之が日本の××的勞働組合運動が當面してゐる問題である。

一九二八年以後、明らかに逆襲に轉じつゝある大衆闘爭の指導權獲得の問題・失業者の問題、×××××によつて益々非合法に追ひやられてゐる××勞働組合の活動の問題・合法性獲得のための闘爭に關する問題・工場内に於ける闘爭組織、工場委員會、首切反對闘爭同盟、その他勞働者グループの組織と獲得の問題、婦人の組織の問題等は、今日本の××的勞働運動がさし迫つて解決しなければならない問題である。日本の勞働者階級は、これら一切の問題を、新らしい狀勢の分析と、これに適應した戰略戰術を決定する×色勞働組合インターナショナル第五回大會に參加し、國際的連帶の下に解決しなければならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

日本に於て、××的勞働組合運動の中心になつてゐるのは、日本勞働組合全國協議會である。全國協議會の前身、日本勞働組合評議會（一九二八年四月十日、支配階級によつて××された。）は右翼總同盟、中間派組合同盟に巣喰ふダラ幹に對して鬪爭をし、××資本家の壓迫の下に、最も勇敢に、眞實に勞働者の味方となつて戰つた。日本の勞働運動史上に輝く大ストライキ、濱松樂器爭議、共同印刷爭議、等々は舊評議會が指導した。舊評議會はまた、日本××黨を支持し、總同盟、組合同盟のダラ幹共が、ソヴエートロシヤに對して、資本家政府と同盟を結び、支那革命××のための出兵に際して完全な沈默を守つてゐたのに反し、太平洋沿岸に於ける××的勞働組合運動の指導部、太平洋勞働組合書記局設立のための積極的な鬪爭、ソヴエートロシヤ防衞のための鬪爭、支那出兵反對の鬪爭、帝國主義反對の鬪爭、朝鮮、臺灣等の殖民地に於ける××運動と舊評議會の指導する內地の×××勞働運動との結合のために戰つた。

評議會はまた、戰鬪的な大衆黨・勞働農民黨結成のために戰ひ、金融恐慌による勞農の不滿反抗を組織し、議會解散請願運動、工場代表者會議等をもつて最も廣汎な大衆を鬪爭に動員した。評議會の戰鬪力を極度におそれた支配階級は黨に對する大彈壓と共に、評議會の指導部の殆んどすべてを投獄し一九二八年勞働農民黨、無產青年同盟と共に解散を命じた。

協議會は舊評議會の××的傳統を承け、日本××黨の指導下に產業別勞働組合の總協議會として結成しプロフインテルンに加盟し、日本に於ける××的勞働組合運動の中心となつてゐる。現在、協議會加盟の產業別勞働組合は、日本交通運輸勞働組合、日本化學勞働組合、日本金屬勞働組合、日本出版勞働組合、日本電氣勞働組合、日本通信勞働組合、日本紡績產業勞働組合・一般使用人組合等であり、右翼中間の組合には××的反對派の組織をすゝめつゝある。

三・一五、四・一六の大彈壓は協議會の指導部を弱め、その後に於ける引き續く彈壓によつて、協議會は今全く地下に追ひやられてゐる。だが、協議會は狂暴な迫害の中にあつてもコミンテルン及びプロフインテルンの「數百萬、數千萬の勞働者大衆を掴む現下の階級衝突の政治的性質は、××黨、×色勞働組合、××的反對派の側に於ける經濟鬪爭の指導を益々必要ならしめる。」との正しい決議に基き、市電、星製藥等のストライキには×の行動隊を編成して戰つた。階級對立が非常に激化してゐる現在に於ける大衆鬪爭の政治的特徴は、絕望的な反抗を持つ百五十萬の失業者と、半失業狀態におかれてゐる全勞働者の不滿反抗を前にしては、五百人、千人の少數なストライキも、それが廣汎な大衆鬪爭及び××への點火になり得ると云ふことである。この危機狀態は、小工場の一ストライキですら資本家政府のカシヤクなき彈壓と治安維持法、治安警察法、暴力取締法、公務執行妨害、騷擾罪、盜犯防止法等々の法的抑壓を受けてゐる理由である。

だが資本家政府のあらゆる迫害も、最早や大衆の××化を喰ひ止めることは出來ない。協議會の必死の鬪爭にも拘らず大衆の左翼はより急速にすゝみ、あらゆるストライキは右翼改良主義幹部と官憲の同盟の下に壓殺され、全國協議會必死の鬪爭にも拘らず大衆鬪爭

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

に對して跛行の狀態におかれてゐる狀態である。
大衆の××化が進み、×色勞働組合が益々地下に追ひやられつゝある時、政府によつて合法的存在を許されてゐる總同盟、組合同盟及び諸無產黨は、百五十萬の失業者の憤激と全勞働者の反抗を前にして完全に自己の無力と反動性をバクロしてゐる。

一九二九年の總同盟大會に於ては、黨首安部は「我黨の使命は忠君愛國である。」と云つて演說をしてゐる。そして彼らは、口に「產業平和」をとなへ、資本家政府の產業合理化に協力し、工場內に於る共產主義者の發見と檢擧のために官憲と協力し工場スパイの役割を果たしてゐる。

大衆黨、東京無產黨、勞農黨等は口に戰線統一をとなへ××的言辭を弄して大衆の左翼化を抑壓し大右翼結成を計つて官憲の×色勞働組合破壞を援助してゐる。「合法的共產黨」結成のために、特別政府裁判所の庇護を受けて出獄した黨內解黨派の紳士共は、全國協議會に對立する左翼的假面に粉飾された新勞働組合結成のため勞農黨に立てこもつてゐる。

また全國協議會が地下に追ひやられ、鬪爭が益々困難になつて來るにつれ、全國協議會から脫落して行つた分子共は「全協刷新同盟」をつくり、「民主々義的中央集權の破壞」「黨と組合との混同」を全協がやつてゐると喚き立てゝ自ら合法主義者の本質をバクロしてゐる

刷新同盟のお歷々には、狀勢の急速な變化にともなふ任命制の必然と黨及び×色勞働組合の側に於ける、現下の大衆鬪爭指導の政治的意義は理解出來ないのだ。黨が非常な非合法の下に置かれる國にあつては、×色勞働組合は積極的に黨の鬪爭に參加動員されねばならない。一つのストライキに於ける黨の鬪爭と×色勞働組合の鬪爭をブルジョア的合法性のラチ內に止めやうとするのは最惡の日和見であり、×色勞働組合の鬪爭を敵階級の利益に從屬させやうとするものである。

資本主義第三期に於ける×色勞働組合の政治的活動について自己の無智をバクロしてゐるこれらの人々は、曾ての荒畑、猪俣の道を急速に辿つてゐる。

資本家共を始め、總同盟から黨內解黨派、全協刷新同盟に至るまでの勞働階級の敵共の攻擊の中にあつて、眞に勞農大衆の解放戰を戰ひ抜くものは、日本××黨及び全國×議會のみだ。

全國協議會はメーデー鬪爭に於て現れた極左的日和主義の傾向を勇敢に克服しつゝ各產業別組合と共に、分會から上部機關に至るすべてを動員し、プロフインテルンカンパニヤの中心目標を自己批判におき「自己批判は俺らの武器だ！　おそれず批判して前進せよ！」のスローガンの下に過去に於ける分會活動の一切の鬪爭、組合鬪爭の一切の批判をなしつゝ加重する白色テロル下に益々活潑に大會カンパニヤを戰つてゐる。

全國協議會はこの鬪爭を通じて、支配階級の極度の彈壓と、左右社會民主々義者の防害に對して戰ふと共に日本の勞働者階級に對して課せられた×××任務を果たすために、日本プロレタリアートの代表をプロフインテルンに送り、國際プロレタリアートと共に××的前進をふみ出すであらう。（一九三〇　八一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



××××者は婦人勞働者のため何を要求し、如何に戰ふか

佐野京子

「最近に於ける婦人勞働者の急進化」の事實について、本誌先月號に、私は簡單に述べておいた。

婦人勞働者を經濟的並びに政治的鬪爭へ積極的に參加せしめるための活動は、勞働者階級の鬪爭の進步と結果を規定するであらう當面の重要な問題である。

しからば××××者は、婦人勞働者、及び一般プロレタリアート婦人のために何を要求し、如何に鬪はんとするか。

××××者は、婦人に對して政治上、經濟上、社會上、のすべての要求を獲得するためにその先頭に鬪ふ。

一、十八歲以上の男女に區別なく、普通選擧權の獲得。

二、性及び年齡に區別なく同一勞働に對する同一賃銀の獲得。

三、工業に於ては七時間勞働制、農業に於ては八時間勞働制、賃銀を支給しての每年二週間の休養。

四、健康上有害なる企業、過激な勞働、坑內及び危險な機械に婦人勞働者を使用することの禁止。

五、工場、職場、及び工場の寄宿に於ける衞生施設の完備。

六、產前、產後八週間宛給料付きの休暇、企業家負擔による醫藥の補助。

七、企業家の負擔で工場內に勞働婦人のための託兒所設置。

八、一切の婦人宗敎團體、社會團體の廢止。

以上は、大體その主要なものである、此の他、婦人勞働者、一般プロレタリアート婦人の要求に對し、不平、不滿に對し、問題の大小に關せず、すべて利害のために鬪ふのである。

『婦人の眞の解放は××主義によつてのみ可能である』といふことは、すでに度々云はれてゐる所である。

ソヴエート聯邦に於けるプロレタリアの勝利と××××社會の建設に向つての十年間の經驗とは、婦人勞働者の解放の道しるべを、實踐的に答へた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

即ち、『ブルジョア共和國……最も發達した社會的共和國でさへも、又世界中どこでも、最も進歩した國でさへも、決して、そして一度も完全に對等ではなかつた。フランス革命以來、ほとんど一世紀半の年月が經過したにも拘はらずさうである。ブルジョアデモクラシーは言葉の上で平等と自由とを約束するが、實際には唯の一つの最も進歩した共和國でさへも、婦人に法律上男子との完全な平等の地位を與へたことはなかつたし、又男子による後見と壓迫とからの自由をも與へたことはなかつた。』（レニン）ところのものを、プロレタリア××は婦人に與へたのである。

このソヴエート聯邦の勝利に基く經驗と、レーニン・マルクス主義の指導のもとに、全世界の抑壓され、搾取されてゐる人類の解放のために戰つてゐる××主義者の世界的同盟——第三インターナショナルは、國際無産婦人運動のために、原則的な問題を規定し、幾多の任務を確立したのである。

××××者は、プロレタリア婦人の要求の獲得のためにまたその解放のために、如何に戰はんとするか？ 第三インターナショナルの規定は、それらの問題に明瞭に答へてゐる。

一九二一年、第三インターナショナル第三回大會は、プロレタリア婦人運動の問題を提出し、最初の基本的な規定を與へた。第三回大會の『婦人に對するテーゼ』中の主要點をあげれば次の如くである。

一、婦人勞働者の大衆は、××主義の精神によつてのみ、教育されねばならぬ。そのためには、ソヴエート勞働者共和國の建設のための鬪爭裡に、婦人勞働者を參加させねばならぬ……

二、勞働階級の利害は、特に現在のモメントに於て、××主義のために戰ひつゝあるプロレタリアートの組織された隊伍中に、婦人を補充することを絕對的に要求してゐる。

三、いやしくも、權力の××の問題が起る所に於ては、×××は、まだブルジョア教會と、ブルジョア迷信の影響下から解かれてゐない、且つ何等かの手段によつて、××主義の大衆運動に結合されてゐないところの不活動、未組織の勞働婦人、家婦、雇女、農婦の大衆によつて提示される××の大なる危險を考慮に入れねばならぬ。東西の婦人大衆を、若しこの運動の中に入れないならば、彼女等はブルジョアジーの城壁となり、反××宣傳の對象となることを避けられぬ。ハンガリー革命に於て、無智な婦人大衆の反××的役割をなした經驗の警告と、ソヴエート共和國に於ける、その建設のためにあらゆる鬪爭に加はつて反××と戰つた婦人勞働者と農婦の學ぶべき經驗等による×××の直接の任務は、婦人の廣汎なるサークルに××の影響を流布し、特別の機關を組織し、特別な方法を適用して、ブルジョアジーと中間黨との影響下から彼女等を切り離すべく、その外部から婦人に訴へ、彼等を×××のための、從つて婦人の完全なる解放のための眞實の鬪爭に教育しなければならぬ。

四、婦人のながい間の奴隷的地位と、不平等からの解放は、××××の勝利の上にのみかゝつてゐる。

而して××××が、婦人に與へる所のものは、ブルジョア婦人運動が婦人に決して與へなかつたところのものである。婦人の解放の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

問題、特に無產婦人のそれはフエミニストの目的であるところの婦人參政權の獲得――ブルジョア議會制度の下に於ける――に依つては、決して解決されない。その解決はたゞ一にかゝつて××××にある。××××によつてのみ、生產と分配との問題に婦人が勞働階級の凡ての成員と同樣の權利を持ち得るのである。かくして彼女等は產業の管理に參加し、同時に社會のよりよき幸福のために、同等の責任を負ふのである。さらに一方××××は、全社會の生活と活動と不分離であるところの人間の人格の最も均整のとれた多方面の發達を容易にするであらう。××××は、完全なる解放と眞實の自由のために叫ぶ、凡ての婦人の目的でなければならぬ。而してまた、××××はプロレタリアートの窮極の目的である。それ故に、この目的のための勞働婦人の鬪爭と（前述の）婦人の自由と解放のための鬪爭とは、「單一にして不可分なる」ものとして××的プロレタリアートの指導と統制の下に、全世界的なる運動にまで持ち來たされねばならぬ。

五、云ふまでもなく、コミンテルン（第三インタナショナル）は、革命的マルキシズムの基礎の上に堅く打ち立てられてゐる。そこには「特殊なる婦人問題」もなく「特殊なる婦人運動」もなく、從つて勞働婦人とブルジョアフエミニズムとの如何なる同盟をも排擊する。同樣に社會民主々義者の下にある婦人よりの支持をも排擊する。何となれば、彼等はプロレタリアートの力を埋沒し、社會××と×××の到來とをおくらせ、同時に、かくして婦人の解放を無限の彼方に追ひやるゝのであるから。××××は、「各階級の凡ての婦人の團結力」によつてゞはなく、「凡ての被搾取者の團結鬪爭」によつてのみ成就されるであらう。プロレタリア婦人大衆は、自分自らの利益として×××の××的戰術を支持し、凡ての形態の一國或は國際的規模に於ける××と大衆的行動とに、最も積極的に直接參加すべきである

六、婦人の鬪爭は二重の――資本主義と、家庭奴隷との――抑壓に對する鬪爭である。その發展の最高段階に於ては、國際的性質を帶び、「プロレタリアートの××とソヴエート組織とのための第三インターナショナルの鬪爭」と云ふ形態をとる。即ち、全無產階級の鬪爭と結合されて來るのである。

七、今日に於ける婦人の奴隷狀態は、ブルジョア秩序から發生して來た。婦人の奴隷狀態を終らすためには、社會の新たなる××××組織の開始が必要である。その新社會への鬪爭の中心勢力たるべき××的勞働婦人は、重要なる幾多の問題の前に、ブルジョア的幻想を抱く婦人を支持するところの、或は、新社會の實現を暗に障害に導くところの第二インターナショナル及び第二半インターナショナルに對しては、斷固たる鬪爭を向けねばならぬ。

八、以上の目的のために先づ、急速に彼女等の仕事に從事すること、コミンテルンによつて立つ×、或はグループ以外の裏切り的エセ黨、グループに對しては嚴しい鬪爭をなすこと、而して、階級意識ある婦人は、コミンテルンに參加せざる×にとどまつてはならぬ

コミンテルンに反對するものは、婦人解放の敵である。

續いて、コミンテルン第四回、第五回大會は、世界の經濟的、政

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

治的狀勢の變化と、各國に於ける數年間の具體鬪爭の實踐上の經驗に基いて、婦人の解放、ひいてはプロレタリアートの全的解放のために、婦人の間に於ける活動のより積極的な鬪爭の擴大と、指導との必要を與へた。

一九二四年、第五回大會は勞働婦人の間に於ける活動について特別のテーゼを作成した。

『プロレタリア的統一、戰線及び戰線の擴大は、婦人大衆――プロレタリア婦人、耕作する農婦及び小市民婦人大衆――も亦、積極的、決定的に、献身に溢れてプロレタリアートの總ての鬪爭に參加してのみ可能である。反××家は、この鬪爭を指導するに當つて婦人の偉大なる意義を認識してゐた。これらの事實に鑑みて×××の緊切なる任務は廣汎なる婦人大衆を反××家の影響から奪ひとり、そして××××の鬪爭に獲得することである……

『世界的狀勢からして、プロレタリア、小農民及び小市民の婦人の間に於ける仕事は從來より力強く、合計畫的に努力することの必要は全國に起つてゐる。×××は婦人を自覺させ、革命的プロレタリアートの各種の鬪爭活動の積極的協同者たらしめねばならぬ。一般におくれたる狀態にある婦人も、もし××的理念の力によつて把握せらるゝならば、勇氣と献身とを以つて戰ふといふことを理解するといふことは、歷史的經驗の示すところである。ロシア革命ブルガリア及び獨逸の鬪爭はこれを確證する。……』

等の觀點から、第五回大會は、『廣汎なる婦人大衆の啓蒙、組織及び教育を通じてプロレタリア世界××の促進』のために、『婦人の間に於ける××××的仕事は決して×××の第二次的仕事ではなく、むしろ一の重要なる、然り！ 實に××的プロレタリアの鬪爭及び勝利を組織し確實にする×の重要任務の一つの決定的部分を形成するものであるといふこと』を強調し、特に各國の×××にレニンの『プロレタリア××は數百萬婦人大衆が鬪爭に參加するときにのみ勝利することができる』といふ言葉の追憶を要求してゐる。

而して、第五回大會は、婦人勞働者獲得の任務及び組織に關して次の樣な規定を與へた。

勞働する婦人を獲得する任務は次の三部分から構成される。

一、資本主義國の婦人の間に於ける任務、
二、植民地的及半植民地國に於ける任務、
三、ソヴエート共和國に於ける任務、

一、×××の全組織が工場細胞を基礎として設置される必要に鑑みて、工場に於ける婦人勞働者の獲得に、重心が置かれねばならないことを斷乎として強調する。××××の活動は、婦人勞働者大衆の抱く幻想――ブルジョア社會の基礎に立つてデモクラシーによつて彼等の窮乏せる狀態から脱出し得るかの如き――の一沫をも粉碎することに向けられねばならない。婦人勞働者大衆の階級意識への原則的政治教育と共に彼等の實踐的訓練、プロレタリアートの經濟的及政治的鬪爭に、積極的に參加せしめるための彼等の組織が伴はれねばならない。我々の仕事は亦失業婦人を獲得し、彼等の工場と密接に結びつけることにある。プロレタリア婦人を政治的にし、彼等の階級の經濟的政治的戰線に編成するための仕事は、勞働組合

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

に於ても亦なされねばならぬ。そして工業婦人の間に於けるが如く、農村婦人の間に於ても亦、家庭雇婦、家庭勞働婦人を組合に組織し、政治的に動員することも決して輕んぜられてはならぬ。

耕作する農婦の間に於ける仕事は、農業國に於ては先づ、即座に、熱心に着手せられねばならぬ。耕作する農婦の間に於ける××及び彼等の組織の爲の出發點、中心點としては次のものが考へられる。即ち、農業婦人勞働者、小作農婦人、戰死者の寡婦、家庭雇婦、農業勞働者の妻その他である。仕事は、そこでは消費組合運動——消費組合運動は又プロレタリア及び小市民の家庭の婦人の間に於ても充分×××的目的に利用されねばならぬ——と密接な結びを持たねばならぬ。

×××は工場、事務所及び官公廳の婦人雇員、雇婦、女教師、郵便、電信、電話の雇員等のブルジョア的編成を打破し、そして大資本のこれら奴隷に、被搾取者としての彼等の地位に目を開かせるべく努力せねばならぬ。

勞働者の妻を、革命的勞働者の鬪爭へ積極的に參加せしめるために彼女等を獲得し、組織することは、戰後の鬪爭の激烈性及び持續に鑑みて大なる意義がある。勞働者の妻を啓蒙し、動員することは、彼等の夫の從事してゐる工場の全勞働者に結びつけねばならぬ。就中、この任務の解決のためプロレタリア的小市民婦人が、包括せられてゐる借家人同盟及び類似の組織内に、×××××の活動を强めねばならない。

あらゆる領域に於ける議會政治の××的利用は最も廣汎な婦人大衆の洞察、警戒、活動を通じて高められねばならぬ。これ等は議會への彼等の要求を通じ議會の彼等の統制及び議會へのデモンストレーションを通じて、××××フラクションの代議員を支持し、凡ての議會及びブルジョア的及び改良主義的政黨の反革命的性質を暴露せねばならない。特に地方議會に於ける活動に對し注意して繼續せられねばならない。何となれば、こゝでは正に機會主義的脫線が非常に大きくしかも、そしてこゝでは廣汎なる婦人大衆の利益に直接に觸れる問題がとり扱はれる。

×××は合法的時期に於て、非合法的時期の激發的活動に、婦人同志を協力せしむるべく準備し訓練することは目下の狀況では絕對に必要である。更に各種の武裝組織の××、ファシズムの政治的克服の仕事、そして武裝せる勞働者を通じてそれらの威壓の仕事に完全に參加せしむることが絕對に必要である。

二、以上の下に、近東及び極東に於ける活動の歷史的に與へられた特別な狀態は彼の國のそれとは非常に異つた一定の特別の任務をたてる。彼等は傳統、信仰及び宗教的戒律に對する戰ひに動員される。彼等婦人大衆の間に×××學說を浸透し、××のための婦人鬪士を集める特別の方法及び組織の形態を要求する。

三、ソヴエート共和國に於ては勞働する婦人の百萬の大衆をプロレタリア國家權力を强固にするため、社會的經濟の建設のため、國家社會的生活のすべての機關に、凡ての領域に理解ある協働のため、又同樣に來るべき時代の社會的教育のため動員することは最高の意義がある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

第五回大會は、將に婦人勞働者の組織について、婦人勞働者大衆の間に於ける仕事は、×全體の任務であること、×の全體の活動に於て、すべての行動及び戰役に於て、婦人大衆を動員するために如何に特別な方法が向けられてゐるかをあらかじめ注意せねばならぬといふこと、また、そのために特別な機關を作ることは婦人大衆の間に於ける×の働きを可能なる限り統一的に、合計畫的に、そして力強くなし、絶えず全體の組織關係に對し、前述の義務を彼等に示さねばならぬといふことを强調した。

一、工場細胞への黨組織の置き代へと共に直に各工場細胞內の一名の黨員又は婦人黨員に勞働婦人の動員及び組織の責任を持つことを委任する。同樣なことは勞働組合のフラクションにも當てはまる。

×××が婦人の間に於けるあらゆる仕事を組織＝勞働組合、消費組合、借家人同盟、保護者會、戰死者遺族同盟その他＝の內部で仕事に對し一名の黨員又は婦人黨員が責任を負ふ。

二、各×××の指導部は、一般的出版物に於ける婦人ページ又は婦人附錄を作り、或は規則的に婦人の利害の問題を取扱ふために一定紙面を提供せねばならない。もし可能であるならば、婦人の間に於ける仕事のための特別の機關紙が發行せられねばならないであらう。特別な勞働婦人新聞の創刊は、着手され、要求される。黨員の理論的並に實踐的訓練のための總ての黨機關は婦人黨員の××的な教育に必要な顧慮がなされねばならない。

黨の指導部は、廣汎な婦人大衆の發展集會及び訓練のために役立つ可き煽動宣傳文書、小冊子、ビラその他に必要な費用を作らねばならぬ。

三、すべての指導的黨組織體は――地區團指導部から中央指導部に至るまで――婦人大衆の間に於ける仕事に責任を持つ一名の黨員を任命せねばならない。

四、これらの黨員は、彼の仕事を支持する特別な委員會を諸方面に作らねばならぬ。

各國黨指導部には、婦人書記局がなければならない。書記局は、少くとも一名の常任の委員（×員又は婦人×員）が活動せねばならぬ。

五、東洋諸國には特別な專門部がなければならない。專門部には組織的に政治的に東洋及び殖民地國にとつての、書記局の重要な部分であり、その指導者は國際婦人書記局に屬さねばならない。

×組織を工場細胞の上に建設し、勞働組合の仕事をその意義に應じて×の活動領域としつかり結びつけ、そして數百萬の婦人勞働者、雇婦、職業婦人を資本の忍耐強い奴隷から資本家經濟に對し又ブルジョア國家に反抗する目的の明瞭な鬪爭に轉換せしむる任務を目前に有する××では目下最大なる意義を有する。

また、プロフインテルンも（赤色勞働組合インタナショナル）コミンテルンによる以上の原則の上に最近に於ける新たなる國際狀勢に面し、これらの諸鬪爭を分析　、それから諸々の教訓を汲み取り婦人勞働者を勞働組合に獲得するための、或は勞働組合內　於ける活動等について多くの問題を提出し、方針を決定してゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

現在の時代に於けるストライキ戰術の問題に關するプロフインテルンのストラブルグ特別會議で採用した決議中には、特に、ストライキと婦人勞働者及び勞働者の妻の間に於ける活動――産業の合理化と婦人勞働の擴大とに當面して婦人勞働者をストライキへの參加に引き寄せることの意義、婦人勞働者や勞働者の妻がストライキや締出しに於てなした極めて大きな役割を演じたこと等――について、次のような注意を呼び起してゐる。

一、なほ準備活動のあひだに於て、婦人勞働者の組織と勞働者の妻の利益に觸れる特別の要求を、一般的な要求の中へ採用することに特に注意が拂はれねばならぬ。

二、ストライキの間に於ては、婦人勞働者と勞働者の妻とは、最も積極的な共働に引き寄せられ、そして煽動、組織、救援等の方面に於ける種々なる機能の行使を委されその目的のために、勞働者の妻から特別の委員會をつくらねばならぬ。

三、勞働者の妻の勸誘のための特別の遊擊隊が婦人勞働者から作られねばならぬ。

四、締出對策委員會、若しくばストライキ委員會の選擧に際しては、多くのパーセントが婦人勞働者から選出されるように配慮されねばならぬ。婦人勞働者が壓倒的 工場では、ストライキ指導部の多數が婦人勞働者から構成さるべきである。

五、他の地區及び他の産業部門との聯絡を保つために選ばれる代議員には是非とも婦人勞働者が任命されねばならぬ。

六、或るストライキ、若しくは締出しが婦人勞働者の著しく多くのものに關係するときは婦人勞働者の組織的準備とストライキ指導部のために最も積極的な婦人勞働者の候補者を立てる要求との目的で特別の婦人勞働者會議が召集されねばならぬ。然してこのことは、決して婦人勞働者が男子の同僚との共通の會議に參加することを除外するものではない。

七、繫爭の解決に際して改良主義者の協定が極めて屢々プロレタリアートの最も弱い部分（婦人勞働者及び青年）の犧牲に於て結ばれるので、特に繫爭の終結に際してはこの種類の勞働者の利益が擁護されることを配慮されねばならぬ。

極く最近には――婦人勞働者が經濟鬪爭において從來よりも遙かに重大な役割を演じつゝあるの事實に鑑みて、婦人勞働者の間に於ける活動、婦人勞働者をプロレタリアートの全鬪爭に參加せしめ、組織することの重要性が强調されてゐる。

昨年十二月プロフインテルン中央評議會第六回會議に於ては、かゝる情勢に從つて、更に、婦人勞働者の問題に就いて多くの指示を與へた。

再び、本年八月の來るべきプロフインテルン第五回大會には、婦人勞働者に對する問題が、一つの重要なる議題として、提出されてゐるのである。

以上の如き、コミンテルン、プロヒインテルンに於て決定された婦人勞働者に對する基本的な、また具體的な任務、方針は、昨年八月の汎太平洋勞働組合會議（太平洋沿岸の×色勞働組合の會議）に於て

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

は、太平洋沿岸諸國の——帝國主義資本と民族資本とによつて歐米資本主義國に比して最も低廉な賃銀と、長時間の勞働、封建的な遺物がなほ強くこびりついてゐる下で、最も激しく搾取されてゐる——婦人勞働者のため、一層具體的に、次のやうな要求綱領と活動方針を決定したのである。(以下産業勞働時報による)

要求綱領(勿論、こゝにあげられてゐるものは、重要な基本的な要求であつて、國を異にし、生産部門を異にする毎に各々その勞働條件、生活條件が異るものであるから、個々の特殊の要求は、勞働階級の經濟的進出の時、その事情に相應されねばならぬ。例へば、日本に於ける工場内寄宿舍の監獄的壓制の反對、虐待反對等。)

(一)性及び民族の差別なる同一勞働に對する同一の賃銀。
(二)工業に於ては七時間勞働制、農業に於ては八時間勞働制、賃銀を支給しての毎年二週間の休養。
(三)勞働婦人に對する肉體的懲罰の禁止。
(四)婦人の深夜業廢止。これを實行すること。
(五)健康上有害なる企業、過激なる勞働、坑内、鑛内及び危險な機械に婦人勞働者を使用することの禁止。
(六)工場、職場及び工場の寄宿舍に於ける衞生施設の完備。
(七)産前、産後二ケ月間宛給料付きの休暇、企業家負擔に依る醫業の補助。
(八)企業家の負擔で工場内に勞働婦人のための託兒所設置。
(九)勞働婦人の年期奉公制度の撤廢。
(十)勤勞婦人に同等の政治上の權利市民權を與へること。
(十一)一切の婦人宗教團體、社會團體廢止。

以上の要求に從つて勞働組合の活動は、

(イ)階級的單一勞働組合を原則として、廣汎なる工場勞働婦人、農業婦人大衆を組織すること。婦人だけの勞働組合を作ることによつて、プロレタリア婦人を勞働階級全體の鬪爭から孤立せしめんとする傾向——それは東洋諸國にあり、且つ改良主義者に依つて支持されてゐる——を斷乎として排撃すること。
(ロ)婦人勞働者を勞働組合へ引き入れる仕事は、直接工場で行はれねばならぬ。若しその工場に××的組合の班或ひは工場委員會があるならば、この仕事はそれらの中から特別に選び出された同志達によつて行はれ、それは完全に勞働組合の影響の下にあらねばならぬ。
(ハ)婦人勞働者をより成功的に組合へ加入させるためには、勞働婦人一般特に當該企業の勞働婦人に關する特殊的要求を掲げねばならぬ。
(ニ)勞働婦人は、男子勞働者と全然同一の權限を以つて勞働組合の一切の機關へ選擧されねばならぬ。
(ホ)勞働婦人の中の組合の仕事は、その大なる意義を參酌し、この仕事を行ひ得る特別な積極的分子を養成する時にのみ可能である。このためには學校、研究會を通じての豫備教育、積極分子の間の教育事業、婦人の積極分子を勞働組合の一般的活動へ引き入れることが必要である。
(へ)勞働組合に加入せよと云ふ婦人勞働者の間の煽動と宣傳と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

は、勞働大會の席上で行はれねばならぬ。大經濟的鬪爭の時には、勞働婦人だけ別にした會合を開かなければならぬ。時を見計らつて未組織婦人のための特別な組合會議を召集することは効果あることである。

（ト）太平洋沿岸諸國の勞働婦人層の多數が文化的に政治的におくれてゐること、及びプロレタリア婦人の大多數が無學であることを考慮し、××的勞働組合は勞働婦人の間に行ふアヂ・プロ及び教育事業の方法と其の形態を研究することに最も深大な注意を向けねばならない。啓蒙事業は勞働婦人を勞働組合に引き入れる最も重要な方法の一つである。

勞働者クラブを組織することは――その出來るところでは――勞働婦人を引き入れるにいゝ方法の一つたり得る。これらのクラブの下に、勞働婦人のための特別な講義、研究會、學校、相談所とか又は婦人の部屋等を組織しなければならぬ。だが婦人クラブなるものを別に作るべきではない。

最も積極的に仕事のやれる婦人は、クラブの仕事とか、勞働通信網運動へ引き入れられねばならぬ。勞働組合機關紙には、婦人勞働問題、勞働婦人の地位及び彼女等の要求等の諸問題に掲げられたる論文その他を掲載しなければならぬ。

（チ）廣汎な勞働婦人大衆を積極的なストライキ鬪爭へ引き入れるためには、あらゆる方法と手段とがとられねばならぬが、最も成功的な方法の一つは勞働婦人をストライキの準備委員會、救援委員會、ピケット等々へ參加さすことにある。

（リ）勞働組合は、婦人の要求のためのストライキを婦人のストライキとして見ようとする一切の者に對抗しなければならぬ。企業で起された一切のストライキは其處に掲げられた要求の如何を問はずその企業に働く勞働者全體のストライキである。

（ヌ）勞働組合は、東洋諸國にある男と女との相互關係――社會的活動に對する婦人の積極性を引き下げるような舊習をプロレタリアートの共同戰線に對抗すべく利用せんとする資本家の計畫と鬪爭しなければならぬ。

（ヲ）勞働組合は、男子失業、女子失業に反對する鬪爭へ男子と同じく婦人をも引き入れねばならぬ。

××的勞働組合内に於ける婦人の間の仕事に對する組織上の指導のために次の如きものが必要である。

（イ）企業内の工場委員會、或は××的勞働組合の工場班或はグループは勞働婦人の間の仕事をやらせるために特別な人を――出來得る限り婦人（婦人オルガナイザー）を配置すること。

（ハ）斯樣な小委員會を組合中央委員會の下にも設置すること。

（ニ）思想上の指導は××的組合中央部の下にあり、各小委員會はそれに對して責任を負ひ、その仕事を報告すること。

（ホ）小委員會の下には、重要産業部門、大企業からの婦人代表者から成る積極分子の組織を創らねばならぬ。この組織は小委員會の仕事に參加し且つ一定の任務を遂行する。

（ヘ）小委員會の仕事は、勞働婦人の要求を積極的に作製すること、ストライキ鬪爭指導へ參加すること。勞働婦人の間の啓蒙運動

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

を行ふこと。勞働組合の文化的仕事、經濟的組織的活動へ參加すること、勞働婦人の諸會合の召集及び議題の作製、工場に於ける勞働條件に關する材料、勞働婦人の生活條件、工場に於ける勞働婦人の動靜に關する材料を集めること。勞働婦人の間に、パンフレット、ビラ等を發行し、配布し、行渡らせること等にある。小委員會は組合本部の指導下に活動し、また報告するのである。

改良組合內の仕事。

改良主義組合內にある××的少數派は、婦人組合員を自己の側に引き入れるために組織的に仕事をしなければならぬ。茲では特に工場內から仕事を初めることが必要である。もし改良主義組合內に婦人部又は婦人委員會があるならば、これらの機關の中で働き、正しい階級的線を指示し、組合指導者の行ふ一つ一つの裏切り的行爲をバクロしなければならぬ。改良主義者共によつて召集される勞働婦人會議に參加し、これらの會合で協調主義的態度反對、正しい階級的、××的指導方針のために鬪爭することは實に重要である。是等の勞働組合內にある勞働婦人の間の仕事は、非常に複雜であり、その時、その場所に相應する所の特別の行動のプランを作製することを必要とする。このことは多くの國々（日本）に於て現在改良主義組合に組織されてゐる勞働婦人の數が××的組合に組織されてゐる勞働婦人の數よりも多いことによりて尙重要である。

婦人同盟、團體內の仕事。

本質的に小ブルジョア的である家族主義的婦人同盟や婦人團體（印度、日本）婦人の特別相互扶助その他無產主義を裝ひ、實は狹い家族主義、平和主義、排外主義、民族主義を目的とする（支那のキリスト教會、百萬を數へる日本の佛敎婦人會）一切の團體、印度シネアの民族黨「サレカトライアト」の婦人部等に引き入れられてゐる勞働婦人の居る產業部門の中に於ける仕事は特に重要である。

是等の團體に對しては、勞働婦人大衆に對する彼等の影響に決定的に反對し、彼等の排外主義的性質、似而非平和主義をバクロし且つ多くの場合これ等の團體が實に反××的役割を演ずることを決定的にバクロすべく鬪爭しなければならぬ。これと同時に、勞働婦人に向つては、自己の階級（勞働階級）の××的鬪爭に參加することに依つてのみ、勞働婦人は平等な政治上の權利、市民權を獲得し得、經濟上並びに家庭に於ける奴隸狀態から解放されうることを指示しなければならぬ。

新刊紹介

戻らざる幻　——定價壹圓三拾錢

ソヴエート、ロシヤの映畫を觀賞する機會を惠まれない、我々にとつて、せめてそれらの映畫の骨格とも云ひ得る脚本にだけでも接し得る事は一つの大きな喜びと云はねばならない。今そのすぐれた脚本の一つ「戻らざる幻」が映畫叢書第三編として映畫脚本集におさめられ往來社から上梓された。原作はアンリ・バルビユス・ソヴエート映畫界の一人者B・K・トウルキンの脚色によるこの脚本は本間七郎氏の努力をこめた名譯によつて我國現代の映畫研究家及び同好家の新らしい刺戟たる事を疑はない。他にすでに上映されて好評を博した「續大岡政談」及び「リオ・リタ」をおさめて、十分の興味をもたせてゐる。あへて一讀をすゝめる次第である。（美子）

東京麹町區內幸町商興ビル三號館　往來社發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



中國共産黨の活躍

——社會時評——

永島暢子

1

中國共産黨の下にあつて、日毎にその勢力を擴充し來つた黨の軍隊は、中國全土にわたる軍閥共の國内戰爭の機に乘じて、七月初旬すでに城陵磯、岳州の二都市を占領し、城陵磯に假泊中の英國及米國の軍艦を襲撃し、英國税關長を逮捕してプロレタリアートの黨の偉大な精力的鬪爭を前面に押したて、ブルジョア列國をして今更の樣に、戰慄を新にさせた。更に同月二十七・八日長沙に侵入した黨の軍隊は、同市を守る蔣介石の一派、何健の守備兵を撃退し、遂に長沙ソヴエートを樹立した！

ブルジョアジャーナリズムの報ずるところによれば、「紅軍（赤衞軍）は官廳の主なる高官の邸宅を燒き拂ひ、既に省政府、省黨部などの各機關十二ケ所を燒き、二十九日朝には我領事館は放火により燒かれてしまつたが、英米教會等も燒かれ、外國領事館その他外人の財産は、所謂帝國主義者の搾取物として皆破壞する旨公言し云々」（東朝七・三一）

その強大なる勢力は、極端の物價引下げ、各種企業、銀行、交通機關の沒收を行ひ、ソヴエート政府の確固たる根をおろした。この黨の軍隊は、餓ゑたる勞働者・農民・小市民を合して更に宜昌、武昌九江、漢江等の都市をも衝からんとしてゐる。各帝國主義列强は、忽ち軍艦を出動し、この勞働者農民の勃興に對して挑戰せんとなしつゝある。殊に××帝國主義の如きは、十數隻の砲艦並に驅逐艦を押し立て、邦人の生命財産保護を名に　事實は中國ブルジョア軍閥に加担し　あはよくば更に利權を獲得せんと　火事ドロ式の處をうかゞつてゐるのだ。外相幣原は閣議に於て長沙の事件に於て邦人に危害を加へられたものはない。……長沙事件は邦人に關する限り左程重大なものとは思はれないが、共産軍蜂起の動機及その將來の戰局の進展の模樣は、頗る重大性を有する。殊に共産軍は、第三インタ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

ーナショナルと多少の連絡あるかに見える。……政府は直ちに中國政府に注意を喚起する樣重光代理公使に訓令を發し、軍艦を出動せしめて、いつでも彼等と一戰をまじへる用意をしてゐる。」（東朝八・二）事を聲名した。

即ちこの聲名こそは、中國勞働者農民の軍隊に對して、日本帝國主義は、中國ブルジョアジーの黨、蔣介石等々の率ゐる國民黨と手を組み、勞農大衆の革命的勃興を虐×せん意圖を表はしてゐるものだ。こゝに於て中國プロレタリア革命は 他國プロレタリア革命に比して一層の複雜性を持つ。即ち中國共産黨はその力の強大化につれて、必然的に外國帝國主義とも強力なる戰ひを開始せざるを得ない狀態にある。それは、中國プロレタリアートは、自國ブルヂョアジー・軍閥との激烈なる鬪爭をなすばかりでなく、諸他の帝國主義との戰ひなくしては、プロレタリア獨裁の決定的勝利はなし難い事を意味するものであり、而して半殖民地的なる中國の、プロレタリア革命の特殊性はこゝにあるのである。

2

ヴアルガは中華民國に對する、諸列強の立場を次の如く言つてゐる。

——この問題に於ける帝國主義列強の利益は矛盾だらけである。對内的に強力な中央政府の成立は、帝國主義列強がその軍事的優越力を以てする干渉により、現在よりも少ない危險を以て、支那の搾取と殖民地化とを遂行する事を可能ならしめるであらう。しかし對外的に無力でありながら、對内的に強力な中央政府などゝいふものは不可能である。——（經濟批判會議、ヴアルガの世界經濟年報第三輯五〇頁）

従つて帝國主義「列國」は、内政の不干渉と稱し、和平勸告と稱しながら、軍閥に對して密に、或は公然と一方的に武器を提供して、利權の獲得の下準備に奔走し、既得權の擁護と稱して、事毎に軍艦を派遣して威嚇し 強度の搾取、殖民地化に日夜その狂態をつくしてゐるのだ。殊に帝國主義的搾取の、殆ど唯一の重要な地點を、中國に求めつゝある××帝國主義者どもの××的行爲を、我國プロレタリアートは、最も正當に認識しなければならない。

更に、中國をめぐる帝國主義「列強」の利害の對立の激化は、國内資本主義の危機と相俟つて、中國を中心とする第二次世界戰爭の危機を日毎に增大させてゐる。アメリカ資本の、國民黨合併による航空會社の設置、イギリス政府による海軍協定等々の最近の現象によつても、その一端をうかゞふ事が出來るであらう。

3

戰爭は平和よりは、より夙に完成される。戰爭により且軍隊内等において、賃勞働、機械等々の如き一定の經濟的諸關係が、市民的社會の内部におけるよりも、如何により早く展開「される」かの樣式が「説明さるべきであらう」生産力と交通關係との關係も、亦軍隊に於ては殊に明白となる。（マルクス經濟學批判序說、宮川譯本五四頁）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

私達は、中國の勞働者農民の解放の長き生みの惱みが、國內戰爭の絕えざる進行の中に行はれてゐる事にその明白な特殊性を見た。「戰爭は平和よりは夙に完成される」マルクスのこの暗示的な言は、國際戰爭に於ては、その平和時よりも、國際的にその生產關係の決定的な轉化がより夙く行はれる。例へば中國に於けるが如く、ブルジョア國家の統一がなされず、絕えざる國內的戰爭の進行に於ては、國內戰爭自體が、その經濟的及政治的諸關係を、或は、封建的殘存物は資本家的諸關係に、更に資本家的なそれは、社會主義的生產の諸關係に、總じてプロレタリアートの獨裁への急激なる轉化への拍車の役を果す、と解する事を妨げるであらうか。私はかく解すべきであると考へる。

殊にこの國の諸軍閥が、その背後に帝國主義諸强國の意志をロコツに反影し、あくことなく勞働者・農民・小市民の莫大なる犧牲を事とする抗爭をつゞけ、而も共產黨の軍隊が既に厖大な隊伍を整へて××的鬪爭を充分に展開し始めた現在に於て、私達は中國の、諸軍閥の歸趨を斷じてブルジョア・ジャーナリズムと共に、單なる中世紀的侵略の攻防と見るべきではない。むしろこの國內的戰爭が、中國のプロレタリアートの急激な發展に役立つてゐる諸モメントを究明すべきであらう。

4

例へば、現在の激戰を報ぜられてゐる南北戰爭とは何か？　一言にして之を言へば、三民主義の名を稱へつゝある國民黨左右中央の各派の反革命への完全な逆行、軍閥への後退、國民黨による中國のブルジョア的統一の全き不可能等のあらはれである、と見る事が出來るではあるまいか。而して現在の國際戰爭の直接の原因とも見るべきものは、本年四月、閻錫山、馮玉祥の二軍閥の巨頭が、討蔣の聲名を發し、蔣また之が討伐令を發した事によつて、勃發したと云はれてゐる。以來「戰機は熟した。」

兩派軍の大觀

北方派

- 閻錫山＝山西軍
- 馮玉祥＝西北軍
- 李宗仁＝廣西軍
- 國民黨右派＝西山軍
- 國民黨左派＝王兆銘＝改組軍

南方派

- 國民黨右派
- 國民黨中央派＝蔣介石
- 國民黨左派

張學良の奉天派は完全に日和見の態度を示してゐる。

見よ！　王兆銘による改組派は、札つきの軍閥、閻、馮等と野合し、蔣介石また遂に自らを軍閥としてその樸相を明にしたるを！國民黨は遂に、その中央、左、右を問はず、遂に軍閥以外の何物でもなかつた。而して戰線は、山東省、平原方面から、湖北省、襄陽に至る約二百里の地域に亘り、參加人員七十萬といはれてゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

かくして國内軍閥共の、飽なき權力爭ひとしての戰爭は、いかに勞働者農民をして饑餓の淵につきおとしてゐるか。それは左の些細の引用のみにても、その一端を知る事が出來るであらう。

地球上平和は何處にもない
人心は邪惡
戰爭は至る所で荒れすさぶ
全世界は氣違になつた
蠶は人の心臟を食ふ
だから今年はみんな死ぬのだ
もうぢき人間は相喰はねばならなくなる
これが私等の哀叫だ！

何といふ深刻な呪ひのうめきだ！　而もこれは全支を通じて豐沃な土地といはれる無錫の農民の呪ひの唄といふのだ。更に之を報じる時事の松本上海特派員の記錄によれば、甘肅、陝西、河南、山西等の奥地には、甘肅だけでも直接的には戰爭による、間接的には苛斂誅求と天災による罹災者は六百萬に達し、旣に死者五十萬を越え、しかも毎日三千人以上の餓死者を出してゐる。又河南省では災民一千萬を數へ、餓死したもの二十餘萬人を數へ、土匪の群に投じ、或は他省に逃れたるもの約十四萬といふ。尚驚くべきは、災民の家族は、可愛い子供を五元十元で人買ひの手に渡したが、今では人間一人十錢はおろか只でさへ貰ふものはない。」といふ慘狀だ。更に勞働者の困苦も、その生活に於て農民に劣るものではない。戰禍はかく勞働者農民を生活に於て餓死につき落すのみではなく、戰線に驅り立てゝ容赦なく肉彈として虐殺する。××軍國謳歌者達は、支那戰爭を目して、傘をさして戰爭するの、死傷者のない戰爭だのと嘲笑的侮蔑を以て評し去るが、事實はそんな生やさしいものではない。最近の隴海激戰には、馮玉祥派の軍隊は蔣介石の軍隊の一齊射擊に逢ひ、一時に三千人の死者を出したと報ぜられてゐる。

かくの如き勞働者農民の苛酷なる二重三重の搾取は、遂に彼等をして彼等を窮乏のドン底に陷らしめ、餓につき落す所の眞の敵を知らしめた。そして自己の依る×が何んであり、何を戰ふべきかを正しく認識せしめたのである。卽ち今次の中國共產黨の强力なる活躍、それは、中國勞働者農民の、人による人の搾取なき社會を建設せんとする、一の過程であるのだ。

5

中國共產黨を正しく見るに當つて、その歷史を一べつするならば黨は一九二〇年、陳獨秀初め所謂北大派を中心とする一派によつて提唱され、孫文の舊國民黨に投じたのがその濫觴である。而して主として南方の勞働者農民に働きかけ、上海に於ける五・三〇事件、海陸豐ソヴエート、廣東ソヴエート等々その熱火の試鍊を經て、現在の如き厖大なる勢力を擁するに至つた。だがこの厖大なる組織力を有するまでの、中國共產黨の黨としての力を全面に押し、今日の火蓋を切るまでに至る經路は決して輕々に筆紙に盡し得るものではない。その敵に向ふプロレタリヤ的英雄主義の發現と、あくまでも、勞働者農民の勝利を信じる大衆的行動は、三十萬の犧牲を供し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

ても、一歩も退く事はなく、ますく\その闘爭力を發揮したのであつた。さうして今日、黨は改組派、解黨派と闘爭し、強力な軍閥に抗して幾多のソヴエートを樹立した。

「今日支那に於てはソヴエートの鎌と斧との赤色旗は、既に全國各地にひるがへり始めてゐる。即ち福建省六十四郡のうち十六郡、江西省八十一郡のうち四十群、湖北省七十二郡のうち三十群、湖南省七十五郡のうち四十群、廣東省九十四群のうち三十郡、河南省八十九郡の內七郡、廣西省八十三郡の內十郡、四川省確報なし、以上八省部の內八十郡に地方ソヴエート樹立され　七千萬人を抱擁する地域が　中國共產黨の指導によつて、日々農村革命の激烈な闘爭が進行してゐる。」(產勞七・八月號)

「更に南支地方に活動する赤衛軍は十四萬に達し　浙江省の如きは七十八郡のうち三十八郡まで農民が蜂起し、江西省では十萬の農民が革命に參加し、赤色農民運動の洗禮をうけてゐる。』といふ。だから常に虐殺、絞殺を以て臨んだ南京政府、閻錫山　馮玉祥、張學良等の軍閥共の暴民も遂にその力を發揮し得ず、守勢にうつらざるを得なくなつた狀勢が報道されてゐる。

かゝる強力なる中國共產黨なるが故に、長沙に於けるソヴエート樹立も實現された。が、自國ブルジョア・軍閥共の抗爭と、それを尻押しする諸國帝國主義列強の軍隊のために、或は萬一、曾ての廣東ソヴエートの如く、一時その勢力を放棄せざるを得なくなるかも知れないが、既に彼等の牙城を衝き落した中國共產黨は、必ずや最も近き將來に於て輝しき全中國ソヴエートの樹立を完成すべき事は疑ひない事だ。

我等プロレタリアートは、いかなる彈壓、いかなる困難があらうとも、その闘爭を果敢に、執拗に遂行する限りに於ては、「遂に勝利はプロレタリアのものである」、多くのものを學び取る事が出來た。然り！プロレタリヤには只一路闘爭があり、勝利あるのみである。

長沙ソヴエート樹立××!!!

三〇・八・四

プロレタリア映畫會

九月二十六日（金曜日）日比谷公園新音樂堂にて開催の豫定番組及び入場料其他は十月號にて委しくお知らせします。

女人藝術社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

朝

堀　百合子

今朝　横須賀行ホームは一つぱいだ、
みんなブルヂョアなんだらう、
多分海へで　出かけるんだらう、
フン、
私は暑くなりそうな蒼空へ向けて、
朗らかに口笛をふいた、
ムツとする工場の暑さに
今日もお辨當のおかずが、
く　くならねばよいと考へてゐた。

嬰兒

武内利榮子

まるまると肥えた赤ん坊だ、
ぴち〳〵はねる魚の如く
新鮮な赤ん坊だ、
この瞬間の透明な光を見よ
朗らかなうぶ聲をきけ
いのちにおどる赤ん坊だ、
新しい赤ん坊の朝が來たのだ。

まひるの夢

江口　章子

みどりの唐もろこしの畑にぽかんとした一人の人間がゐる。やがてその人が唐もろこしになつてゆく、その白い腕が靑いもろこしの葉に代り、腋の下に植物性の赤い毛が生えて、動物と植物の味をもつた唐もろこしの實がなるにつけ、その人はたゞもう何ともいへない快感に陶醉して、とり殘された寂しさも過去も忘れてゆく——

「女人山居から」

お晝は唐茄子

古川　陽子

綠
潮風
波の音
彼等からの音信れは
誘惑だ。實際私の臺所は暑くてまづしい。
おもゆ　おまぢり
お粥とうめぼし
材料は大根馬鈴薯菜つ葉に人參。夏はこれでも豐富なんだ、
お晝は唐茄子、胡瓜揉み。
ピチ〳〵した魚なんぞ、潮風や波の音と共に空想だ。
おもゆ、おまじり、お粥とうめぼし——病人ぢやないんですよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



報知新聞撮影

報告

豚は富士登山するのに、背中へ如露で水をかけてもらひながらのぼつたさうです。でも豚君ゆうぜんとして、何處でも一眠入り、かと思ふと、どんな急坂でも一氣に驅登り、フウ〳〵鼻息をたてながら、どうも道路が惡い、これぢや人間に氣の毒だとでも思つたの　鼻さきで石を掘つたりしたさうです。しかもゆう〳〵くわん〳〵三日がかりでやつと下山。

さて、次は熊君のこと、御覽の通り熊君のお湯にはひつた寫眞をもらひました。これは日本東京上野動物園の白熊氏です。前號にはソヴエト・ロシア豚君の水浴寫眞と共に、夏期兩月にこの二つをならべるなんて實に愉快！

だが汗と埃にまみれ、しかも餓えた、萬物の靈長といはれる我々の同胞の子供たちを思ふと樂しめない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

朝鮮人と勞働者

或る日の大阪、築港行き市電所見

綠川靜枝

「天保山は何處ですか」穢く垢じんだ身なりにひきかへ、その朝鮮婦人ははつきりした正しい言葉で車掌に聞いた。聞かれた車掌は面倒くさそうに二言三言口の中でつぶやいた。

それは周圍のものには聞きとれなかつたほど低い聲だつた。

片手に五歲位の男の子の手をひき、脊には胎毒とも汗瘡ともつかないやうなひどい吹出物の赤ん坊をくくりつけたこの朝鮮婦人は、はつきり分らなかつた車掌の返事を、も一度確かめる爲めに、位置を離れて一步車掌に近づいた。

「天保山は此處で降りるんですか」

「まだ、まだ」女は、車掌のこの返事が自分に與へられたものかどうか不安な面持ちであつた。それは車掌が彼女の存在に一ぺつもくれず、かなり熱心に乘替券に鋏を入れてゐたからだつた。

女は、そのまま暫らくじつとして車掌の顏を凝視めてゐた。いやその口へ目をそそいでゐたやうだつた。

だが車掌は、それきり口を利なかつた。

「こんどは朝潮橋だつか」商人風の男が遠くから聲をかけた。

「夕凪だです、朝潮橋はもう二つ目です」この車掌の返事は、まるで別人のやうに親切で朗らかだつた。すかさず朝鮮婦人はも一度聞いてみた。

「天保山はこれからいくつめですか」

「まだ、まだ」車掌はこんどは嫌惡の表情で、いぜんより一層低い聲で答へた。

これ以上に得られないと知ると、女は斷念したらしく元の場所に歸つて吊皮へぶら下つた。

「天保山」女はこんどは誰にともなく呟いてみた。だが、それに答へてくれるものはなかつた。きらびやかな絹の繪羽織を着て、端然と腰を据ゑてゐる彼女の前の美しい婦人は、純白のしなやかな麻のハンカチをとり出して、均勢のとれた高い鼻と口を掩ふた。

隣席の敎養のある立派な紳士は故意に、この貧苦と不潔の塊りの樣な朝鮮人から、部厚な天金の洋書に目を移した。

洋裝の老婦人——おそらく敎會關係の女であらうやうな一種のタイプを持つてゐた——は、金緣眼鏡の下から冷やかな白眼で、くそ落ちつきにこのささやかな事件を眺めてゐた。それは何といふ無關心な眼、神の姿の宿らぬ態度であらう。

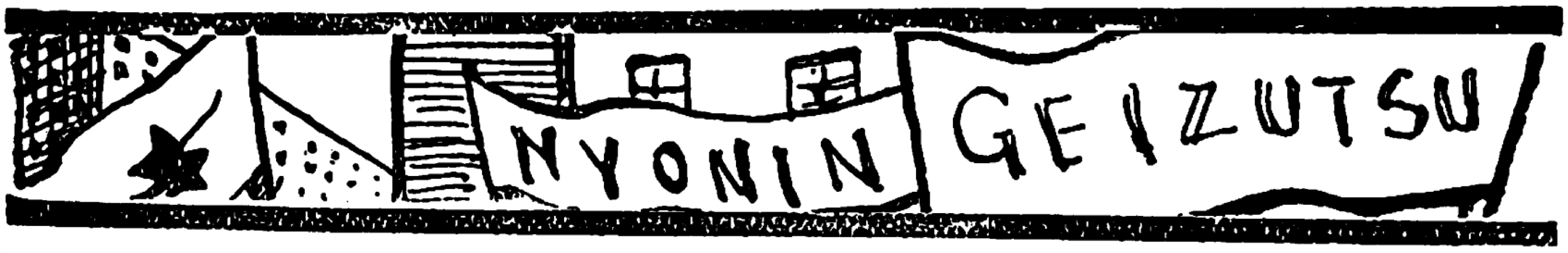
「天保山なら、この電車の一番終りだつせ」

若い勞働者が近寄つてきて聲をかけた。たくましい顏は、過勞に引きゆがんで恐しい容貌だが、その聲の中には眞實と純情がこもつてゐる。

朝鮮婦人は感謝の眼をもつて、その身なりから、自分達と同一カンパニアの生

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

活をしてゐる此青年に、人種を超越した深い親しみを現はした。三〇・七・二三



ガラ場女工

飯塚かよ子

木の年輪は頼母しいが、黄白色になつた洋傘の煤けた年輪の條は悲惨だ。人の顔に倦んだ眼は青葉を懐かしみながら、横濱公園を抜けて行く。

朝露にしつとりと濡れたベンチに、あゝ、今日も悲しく目に寫る物影――廢馬の疲弊さに、痩犬のみすぼらしさに居穢く眠りを貪る人群れ、此處にも亦虐げられた貧しさの友を見て、憤りは燃え上る胸にしみ〴〵と流れ込む聲、朝蟬が鳴いてゐる。我々の上にも正しく廻り來るものは季節ばかりなのだ。

公園を出ればブルの横顔に似通つた白く冷たさのひそむ〇〇會館の建物が見える。喧噪なガラ場、暗い一日が待つてゐるのだ。仰げば深々と青空よ、なんだかもう工場の空氣を吸はない前に滿腹して歸りたくなつた。だがゴールへ這入らない前に止めてしまふそんな意氣地のない競走があるか。

あゝ、この腕には母の、弟の、妹の三つのいぢらしい魂の重みがあるのではないか、行かう、生活の戰線へこの三つの重みにはじかれて。

× × ×

暗い風通しの悪いガラ場はいやが上にも暑さが風船玉のやうに膨脹して、腐つた沼の中に首だけ出して浮かんでゐる不快さだ。軽い嘔吐を幾度となく催して來る唇を噛みしめて、十五からの糸枠を見るのは實に辛い。八時が鳴るや鳴らずに機械がガラ〳〵と廻り出したら最後、ブルの搾取主義に最もよく順應した冷たい機械と云ふ奴隷は、定時間の來る迄一刻の猶豫も與へないのだ。

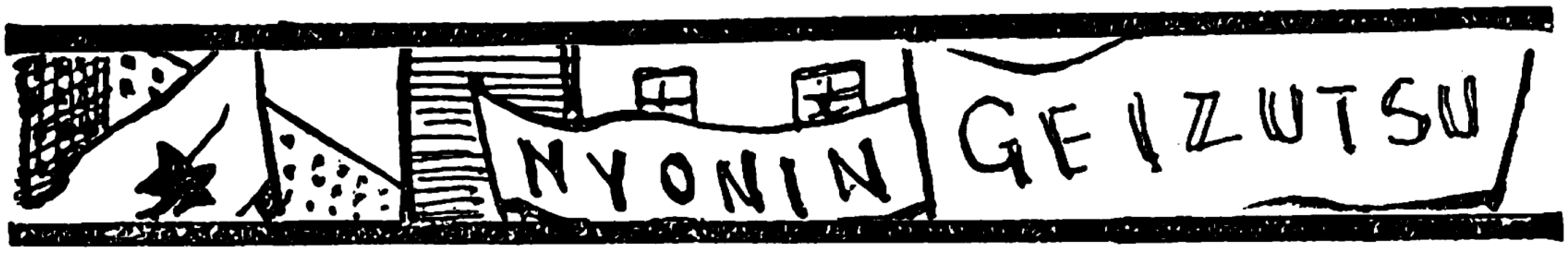
身體の弱い隣の　Aさんは青い顔をして、私を見てちらと涙ぐんだ。氣持が又悪いのだらう。可哀相に焦燥すればする程、糸は心あるもの ゝやうな意地悪さに切れて機械は止まり勝ちだつた、監督のKが用もないのに此方へわざ〴〵とこつ〳〵と歩いて來て、憤らしい沈默を投げて過ぎた。世の中に何も認めず、たゞ金の光りをのみ信じ、尊さをそれに見出し、金を人生の伴侶として生きてゆくこの人間に彼女は屡々こんな事を憎悪を持つて考へた。金の槌で脳天をがんとぶつくらはせてやつたら「有難う」お禮を云つて死んで行きやあしないかと。

フン、たかゞ日給七十錢。これだけの勞働ではおつりが來る。Kの此頃太つてゆくその手足の中に、私達の血がどんなに青白く呪詛してだぶついてゐる事か、

× ×

たそがれをほんたうに味ひ得るものは痛ましい忍從の一日を持つものだ。へら〳〵な紙のやうに疲れ切つて夕星を仰ぐ時、まだ搾り切れぬ魂に感謝と云ふには惨めな涙〳〵ましいものを感ずるのだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



自轉車に乘る

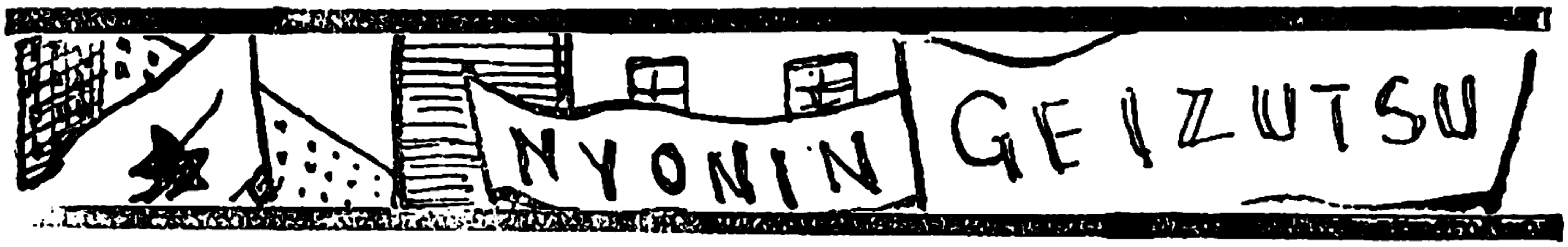
山川きよ

カンカン蟲の弟も追放された乞食の〇ないぢらしい明るさで歸る頃だ。煤煙に眞黒になつた發育不完全の小さな體をヒヨロつかせて、つぎの當つたポケットの底の、汗と云ふには餘りに尊い血と肉の僅かな報酬の金を嬉しげに鳴らし乍ら家には病身の母が待つてゐる、姉弟思ひの妹が待ちあぐんでゐる、彼女はこの皆の顏を懷しく思ひ浮かべつゝ心に叫ぶ。おゝ、彼等の憂鬱な冷たい、金力に絶對を信ずるその手にも、胸深く灯る愛の灯までは消されはしないのだと。

たゞれたような夕燒が薄れかけ、ほこりで白つぽくな た縣道淵の破れ垣にからみついた烏瓜がぽつかり眞綿のように咲いた夕暮、肩から袖山へかけてうす汚く色褪せた小豆色の事務服の背いつぱいに風を孕ませて自轉車を ばす珍な女事務員の姿はたしかに小さな村での驚異であるに違ひない。野菜や米を滿載して町へ行くトラックの運轉手がよく「イヨー」「凄いぞッ」などと嘲笑を濠々と立てたほこりの中へ殘しては追越して行く、而し。だが而し正十二時間七十錢也で働き續けた身體にはミエもなければ外聞も恥もあつたものぢやない。二十六吋のガタ〳〵した自轉車にガッタリと腰を下して町を出端れた川邊の街道をゆるり〳〵ペタルを踏みながら川風に顏や胸を撫でられて歸る時の氣持、毎日の事ながら眞に極樂だなあと沁々思ふ。而し三丁程の川邊の街道を越えると村は相も變らずの重苦しい灰色の空氣がこもつて低氣壓のようだ。黒い吸盤を持つた蛭のようなブルが山の湯浴み後の快よい散策を續けてゐるであらう頃、薄暗い臺所の藪蚊の總攻撃に堪え兼ねた村の子供達は眞黒な麥飯に生味噌をくるんだ大きな握飯を噛りながら縣道を歩き廻つての夕食だ。いつ洗つた儘か知れない厚い黒地の醬油で煮しめたような着物を着たまま、まだ夜の明け切らない中に田の草取りに出て夕方おそくきり歸つて來ない父母を待たずに天井板のない太い煤の下つた藁屋根の下へ低い蚊帳を吊つて豚の子のように眠る秋蠶掃立前の小作百姓の之等子供の姿は實際物乞の子のそれのように慘めだ、そして五月蠅い子達の寢たあとまだ溫みのとれない乾いた庭先へ莚を敷いて火のついたように泣く乳離れのしない子に茄子の味噌汁をかけたボソ〳〵の麥飯を茶碗から流し込んでやる老母の深いしわを私は想ふ。

大當りだと言はれた春蠶でさへ一人當り三十錢位で桑畑の小作料だけは延べて貰はねばと思案した程だつたが春蠶の三分の一の馬鹿安の値を豫想されてゐる今どうはじいてみても一日一人十錢マイナスにきり出ない珠算であるが秋蠶を買はねば先借りしてほどこした桑畑の肥料代も拂へぬしニッチもサッチもつかないの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



だ。或る夕はネコイラズを服用した大の男のひつぎがこそ〳〵野邊に送られる哀切さに進ひ「べら棒奴金がねい金がねいなんて情ねい声言ふもんぢやねい」或る夕暮は發狂した男の呪はしいどなり聲が重々しい空氣をゆら〳〵動かしてゐる歪んだ百姓家の側をどんなに憤然とペタルを踏む事か、惨めな自分の勤勞姿を哀れむ前に牛のように默つて呑んでるブルに對する數々の鬱憤が、無自覺な村びとの爲にやがての日何を生もうとしてゐるか、今日も油日照りだ。

街を泳ぐ群

若杉香子

七月の烈日に照りつけられて、疊を干したり障子を洗つたり、私達は汗だくになつて働いた。壁にポスターやビラを貼り付け、庭の雜草を拔いて、正月以來捨てゝあつた空家を、漸く人間が住める樣にするために殆ど一日を費てしまつた。

『××さん、では歸りがけに電氣會社の方を一つ心配して下さいね』

『サア、看板だぞ』

愈々、擔いで來た『淸水市藝術聯盟事務所』の看板を表へ掛けると、私達はわッと喊聲をあげた。

○

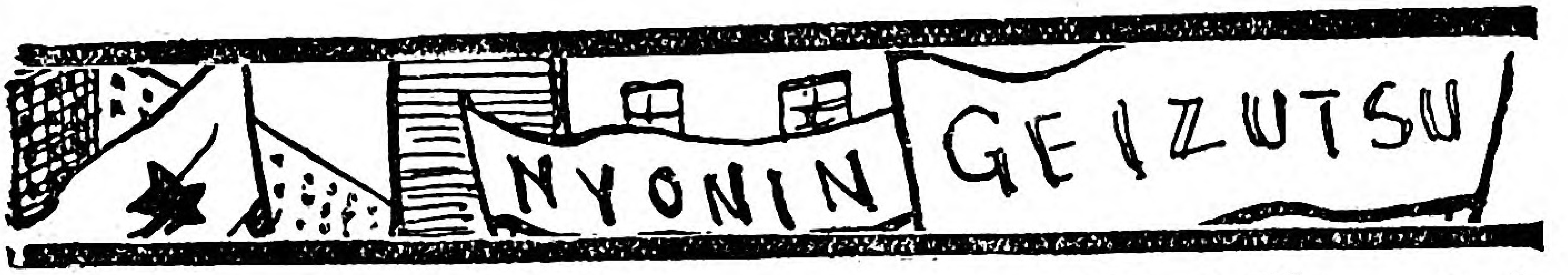
未だ八時と云ふのに、物々しい扮裝で××さんがやつて來た。『聯盟』主催の今夜の音樂會の爲に、知人の處へピアノを借りに行く事になつてゐたのである。

シト〳〵と降つてゐる雨の中を、やがて集つて來た人々が一度に出掛けてしまふと、私は早速劇場の方へ出掛けて行かねば成らなかつた。舞臺を造るのである。バックは黑い布で張つて、其處へは何か効果的な圖案を入れねばならない。聲が逃げない爲めに舞臺の天井も塞がねばならないであらう。プログラムを書く用意も、そしてみんなの寢食の心配も……、細々とした用意を頭にゑがいて私は朝の電車に飛び乘つた。若者の、はち切れそうな氣概を抱いて『聯盟』の人々はよく私の家へ集つて來る。思想、藝術、又はナンセンスな話題、時には近所の鮮人の喧嘩に飛び出したりして毎晩、夜の更ける事など意識の外である。

○

イビツに成つた玩具箱の樣な近所の長屋へ此頃鮮人の一群れが引越して來た。或る雨の日、用事があつて其處を通りかゝつた私は、少からず心を突かれて思はず立止つて了つた。其の家には殆ど立錐の餘地もなく、日に灼けた體をむき出しの鮮人達が詰めかけて居たのであつた。口々に何かを喚いてゐる。彼等の或る氣持ちが遂に昂じて、此處に一團と相寄つたのではあるまいか。私に解らぬ其の言葉は何の打合せをして居るのだらう。併し、これは私の少し誇大妄想的な想像であつて、彼等は唯、雨で仕事がない爲め自分達の住居に仲良く座つて居たに過ぎなかつた。四疊半に六疊二間、と言つて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



も其處にスダレ一枚、道具一つ有るわけではない其の家に、夫婦に子供が三人の一家族と、三十六人の壯者が住んで居ると聞けば、其の窮屈さは思ひやられる。疊一枚に三人——おとなしく座つて居るさへ樂ではない。まして此の暑熱である。さもあらばあれ、彼等は夜は戸外に眠るのであつた。酒を飲み、爭ひ、血を流して、そして處かまわず道路や、空地の砂利の上へ三々五々夢を結ぶ放浪の民は、港の仕事を目あてに益々增へて來る。彼等を想へば『聯盟事務所』などぜイタクだと思はせられる。併し、よき若人達は今後いよ〱素晴らしい仕事を成すであらう事をお互ひに誓つて、元氣で働いてゐる。—一九三〇・七・二五—

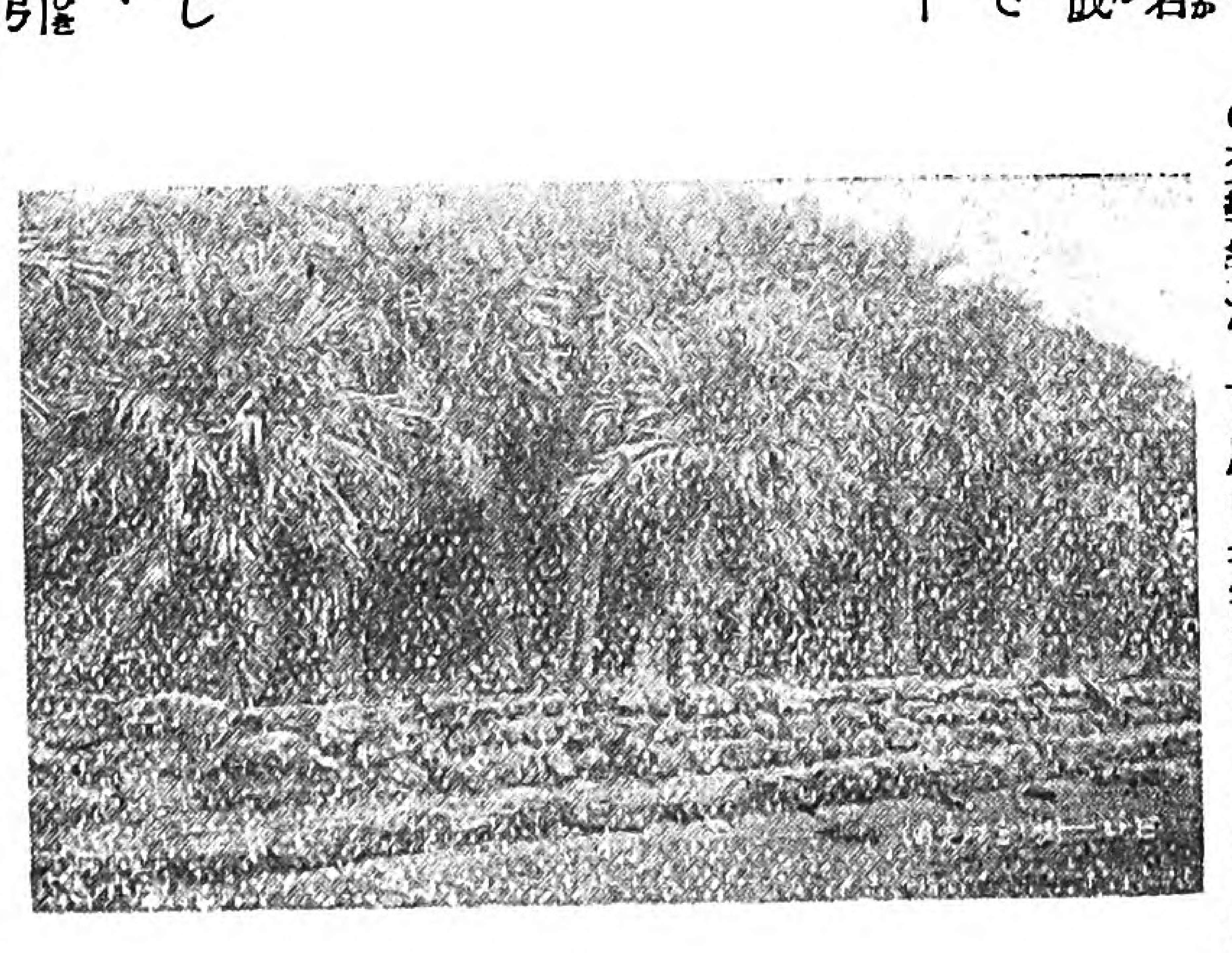
拾錢均一

原田公恵

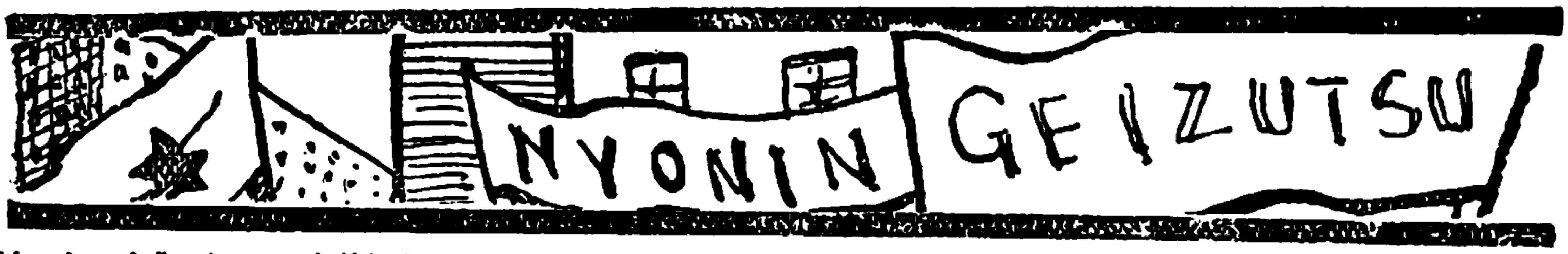
おいさん西瓜はなんぶかね——
もう十錢にまけましたが——
七錢にしよきない——
そんげまかろかい、十錢でむ元しきやねえつぢやに、今年やお前繭はズタ下るしこの魃旱で出來たものあ西瓜ばかりじやがそりがこう安うちや喰うちゆけんがい——
さうじやろな、そのなすびはな——
二十本——どれゆこか、歩くことも力がなうてよだきがい××

隣りのおかみさんが又ひやかしをはじめたな—茄子二十本は十錢單位の相場、こゝは十錢を單位として幾本幾個の取引をやる、お藷は掛けずに桝目でゆく、底に大きいの二つもころがせば器用に積み上げてもいくらもない、日向名產切干大根も桝、これは押へつくればうんと入るしフワリと入るれば何程もない、隨分馬鹿にした話だと苦笑させられる。

宮崎文化のトップを切るもの——
レコード、シネマ、東京歸りの學生、隣りも向ふもその向ふも、街はレコードの交響樂だ、百度の暑氣にきくらげの樣に曲りくねつたうちのレコードかけるより庭の芭蕉に水でもブツかけて寢ころんでよそのを聞いてる方が賢明だ
シネマは各館十錢均一の立看板、十錢なら近在の村の娘も街はづれの製絲女工も足を眞白にして押かける、勿論村の若



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



いよいよかにせどん（良い男）達は自轉車隊だ、宮崎名物の一つ、各館の入口兩側にズラリと並んだ自轉車は數百臺、これで大入滿員、次の週も前週も御禮の爲め今週も十錢のビラがまかれる、キネマファン喜べだ。

宮崎に歸つてくるとのさないわ、どこに行くとこもないし見るものもねえちやものね—東京辯と宮崎辯のカクテルで洋行がへりの得意さで銀座をシネマを音樂をまくし立てる、宮崎から一歩東京に行つた丈で天晴れ時代の尖端に立つたつもりのすごいむすめ、むすこ達

『うんだまふのさんこつ、祭小使もねなつたがい』ふんとに、どんげしゆかい、下駄も買えんごつなるがい『うちいもどつてこん暑いに草取りもよだきい――』操短から行づまりは八月一杯休業の製絲女工達は旱魃にひい破れた田を持つふるさとに嫌でもよだきい足を引づつて歸らねばならない。彼女等の十圓そこ〳〵の送金が一月の小使の目當である小作農民達も西瓜一個十錢位じや祖國日向の誇りを持たされても矢張り腹がへつてはひもじいかい――だ。だが日向のむすめ、むすこ達よ青島に行かうよ、喰べる事に心配のない御身達は――、宮崎が持つ唯一の名勝、熱帶植物の茂る常夏の島、ビロー、ビンローの繁る葉蔭で灼熱の戀を語れのさんボーイ、よだきガール。どれ私も庭に水でも打つてボラの酢味噌にお燒酎でも夫にすゝめよう――

村の殖民地

青山幸子

表彰された村だと言つたつて、そんなに堅氣な村でないのです。

若いまだエロの發生以前の青少年はこゝにエロの發生劑を呑まされて喜んでゐる。役場の隣に産婆を兼ねた高等淫賣屋があつて、近頃はどうしたのか、膨れた下腹を突き出し自轉車を乘り廻してゐる。

十五に結婚して十六の春になつて初子を產んだ自轉車屋の妻君は毎日子供の様に――チチパツパチパツパ――を唄つてゐて子守の樣だ。夫は近郷切つての遊蕩兒で名を賣つてゐるが〃知らぬ者は妻君ばかりなりけり〃を發揮して盛に夫の男の好い事や、仕事の能率をあげる事を自分の事の樣に話してゐる、この妻君のさんは元北日本農民組合の運動家で福本イズムの讃美者であつたが、今は矢張りこの殖民地に來て自動車屋を開業し、營業主であり運轉手であり、シツクに近いモダン、ボーイになつて、口にはアナとかボルと言ふてゐるが方々にエロ種を振りまいて、現在の妻君は彼れが自動車を變へる度に變りも變つて五人目で福島の產れで看護婦であるとの話。

その自動車屋の前にあるカフエーで、新潟の女郎からそこの亭主に受け出され

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



て來たと言ふ女將と、良く血もあり、エロもあり、女丈夫であると言ふ雜多な英雄主義的な話を聞いて客のない時は女將に踊らしてゐた。

　そのカフエーには娘が唯一人女給になつて、別段顏立も良くないが活潑な所があつて客に可愛がられてゐる。そして彼女は今年の春不幸にもお產をした、親達は產むまで知らなかつたと言ふ事だ、相手は四人で一人から五十圓宛取つて二百圓の收獲があつたと言つて、近所の人々は羨んでゐる。彼女はその子供を抱へて十七歲の自轉車屋の妻君と仲良く遊んでゐる、その子供が店先で泣くやうになつてからは客足が遠くなり、每晩信州から來た兄弟鍛冶が二人で詰めかけて隣の酒屋と村政批判などをして、役場隣の產婆が妊娠したのが村會運用上幾何の功を奏してゐるか、酒屋の主人は娘が役場から持つて來た話を一つ擴げにして、役場の小使室で村長に產婆が賣りつけてその代償として小學校の衞生婦になつて月給二十圓也を取つてゐる話などをしてゐる。

　酒屋の娘は役場の女事務員で十八歲になつて、これも"知らぬは親父ばかりなりけり"を發揮して書記と可成り厚い戀愛を卷き起したが、それが今失戀の傾きになつて、彼女はしほげ込んで每晩、橋に出て星などを見上げて、人間も皆なあの樣に美しい魂を持て居たなら、といやにセンチメンタルに落ち切つてゐる。

　近頃村の人はこの附近を——淺草——と呼でゐる、その名前は橋の東詰にある、もう職を失つてから十年近くになる失業屋の主人がつけてくれた。

　この失業屋には縣知事の稱號をアダ名に貰つてゐる老人が每日緣側にねそべつてゐる。この老人は自分の母親を遂に妻に獲得したと言ふ變り者で、母親であり妻君である人は每日村を廻つて紙クヅを買つて來て三疊敷の家に三四の猫と同居してゐるのです。

　この縣知事老人の三疊敷の家がこの淺草で一番古い家だと言ふ事で縣知事の稱號もここから出發してゐるらしいのです

　その母親であり妻君でありの紙クヅ買ひがこの六月の末に、野たれ死に等しい死方をしたのです、勿論、醫者なんか曲り込みそうもない。死目に逢つたのは、わずか猫三匹だけで縣知事老人は失業屋に晝寢してゐたのだ。

　その翌日、暑い眞晝。この三疊敷の家から葬式が出された。坊さんも居ない、死華の一本もない、失業屋と酒屋の主人が阿彌陀經を判る所だけ拾ひ讀みしてくれた。

　一九三〇、七、二六

生活斷片

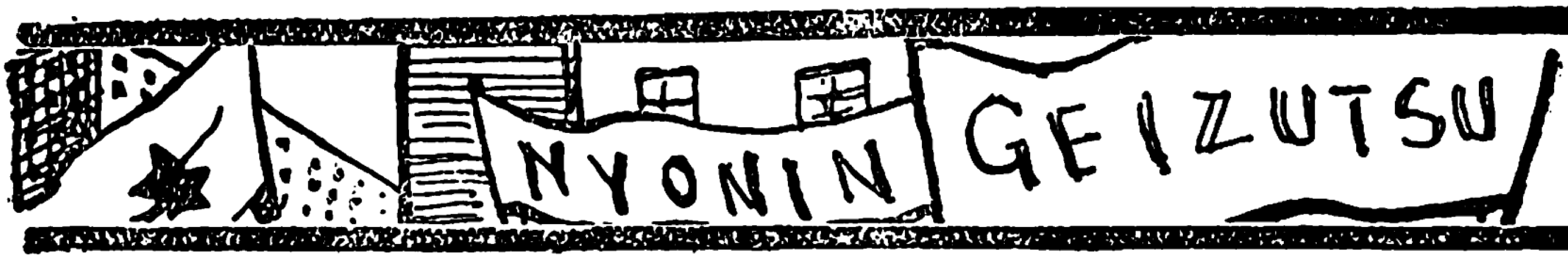
横堀恒子

「××の奴等は何をしてるんだ！」

「百姓なんか野倒れ死にしてもいいと考へてるだんべ！」

「馬鹿々々しい相場があつたもんだ、誰

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



がこんな相場をつけやがるんだ！」

どん底に唸く農民の叫びが日増しに村村を荒させて行く。然しかうした絶叫は、結局彼等の胃袋を空虚にする以外何の效力をも表はさなかつた。燒ける樣な炎天の下で、百姓達は働けば働く程食へなくなると云ふ事を意識しながら、雜草に迫はれる戰爭を續けて行くのである。

「こんな馬鹿々々しい景氣があるだんべか？」

「んだとも、半年も掛つて作り上た茄子や胡瓜は、肥料の代にもなりやしねえ」

「此の間街へ出した瓜は一車について二圓の損だつてな！」

「べらぼうなこつた。自動車賃にもなりやしねえ。農は國の大本たあ、聞いてあきれらア！」

畑の土や、家々の壁は、こんな會話が爆發する程泌み込んでゐる。そして日照り續きの畑には蟲がわき、雜草が伸び、貰ひ手のない野菜が、百姓の鬱憤を捏ねまぜて捨てられてある。

夫の出勤した後、家で食べる位は……と思つて作つてある野菜畑の草取りに行つてみると、茄子の葉はてんとう蟲だましにやられて網の樣になつてゐた。かがむと土に照り返した陽光が顏いつぱいにぶつつかつて息苦しい。背中は汗でぐつしよりになつてしまつ　。風の少しもないいまいましい程暑い日だ。

「御精が出ますネ」

振り返つて見ると紺股引の近所の娘が歩いて行く。通りがかりの挨拶である。

彼女等は白粉を塗つて遊びたい盛りを湯の樣になつた泥水の中で草いきれにへとへとになる爲に田草取りに行くのだ。彼女達の陽に燒けた皮膚は、お湯に入れるとふくれ上る程ヒリヒリ痛むだらう。然し彼女等のかうした苦痛は、恐らく一本の日傘にもならず、不況は可憐な純潔をさへ脅やかして行くのだ。

正午刻の「ボー」を聞乍ら、晝食に歸らうと豚小屋の側を通ると、汚物の發散する不潔な臭ひの中から、無數の蠅が鬨の聲を擧げて群がり飛んで來た。そしてその家の主婦は、眞裸の僅砂と汗に黑くなつた自分の子供を打ちのめしてゐた。

「畜生奴！　この餓鬼が……」

腹の空つた子供が、飴屋を引つ張つて來て買つてくれとせがまれた爲だと云ふ。この非母性愛的光景をする彼女に、一體何がさうさせたのか？

緊縮！　不況！　彼等の鬱憤が喚號となつて爆發したのだ。そしてその餘波が更に農村に最も關係のある五六十圓の安月給取りの生活をさへ脅やかしてゐるではないか。減俸！　結局××の××は自分の國を××させる事になるのだ。

一九三〇、七、二三

エロテイツク昂揚所

永田壽美子

「まあ、御苦勞さんねこの暑いのに、誰　のお嫁入か知ら」



「H先生よ、N小學校の、仕樣が無いわもう五月だつてんだもの」

目前を走り過ぎたトラックの華やかな油單の色の大きさ

「自然の衝動を抑壓せんとする者は、自然をして自然たらしめず、火をして燃えしめず水をして濡らさしめず、人をして飲食睡眠せしめず、とするに等しい。」ルーテルの言葉を異議なく承認して實行してる港町だつた。

「いやねーほんとに」、いつも聞く嫌惡の言葉を今日も聞く。グロテスクな存在として、漠然とした興味から、事實として見る時、あまりに常識とはかけ離れた土地の自然狀態だ。

「若い者宿」さうした名稱で呼び慣らされてる青年團事務所の夜は、三々五々、として想ふ娘の宿へ遊びに行く集團のエロチック昂揚所、として何等の束縛も鬪爭も無いだけに、橫溢した淫蕩氣分は、晝間の勞働と正比例して激しいものだつた。青年達の夜遊を拒む娘の親達は、打算的な考と、拒むことによつて生ずる不利な立場から擧つて歡迎し娘を侍らせるのだが、それも結婚への道程として、娘に青年の相手をさせ乍ら一人を選ぶと云ふ一種の制度でもあつた。許された一人が濟酒と云ふのを入れるとすぐに泊りに行くが、大勢の友人と連れだつて行つて酒に醉ひ潰れた眞似をすれば、友人達は家人に祝辭を述べて歸つて行く。その宿泊までの期間が長い丈に所謂戀愛結婚、媒妁結婚の危さが無く、離婚率の少さから云へば結構な事なのだが、他所者と結婚するのは、よほど分限者か、餘程貧乏人だ、と觀念づけられてる人々の芋蔓的な血族結婚のために、不具者、白痴の多さと猪突的な人間：多さは夜間の一人歩きの物騷さが如實に示してくれる。

かうした風儀は、必然的な勢力を以て傳統づけられ、習慣づけられて、二十二三にもなつてバージンだとすれば、むしろ嘲笑と侮蔑が多い街である。

姙娠してから結婚式を擧げる風習は、嫁入姿の不恰好を補ふ程の 夥しい荷物となつて、噂に上る。

「Yさんね、あの人三年にもなるつて言ふぢやないの」

「そうだつてね、でもまだ式が擧げられないつて因果な陋習だわ」

自然淘汰は容赦なく推移の形を見せる。現今法律の不具から、內緣關係の泣寢入と相俟つて青年の權利は、八方に發展するが、あきらめ切れない悲しさは、婦人科醫の繁昌を助くべく長い入院生活を餘儀なくされる。

「野生の象を馴らす突針より銳く、焰より熱い」と說いた佛陀。

「兩性は互に相手を補充し合つて居る」と云つたカント。

ショーペンハウエルを俟たないまでも、生きんとする意志の最も完全なる表現である、この性的衝動は、道學者にははかり知れない神秘性を有してると見えて、戶數五百戶あまりに對する公娼十軒に私娼の多さは、公娼にヒケを取らぬだけの、旺盛振り。

性的衝動は道德的なものでもなく、反道德的なものでも無い、丁度飢や渴の如き自然、だとは、虫の良い程無條件な、町の自然狀態ではある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



追放される

百合尼

比叡の峰に眞紅の電燈が明滅してゐる。山裾の方では郊外電車が流星の樣に走つては消えてゐる。その遠い動きを、さつきから大きな杉の古木に背をもたせて眺めて居るのではないが意識の表面に映じてゐる未だうら若き尼僧が居る。

尼僧つて言つただけで總ての人達は「ふゝん」と鼻で嘲笑するかも知れない。だが彼女は、その尼僧であるから仕方もない。墨を流した樣な雲が夕方から空をかけ廻つてゐたが、今、その雲間から月の光が恰度太陽が沒する時の光の縞の樣に、一條二條洩れて彼女の顏をセンチメンタルな劇の照明の樣に照しだした。

彼女の瞳は暗の一點を凝つと見詰め、時々顏面筋肉を動かせて心から微笑を洩して居た。だがそのあとは何んとなく、極く輕い暗さがかすめたりした。——といふのは彼女は今日高等課の刑事の訪問を受けたのである。而してそれに依つて永く住み馴れた僧院を追放され樣としてゐるのである。今日から彼女の屬する教團から排斥され樣としてゐるのである。法城を守るよりしない樣な教團の人達には、彼女の心は理解される筈はなかつた。

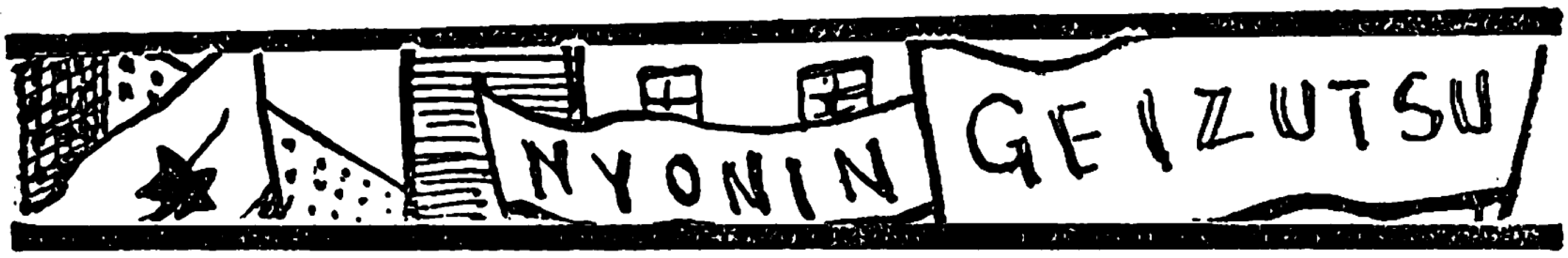
その彼女の追放されんとした近因は或る無産階級運動者達の演說會に、只一人の友と連れて外出先のやかましい僧院を出ての歸りに私服の刑事に呼び止められ姓名などを彼等の手帳に書かせられた。

それから幾日か過ぎた今日、突然三人の刑事が男子禁制の尼僧院を訪れた。社會の事に遠い淸淨なこゝの人達は彼等の名刺を見ただけで完全に蒼く慄へた、彼女は別に驚きはしなかつたが只だ一人の弱者を檢束するか、或は說諭する爲めに、働き盛りの三人のたくましい人が時間を消費する事が勿體ないと思つた。

刑事達は威權を示す爲めにわざと嚴めしい顏をして型の樣に調べた。而して終りに書齋に來た。其處には哲學書、宗教書の外に、思想的なものも可成り並べられてあつた。然し彼等の頭には僧は政府の御用人の樣に民衆を資本主義社會の都合の良い樣に教化するものだといふ潛在意識があるので「研究される事は惡るいとは言はぬが夫れ以上に出られない樣に」と、而して、女人藝術が大切にならべられて居る書棚を指して、「此の樣な雜誌は餘り讀まれない方が安全であらう」と言つて歸つて行つた。

で警察の方はそれで濟んだ。處が教團の人達の間ではそれでは濟まされなかつた。夫れに斯うした、淸淨そのものゝ樣な社會にも、餘りに人間的な嫉妬もあれば功名心もあり裏反しな社會正義感を持つて策動するものもある。その爲めに彼女は今日から住む家を失はふとして居るのである。だがそ　な事は何うだつて良い。只教團の人達が踏まうとして居るのは偉人の足跡である。その偉人たる釋尊

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



やキリストは而してあらゆる開祖達は皆んなその時代に於ては反逆者であつた社會組織の不平から、より良き社會を現實の地上に建設し樣といふ止むに止まれない心から、自分を犧牲にして起つた人達だつた。にも拘らず現代その門下と自稱する者達は、偉人の精神をつめのあか程も持つてゐない。

　そんな事を想ひながら彼女は何時迄も月の淡い光の中で森の臭を貪つてゐた。

山國を紹介する

横田文子

山國はたいへんいゝさうだ。勿論これは都會人から見たことだが、殊に信州高原の夏などは餘程よく思ふてゐるらしい、ともあれ都會の喧騷の中から見れば、靜かでひどくのんびりした土地には相違ない。その自然に對する氣持の上からかよく金持の都會人などが避暑になんかやつて來る。山の中に銀座が出來る始末である。而しそれを迎へる風景、空氣はどうか知らないが、この土地に住む農民、小都會の少市民らは、果してこの避暑客を心から迎へるかどうか？

　山國の農民、小市民は今どん底に喘いでゐる。産業の合理化と極度のキンシユク政策はあらゆる勞働者農民小市民階級のやせた身體を、益々搾りあげてしまつた。この不況對策問題について山國の農民小市民らが死活的の喚聲をあげてゐるのに、又都會の金持の避暑客はこの山國に詰めよせアルプスだ、ゴルフだ、キヤンプだのとあらゆるブルヂョアスポーツに浮身をやつしてゐる。えらひ違ひ方だ。

　四、五日前不況對策問題についてS郡の郡民代表が、農村の狀態を現内閣に對して陳上すべく上京する途中わずか一驛をすぎたばかりに、無暴、警官隊のため、四十餘名の一行は全部、不當檢束をされ、一晩の留置すら、くらつたのである。かうした事件の、間・間にひんぴんと起る生活難のための、狂氣的殺人、一家心中、これが靜かでのんびりしてゐると云ふ山國の出來事なのである。

「あなたのところの娘さんが書くものはあまりに革命的で煽動的である。そしてこの間の『村』と云ふ創作は、時節柄、農村にとつて恐るべき――」と私をさんざん呼んだがききめがないと思つてか、警察では今度は所謂、町の有力者だといふ私の親父を呼んで、直接私に世話をやくやうにと云つたさうである。

　傳統的な親父への反抗が私にあゝしたものを書かせるやうになつた第一歩であることに氣づかない警察と親父は似たり寄つたりの考へから、私を壓迫しようとしてゐる。が、もうおそい。それには私はすべてを知りすぎてゐる。ブルヂョア階級とプロレタリアとの生活の矛盾を。階級の極端な差別を。それに私はあまりに、いたましい、農民の、勞働者の、小市民の生活を見せつけられてゐるのだ。

　ブルジョアの息子が、娘が、一日アル

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



プスの山の中へ捨てる金を農民らは幾十日炎天下に働きさらされて、とらなければならないか？

警察と親父は私にかうした問題の創作を書かせまいとしてゐる。政府とブルヂヨアはかうした觀念を無産者に起させまいとしてゐる。だが、凡てはあばかれてゐる。私達はそのからくりを知りすぎる程知つてゐるのだ。

山國――それは今靜かな沈默から大きな爆發を生み出さうとしてゐる。

死人浮木

藍谷絢子

月　日

夜、川のほとりを散歩してゐますと、彼方此方の草の中にほたるの青い光りが見えます。

「まあ！　まだほたるが澤山居るわネ、」と云つて私は一匹一匹捕へて、散り紙の中に包んでいゝかげんに澤山取つて家に歸りました。

弟や妹に、「ホーラ澤山ほたるを捕へたよ、」と自慢しながら明るい電燈の下で、好奇の瞳の中心にソーッと開いた紙包みには？

瞬間アッと放り出して了ひました。中には毛蟲に似たうじ蟲がうじよ〳〵うごめいてゐるではありませんか。

月　日

今日も母の目をかすめて海水浴に行つてる弟でした。あれ程に父が海で死んで海に行つてはならないと戒めてゐるのに。十二になる弟には海はたまらない誘惑でした。何時間かして……

轉ぶ樣に顔色を眞蒼にして歸つて來た弟は、母を見ると、

「お母さん死人が僕についてるけ、おいなりさんに行つてお祓ひして來てよ、」と云つて慄へてゐるのです。

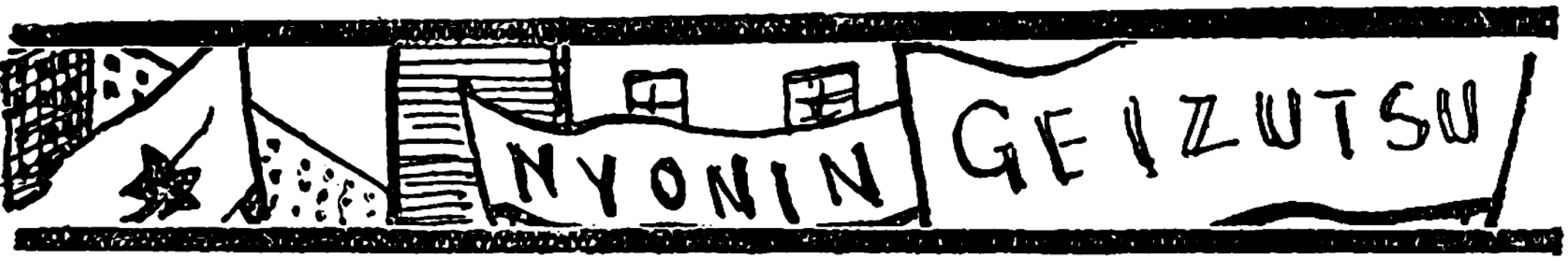
「一たいどうしたの」と問へば

友達と泳いでゐたら、遠方に舟が材木を一本ひつぱつて來てゐたから、友達があの舟迄競走しようと云ふので一緒に飛び込んで。拔手を切つて泳ぎ出したのです。そしてやつと舟のそば迄行つて材木に手をかけたのです、片手で顔の水を拂ひながら不圖材木を見ると材木と思つたのが溺死人だつたのです。溺死人の足にしつかと、しがみついてゐた弟は餘りの事に驚いて只夢中で後から死人に追つかけられてゐる樣な想ひで逃げ歸つたのでした。

新潟の友人から今日こんな手紙が來ました。友人の良人は三、一五事件で今刑に服してゐる佐藤藤次さんです。

「新潟の川東村の組合が、爭議を起して立入禁止の札が田に立てられましたので、婦人部員五十人程が四人一組になつて立入禁止札を立てゝ歩く後から、札をもぎすてゝ歩いたのです、警察の奴等は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



白服を着てゐますので、どろをかけられるので傍によらないのです、犬の奴等がそばによつてくると、みんなで泥をぶつかけるのです。

あとで犬の奴等が女が強くなれば男より恐ろしいとこぼしてゐたさうです。今はどこの女達も食ふか食はないかの境だから死物狂ひになつてゐます」と。

母親よ時代を知れ！

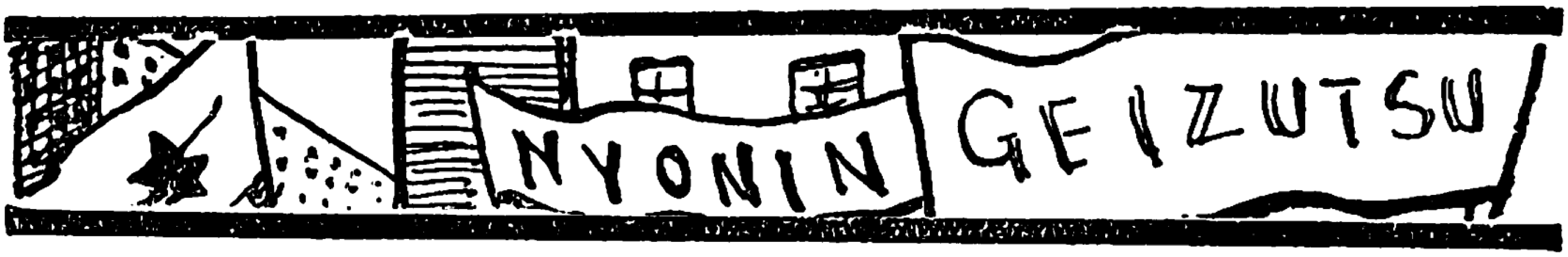
日種明子

不氣味な靜けさで、アブれ續きの勞働者群を收容した「市營貧民窟」の朝が來る。空虚な眼と絶間なく怒號する胃袋とが、電車の軌音の僅かなシジマを、人の足音を逃すまいと緊張する。――ともすれば自分を傭ひに來てゐるのではないかと――僅か許りの時間、碌でもない反動教授の講義を聽いて、高い授業料を搾られる不生產的な學生の――卒業後就職口のない上とかく威張りたがる――馬鹿野郎がグツ／＼と靴の音をさして長屋の連中を緊張さした上、吸ひ切つた煙草の吸殼と、空つぼの菓子袋を落して飢えた子供達を落膽させる。その惡戲學生の姿も近頃パッタリ見えないやうになつた。アカシヤの葉の深い夏である。

一寸した夕立かと氣を許してゐたら何のその五十年來とやらの大暴風雨。食ふものはなくとも夜露がしのげるのだけでも感謝してゐねばと常々「パパ」に說教されてゐたその夜露を凌ぐ家がペシヤン！と一たまりもなくやられてしまつた。南側の塀が破れて、道から筒拔けに見へる伯母の家に寢させてもらつてゐると、暇でもあるのか男共が彌次つてゆく。伯母さんに氣兼して寢てゐると吐き出し度い位の嫌な破れ家が今更戀しくて枕がぬれる。「パパ」のお蔭でもつて母と私とが災害をうけても樂に居られたのではあるけれど、貧乏すれば兎角氣が引けて、母と二人で涙の日を送る。

兎角貞操を高く賣りたがる小ブル娘が、不景氣そこのけな樣子をして、琴の爪入れをがちやつかせ、花活けの束をさげて、イソ／＼と步いてゆく。篩ひ落された時代の遺物に、淡い陰影が長く裾引いてゐる。自分の生活より、よりいゝ生活、つまり家格の少しでも上である人の妻になしたいと望むのが、ブルジョア社會の母親の一般の希望でせう。さうあらせたい爲、食ふことも遠慮して、娘にいゝ着物を着せ、いゝ、娘らしく躾け、活花、琴、茶の湯等と財布の底をはたいて通はしてゐる。併し時代は之等の婦人をいつまで待つてゐる程平和ではない筈だ。深窓育ちの令孃の恐怖時代がやつて來た！小ブル婦人の沒落期が到來した！母親は思はしくない緣談に娘の些細な缺點を指摘して怒鳴り散らすさうだ。その時、娘は賣れない藝者みたいな哀愁を感ずるといふ。世の母親よ時代を知れ！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



生活斷章

—女三人—

矢田津世子

バスの車掌

埃と汗と暑氣にまぶれた團子だ。赤毛の尻尾が頸筋を蚯蚓になつて匍ひ廻る。鹽つぱい涙が眼に泌みる。背中にブラウスの「張りもの」だ。頰つぺたの痙攣。白く乾いた唇が、幾何學的な正確さで開閉する。チヤリツ、聲に泣砂が混じつてゐる。甘ずつぱい男達の體臭だ。午後六時の混雜時。鹽昆布の香ひを發散する靴墨。林立する男達の脚を縫つて、團子になつた女はコロコロ轉がつていく。

「次、榮町、ざいませんか。ざいませんか。……さア五圓ぢやアお釣りが……」

「無いかなも。仕方がない、六錢出すよ。」

「あるなら最初から出して下さい。切符の切れてない方は……若し若し、その袂の端、貴方のでしたら膝の上にのせて下さい。さ、席が一人分空きましたよ。榮町、榮町、お知らせがないと通過しまアす。次オーライ、誰だい。畜生！ 尻なんか撫る奴は……この手は一體誰のだい？」

彼女は、疇つた體を撥ね返すと、カフスボタンの外れた一本の男の腕を高々と振りあげた。

二十三の娘

——お前はまづ第一に自分の年を考へてみた事があるの？

——母樣、貴方の方が私よりもお記憶がいい筈ぢやない？

——女はね、廿歲を越すと安閑としちやゐられませんよ。私達の頃には、二十三と云へば、子供の四五人も育てゝゐたもんですよ。

——鼠と大して違はないのね。

——全で、お前達と考へが反對だつた。

——五十年も昔ぢやアねえ。

——で、お前、昨日のお話をどう思ふの。希つてもない良緣ですよ。先方樣は何しろ當地で屈指の舊家だしね。不動產も大きなところをキッカリと摑んでゐるし、是非にとの御所望なんだよ。お父樣はね、今度といふ今度は……

——商品見本劵はもう渡しちやつて？……見合寫眞のことよ。

——さう〳〵、お前、姉さんの振袖を借りて、明日にでも撮つておくれ。

——包裝がわるいと、商品價値が半減するとみえる。

——帝大を出た方だよ。お姉樣の嫁つてる先は陶器會社の社長だし、御親類筋には博士が二人もゐられる。伯父樣は男爵だし、現に當縣の保安課長はあの方のお從兄なのだよ。

——みんな傀儡だ。敵だ。狸だ。

——お前も何時迄會社勤めぢや埒があかないよ。この良緣をのがすと取り返しがつかない、何しろ、お前はもう二十三だからねえ。

——今夜は蒸すのね。あら、素敵な月が浮んでるわ。全で冬瓜みたいな格好ね、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



母様、お月様の中に兎がゐるつて、ほんとうなの？

或るコンムニスト

「おい！」

午後十一時過ぎの裏街だ、黒い大地を蹴つて洋服の女が大股に急ぐ。

「おい！」二三間おいて、彼女の後からカマキリ型の男が續く。「お急ぎなんだね。今夜は何處の歸りだい？」

女は一寸肩をすくめて、再び歩き出す。

「○○の集りかい？　白状しちまへよ。かあいいぜ。」

「私、今活動の歸りよ。」

「ばかに、廻り道だね。」

「ラヴ・シーンがあつてね。ひどくあてられちやつた。その昂奮ざましに歩いてるの。」

「フフン、君にそのセンチがある程ならね。…何だい。その包み、みせろよ。」

「御勝手に、今夜のプログラムでも這入つてゐるんでせう。甘いとこの略書きを、あてられないやうに讀むことね…。」

女は、男の動作を眼の隅から睨み續けたまま、ポケットに入れてゐた右手を素早く引くと、白い殘片を固めて、それを上着の間からズロースへ落した。

「近頃は貴方も暇さうね。私の活動見物を徹底して下さるやうぢやア。樟腦の香ひが利きすぎて、お蔭樣で近頃ぢや箱入娘に蟲がつかないで大助かりよ。ホッホッホ…。」

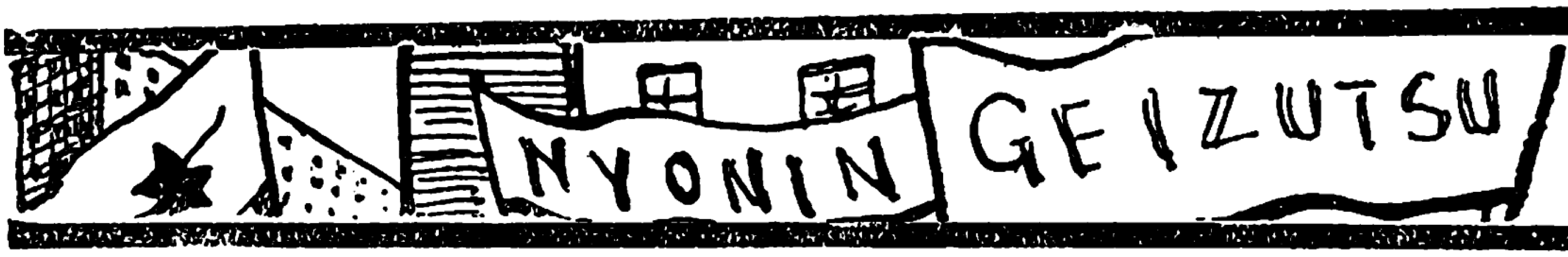
三〇・七・二二

公園入場料二角

友永初代

今日は少し風があるから涼しいなあと思ひながら起き上るとやはり昨日と同じ暑さ、トーストと熱い紅茶に先づ一汗出してしまひます、寒暖計はもう九十度近く、毎日の新聞は「殺人的暑さ」「蔣介石も今度は決死的の戰ひ」「××銀行買辦人團に襲はる」「××局總辦今朝××局前にて自動車を降りた所を射撃さる」等々暑苦しい事件ばかり傳へて居ますかと思ふと其の横の寫眞はガーデンブリッヂ附近の河端に苦力が三人片足片足を欄木にかけて晝寝の圖です、蘇州河を流れる風の涼しさを想はせる心盡しか知りませんが其の褌子一枚で寢そべつて居る姿が私達に或る羨しさを感じさせます。一寸出るにもやれ足袋だ、廣い帶だとしよはされる我々は日本婦人の何とまあ暑い姿でせう。浴後の輕やかなゆかたに素足の美しさなんて、江戸前の姿にあこがれる方は、上海の夏を思はないで下さい。毎年夏になると邦人の姿が亂れて困ると言つて總領事館の風紀係がこぼされますが、私達にとつても、此の足袋の問題が一番苦になります。國際都市に住む者としてまあ仕方がないとあきらめて居ります。「今後足袋を履かない者を發見した時は相當の罰金に處すと」先日の新聞に書いてありました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



六月の中ば頃から八月の終りまで毎夜公園音樂が催されます、但し日曜の夜はありません。新公園、パブリック公園、ゼスフールド公園、太馬路の競馬場、この四ヶ所であります。月曜日は五時半からパブリック公園、火曜日九時十五分からゼスフールド公園と、一週間のプログラムがきまつて居ります。五時半のはバンド、九時十五分のはオーケストラ、バンドは二十仙オーケストラは六十仙、但しこれはキャンバスの寢椅子にかけるための入場料、公園のベンチならロハです。でもロハ臺はいつも滿員ですから財布の不景氣な人、或は左程音樂を價値あるものと思はない人は芝生に坐つて聞きます。

一昨年からでしたか支那人の公園入場を許されました。（それまでは支那人は一切入れませんでした）六月中の各公園入場者が合計七萬數千人とか、公園の入場料もなか〳〵大した額に上ります（支那人の入場を許すと同時に銅幣十枚の入場料を各國人共取ることになりましたが其の後餘り入場者が多く公園としての目的？を失ふところから急に二角と値上になりましたこれは銅幣十枚に比べると約五倍に當りますが相變らず日曜の午後等は支那人で一杯です。一年間通用のパスは一弗です。これは二角の約六倍ですから大概の人はパスを買ひます。

毎年夏になると日本人の女の方も洋裝支那服姿が多くなりますが此の二三年來支那服黨が急に多くなりました支那服は洋服よりも着こなしが樂なのとも一つは帽子がいらないといふことが其の最も大きな原因ではないかと思ひます。支那服は實際着物よりも凉しく體も樂ですが、衿がある爲慣れない私達は首一杯の汗瘡です。冬はたしかに暖かいことでせう。近頃ます〳〵衿が高いのが流行です。ハイカラがこういふ所まで侵して來ました。其の一方また全く衿なしの洋服の樣な衿まはりで、袖なども身頃とは別にジヨーゼットで長くしたものも着て居ります。今は支那服といつてもスタイルはいろ〳〵です。然し其の九割まではワンピース式の上から下までつゞいたもの、上着とスカートに分れたのは極一部に見るだけです。

物價の暴落また暴落なんて、消費者には割が好くなつた内地とは反對に、支那は銀の暴落（尙色々の理由からから）日本金がずんと高くなつて、一時は金百圓が支那銀百九十七弗にもなりました。ほんの一月程前の話です。今でもずつと百八十弗臺です。―澤あん一本七十仙、綿絽の浴衣が七弗なんて、あほらしいと内地の方は思はれるでせう、でもやはりたまには澤あんの匂ひがなつかしくなります。もつたいないことゝ思ひながらも買はないでは居られません。夕凉みの時はやはり浴衣が必要なんです、日本人はまあなんと國産品の愛用者でせう．「誰か日本から百圓送つてくれる人は居ませんか」と呼びたくなります．全く上海見物をなさるのなら今です。

貴女方の所持金は上海に來れば直に約倍額になります、兒供を内地の學校に入れて居る人は毎月の送金に頭を惱まして居ます。それも中等學校或はそれ以上の學費ですから、隨分氣の毒な狀態です。さうかと思ふと其の反對に日本金預金して居た人は、思ひがけない幸運を喜んで居ります。世はさま〴〵ですね。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

神田附木店

——日本橋——

時雨

八月の暑い午後、九歳のあんぽんたんは古帳面屋のおきんちやんに連れられて、附木店のおきんちやんの叔母さんの家へいつた。

附木店は 淺草見附內の郡代——日本橋區馬喰町の裏と神田の柳原河原の此方うらにあたつてゐる。以前は、日本橋區の松島町とおなじ層の住民地で、多く願人坊主が居たのださうだ。附木を造つて賣つたから附木店の名がある。だが、あたしが連れてかれた時分は そんな場處ではなかつた。表通りは何處か閑散として、古鐵屋や、かもじ屋や、鍛冶屋位が目に立つたが、横町は小奇麗だつた。

おきんちやんは、一間の格子と一間の出窓をもつた家の前で止まつた。窓には簾があつて、前に細つこい植木が二三本植はつてゐた。萬年靑の芽分けが幾鉢も窓にならべてあつて、鉢には鰻の串をさし、赤い絹糸で萬年靑が行儀わるく育たないやうに輪を廻らしてあつた。格子をあけると、中の間の葭屏風のかげから、

橋、河、水、

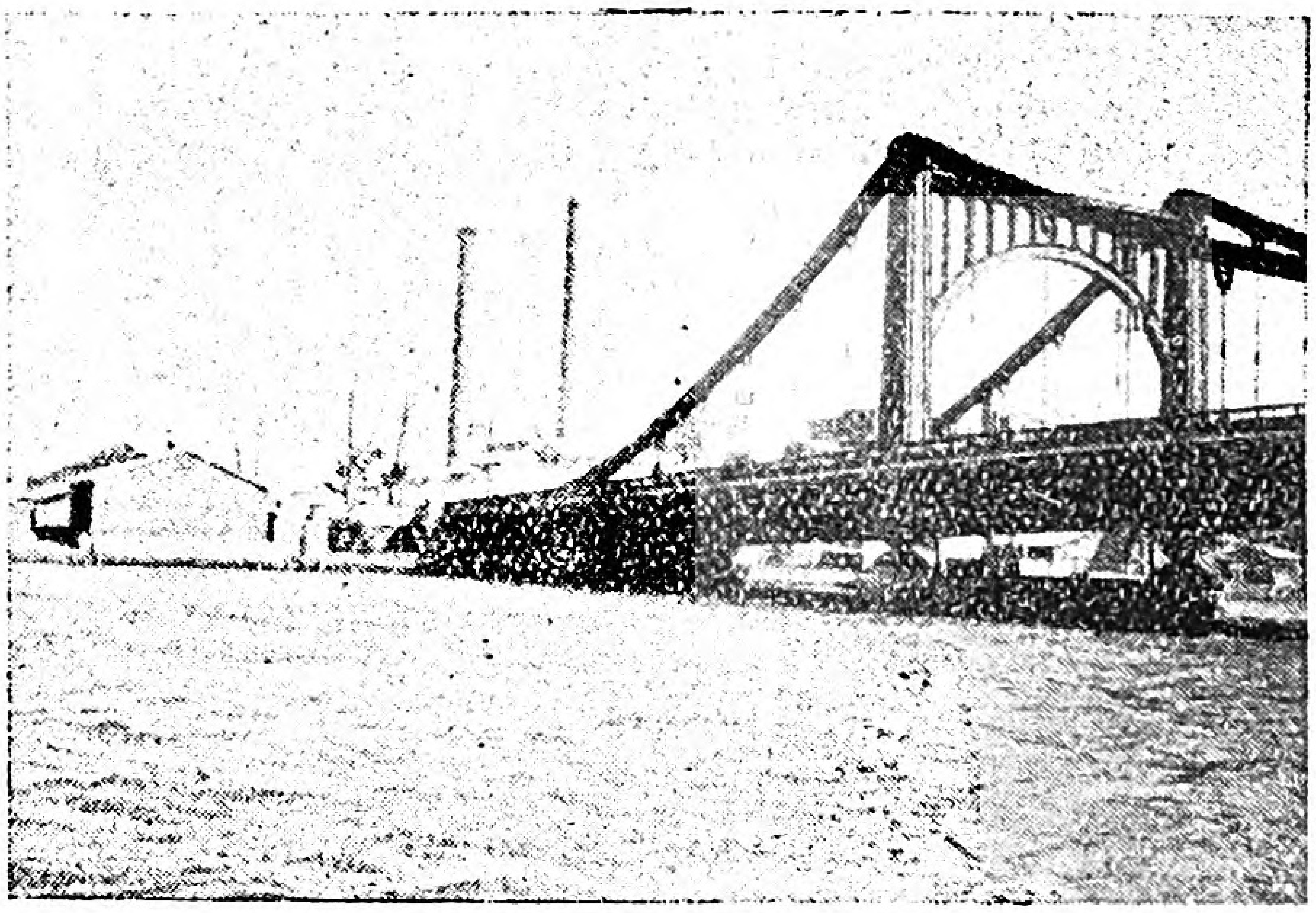
ともすればすうつと後へひかれさうになる夏のまひるのとろんとろんこの頭の横で鳴きたてるミンミン蟬、油蟬の聲に汗をしぼり出しながらあゝ暑い、水が戀しい、一そ六號に橋の事書いちまへ。山手育ちの野暮娘は隅田河にかゝつてゐる大きな橋をみて、その上に立つて下を流れる水をみて河風を洋服の裾に一ぱいはらました時になる程なあ、之が橋で之が河で、之が水で。橋とは何といいもの何となつかしいものと思つたらう。

永代からポッポ蒸氣に乘る。吾妻橋まで金七錢也。甲板に出てポッポコポッポコポッポッポッ、音と振動の中に水を見る河をみつめる。ポカリと浮いて流れてゐる半分の下駄、ただよひ流れるごみとあぶらと、嵐の後で濁りを增してゐる水、横波を立てながら靜かな水面を走つてゆく蒸氣、それに綱をつけて曳かれてゆく荷舟又荷舟。ゆつくりゆつくり心と體と調子を合はせて仲良く櫓をこひでゆく船頭さんと女房、健康に陽に燒けた彼女達の肌にはなごやかさうな幸はせの影をやどしてギイーグーとのびる櫓はおへそのはづれるどころではない。おこしに橋袢一枚の彼女達は朗らかに西瓜をかじりポンとからを水になげすてゝ高く笑ひながら七輪の火をあふぐ。水は美しくなくても身を包む河風は涼しい。兩岸は倉庫、船宿、料理屋、工場、職場し、もたや裏口はすべて河に向つて開け放つた心安さ。大江戸の川端の夢を年輪の輪數に祕めて風に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

靡く柳の線の渠は美しい。
　永代ばしを出てしばらくすると船は清洲橋の下をくぐる。美しい橋だ、上のかけた三ケ月様のやうな軟らかひなごやかな一つの線が大きく橋の上をはしつてその横の線から橋を

（清　洲　橋）



支へてつる鐵の棒が一定の間隔を置いて下つてゐる。背中合せの燈筒灯ともし頃にもなるとこの橋の西側に水にきらめく光が美しい。
　浅野セメント工場が大きな二本の煙筒を立てて、ねずみ色の煙をどんどんはき出してゐ

「きんばうかい？」
　と聲をかけた女がある。晝寢をしてゐたのだらう屛風の横から此方をちよいとみて、きんぼうが一人でないので起上つた。
　あたしはその人を立派な女だなあと思つて見とれてゐた。奇麗な女は幾人も見たが、なんだか大々してみえたのだ。色の淺黑い大きな顔で、鼻がすつと高くつてしいほのある眼だつた。剃つた眉毛がまつ青だつた。大きな赤い口で齒は茄子色につやつやしてゐた。洗ひ髪がふつとふくれて、浴衣に博多の細帶をくひちがうやうに斜にまいてゐた。
　その女が、團扇をもつ手で葭屛風をかたよらせながら言つた。
「そのお子さんかい、きんぼう。」
　十歳で、小柄で、ませてゐる、濱元の巧者な町の小娘お金坊は、蝶々髷にさした花簪で頭を掻きながら、えゝといつた。あんぽんたんのことは話しずみの友達だつたのだらう。
「やつちやんてつたのねえ。」
　その女は奇麗な、ちりめんの小枕に絹糸の房の垂れてゐる、きじ塗りの船底枕をわきによせながら、花莚の上へ座つたまゝでいつた。そばには大きな猫がゐた。
　あたしは猫が大きらひだ。おまけに化けさうな大猫で、ふとい尻つぽの長いのだから猶いやだつた。それにもかかはらず、初對面のこの女の魅力と、ここの、せまい家の、八幡の藪しらずのやうな面白さに、お金ちやんについて毎日通ふやうになつてしまつた。
　おしよさん、とおきんちやんは叔母さんのことを呼ぶ。その時分、好事家の間から、漸く一般的に流行しかけて來た、東流二絃琴のお師匠さんだつたからだ。
　ここで、すこしばかり知つたかぶりをいふと――これは九歳のあんぽんたんではなく、その後十年もの間にぼんやりと知つたものだが――東流二絃琴は明治十七年ごろ世に流行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

る。工場からはき出されるセメントの粉は附近の人家も灰色に染めあげてゐる。どれ丈の人があの中で自分の身をそぎながら働いて資本家の腹をふとらせてゐる事だらう。

清洲橋の次の橋は新大橋だ。この橋の東側には濱町公園がある。明るい近代的な公園だ。しかしあまりに影のない明るさだ。さて夜が闇をまとつてやつて來ると、こゝの邊りはボートでボートで、へさきにつけた燈提の灯が水にゆれて暗ければ暗いだけ、闇が深ければ深いだけその流れる灯は美しい。次の兩國橋は今盛に工事をしてゐる。昔から殘つてきてゐるものがこわされてゆくといふ事はどこかに寂しい思ひの殘るもの〻、新らしいものが又一つの美を持つて產れて來るといふ事をそこに思ふ時に、生きてゆき、育つてゆかなければならない私たち、そして私逹の周圍のために一つの力强いよろこびを私は持つ。水に洗はれうたれ、虫にくはれた樣にやつれてゐる昔しの橋の臺をみる時にぐひぐひとせまり考へさせる時の流れといふもの、センチメンタルと笑はば笑へ私は一つの感傷の中にしばらくは身をまかせる。橋を支へるものは不思議に一つの圓の部分だ。地球の圓いといふ事に關聯してかしなくてか何か力學的な要因を持つてのことと思はれる。藏前橋は下から支へてゐる橋で下はやはり定石通りの圓の一部分である。うまやばし、男性的などこかギスイ感じの橋だ、その點永代橋は同じやうに男性的でありながら何處となしににじみ出してゐるやさしさを持つてゐる。永代もうま

しはじめた。家元の藤舍芦船といつた加藤某は、世をすねて風流文雅に反れた士である。高弟藤舍芦雪、またなみなみの材ではなかつた。この後繼者が早折しなかつたら、東流二絃琴はもつとひろまつたであらうと惜まれてゐた。

芦船、芦雪は歌曲ともに創作する力をもち九十五曲を作りひろめた。この二絃琴の特長は粋上品なのである。荻江節も一中も河東も、詩吟も琴うたも投節も、あらゆるもののよき節を巧みにとり入れて、しかも樂器相當に短章につくつたところに妙味があつた。それゆゑ初心者には解せぬ、いふにいえぬうまみを出すことに苦心があつたわけである。で、あれもこれもと知りつくした一流の手練の人達がならひはじめてひろめた。重に中年者以上の、生活に餘裕のある、ものの音じめをあげつらう輩であつた。

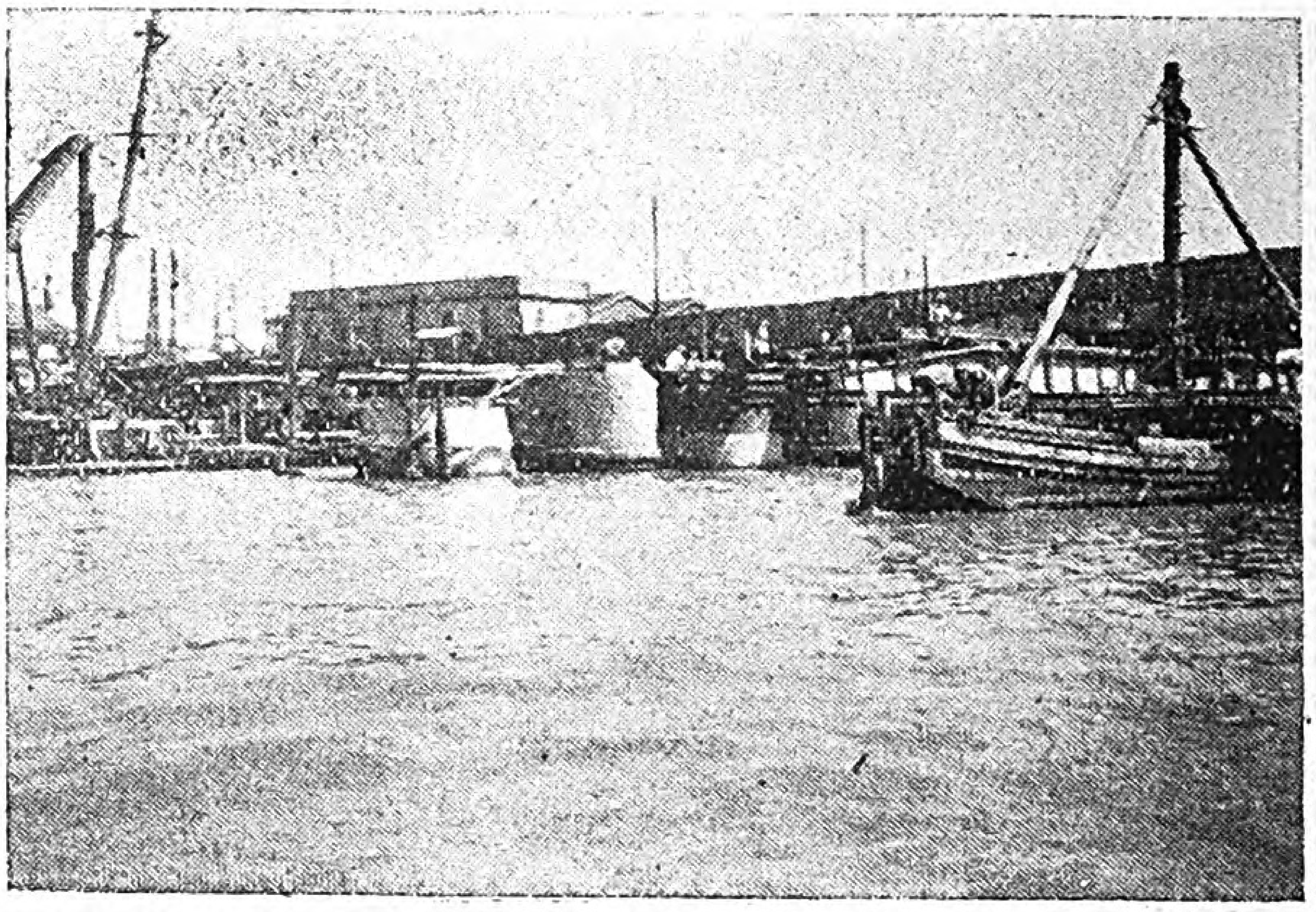
よい衆の旦那、御內儀、細妻――いき好みの、琴はどうも野暮くさいといつた人が、これはいいと集まつた明治に生れた樂器である。八雲琴が素で、竹琴、一絃琴などが參酌されたものと思はれる。九代目市川團十郎が「忠臣藏」の大星內藏之助で山科の別れに「多の惠」を奏で、また四國旅行の旅土產に「三津の眺め」の唱歌をつくたので一層評判になつた。宣傳にも拔目はなかつたのであらうが、通人である芦船は求めずしてその道の人達とも社交があつたので、むしろ團十郎の方が新しい思ひつきとして、又は自分の好きな道を舞臺にとりいれたのかもしれない。今でも片岡仁左衛門が大石をすると二絃琴を彈くが調子がととのはないので耳につく。團十郎もしきりに調子を直し直し、芝居が樂になつた さうでさる。

二絃琴の調子は糸がたつた二筋だから單純でゐて其くせ複雜だ。一體二絃琴の彈は、一間へだてた方が丸味をおびてよいものだが、しかし、それは彈手の耳と、趣味の深さ淺さによるは論をまたない。もと〱小樂器で、小曲的なものに適してゐるのを、大きな合奏曲の眞似までしやうとしたところにほころびがある。最初のうちの作曲や歌詞はそれをよ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

やばしも同じ様式の橋だ。上に大きな半圓を持つその半圓からつり支へられてゐる澤山の柱、大佛様の頭の様に鐵板にとび出してゐるピコピコのおだんご。震災で火に弱かつた橋のためにいためられなくてもよい人の命を多くいためた東京市では橋の工事に全力を注いでゐる。この隅田川にかけられてゐる橋は全部鐵橋だ、たくましい鋼鐵のはじき出す力强さ。それはどんなにか私達にたのもしい心强さを持たす事だらう。

（橋　國　兩）



く知つてつくられてゐるが、段々大物にしやうとしたところに無理がある。それは芦船といふ人があまり器用すぎたのだらう。道樂で、猿若町の囃子部屋にも居たりしたから、あの樂器へ長唄同様な囃子をつけた。黒人がきくと、あらゆる囃子の手がもちひられてあつて舌をまくといふが、そのよき伴奏者のために、細い二本の絃は悲鳴をあげなければならなくなつて、二絃琴の眞のよさを失なつた嘆きがある。もとより、江戸情緒風物をたすける、影の、輕い伴奏はあつてよい、私のいふのは鳴ものにまくしたてられてヒステリカルにキンキンならされるのを惜むまでだ――

きんぼうに連れられて、あんぽんたんが二絃琴のおしよさんの家にいつた時分には、もう家元芦船も芦雪も歿なつてゐた。直門に、芦質、芦洲、芦總、芦壽賀等が殘つてゐた。きんぼうのおばさんがその藤舎芦壽賀なのである。

芦質さんといふ女が一番名望家らしかつた。青白い、神經質らしい、その仲間でのインテリ夫人だつた。薄い髪の毛を上品に、下の方へ丸めた束髪で、白つぽい風通か小紋ちりめんを着て、黒い帶をしめ、金歯が光つてゐた。斯波さんの御新造といつて、淺草藏前の方に居たから、もしかすると民政黨の斯波氏のおうちの方だつたかもしれない。この女が家元の格をもつてゐたやうだつた。

日本橋伊勢町の方に芦洲さんは住んでゐた。肥つた黒い、立派な押出しのおかみさんだつた。大きい、勢ひのいい店の内儀だつたのだらうと思ふ。いま、東流二絃琴の正統な彈手として奮闘してゐるのは、この人のお弟子さんたちにちがひない、ごく若い娘さんたちで名とりになつてゐた人のあつたことを思ひだす。この派の彈き手なら、直門の正しい手法といへるだらう。ただ、私の子供耳にも稍餘情のない、勢ひのいい、ハッキリした藝風と思へた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

「君は今駒形邊り迄島」駒形橋に昔のおもかげがないと嘆くのは私達の氣持に必要のない事だ。移り變つてゆく世界につれて私達の美の限界も推移してゆく。昔の大河端も知らない。粋もわからなければいきも知らない、しかし美しいと思へるものは素直に美しいとして私の心に、眼にとびこんでくる。吾妻橋は工事をしてゐる。機重機がぐうつと廻つて上るとさらはれた泥がどさりと落ちる。吾妻橋でポッポ蒸氣を降りて又新らしく千住大橋行のポッポ蒸氣にのる。千住大橋迄金十錢。うまやばしを境としてそれから上を隅田川、下を大河と普通云ふ。なまぬるい振動の中を背中に西日を受けながらポッポコポッポコトロトコトコトコト隅田川をさかのぼる。言問の渡も今は言問橋で車と人との往來に白い埃りが河の面に降る。

各大學のボートの艇庫が並んで、まつ黑な體に白いシャツとパンツ丈の選手たちがつつたつてゐる、舟をおろしてゐる。オールを走らせてゐる。矢のやうにすべるボート、そろつた息とかけ聲と、うらやましいな。

こまつしま、水神、綠の濃い森、舟をあがつて歩きたい思ひがかけまわる。も少し涼しくなつたら。秋風がハタハタと舟着場の旗をゆする頃になつたら社長さんをひつぱつてこやう、そしていろんな話しをして貰はう。

小亭、ベンチ、ポプラ、植込まれた形のよい木、小公園？涼しさうな綠のゆらぎ、東亭の中で話しをしてゐる二人の娘さん。小公園にしては橫に並ぶ寄宿舍風な建物の廊下にほ

二絃琴は歌が――節がむづかしい。私はそんなふうにおぼえた。芦壽賀さんは節がやかましかつた。曲をおぼえればそれでいいとしなかつた。尤も、それはきん坊とあんぽんただけで、あとの人は普通に、器樂の方を主にして敎へはしたが、二人の子供は歌の方が三日、琴の方は一日で自分から彈けてしまつた。

あんぽんたんは、二絃琴がどんなものか、おぼろげながら知つてゐた。私の家にも芦船師が來たのださうだが、そんな事は知つてゐない。たゞ二絃琴といふ名は知らないが、およしさんの家で見るそれとおなじ樂器が私の家にもあつたのだ。父が時たまとりだして、安座をかいて、奏管で（琴爪）琴につけた譜面の星をウロウロ探しあてて彈いてゐた。大かた九世團十郎時代のお弟子の一員でもあつたのであらう。父はその琴を撫ていつた。

「これは芦船の形見だよ。」

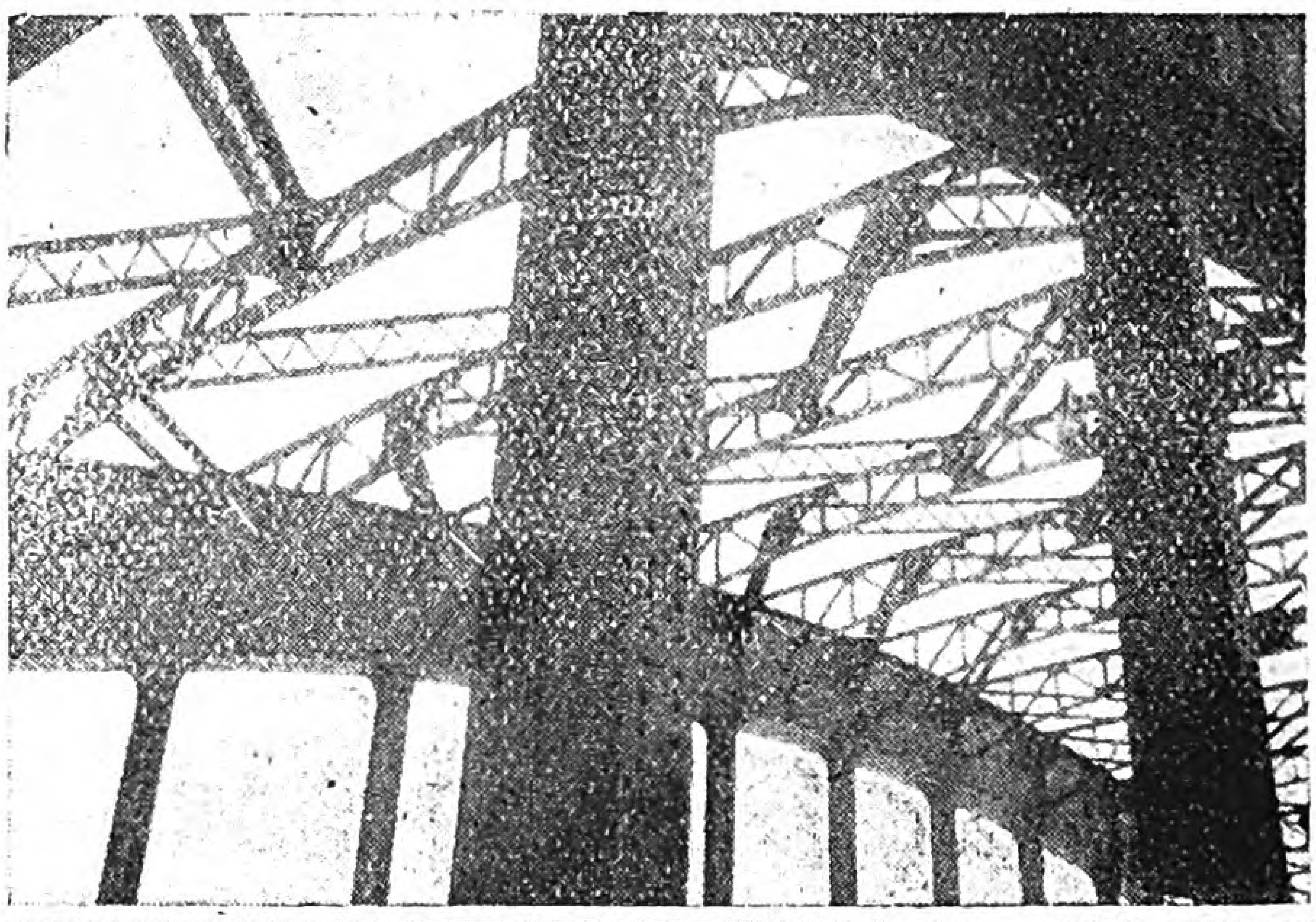
後にわかつたのは、藥研堀にゐた妾は、日本橋區堀留の杉の森に住んでゐた堅田といふ鳴物師の妹だつた。今でも二絃琴の鳴物は、鼓の望月朴淸の娘初子が總師である。

およしさんの家は格子戸の中が半間のたたきに二疊、となりに窓の部屋、中の間の八疊にずつと戸棚があつて、一方の壁に簞笥がならび、その上に一ぱい細かいものが飾られてある。そのさきが長四疊と臺所ののれん口がある。長四疊の緣は臺所の後までついてゐて鉢植ものの棚と、箱庭と金魚鉢の小庭がある。庭口から女中さんが廁へくるときは外で下駄をぬいてくるほど小庭の中はきれいで、濱でとれる小貝や小砂利が磨いてしいてある。外は紺屋の張り場だつた。塀外に茄子の花が紫に咲いて、赤紫蘇のほが長く出てゐた。

外の窓の部に、硝子戸の戸棚と小引出しがずつとならんでゐたが、およしさんの連合の商業は眼鏡のわくとレンズを問屋へ入れるだけで、商品が嵩ばらない商業だつた。時々下

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

された肌膚の——知つてますとも温情主義を振りかざす鐘紡の寄宿舍と、工場だ。散歩道そのすぐ下に打よせる隅田川の水、ひたひたとさゝやく小波の音、西陽の射す寄宿舍の、ギラギラと光る硝子戸をこしてのぞき見得る



(駒形橋)

部室は、さすがに温情、温情主義で小綺麗にまとまつてゐる。上にぬられたメツキのはげた今日、しかし何と生氣のないマトマリを持つた庭だ。温情といふのは一つのなまぬるいこすさだ。鐘が淵でのりかへて汐入、そして

職が註文をうけに來てゐた。連合は開港場の横濱で手びろくやつてゐた、派手な商館相手の商人だつたが、おしよさんのために逼塞したといふことだつた。らつこのトルコ型の帽子に、ラクダの頸巻きをして、外國人のやうな高い鼻をもつた大きな人だつたが、家にゐる時は冬は糸織のねんねこを着、夏は八端の平ぐけを締めて、あんまり話はしないが細かく氣のつく人だつた。

おきんちやんのうちも日蓮宗狂だが、此家の二人もさうだつた。長四疊には帝釋樣の髭題目の軸がかゝつてゐて、お會式の萬燈の花傘の、長い竹についた紙の花が丸く輪にして上の方にかゝつてゐる。軸の前の小机には、お燈明や蠟燭臺やら、お花立やらお供物の具や、日朝上人のお厨子やら、種々な佛器が飾つてある。

おしよさんは、その部屋の、眞中の柱に、長い柱鏡のかゝつてゐる前に、緋の毛せんを敷いて二面の二絃琴にむかつて座つてゐる。すべての小道具は燦然とみな磨かれて艶々してゐる。座ぶとんの傍に紫檀の煙草盆があつて、爐扇でよせられた富士山がたの灰の上に香がくゆつてゐる。二面の二絃琴の間には、漢方醫がもたせてあるいた藥箱が、丁度兩横から押出すやうになつてゐて具合がよいので、薄い横とぢの唄本をおくためにおかれてあつた。六ツばかりある引出しには、絃や、小鋏や、懷中持ちの藥入れに入れた絃に塗る練油などが入れてあつた。おぢさんは、おしよさんのために、子供たちの琴の譜をさし示す銀の細い、消息子のやうな棒をつくらせてくれたりした。

おしよさんが髱をかきつけてゐる巧さ——合せ鏡で、毛筋棒のさきで丸髷の根元を撫てゐる時、鬘のやうに格好のいい頭を、あんぽんたんは凝と見つめてゐた。七日目でも結ひたてよりきれいで格好もよかつた。私は夏の日、日盛りを稽古にゆくが、おしよさんの邪魔はしなかつた。おしよさんが寢てゐても、お客樣があつても、髪結ひさんが來てゐても

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

千住大橋、ずい分長い事舟に乘つたがどんなに遠くあたしは東京の街をはなれたらうと、舟を降りて、街に出てくると、ナアンダ市電がグウーガタンと走り、圓太郎がガタガタ走り、さすがにうすぎたない圓タクが流れ、えつちらおつちら舟にゆられてはるか田舍にきたやうな氣になつたのは、何とのどかな事で。ここから又陸路向島の百華園にゆく、丈高くのびたすゝき、すつかりと云ひ切つて仕舞ひたいほど咲いてゐる秋の花、芙蓉、紅色季、雁來紅、百日紅、あらゆる日本の秋のはな、ほんの咲きそめたばかりの萩の花の紅さが夕ぐれの光の中に恥かしさうで可愛いい。日暮しの鳴く靜かな庭に沈みかけて一きは強い夏の陽あしが長くのびて、いつもいつも嚴々しい娘なのに、何といふ事のないなごめられた靜かさを自分の中に見出して嬉しい。百花園から玉の井まで歩いて。モダンガールちつちやな男の子の聲に送られて淺草驛まで。
大川の河下には、佃島と、石川島の造船所を墨繪の樣に影を黑く浮かせてゐる。商船學校の前を歩きながら校庭が海の學校はいいなあと塀をのぞいてみる。ひたひたと潮がよせて月の光がくだけて、練習船が浮いて、窓から灯が流れて、いささか感傷をそそる。相生橋に立つて東をみる。廣がる水面走る舟ピウピウと吹き寄せる磯の匂ひをふくんだ河風、かいた汗も、出かけた汗もみんなひつこんで仕舞つてぬれたうすものがどこか肌にさむざむとひつつく。橋の切のところに中島があつて美しく小公園に作られた庭にはベンチがあ

お湯にいつてきてからでも、お化粧がすんで、さあはじめませうよといはれるまで、幾時間でも、待てば待つほどおとなしくよろこんでゐた。なぜなら、おしよさんのうちには、くさ双紙の合巻ものが、本箱に幾つあつたかしれない。それがみんな、ちよいと何處にもあるやうなのではなかつた。品も新らしいやうに奇麗で、みんな初版摺りだつたから、表紙繪の色刷りも美事だつた。

おしよさんは誰も他に人がゐないと、秘藏な田舍源氏まで出して見せてくれた。

「ヤッちやんは大事に丁寧に見るから。」

「ヤッちやんは繪を見るぼかりぢやない、ちやんと讀むんだからな。」

おぢさんも同感であるといつた。だから向ふでも長い日のうちには、私は半日居やうと邪魔にならない存在になつて、ちよいとした留守番もする。そこらにのそのそしてゐても、猫とおんなじ位の身うちあしらひだつた。ある時おぢさんがうんうんいつて押入れの葛籠を引つぱりだして、暑いのに何をはじめたんですとおしよさんが小言をいつた。

古い綿繪——芝居の繪を澤山に張つた折本を、幾册かだしてくれた。私の家にもそれらはいくらかあつた。だが、ここのやうに系統だつて集めたものではない。夫婦は熱心に、これはなんといふ役者で誰の弟子、當り藝はなにで、こんな見得をした時がよかつたとか、この時の着附けはかうだとか、誰の藝風はかうで彼はかうと、自分たちの興味も手つだつてよく話してくれた。

小傳馬町の古帳面屋の店藏の住居の二階で時折見かける、盲目で坊主頭のおばあさんがおしよさんのうちにも時々來てとまつてゐた。

紺ぼい麻の單物を着て、唐繻子の細い帶をキチンとしめてゐる盲目のお婆さんは、坊主頭でもいきな顔立ちだつた。彼女は縁側にちかい伊豫簾のかげに茵を敷いてゐて——縁側

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

り、木が植ゑられてあり、散歩道には大公望が釣絲を垂れてゐる。

相生橋を渡り切つて島の町を歩く。どこか東京といふ感じからはなれた匂ひを持つ漁師町、住吉祭りが近づいて、子供の御輿が町をよたよたとかつがれてゆく。佃橋のたもとにあつた魚屋は入口から地面の中に向つて家が建つてゐるかんじで、地面に立つ私と同じ位の高さの屋根からは中の水桶やどぢやうのおよいでゐるざるの中にたらたらと水をたらしてゐる。渡し場がある。舟が通つて波が大きくゆれる度に舟着場がゆらりゆらりとゆれる。大きな舟で眞中に腰かけのある船室、その前後は甲板になつてゐて自轉車や人力車がのつかる。一邊通つただけでは何にも之といつて記憶に殘つて呉れないなさけなさをだいて夏の夜の空はやあ星が一ぱいだ。（みどり）

諸國風土記

姫路驛近くを下の關ゆきの特急富士が走りつつあるとき、一人の紳士專務車掌室へ飛込み、只今便所から現金五百圓入りの紙入れを落せしと嘆く。この人關西の大學理事にて百圓札三枚は知人から頼まれた結納金なりとぞ。田舍なればこそなれ紙入は無事、明石土山間の線路の上に落ちゐたりと、なんぼう人騷がせのことにや。

これがまことの生み落すといふ事

さてまた、危うかりしは、紙入とはことちがひ生きた赤ンぼを線路に生みをとした母あり、四國高松より名古屋に赴く若き夫婦、岐

には初夏ならばすい〱と伸た菖蒲がたつぷり筒形の花いけに入れてあつたり、萬年青の鉢があつたり、石菖の鉢がおいてあつたりした。おばあさんは長刀ほうづきを鳴らすのが好きで

「おッさん、あつしにも一本おくれよ。おやおや、こりやばかにいいんだね。」

なんて、樂しんで、さきを切つてもらつて器用に鳴らした。丈が二寸からある、長刀ほうづきは、其時分でも一本一錢五厘から二錢位した。

その坊主頭の盲目のおばあさんが、キンボウとヤイチヤンを前にならべて、錆た澁いのどで唄の素稽古をする。そばで聞いてゐて二絃琴の唄はすつかり暗唱してゐるのだ。おッさんの——おしよさんといふのがさうきこえる——あすこんとこは巧いね、好い節だなんていふ。この坊さん、昔はよつぽどそれ者だつたのに違ひない。横網河岸の備前家（今の安田公園の處）のお妾お花さんが、毎日水門から屋根船を出して、今戸河岸の市川權十郎の家へいつたのでお家騷動が起り、大崎の下邸へ移轉するといふ噂から、この坊さんも、そんなやうな前身で、大崎の下邸には、由緣の墓もあるといつた。

「御前樣はお美しい方だつたね、殿樣が知事樣におなりになつた時、御一所にお立ちになるので、兩國の店の前で、ちよいと御挨拶もふしあげた時見上げた事があるけれど、大きなお眼で、眞つ黑なお髮に、そりやあ鼈甲の笄がテラテラして、白襟に、藍色の御紋附きだつたけれど、目が覺めるやうだつた。」

とおしよさんもいつた。兩國の店つてなあにと聞くと、

「困つたねえ。」

と母娘して笑つた。おしよさんの家の軒燈には山崎としてあるが、兩國の並び茶屋の名も「山崎」だつたと坊さんのおばあさんがいつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

阜驛東方金谷踏切りを通過のさい、四輛目の便所から轉がりおとせしを、踏切り番がみとめ拾ひあぐる。生きてゐたりしとぞ。

赤ン坊の腹にまた赤ン坊

これは珍らしき畸形の双生兒とまをすよしなり、赤ン坊にて親となるかたち、母は子と孫を一時に生みしともいふべし。はじめ生れた子の腹部あまりにふくらみてなみなみより三倍もあるゆえ切り開き見るに、また一人生れたるなれど、その子は下の方のみ成長し、人體の上はなかりしよしなり。栃木物部村にありし事なり。

死んだ母の胎中から

大阪の市にすめる人の妻姙娠中急病にてうせけるが、其日の三時に死し、翌十九日夜十一時ごろ、死にける妻の腹動くにさきてみれば丸々と肥えふとりたる女の子なん生れ出たる。泣きみ、悲しみ、喜びもしめやかなりとは哀れなりけり。

龜の話

東海道國府津の濱に大龜這ひ上りて百八十個の卵を生みて海へ歸る。珍らしき見物とて處の者「龜の子會」をつくり、濱に矢來をめぐらし交替に監視して、やがて來る日、龜の子晴れの觀兵式、海への行軍の壯觀さを待つこと久し。その噂かくれなく見物の客ひきもきらず、國府津小田原の繁昌ともなり悦びあへりしに、去月三十一日夜の暴風雨にまぎれすべて盜み去りし者あり、龜の子會員の町の人々びつくり仰天足摺りするもおよばず。龜子這出たりと觸れて隙を窺ひ、爵者のモルヒネ

あんぽんたんの　奇心は擴大られた。並び茶屋を出したおしよさんの若い時分はどんなだらう、盲目のおばあさんの大名のお部屋さま時代はどんなだらう。そこにくさ草紙の世界が現はれ、錦繪の姿が髣髴とした。田之助が動き秀佳が語る――

「ヘイ、お暑う傳吉でございます。」

芝居茶屋の若い衆――といつても、もう頭の禿てゐる傳さんが、今戸のおせんべいを持つてくる。

「いい香ひだね。」

おしよさんは袋をあけて見ながらいふ。そこのおせんべいは、持つてくる時間をいつて頼んで燒いておいてもらうのだから、ほんとの親切を悦んですぐお茶を入れさせる。

「こんどはひとつどうぞ。」

芝居の話と傳さんの娘の話をして、さんざい袋をもらつてかへる。と、入れちがひに、

「へえ、傳さんが來ましたか？」

と女中さんと話ながら淸さんがはいつて來た。傳さんとおなじの黑い麻の着物の尻はしよりをおろして、手ぬぐひで麻裏草履を穿いて來た足前をはたいて、上つて來てキチンとお辭儀をした。

「お暑うございますな。」

茶獻上の帶の背にはさんだ白扇をとつて煽ぎながら、疊んだ手拭の中をかへして頸を拭いた。小判形の團扇が二本、今戸名物船佐の佃煮の折が出される。

「川崎屋までまいりましたから、これは私のわざつとお土產で。」

淸さんの兄貴は川崎屋權十郎の古い男衆だつた。

かういふ人達は、中村座が閉場ば中村座の何屋へ、新富座ならば何處と、三四軒の芝居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

をさらひしモヒ患者あり、酒屋の樽に口をつけ酔倒れし痴者もありしほどの大事の龜の子とて惜みあえるもうべなるかな。

章魚の話

常識家の典型紳士の標本のごときろんどん人にも不思議な迷信ありて蛸を八本足の怪物悪魔の魚と呼び口にせず。蛸、英人にきらはれる腹いせに、英人の好む海老フライを根だやしにしてくれんずと、海老を見れば食つてしまう。英人食卓にむかひ嘆ず。ある漁師のいへるに、蛸が沖の覇權を握りしは大いなる海龜を捕りし故なり、海龜の餌は蛸なり、その海龜を食ひしは紳士なり、富豪の酒宴に海龜の少量の背肉をあらそひ甚だ歡迎するためなりとぞ。

犬の話

横濱のある富豪夫妻高價に求めし犬をひいて歩きしに、犬は突然鎖をきつて、箱車に乗りし膏薬だらけの老乞食にとびつき顔をなめて狂喜す。巡査が來る。老乞食聲をあげて泣いて言ふにこの犬は貧乏の上家内の病氣でよぎなく犬買ひに賣つたれど、この汚い私を忘れぬいぢらしさ、殺されても別れられぬ、貰ひためた三圓廿錢で買ひもどさせてくだされましとひたすらいふに、惜けれど人々の手前富豪は手離したりとぞ。

馬の話

黒留といふ荷馬車屋、荷馬車をひいて中野を通ると前より來たる荷馬車の馬、一聲高く嘶いて動かず、黒留不審とよく見ればこれなん廿餘日前盗まれたるわが馬なりけり。

茶屋を助けもするが、歌舞伎の梅林とか三洲屋とか、一二の茶屋で顔のうれてゐる男来たちだつた。

「毎年是眞さんでござんすから、今年は河竹さんのにお願みいたしまして――」

それは團扇の繪のことだつた。河竹さんとは、本所に住む默阿彌翁のことで、二人娘の妹さんが繪をかき姉さんはお父さんの脚本のお手傳ひをした。

おしよさんの家には、さうした團扇に蟲がつかないやうに、細い磨竹に通して、室の隅に三角に、鴨居へ渡してあつた。

「おしよさん、今年の揃浴衣は、大層好いつておはなしですから、夜芝居で、お浴衣見物でございますから、ひとつどうぞ、御見物を――」

おしよさんは、今年も船で納涼の催しをと考へてゐたのをやめて、自慢の、その頃ではめづらしい素鼠地の、藤の揃ひ浴衣で見物することにきめる。

二絃琴を擴めやうとする氣持ちと、おしよさんの派手ずきとから、引幕を贈ることもあつた。藤の花の下に緋の敷もの、二絃琴を描いて、あとは地紙ちらしにして名とりの名を書いたりした。

お坊さんのお婆さんは、伊藤凌潮といふ軍談讀みの妻君になつておしよさんや、おしよさんの姉さんで、吉原で清元で賣つた藝者、古帳面屋のお金ちゃんの義母さんや、末の妹の、その時分には死んでしまつてたが、阪東百代といふ踊りの師匠の お母さんになつたのだ。

おしよさんが若かつた時、太政官の參内の馬車の腰かけの下へかくれていつたと、やかましく噂された事もあつたさうだ。お若い××様が御巡幸の時、百代と二人ならんだ姿をお見詰めになつて――たしかにお目にとまつたのだが、まだお歯黒をおつけになつて、お童様だつたから――なんて話もきくともなくきいた。(此項つゞく)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



連絡は斷たれたが

北山雅子

その鋏をなんといふ？
その糸をなんといふ？

いちど斷つて終へば
連絡の糸はつなげないと云ふのか。
操り人形ぢやあるまいし
糸は切れても手は足は生きてるぞ。
眞赤な血は枯れないぞ。
見ろ！
鉛筆の鋭角で摩り剝かれた
手指の股から流れ出た血のいろ。

驀進

岩崎二三子

不景氣！　失業！　生活難！
小作爭議！
資本家の暴虐に泣いてゐる
幾萬の勞働者よ
いつまで資本家の奴隷となつて
搾取されてゐるのだ
この血なまぐさい汚れた社會に
眠つてゐる秋ではない
躊躇してゐる場合ではない
目ざめよ！　起てよ！　奮へ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



喰ひしばつた歯と歯に
噛み殺した苦痛と語。
狼狽てた×××の叫んだ語を聞け
——こづかひ‥‥
　メンソレタム持つて來さい。
なんだか聞いたことのある様な、ない様な
薬の名前ぢやないか。
あわてんない。スパイ奴
お情けごかしの鼻薬で
この傷が療ると思ふのか。

連絡は斷たれた、切れた。

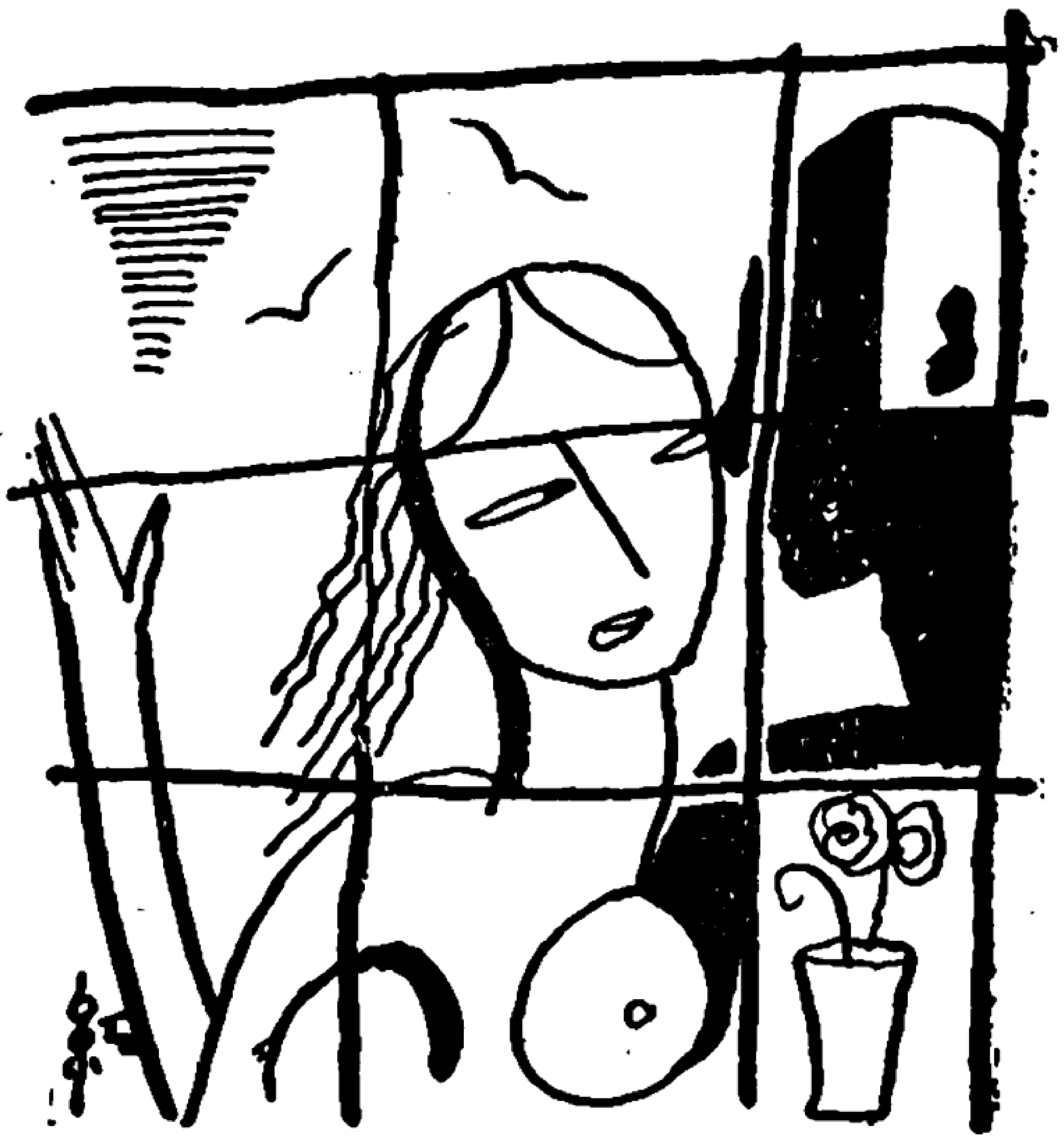
だが
その鉄はなんといふか
この糸は強いぞ枯死しないぞ。
切つても生える
トカゲの尻尾だぞ。

資本家の鐡門を打破する秋は今だぞ

「戰なしに戰利は存在しない」

鬪士よ
姉妹よ
早く集れ
進軍ラッパがなつてゐる
さあ‥‥團結だ‥‥鬪爭だ‥‥
たからかに歌つて
聯盟の旗をふりあげ
驀進するのだ
我等の望む國へ
我等があこがれの世界へ——

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



映畫漫想（六）

尾崎翠

夏の映畫は犬も喰はぬこと

水曜の夕刊を十五分ながめてゐても、別に、ぜひ見たい役者の名前に出逢ふわけではない。「ホオゼ、ウエルネル・クラウス主演」一つ位のものだ。夏の太陽は、人間を自己喪失に陥れてしまふ。だから心のなかで總てのものの影が薄らいでしまひ、心自體がほほけたすすきの穗のやうだ。それで、聯想能力の最後の一片までも喪つてしまつた夕刊の讀者は、夕刊から七寸だけ上にある頭を、三つばかり性急に振り（彼は二階の借部屋で、晝間のたたみ燒けのまだそつくり殘つてるたたみに長まり、夕刊の上に深刻な肱を突いてゐる）しかるのちカアル・シュテルンハイム作るところの「ホオゼ」（映畫に撮つた上の「ホオゼ」ではありません）の一人物、床屋の下剃りを代辯者に借りてきて、次のやうに言はせたいと思つてゐる。

このあたまで映畫をみろつておつしやるんですかい旦那あ。ちえ、じようだんぢやない。映畫つてやつあ、もともと影なんですぜ。影といへば、まあ夏むきにいつて幽靈だ。あたまじたいが影みたいにぼやぼやしてるところにもつてきて、ろくな番組もない夏の幽靈を、のめのめ一ダアスもみてゐられますかい。なんのこたあない幽靈と幽靈の鉢あはせだ。旦那あ、幽靈と幽靈の鉢あはせが何になるかごぞんじですかい。――は、は、は燐光燦然、たあ、など…ロマンチックの骨頂だね。（傍白）――あの「ホオゼ」で俺とルイゼを張りあつた詩人のスカロンの野郎は、ロマンチックな言葉の蔭にかくれて、隨分俺をとつちめやあがつたが、この旦那は、しんからの浪漫派らしいや。幽靈同志の鉢あはせが燐光燦然、か。は、は、どうりでこの野郎のもみあげはびた〳〵柔かいと思つたんだ――。――は。あ。なあにこつちのことでさあ。あつしあね旦那あ、これで、眼をあい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

てて、ときどき旦那の「燦光燐然」みたいな夢をみることがあるんです。殊に旦那のやうな柔かいもみあげにしやぼんのあぶくを塗つてゐますとね。……ところで、話の本筋はなんだつけな。……幽靈と幽靈の鉢あはせが燐光燦然、と――旦那あ！幽靈と幽靈の鉢あはせくらゐ空氣に似たものはありませんぜ。無色、無味、無臭でさあ。はたらきの止まつたあたまで夏の映畫をみたつて、燐光どころかマッチの火も出やしないや。そこにもつてきて、みてきた幽靈についてなんか書けなんざあ、うんざりを通りこしてらあ。この夕刊をひと目みるから、あつしやあ、うんざりしてるんだ。いつの作品だか方角もたたないやうなものばかし並べやあがつて、役者にしてもさうだ、馬に似た名前のお揃ひなんだ。みたいと思ふものは、まあ、あつしの出る「ホオゼ」くらゐのものでさあ。ルイゼのあれの落つことしぶりときたら、まつたく、幾度みてもほれぼれ……いや、こつちのことでさあ。それに何だい、「短期興行、△日より×日まで三日間何何。○日より□日まで四日間何何及びホオゼ」！一週間を二つに切つて、あつしの出てゐる「ホオゼ」をうつかりすると見おとすていたらくだ。一週間を小刻みにされて、呼吸まで小刻みになつてしまはあ。撰りだすのもめんどくさいや。無選擇だ、鼻の向いた方角のやつを見つちまへ。……時に旦那あ！もみあげの柔かい旦那あ！……おや、いつのまにか行つちまやあがつた。しかたがない神樣にきいちまへ、神樣あ！夏についてどんな意見をお持ちになつてゐますか、ちよつとお訊きしたいんですけどね。御返事がない、自分のを言つちまへ。あつしの素人考へでは、サムマアタイムをすこし伸ばしちやつて、サムマアマンスを作つちやつたら、どんなものでせう。いや、二ケ月、多くて三ケ月、あたまが自己喪失に陷つてるあひだだけのことでさあ。おてんとさまが屋根部屋をいぢめつける短いあひだのことでさあ。この二ケ月、多くて三ケ月のサムマアマンスのあひだ、あつしあ、犬も喰はぬ夏の映畫をみなくつていい、こと、にするんです。それから、ここがすこし肝心なところですが、（言つちまへ！）月末のある爽かな朝、あつしが床のなかに眼をさますと、あつしの枕もとに、書かなかつた映畫漫想の稿料が、あまりすくなくもなくひとつかみ、天降つてるんでさあ。これがサムマアマンスの特權でさあ。それとも神樣あこんな特權は、幕の上のチヤアリイやキイトンだけにあるんですかい。あつしのききたいのは此處でさ。――いや、お好みのとほり、すぐ返事をほしいわけではないんでさ。あつしあ、これで、胃の腑があまり大きくない方でしてね、言ひたいことを言つちまふと、消化不良にいいんでさ。

ところで、すこし草臥れたな。もいちど夕刊をみてやれ。「一九三〇年冷氣法による館內空氣X度、來りて萬斛の凉味に浴せざるものは、尖端的莫迦なり」――か。嘘つきめ。部屋で火葬場の煙突の横をながめてる方がまだしもだ。くだらない夕刊が來て三時間もすれあ、北の窓から南の窓に向つて、冷つこい風がすつすと通しますさあ。すると、北の窓と南の窓のあひだに坐つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

てる（或は長まつてる）あつしの骨が風に吹かれて、あつしの脳味噌が風に吹かれて、夏の自己喪失からすこしだけは救はれるんでさ。もつともこの、北の窓から南の窓に抜けるびりつとした風は、七日に一度……十日に二度とは吹かないや。あとの六日は南の窓から北の窓にぼやんと歩いてゆく生ぬるいやつさ。こんな夜は神樣あ、映畫漫想もなにもあつたもんぢやありませんぜ。あたまがナンシイ・キヤロオルの胸板のやうにぼやぼや太りやあがつて、まるで扁平足で踏んづけた牡丹餅でさ。神樣あ、ここもすこし肝心なところだから、よく聽いといてほしいな――あつしのあたまに夏期休息月のやうなまつちろい思案の浮ぶのは、こんな夜なんですぜ、ナンシイ・キヤロオルの腿……ぢやなかつた、さつき胸板にしといた筈だ――ナンシイの胸板のやうな南風の吹く――。そこで神樣あ、できれば地球上からいつさい南風といふものを撤回して頂きたい。――えなに、御返事はあとのことに願ひたい。あつしあこれで胃の腑があまり大きくない方でしてね、南風の提議も、やはり胃散の一匙でさ。

ところで、大分草臥れたな。俺あどこから廻り路をしてしまつたんだつけ。もいちど夕刊をみてやれ、一九三〇年冷氣法――と。さうだ、神樣あ、そんな冷氣法よりあ、あつしの部屋で火葬場の煙突の横をながめてる方が、まだしも凉味に近いんでさと言つたんでさあ。あつしの借部屋の地方の名物といへば、まづこの煙突でしてね、あつしあこれで、すこし、その、煙突を崇拜してる譯なんでさ。なぜといつて、火葬場の煙突は、あれで、あつしとルイゼを張りあつた自稱詩人のスカロンの野郎より、ずつとすばらしい詩人なんでさ。なぜといつて、こんにやく野郎のスカロンは、一週のうちすくなくも七日間は、口先だけで詩、詩、詩、といつてるんですぜ。そのくせあいつのペンが氣の利いた詩の一聯でも綴つたことがありますかい。あいつの詩なんざあ叱つ、叱つ、叱さ。そこんところに持つてきて神樣あ落合の火葬場の煙突は、まつたくすばらしい詩人ですぜ。あいつは人を燒くのが本職だから、一週のうち一日だつて詩、詩、なんか言はないや。あいつあ默つてて大空にすばらしい詩を書くんだ。丁度このくだらない噓つきの夕刊が來て一時間ほどした頃が、あいつの技倆のはじまる時刻ですがね、あいつは、神樣、煙で、大空に、チヤアリイの靴を書くんですぜ。――野暮つたく兩方なんか書かないや。片つぽでさ。片つぽのつひでですが神樣、總じてものごとといふやつは、二で割りきれない方がおもしろいやうですなあ。手近なたとへが、チヤアルス・フアレルとジヤネット・ゲイナアの一組にしたつて、ひとたび、最初のラヴシインが濟んじまふと、ほら、二で割りきれちまつて、氣がぬけちまひまさ。ジヤネットはむかうの隅つこで、チヤアルスはこつちの隅つこで、ひとり、びとり、考へこんでるうちの方がおもしろいや。だからあつしあ、火葬場の煙突が、もしチヤアリイの靴を兩方揃へて書くやうなへぼ詩人だつたらスカロンとおんなじに輕蔑してやりまさあ。あつしの崇拜して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

る煙突は、チヤアリイの靴片つぽ。コンラッド・ファイトの横顔三分の一。縄のれんのやうな腰かざりをつけたジョセフインベエカアの腰だけ——ざつとこんな詩を、煙で、大空に、書いてくれるんです。煙突の書く詩に二で割りきれるやつはしとつもないや。だから言はないことぢやない、一九三〇年冷氣法の映畫館より、あつしの部屋の方がぐつと涼味に近いんだ。

——ところで、おお、神樣、あつしは、サムマアマンスのなかの住民ではないんです。あつしは、あつしは……仕方がない、一九三〇年冷氣法を浴びて來るんだ。せめてあつしの出てくる「ホオゼ」から見てやれ。

「ボオゼ」のこと


ジェニイ・ユウゴオ

戯曲「ホオゼ」の作者シュテルンハイムは、この曲中の全人物を揶揄し、戯畫化してゐる。どの人物もどの人物も作者の嘲笑的才氣のあふりをくつてるところに一脈の淸凉味の漂つてゐる作品である。殊に愛すべきだらしなさを持つた若い細君が、街上でホオゼを落した大事件に端を發するこの戯曲は、隨所にエロチシズムのポケットを持ち、作者は此處にも惜みなく嘲笑的才氣のあふりをくれてゐる。

ところで、これを原作とする映畫「ホオゼ」は、原作者の嘲笑の骨をぬき、ひたすらおめでたい、いくらかけだるい喜劇化をねらつてゐるらしい。そして成功してゐる。だから原作との比較でべつに背負なげを喰ふ必要がない。筋の極端に單純な事も涼しくていい。

ウエルネル・クラウスの御亭主ぶりにはうつとり見とれる。ヤンニングスの七割くらゐは太り、相當年配で、決して決して美しいお爺さんではなくて、と考へてくると、彼は獨逸の名優の條件を一身に備へてゐることになりさうだ。そして、クラウスの名優ぶりに見とれることは、クラウスの出演畫をみるかぎり仕方のないことだ。いつもクラウスは名優なのだ。

ウエルネル・クラウスに見とれるといふのは、なにも最高級の化粧石鹸でにきびを洗ひ、ペエラムを振りかけ、香水でかため、などと手數のかかつたアメリカ流の若い美男に見とれるのと同じ意味ではない。すこし高遠な見とれかただ。

やかまし屋とお人よしとを兼ねた一家の主人クラウスは、「ホオゼ」でいろんなユウモアを示してくれる。まづ、鼻の下にふんぞり返つた髭。(この髭の載つかつた横顔が、かなり長くパンを喰べてゐる場面がある。思ひつきは監督さんかも知れないけれど、喰べつぷりのリズムは好漢クラウスの持味だ)それから、この髭は何とたびたびものを喰べることだ。クラウス！だから君はお人よしの御亭主だといふんだ。君はしよつちうルイゼ奥さんにたべもので買收されてるんだ。そしてクラウス！傲然とふんぞり返つた君の髭は、幕の上きつての食ひしんぼ上手だ。なぜつて君は事實四度くらゐしか喰べないのに、七度喰べた感銘を殘すのだ。チヤアリイの髭と肩とな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

らべていいのはこの髭だけだ。そしてクラウス！君の足の踏みかたは、ルイゼ奧さんに腹を立ててゐる時と、ルイゼ奧さんに買收された時と、ルイゼ奧さんを制してゐる時と、お向ひのドイタア未亡人に浮氣を運ぶ時と、あらゆる時に違つたリズムを持つてゐる。ひとつの畫でこんなに澤山の歩きかたを數へられたのは初めてだ。

ジエニイ・ユウゴオのルイゼ奧さんは、眼鼻だちが端正すぎ、表情が明白すぎるので、街上でホオゼを落すほどの間ぬけさを缺き、原作の夢みがちな甘い細君の面影を傳へかねる。これは原作に終始しろといふ註文ではなく、クラウスの良人ぶりに對しては、原作ながらのルイゼをそつくり幕の上にほしいからだ。原作のルイゼはホオゼを落つことしても心のどつかで樂しいおしやべりをしてゐさうな女である。ジエニイ・ユウゴオのルイゼは、大道で鷲づかみしてきたホオゼに深刻な苦悶を捧げてゐる。固い。ちと寛いでほしい。

詩人スカロン氏！！感じの惡さに於てこれだけ徹底して役者を掘りだしてくるから獨逸映畫はすばらしくなるのだ。スカロン氏こそ獨逸もののみに見ることのできる蜘蛛とこんにやくの混血兒だ。街上のホオゼのあとを追つかけてルイゼ奧さんに部屋がりを申しこむだけあつて、氏は皺だらけの顔を白粉でたんねんに塗りこめてゐる貴下はまづ、詩を思案するより、ルイゼ奧さんにものをいふはずみに口邊の白粉層を落つことさないことです。

もう一人のホオゼ偏執者、床屋の下剃りマンデルシユタムは、これはまた、ホオゼに失戀しても口笛十五分で痛手を忘れてしまひさうな若者だ。萬事にかけてしつつこいスカロン氏の戀敵に丁度いい。

ドイタア未亡人はまた御境遇なりに腐りかかつた牡丹の花のやうにお美しい未亡人ぶりです。この畫のなかで誰にいちばんイツトがありますかと聞かれたら（聞き手はむろんあなた御自身ですとも）むろん、あなた御自身ですとも。御安心なさい、ルイゼが六度ホオゼを落しても、あなたのイツトの六分の一も放散できやしません。それでドイタア未亡人、監督さんはこの畫で、原作にはゐない侯爵様を出してきてルイゼと一場の戀をさせ、スカロン氏がルイゼに情を示すのはその侯爵に手びきするための忠義だてだつたことになつてゐますが、この侯爵様はあつてもなくてもの人物です。それよりはエロ老年スカロン氏と、いとど濃艶なあなたとの、ちよつとしたほどの一場をみせて頂きたかつたのです。これこそ映畫に於ける獨逸だましひの火花です。

その他一束

ロベルト――しきりに「カザノヴ情史改題」とことわつてあるが一向カザノヴ情史らしくない畫だ。といふのは主演者イワン・モジユヒンの持つてゐるのは喬木の美で、伊達男の美ではないからだ。モジユヒンのカザノヴは絶えず呟いてゐる――役柄で仕方がないから女を追つかけてるんだぜ――。さうだともモジユヒン、まるで御苦勞さまなことだ。顯微鏡をもつてきたつて君にイツトがあるわけはない。いつそその十六世紀とやらの伊太利の畫をもぎ取つて、女ぎらひの役でもやるといいんだ。

場面場面は畫や 服裝やセツトや役者の 容貌によつて 非常に美し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

い。半年經つてもう一度みてもあまり退屈しないだらう。

このジエニイ・ユウゴオは非常に美しい。殊に男裝した彼女は端麗である。

最後の歌——市井のどこにでもころがつてる世話もの映畫。瑣末な戀愛ばなしは欠伸をしたい時にいいものだ。グスタアフ・フレエリヒも、市井なみな服裝をして市井なみな戀人になると、結局一人の平凡な市井兒にすぎない。

笑ふ女——このルウス・チヤタアトンは「サラアとその子」の時のやうに存在の影が濃くない。ただ曾つて「サラアとその子」を聽いた耳に彼女のせりふが靜かに滲みてくるだけだ。しかしこれはルウスを生かし切らうとしない原作の罪だ。幕切れで笑ふ女ルウスの笑ひ聲が一脈の佗しさを殘す。



ルウス・チヤタアトン

どの角度からみても胡椒の利かないクライヴ・ブルックは……めんど臭い、抹殺が何よりの讚辭だ。

裏町の悲劇——この監督さんはいい工合に氣永に生れついてゐますから、いまお幾つか知らないけれど、來世紀まで生きのびるでせう。ところで來世紀にもなつたら人間がテムポに疲れきつて一休みしたくなつてるでせうから、そしたら「裏町の悲劇」に劣らない舞臺劇的聲畫をどんどんお作りなさい。

「まあア、なんてお爺さんの息子ばかしたくさんある家庭なの」と誘ひだして一緒に來た夫人が吐息した。

吐息を吐きかけられた對手は「だから夏の映畫は犬も喰は……」といひたいところだ。まつたくムウア三兄弟といふのは三人ともいたつて若くない、いたつて爽かでない息子ぶりだ。

誘ひだして一緒に來た夫人への罪ほろぼしにもすこしムウア兄弟をこき下げたいのだが、夫人、このとほり紙がなくなりました。秋にはもいちど武藏野館にお伴して、新秋の星のやうな美男を發掘しませう。

一口噺——憎まれ口

口の惡い人が聞いた。

「婦人戰線てどういふ雜誌ですか？」

「アナキズムの主張に基いて婦人達が出してゐる雜誌だそうです」

「へえ？　ていひますと、アナキズムつて何ですか？」

「アナキズムは政治否定の立端から新らしい社會の建設を目指してゐるんでせう。」

「さうですか。婦人戰線を見てゐると、「女人藝術」とマルキストの惡口を云ひさへすれば自然に革命が出來るやうに見えますね。そうなんですか?!」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



未開社會に於ける性と抑壓

B・マリノウスキー
小林すみ子譯

第二章　傳統の鏡

一　母權社會の錯綜と神話

さて、第一章に於て出した問題第二の研究に着手する段取りとなつた。問題の二、即ち發生の方法も性質もエヂプス錯綜と異る母權社會の錯綜が、これも亦異る力で傳統や社會組織に働きかけるかどうかといふ事の研究、及び、傳說に見られると同樣に、土人の生活には彼等獨特の抑壓が判然と見られる、といふ事を示すにある。熱情が、嚴しいタブーや風習や法律に依る刑罰等で、傳統の範圍內にちやんと抑へつけられてゐる時、必ず罪惡や倒錯、精神錯亂等にはけ口を見出す。未開社會の單調な生活を折々震撼させる劇的な事件に於て、熱情は、母方の伯父に對する憎惡並びに肉親の妹への不倫な慾望を曝露させる。メラネシヤ土人の傳說は、又母系錯綜の鏡である。神話や童話、口碑及び魔術を調査すれば、母方の伯父に對する抑壓された憎惡——コンヴエンショナルな尊敬と協同の假面をかぶつた——が、空想を型つて作られ且つ抑壓された渴望で滿ちてゐる物語の中に溢出してゐるのを見るであらう。

殊に面白いのは、土人の戀の魔術とそれに關する神話である。戀の魔術の中にはあらゆる性的魅力や誘惑の力が備つてゐると信じられてゐる。此の魔術は、兄弟不倫の不思議な悲劇的神話として言傳へられる、昔のある劇的事件に端を發するものと土人は見做してゐる。斯樣に、家族間の社會的關係の記述や、親族の分析等に依り確證された狀態は又、メラネシア土人の文化を研究する事で單獨に證明され得るであらう。

二　疾病と倒錯

論文中、此の章に提出された論據は稍統一を缺いてゐる。私はある點に就いては十分知識を持つてゐるが、ある點では自分の無智又

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

は單なる知識の缺乏を告白しなければならないであらう。さういふ所では、問題を解明するといふよりは寧ろ單に記述する事に止めておかう。之は一部分私の、精神病に關する精密な知識の缺乏に起因し、一部は正則な手法に依り土人の精神分析を行ふ事が不可能であつた事に起因する。又材料——殊にトロブリアンド島程長く滯在せず、同島の土人達程の好意を寄せられなかつた他の部族で聚集した材料の、避け難いむらにも依る。

先づ私の「表」の內一番缺點だらけな項目から始め樣。此處に神經症と精神病に就いての疑問が起つて來る。我々社會とトロブリアンド島に於ける小兒の發達の、比較報告に依り、母系社會の錯綜は小兒時代の後期に形成され、且つ親しい內輪以外の所に作られるといふ事や、ショックを與へるにしても我々社會と比較すれば僅少である事、又錯綜の起原が競爭に基いてゐる場合が多くて、その愛慾的な妨害は幼兒性慾まで遡つてゐない、といふ樣な事を既に見たのであつた。であるから、フロイドの神經症說は、我々をして小兒時代の外傷に基く神經症卽ち交付神經症に對して、餘り期待をかけさせなくなつたのである。該博な精神分析學者が、私と同樣な方法でトロブリアンド土人を調査なし得なかつた事は實に遺憾である。彼なれば、精神分析學の臆說に何か興味有る側面觀を投與へる事が出來得たらうと私は思ふ。

トロブリアンド人を研究するのに、彼等をヨーロッパ人と比較する事は土俗學者に取つて無駄な事だらう。何故ならば、我々社會には局面を複雜化し、精神病形成に與つて力ある無數の色々な要因があるからである。トロブリアンド島から約三十哩南方のアンフレット諸島には、種族も風習も言語も全く前者と等しい民族が住んでゐるが、社會組織だけは非常に異り、嚴しい性道德を持つてゐる。卽ち結婚前の性交渉は惡しとされ、性的自由を擁護する樣な制度が無い。一方家庭生活は遙かに親密の度を增してゐる。母系ではあるが、もつと發達した家長權があり、これは性的抑壓と結付いて、子供時代の光景を我々社會のそれによく似たものとする。

此の問題に就いての私の限りある知識を以てしても、此の土人達の神經症的性質から受けた印象は全く異つたものだつたと申せる。

トロブリアンドでは多くの土人を親しく知り、會釋程度の知己は更に多數を知つて居たが、ヒステリカルな若しくは神經衰弱的な男女は唯の一人も指摘する事が出來なかつた。神經質な顏面痙攣や、强迫行爲又は强迫觀念等を發見する事は出來なかつたのである。

土人の病理學體系——勿論それは魔術への信仰を土台として建てられたものであるが、病の徵候に關しては中々正鵠を得てゐる。——には、二ツの精神錯亂の範疇がある。その一つナゴワは、クレチン病（甲狀腺肥大の爲白痴となる病——譯者）や白痴に相當し、又言語に缺陷ある人をも含む。もう一つはグワイルワと稱して、大體氣狂ひに相當し、時々亂暴や亂心の發作を起す人を含んでゐる。トロブリアンドの土人は、近所のアンフレット島やダントレカストオ島に異つたタイプの魔術があつて、自分達のやり方と違ふ影響を精神に及ぼし、且つその影響の大小に從ひ强迫行爲や神經痙攣や、種々な强迫觀念などの症狀を現はす、といふ事をよく知つて居る。ア

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

ンフレット島に於ける數ケ月の滯在中、最初の且つ最大の印象は、此處の土人は神經衰弱的民族だといふ事であつた。明け放しで快活で、親切で接近し易いトロブリアンド人の中からやつて來た者にとつて、此の民族の新來者に對する猜疑心や根氣の續かぬ事、横柄な要求、その癖みつちり仕事をやらされるとすぐ參つてしまひ、極端に神經質になる事等は一驚に價する。私が村へ上陸した時、女達は逃去つてしまひ、少數の老婆を除く外は滯在中一人も出て來なかつた。こうした一般光景を離れても、私は恐ろしく神經質な多數の人間を直ぐ發見したのである。彼等は或る恐怖の爲噓を吐くか、或は多くの細い質問に興奮して遂に怒出すかどちらかなので、報告者として使用する事は出來なかつた。トロブリアンド人には、靈媒でさへアブノーマルな人間程取亂さないといふ特徴がある。トロブリアンドの魔術は、男達の手で「科學的」方法――超自然的なものへの願望を現はした方法――により行はれるが、南方諸島では「飛行する魔法使」がゐて魔術を行ふ。そしてその幾分かは、此の世のものとも思へぬ古への物語りめいた魔女が分擔して居る。私の幼稚な土俗學的研究は役立つたとはいへ上記の理由に依り、トロブリアンド人に對したと同樣な方法や親しさで研究する事は出來なかつた。他の民族社會では總ての狀態が、アンフレット島以上に抑壓的ですらあつた。ニューギニアの南方沿岸に住んでゐるマイル一族は父系で、家族内に確立した父權を持ち、性道德はかなり嚴重である。此の土人間には神經衰弱の部類にはいる多くの人がゐる事に氣が付いた。で、勿論之等は、土俗學的報告者として用を成さなかつた。

併し乍ら之等の假定的な――全くの臆測ではないといへ――注意は、皆只問題を擧げ、解結の可能性が一番多いものを指示する事が目的なのである。問題は夫故こうである。文化の同一水準にある母系及び父系の社會を數多研究する事、性的抑壓や家庭組織の變化を記錄する事、それから性的及び家庭的抑壓と、ヒステリー症や强迫神經症の蔓延との關係を調査する事である。各民族が、思ひ〱の生活樣式を取つてゐるメラネシアの狀態は、此の目的に叶ふ樣に天然自然配置された、試驗臺の樣なものである。

此の問題について、フロイド說のお蔭で解釋なし得るもう一つの點は、性的倒錯と性的抑壓の關聯である。フロイドは、幼兒の性慾過程と後年の倒錯との間に深い關係が存する事を示した。彼の說に基けば、幼兒性慾の發達に自由を與へ干涉しないトロブリアンド土人の樣なやり放しの民族には、倒錯が極度に減少してゐるべきである。事實トロブリアンドではさうである。同性愛は、他の部族間には存在する事が知られて居り、トロブリアンド人は、汚らはしい奇怪な行爲と見做してゐる。同性愛が、同島土人間に發生したのは、白人の影響、特に白人の道德の影響に依るのみである。支部教會で、男女の兒童は嚴しく隔離された建物にそれ〲閉込められ、多くの同性と共に押込められてゐるので、慾望を滿たす爲には一番手近の方法に依らねばならなくなる。これ以來、トロブリアンド人が皆正當と見做してゐる事は禁じられてしまつたのである。傳導に服してゐる土人やそうでない土人を非常に綿密に調査した所、こんな不合理な非科學的方法で白人の道德を强ひられた者の間では、同

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

性愛は茶飯事であつた。だが兎に角、「惡行をする者」が現場を押へられ、他の村――行爲を續け樣としても叱責や嘲弄に表はれてゐる土民の道德の下に欲望を放棄せねばならなくなる樣な箇所――へ、恥づべき追放をされた事は數件あつた。私は又南方のアンフレット諸島やダントレカストオ群島ではモッと瀰蔓してゐるだらうと想像してよい理由を持つてゐる。併し此の重要な問題を細部に亘り研究する事が不可能であつた事を、再び遺憾に思はなければならない。

三　夢と行爲

さて我々は、トロブリアンドの母系家族の全き情操が、如何なる風に土人の文化や社會機構に現はれてゐるかを研究せねばならない。餘り此の問題に深入りすると、部族生活のあらゆる具象を臨床的見地から細密に調査せねばならなくなる。であるから、我々は事實を淘汰し最も要を得た箇所を拾ひ出さねばならないであらう。之れ等は、略二つの範疇に區分なし得る。一は自由な幻想、二は傳說の材料である。始めの類には、各自の想像の產物なる夢や空想、秘かな欲望や理想等が屬する。之等は各個人の生活から來り、人格の精神力に依つて像造られる。此の部類には、思考や夢中に於ける幻想の表はれのみならず、行爲に於けるそれをも數へる事が可能であるだらう。何故なら、犯罪若しくは輿論を犯した不穩當な行爲は、押付けられ熱情が法律や道德の抑壓力を破壞した時に、遂行されるものであるから。斯樣な行爲の中には、理想の力と熱情の深さを共に測る事が出來る。これから各個人が一時的に風習の枷を振ひ落し、抑壓された要素や、抑壓力に對抗する葛藤を曝露する所の夢と行爲の部類に足を向け樣。

夢と空想は、トロブリアンド島のメラネシア人間で研究するのに、決して容易な題目ではない。明らかに彼等は夢を見る事が非常に稀で、興味も餘り持たず自發的に語出す事も少く、且つ普通の夢が豫言的その他の重大性を持つてゐるとは思つてはゐないし、どんな夢についても何等象徵的解釋の鍵を持つてゐない。之等の事は此の土人に顯著な特色であつて、此の點他の土人と異る樣に思はれる。屢々やつた事だが、直接に問題にぶつかつて行き、私の報告者達に夢を見たかどうか、若し見たなら如何なる夢であつたかをたづねる時、稀には例外もあるが大抵答は否定的なものであつた。之に對して我々は問返さう。之は、性がどの道禁縛されてない抑壓されぬ社會を我々が扱つてゐる、といふ事から來る夢の缺如、否、夢に對する興味の缺如なのであらうか。それとも、彼等の「錯綜」が薄弱で發生が晩く、幼兒時代の要素を餘り含んでゐないからさうなのであらうか。自由な夢が、稀である事や強い影響の皆無、記憶に、殘つてゐない事等より從つて神經症の缺如、といふ結論はフロイド說の大體と略一致するものである。何故ならば、彼の學說は滿たされぬ性欲、殊に幼時に於て激しく抑壓された如き性衝動若しくはそれに準ずる衝動が、夢の主因である事を斷言してゐる。此の疑問に對して滿足な解答を與へるには、文化程度も生活樣式も等しく抑壓だけは相異る二つの社會の、比較材料を豐富に蒐集する事に依つてのみ達せられるであらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

私は之迄「自由な夢」といふ辭句を用ひて來た。といふわけは、とり止めもない幻想とも一定の幻想とも定め難い、一聯の夢が存在するからである。それ等は傳統的の命令に沿ふてゐるので、「職業上の夢」と申しても差支あるまい。例へば、何か計畫中や仕事を實行中の人が或る場合に見る、自己の仕事についての夢の如きがそれである。漁獵の指揮者達は、天候や淺洲となる箇所や、最も好都合な日取り等に就いて夢見る。そしてそれに從つて命令やいましめを與へる。外國へ行く貿易隊を監督する人々はクラと稱ばれ、儀式的な彼等の交易の成否を夢見ると思はれてゐる。就中、魔術師は魔術の執行と結付いてゐる夢を見る。又、もう一つ、魔術に關聯した豫報的な若しくは傳統的な形があるが、それは呪文や儀式の直接な結果として現はれて來る。嚴そかな海外交易を行ふに際しては一種の呪文が行はれ、その結果相手の心に直接響いて夢を見させ、その夢に依り相手が交易の慾望を起すと信じられてゐる。斯樣に、全く面白い事であるが土人達はフロイドの夢の學説を、逆に行つた形である。彼等に取つて夢は願望の源なのである。實際此の傳統的な夢の類はフロイド説に精通してゐるものゝ樣だ。何故ならばこの夢は、魔術師自身の慾望の投影であるからだ。戀の魔術の犠牲者は、夢の中で烈しい渇望を感じるが、それは魔術の執行者の心的狀態と同じものである。又魔術執行者自身の心中に願望を増大さす樣な華々しい交易の光景を、その儘相手方のクラが夢見ると思はれてゐる。

こういふ夢は、或は單に語り草とされ、其の存在は想像に止まつてゐたかも知れないが、實際私の所にはちよい／＼魔術師が自らやつて來て、大漁の夢を見たからそれをあてに、遠征隊を組織し樣と思つてゐる、といふ樣な事を語つたのであつた。又菜園の魔法使は、久しい旱魃の夢を見たから適當な命令を下さねばならない、と物語るのであつた。例年の祖先の祭典期間に、二度土人の夢を記錄する機會に遭遇した。兩方とも祭典に關係して居り、一人の土人は祭の方法に滿足してゐない靈魂と會話を交した夢を見たと言つた。豫報的な夢のもう一つの類は、赤ン坊の誕生に關したものである。未來の母は、夢の中に故人となつた親族の一人から受胎を告げられるのである。

豫報的な又は職業上の夢の中には、殊に興味深い性的なものがある。男子が、夜中ある婦人の訪問を受ける夢を見たとする。夢中に語らつた彼は、目覺めた折莚の上に××してゐる事を發見するだらう。そして妻には此の事を隱して置くが、夢中の出來事を現實化し、その婦人と情事を始め樣とするであらう。何故なら此の夢は、彼を訪問した婦人が戀の魔術を行つた爲であつて、彼を愛してゐる事を意味する。斯樣な夢は、夢の訪問者と情事を試み樣とする後日譚と共に、土人達の打明話に數多く聞いて居る。

土人からエロチックな夢物語を聞くや否や、必然的に私は近親不倫の夢の形跡を尋ね樣として熱心になつた。「お×さんがこんな工合に現はれて來る夢を見た事がありますか。」

といふ質問に對して答はいつも、驚いた樣子も無い靜かな否定であつた。「母親は禁じられてゐます。そんな夢はトナゴワ（低能者）なら見るかも知れませんが。それに母親は年とつてゐますから、そ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

んな事は起りつこありません。」けれども、妹に關して質問が出される時はいつも、まるきり違つた答が得られる。勿論、男子に直接こういふたぐひの質問を發したり、共に論じたりしてはならない事を、私はよく知つては居たが、誰か「ほかの人」で、こういふ夢を見た者があるかどうか、と遠廻しに訊ねてからの反應は常にいきどほりであつた。そして、暫しは何の答も無く、當惑した樣な沈默の後、報告者は話題を轉じてしまふのが常であつた。或る者は眞顔になり、或る者は怒つて烈しく否定するのであつた。けれど、最もたちの良い報告者達から少しづつ引出して、とう〳〵終ひに眞相を曝いた。そして、眞の狀態は彼等の意見とは相違してゐる事を發見した。「ほかの人」がこんな夢を見る事は、事實皆知つてゐるのである——「人は時々悲しくなり、恥ぢ、不機嫌になる事があります。何故かと云ふに、血を分けた×と關係した夢を見たので、こんな事は、思つただけで恥かしくなります。」と、人は言ふであらう。事實これは、存在を知られてゐる典型的な夢の一つ——屢々見られ、而も常人の心に憑きまとひ、かき擾すもの——である事を發見した。これが事實であるといふ事は、他の材料殊に神話や傳說に依つて確められるであらう。

繰返して言ふが、兄妹不倫は、族外結婚の掟——これは氏族を同じうする女性と關係する事を、堅く禁じてゐる——に悖る最も言語同斷な行爲である。併し、兄妹不倫か極度に恐れられてゐるとは言へ、その實行に烈しい困難を伴ふだけに、氏族外結婚制を犯す事は又、素的な、やつてみたい事でもある。從つて、氏族內不倫に關する夢は非常に多いのである。

斯樣に色々なタイプの近親不倫的な夢を比較してみるに、母は殆ど夢中には現はれて來ず、現はれたにしても何等深い印象を殘す事が無い、又、もつと遠緣の女性の夢は快い印象を殘すが、妹に對する不倫な夢は深い苦痛な記憶を殘す、といふ樣な事を夫々假定なし得る理由が存在する。之こそ我々が期待して居つた所のものだらう。何故ならば、土人の性的發達過程を調査した時に既に見た事だが、母である場合は何の誘惑も無かつたが、妹に對しては烈しい然し強く抑壓された誘惑があり、同氏族の女性には、夫程抑壓されぬ際どい誘惑が存在して居つた。

兄妹不倫は非常な恐怖感を以て眺められてゐるので、土人の生活にくわしい觀察者も、そんな事は起りつこないと、最初は自信有り氣に斷言するであらう。けれどもフロイド學者は疑の目を向けるに違ひない。そしてより綿密な調査で、そうした疑ひが全く正しいものである事が發見されるであらう。兄妹不倫は昔でさへ存在してゐた。そして特に、マラシといふ勢力有る氏族の紊亂した家庭の物語が、今も傳へられてゐる。舊來の道德や掟が、僞造的クリスト敎道德の勢力に打負かされ、白人のいはゆる法律や規則が擴められた今日、部族の傳統で抑壓されてゐた熱情は、以前に增した激しさで公然と躍り出た。人々が、低聲のささやきでではあつたが斷呼として、自己の妹と關係した兄を非難してゐた場合を、三四件私は記錄して居る。その內の一つは、主人公達の札附きの性格と、それに絡る多くの醜聞とで群を拔いてゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

オコプコプのモカダユは有名な歌手であつた。世の多くの歌手の樣に、彼も亦婦人間に少からぬ名聲を博して居た。「何故なら、咽喉はウキラ（蘆）の樣な長い通路であり、二人はそれに依り、お互を牽き合ふ。」「美しい聲を持つてゐる男は女好きであり、女達も彼を好く。」と土人達は言つてゐる。如何にして彼がオリヴイレヴイで、酋長の妻と一人殘らず××したか、又そちこちの既婚婦人を如何にして誘惑したか、といふ樣な話が數多くある。一時モカダユは靈媒として華々しい、非常に有利な經歷を有してゐた。そして、途方も無い現象、殊に一旦靈界へ移入された貴重品の再現が、彼の小屋の中でよく起つてゐた。然し軈て假面を剝がれ、再現された品は單に彼の所有物のみに止まつてゐた事が發覺した。

それから、彼の家庭內に、×との不倫な戀愛事件が持上つた。彼女は美しい乙女であつた。そしてトロブリアンド人であるから勿論、戀人を一ぱい持つてゐた。所が急に戀人を皆退け、品行が良くなつて來たので、棄てられた事をお互に打明け合つた村の若者達は、一體何事が起つたのか見究め樣と決議した。此の專橫な戀敵が誰であるにしても、事件は彼女の兩親の家で起つてゐるらしいといふ事が直ぐ解つたので、兩親の不在な或る夜、棄てられた戀人達は小屋に穴を穿つて覗き込んだ所、度膽を拔かれてしまつた。醜行の現場を押へたのであつた。恐るべき醜聞が村中に擴まつた。昔ならば確かに此の罪人共は殺される所であるが、この場合、彼等は飽くまでも白ばくれて、一方が他人と結婚して村を去るまで、不倫な關係を續ける事が出來たのである。

實際の××不倫の外に、前に述べた如く、スヴアソヴアと稱する族外婚制違反が有る。男子に、同じ氏族の女性は禁じられて居り、掟を破つた者は破廉恥罪の刑罰を科せられ、且つ全身に腫物が吹出ると思はれてゐる。此の第二番目の、疾患を癒す爲には一種の魔術が存在し、多くの報告者達がしたり顏に作り笑ひしながら語つた所に依れば、それは絕對有効なものださうである。こういふ事件に對する道德的羞恥感は實際は僅少なもので、不義者は多くの職業上の道德や規則を犯した者と同樣、痛快な奴だとさへ思はれてゐる。ドンファンで、自惚れてゐる若者は未婚の娘を尻目にかけて、常に既婚婦人殊に酋長の妻と關係し樣とし、若しくはスヴアソヴアをやらかさうと努めてゐる。「スヴアソヴア・ヨク」（族外婚制の違反者！）といふ言葉は「面白い奴だ！」と同じく響きおどけた讚辭でもある

畢竟、××不倫のタブーは兄妹不倫に於ける程誇張され且つ嚴重でないにも拘らず、母子不倫なるものは只の一件も發見されず、その疑ひすらもなかつた、といふ否定的な證言を述べ得るであらう。上述のトロブリアンド人の典型的家族情操に關する概略中、只父娘關係のみは、家長制度社會のそれと全く一致してゐるといふ事を述べておいた。依つて期待される如く、父×不倫は決して珍しい事件ではなかつたのである。二三の事件は、報告者が何と言はうと兎に角疑ふ餘地が無い樣に見えた。その一つのヒロインなる、或る乙女は××と關係する一方、當時私に仕へてくれた若者の戀人でもあつた。若者は彼女との結婚を希望し、財政上や道德上の援助を私に乞ふたのであつた。それ故不倫を細部迄に知る事が出來、且つその肉

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

親關係とか永續性等に付いて、あらゆる理解を持ち得たと信ずる。
此處までは、性的タブーとそれを破らうとする抑壓された慾望――夢や犯罪や、熱情的行爲などに現はれてゐる――に就いて、語つて來た。だが抑壓された犯罪的慾望で滿ちた關係が、今一つある。即ち、婦長權――母の兄に對する、男子の關係である。此處に夢に關して、特記すべき興味深い事柄がある。豫言的な夢の内、伯父の死を前以て夢見るのは、彼の妹の息子なるヴェヨラ（眞の血屬）であると信じられて居る。又、夢でなしに行爲の範疇に屬する、今一つの重大な事柄は、魔術に關連してゐる。病の魔術を會得した者は、最初の犧牲者を母方の近親から撰ばなければならない。其の場合、自己の母親を撰ぶ者も往々にしてあるさうである。それで、誰それが魔法を習つてゐるといふ事が知れると、眞の親族達即ち母方の近親は、怖氣を振つて自己の身邊を警戒するのが慣はしである。
實際の犯罪行爲の記錄の中にも、此の問題と傾向を同じうするものが、數件ある。その中の一件は、當時私が住んでゐた所から約三分で行けるオサポラ村に起つたもので、その主人公達は私と昵懇の間柄であつた。それには三人の兄弟があり、一番上は盲目であつた。末弟は、檳榔子を未熟のうちに取り入れ、且つ盲目の兄の分迄奪ふのが常であつた。或る日盲人はそれを知つて激怒し、斧を摑むなり末弟を傷けた所、反つて中の弟の爲槍で刺殺されてしまつた。犯人は、白人の總督から禁錮一ヶ年を宣告された。しかし土人達は、これを怪しからぬ不法だと思つた。兄弟間の殺害は、確かに恐ろしい犯罪であり悲劇ではあるが、純然たる內輪の出來事である。從つて第三者が立入るべきで無く、只傍觀して、恐怖と憐れみを示してゐればそれでよいのであつた。私の記錄中にはまだその他、母系家族内で行はれた激しい口論や爭鬪や、一二の殺人事件が有る。然るに×殺しは、引用し樣にも只の一件も無いのである。而も尚既に述べた如く、土人に取つて×殺しは特別な悲劇でも何でもなく、父自身の氏族とさへ話を付ければ容易に出來る仕事なのである。
家庭的事件――部族の掟を根こそぎ震撼させるこういふ犯罪や悲劇から離れてみても、確固たる平靜な表面も皮一重の下は熱情の沸りに過ぎない事を示す、數多の小事件が存在する。既に見た如く、社會は傳統的規範と理想とを建設し、それ等を衞る爲に拘束物や防壁を築いた。而も當の防壁は、或る種の感情的反動を換起してゐるのである。
私の社會學的研究過程に於て、慾望や性向の暗流が、因襲や道德法律と反對の方向に走つてゐるのを、段々認識して來た時程驚かされた事はない。母權――血屬のつながりは母系を通してのみ存在し、且つ此の血緣は、義務や誠同樣に愛を要求せねばならない、といふ法則は傳統の命令である。併し實際に於ては、父親との親交や愛情、父との共同生活に對する私かな興味や願望等が、族外結婚制の防害を振拂はうとする慾望と結合してゐる。之等は、個人の性向や、各自の生活經驗から溢出る生きた力である。且つ之等の力は、兄弟間や、母の兄と甥との間に、永劫に敵意の火花を煽り立てゝゐるのである。夫故個人の眞の感情の中には、母系の傳統的法則に對する、いはゞ社會學的否定がある事を我々は認めるものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



新興女流作家

板垣直子

身邊の雜事や、安價な戀愛を描いた文學を商品化して、非常な廢頽期を來してゐた日本の文壇は、プロレタリア文學の勃興によつて、始めて活氣を示した。勃興以來日本のプロレタリア文學は、非常な勢で作者の數を增し、讀者の範圍を廣めた。如何に階級思想に反感を持ち、プロレタリア文學を輕侮する者と雖も、日本のプロレタリア文學に就いて、以上の事實を認めないわけにゆくまい。

何事に對しても敏感な日本人は、階級思想の刺戟を受ける事にも早かつたが、それを基礎とするプロレタリア文學の輸入にも機敏であつた。今では、日本のプロレタリア文壇は、當時の黎明期をぬけて、發展の階段に入つた。曾ては徒らに興奮し、徒らに憤り、徒らに吠へ、徒らに暴き、作品がイデオロギーの怪物であつたが、今では作家の試みが第二階段に入つた。技巧を持合せなかつた作家は、技巧の獲得に、技巧を持つてゐた者は轉換に向つた。今それらの代表的な指例をあげやう。(一)岩藤氏の「鐵」はいろ〳〵な人に推賞された作品である。然し形式の方面では、これは可成拙い作品である。構成の密度が緩んでゐる。表現もクナップではない。故にもし深刻な素材の巧みな取合と、プロレタリアとしての作者の體驗がなかつたならば、此作品は決して注目を受ける域に達し得なかつたであらふ。然るに最近發表された「訓令工事」は、「鐵」よりも遙かに藝術的に磨かれて、非常に洗鍊された作品として、作者の技巧の進展を示してゐる。(二)又最初から優れたプロレタリア・リアリズムの作家として現はれた小林氏は、「暴風警戒報」以後方向の轉換を示してゐる。先づ形式の事を云ふと、「不在地主」迄は單にプロレタリア・リアリズムで進んで來た。然しそれ以後の二作からは、讀者によりよく解らせる爲の文章と成つた。それがプロレタリア・リアリズムの墮落でなくよりよき醇化透徹であるのは勿論であるが、從つて取扱ふものも、プロレタリア運動の理論や實際に就いての生存批評や、運動の過程そのものが、教示的に述べられ始めた。プロレ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

タリア文學が民衆の搾取やストライキを取扱つてゐた時代は、プロレタリアの自覺の爲であつた。然し今や此作家はプロレタリア運動そのものの爲に、進んで來たのである。これはプロレタリア文學の歩むべき方向の一つに進んだまでであつて、此傾向を非藝術的と云ふ者があるが、それはプロレタリア文學の性質を知らない者である。此場合でも扱ひ方が充分藝術的でありうる。此階級に入つたプロレタリア文學では、世界が遥かに落付いて來て魂の人生が描かれ始める。たとへば運動に生きる者の生活や愛の犠牲が、充分文學的な崇高さを持つて描かれる――小林氏の作品に現に認める如く。曾てフローベルの官能描寫に、レッシングの思想的作品に、感激した我々は、プロレタリア文學にも同様高い深い意味を與へられた人生を示された。それにつけても落付いて來た此新らしい型の文學に生かされた魅力に就いて最早デルタイの何かを語るのを聞き得ないのは殘念である――文學に就いても、深い教養と體驗に基付いて、多くの優れた業跡を殘したデルタイの言葉を――(三)又批評家の側に就いて云つても、プロレタリア文學の基本的な問題、例へば政治的價値と藝術的價値、即ちイデオロギーと技巧の問題の如きも、既に解答を與へられた。――餘りに解り切つたこれらの問題が、日本に於けるプロレタリア文學の勃興期に、あれ程矢釜しく論議されなければならなかつたのを知つたら、後世の文學史家は笑ふであらふ。

　プロレタリア文學が文壇に活氣を與へたのは、單に頽廢期に新らしいものが出現したからではない。一定のイデオロギーが盛られて、優秀な作品の場合には、偉大な効果が生かされたからである。もと〳〵所謂マルキシズム文學理論は、藝術の長い傳統を知り、それに就いて學的教養ある者には首肯しがたい理論である。例へばプレハーノフの藝術論を見よ。如何に彼は過去の藝術の中から、自說に好都合な示例丈拾つてゐる事よ。プレハーノフも亦多くのマルキシストと同様に、藝術そのものゝ認識が足りない。換言すれば人生そのものゝ理解が狭い。彼の唯物論が拾集し、綴り合せた極めて勝手な藝術論は、藝術の極些少な一觀點に過ぎない。が然し斯る異論とは別に、プロレタリア文學其ものには、優れた藝術品がある。何となれば藝術の理論は、常に藝術品の後から行くものであり、プロレタリア文學も亦、其生誕に際しては、主要な點で藝術一般と共通な意識を基礎とするからである。それ故マルキシストが一齊に眉を顰めるであらふかの貴族趣味の最も濃厚な作品、メリケの「プラーグへの旅にあるモツアルト」の典雅なロココ氣分に心ゆく許り陶酔すると同じ我々が、プロレタリア文學の偉大な肉迫力にも深く感激する。此場合我々を動かすものは、兩者の持合せる藝術的効果――形式其他一切の要素が協力して與へる効果である。

　プロレタリア文學はイデオロギーものだが、技巧の拙い作品は、題材の性質上唯倦怠を呼ぶ許りで、實に荒んだ無意味なものとなる。此危險はイデオロギーものでない作品の場合よりも多い。又肝心のイデオロギーに技巧が拙いと全く生れて來ない。最初日本のプロレタリア作家は、イデオロギー許り大切にした。又始めから技巧を持たない作家もゐた。それらの作家の作品が、最初プロレタリア文學を輕蔑させる原因となつたであらふ。然し少數のプロレタリア

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

作家と多くのプロレタリア作家自身の反省とが、漸くプロレタリア文學の本道を開拓した。かくて今日のプロレタリア文學の優れたものが、クラシックの列に入つて後世に殘るべき事は餘りに明らかだ。

プロレタリア作家は勞働者出でなければならぬと、マルキシストは云ふが必ずしも然ふ云ふ必要がない。藝術的才能は經驗や努力や感激から生れない。鋭い洞察力と豐富な表現力があるならば、特殊な環境にある勞働者の作業や生活を充分取扱ふ事が出來る。體驗を持つてゐて天賦の乏しい作家の及ぶところではない。

プロレタリア運動の目的の爲に存立するプロレタリア文學は、明らかに藝術の爲の藝術ではない。プロレタリア文學の性質上さうである。プロレタリアが社會の主權を握つたと假定し、その時には今日の階級鬪爭がなくなるであらうか。なくなれば今日の鬪爭文學の必要もなくなるわけである。超階級的な文學が生れる。それは最早プロレタリア文學ではない。然し或人々の考へる樣に、果して超階級的社會が生れるであらふか。文化の發展の跡を見、ヘーゲルの論證を信ずる我々は、今の第四階級が目的を達した後に、更に第五階級に相當するものが、何れの形式かで必ず現はれる事を信ずる。

プロレタリア文學がイデオロギーものである爲に、藝術の價値が少ないと云ふ事は云へない。すべて傾向藝術は、それの發生した時代を離れると、大衆は失ふであらふ。然し作品其ものゝ持つてゐる藝術的價値は失はれない。ロシヤに於ける十九世紀の農奴解放の文學、北歐に發生した十九世紀の婦人問題の文學、それらは今も各よの部門の中で指導的地歩を保つてゐる。大衆を失つたにしても。

現代文化に共通な特徴として現はれた合理主義は、文學に於ては、ドイツの新卽物主義、日本に於けるプロレタリア・リアリズムと成つた。日本のプロレタリア・リアリズムはドイツの新卽物主義の主張と通じてゐる。いろ〳〵な國に、卽物主義は過去にあつた。今唱へられてゐるのは「新」卽物主義である。單なる記錄でもなく單なる省略でもない。事物に卽して本質を凝集的に浮上らせる手法である。寧ろそれは極めて近代的な、迅速なテムポと凝集された繼續性とに構成された積極的な一つの形式である。故に完成したものを見ると極めて容易に思はれる此表現法は、その實天賦ある作家のみに許される形式である。プロレタリア・リアリズムが「新卽物主義」と無意識のうちに主張を同じくしたのは、宣傳煽動の新らしい方法が、かゝる手法によつて最もよく現代では効果をさめる事が出來るからである。何となれば此形式は過去の文學上のあらゆる運動の淸算されたる手法として獲得されたものと認める事が出來る。

然るにプロレタリア文學の先進國ロシヤでは、形式は以前として古いリアリズムに執してゐる。尤もその機運は見えてゐるにしても、此國の文學的傳統は、その將來を幸してゐるやうに思はせない。今こゝに二つの偉大なプロレタリア文學を取つてみやう。セラフィモーウィッチの「鐵の流れ」は、クセノフフオンの「アナバシス」そつくりの感じを與へる主人公コジューフと云ふ英雄的人物の、革命軍を北コーカサスから北方の赤衞軍に合體させる鐵の如き行爲を歌つた力强い敍事詩である。言葉は老練で美しく驅使されてゐるが、形式に新しい所は全くなく、コンティヌイテートも惡い。又殺

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

風景でホーマーの敍事詩の持つ、渾然たる文學的魅力や、ドイツの「ニーベルンゲンの歌」のやうな複雜な大きさもない。そこへ行くと、形式の上では同樣に古く、結構も緩んでゐるが、グラトコフの「セメント」は遙かに文學的作品に成つてゐる。量から云つて大作であるが、質から云つても、混亂した社會相をあれ丈よく描き通した技量と眞實と熱とは、大作家のそれである。ガルエブの心理を寫すことが主眼であるにしても、民衆の喘ぎと魂の叫び、社會相が實によく出てゐる。而も混亂と同時に何と朗かに社會の變革が完成されてゐることよ。形式が古いと云つたが、作者は一人物一つの環境それ自身に就いて、說明的敍述を多くし過ぎる。又譬喩が入り過ぎる。工場や機械が、新時代の文學らしく取入れられてゐるが、その表現は少しも現代的に生かされてゐない。

ロシヤの文學は其傳統を見ても形式の練磨よりも內容本位に優れてゐるが、世界の先驅をなして世に贈つたプロレタリア文學の大作に就いても同樣な結果をとつた。ロシヤはその國民性上長篇が優れてゐる。「セメント」も可成の長篇――獨譯で四六版四百六十頁――である。近代の藝術論には需要價値が加へられた。藝術の爲の藝術の時代は既に過ぎた。たとへばこゝに極めて簡單な建物があるとして、もし其內部が非常に合理的に出來てゐるならば、それは立派な建築、卽ち造形藝術である。建築は元より始めから合目的性を持つてゐるものであるが、繪畫にしても、一人で描いて一人で樂しむ繪があるとすれば、それは現代に解釋された藝術的生命を持たない。またこゝに宮廷お抱への樂人があるとする。彼の作曲がもし宮廷專屬の特殊な管絃樂隊によらなければ、卽ち普通の管絃樂團によつては、演奏出來ない種類のものであるとする。さう云ふ音樂も亦、藝術的生命の一切である。社會的生命を持つ事が出來ない、文學者は自己の立場に從つて長篇を作る。然し時代のテムポが進み、讀者も有閑階級――もとは有閑であつた階級も、如何に今日では時代の急速なテムポに卷き込まれてしまつたことよ。――に限られなくなつた現代では、長篇は社會的生命を失ひかけてゐる。特にプロ　タリア階級を讀者に豫想するプロレタリア文學の場合は尚更である。

然し現代の日本で、短篇がより多く行はれてゐる理由は、生產過程の方面から說明される。作者は生活の資本を得る爲に創作を賣る。生活の資を得なければならぬ作家は、長篇に熟する時間や心境の餘裕を許されない。作者が手頃な形式に己の技巧を試みるやうになるのは當然である。他方に發表機關の經營者、卽ち營利本位の資本家は、商業政策上から、なる丈多くの作家を揃へて、雜誌の賣行を增さうとする。而も長篇を並べたのでは、藝術的効果を期待出來ないので、手頃に纏まりのよい作品を註文する樣になる。

然し時代の需要や生活の必要や營利業者の註文があつたとて、藝術は藝術家の表現衝動の所產である限り、或天才は思ふ存分の形式をかりて自己の表現慾を滿足させやうとする。長篇が當然要求される場合もあらう。文學史を見ると、十九世紀になつて一般に短篇がより多くなつてゐる。然し長篇も儼然として地步を保つてゐる。

文學一般の場合でも、問題とならない事はないが、特にプロレタリア文學の際には、大衆化と云ふ事が、考慮される。プロレタリア文

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

學は出來る丈廣い、範圍にその使命とするイデオロギーを浸透させなければならない。故にプロレタリア文學は、智識階級に屬しない勞働者や貧農等にも享受されうるやうに、少なくとも形式は出來る丈明快單純でなければならぬ。作者の方から歩み寄る此形式は、然し乍ら決してプロレタリア文學の通俗化若くは低下を意味しない。それは現在のプロレタリア・リアリズムの徹底醇化に他ならぬ。もし粗野な大衆に投じやうと、作者が意識的に下つた試みをするならば、結果は作品として價値を低下させる丈に止まる。而して「單純明快」と云ふ事は、特にプロレタリア文學の爲に要求される條件ではない。ギリシヤ以來文學の理想の中に數へられて來てゐる。

　プロレタリア運動は工場から——。プロレタリア文學が最も多く工場を背景とするのは當然である。プロレタリア運動に取つて大切な他の半分の要素、即ち女工の生活を、女性の立場から取扱つた「キヤラメル工場から」一卷の意義は極めて大きかつた。窪川氏はキヤラメル工場に於ける幼年女工の悲慘な生活を描いて、プロレタリア文壇に新らしい題材を開拓した。氏の作品の中で、技巧と心持とが合致した最も優れた出來榮を示してゐる短篇「キヤラメル工場から」は、廣くプロレタリア文壇を通じて意義ある收穫の一つである。それに次ぐ作品は姙婦女工を取扱つた「煙草工女」である。此作品に見る作者の眞摯な態度と題材の深刻さは、書店の爭議を取扱つたものにはない。そこには女學生趣味が感ぜられる。此作品集の大部分は、作品の一つ「自己紹介」に語られてゐる作品のそれ〴〵の時代の生活體驗を基礎にした創作として、そこには此小說集の持つ張みがある。それ故に此小說集は、境遇に虐げられて成長した若い魂の生活を綴つた長篇を讀む感を與へる。小林氏は「工場細胞」に、プロレタリア運動に於ける女性の獲得を描いた。窪川氏は獲得されたる女工として、藝術を通して、運動に參加してゐる。「研究會挿話」になると、文章の調子も格段に達者になり、題材も自己を離れた。一人の作家が辿るものと豫想される發展の階段に入つた。然し此作家らしい味ひは、遙かに第一作品集の方に多い。第二作品集の方では、「勞働者の家」は小品らしい味ひがいゝ。「レストラン洛陽」は相當の長篇となるべき性質のもので、この短篇でも可成な成功をとげてゐる。レストランに於けるいろ〳〵な女給の生活が描かれ、次いで彼女等の沒落してゆく事情が來る。それがレストラン洛陽そのものゝ沒落と一緒になつてよけいに陰氣な結果になる。此作者にはプロレタリア文學に必要な底力がないが、穩かな其筆色は、プロレタリア作家の中で、棄て難い一種の魅力を持つてゐる。

　中本たか子氏には「恐慌」、「朝の無禮」「鬪ひ」の作品集がある。前者は所許イデオロギーもの許り集められてゐる。然し此作品が各作品に盛つた筈のイデオロギーは何れも完全に生かされてゐない。可成な野心を持つて描くべき題材を捕へ乍ら、イデオロギッシな作品に纏め上げる力を持たない。此作者が一つの作品に描いて來た努力は、最後の大切な所に行くと必ずだいなしにされてしまふ。此作品集は可成種類に富んだ題材に充ちてゐる。然し何れの作品も効果を與へられてゐない。故に作品の印象は全く混同してしまふ。特に表現的手腕を要求するプロレタリア文學の如きは、氏の分野ではな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

い。「朝の無禮」の諸篇は、所謂モデルネエロテイクであらうか。然し結果は街頭のナンセンスに近い。――但しそれが今の日本のジャナリズムを充してゐるが。かゝる文學を前にすると、我々は過去に見た偉大な自然主義文學の或ものに、無限の敬意を新たに感じないでゐられない。「臨時休業」、「新聞紙が作つた海峽」が、作品の中からあげられるべきであらう。第二作品集にある題材の方が第一よりも作者に適してゐる。然しエロテイクもナンセンスに終つてはならない。修辭の多い譬喩の多い作者の文章は、才氣張つたやうだが輕く表皮を走つて行つて、極めて表現上の効果力に乏しい。

林芙美子氏の「放浪記」にをさめられる十五の短篇は、それ〴〵に面白いいゝもの許りである。全巻詩的雰圍氣に包まれてゐる。「放浪記以前」を始とし、「秋が來たんだ」「秋の唇」「下谷の家」など、それ〴〵に味ひがある。此作家は僅かの文學できび〳〵と描寫する技量を持つてゐる。此作者は抒情詩才に惠まれてゐるので、散文も荒涼でない。そして詩才ある作家の特權を利用して、散文の中に詩を挿入した事も渾然と文學的効果を增すのに役立つてゐる。此作品集で、作者は題材を外に求めてゐない。文字通り作者の放浪記、而も平凡な放浪記である。而し此放浪記は、作者の特殊な文才と體驗の表現に際しての作者の態度の眞實さ――此種の創作の場合に絶對的に大切な――によつて、無限の魅力を與へられる。故郷を持たず、母を戀ひ、貧しい放浪者として、世の中を輕い反抗的な心持で見る若い魂が、全巻に歌はれた。文章の間でちよい〳〵世の中に皮肉を投げる此詩人は、我々にハイネを想はせる。又他の意味で啄木やアミエルの事も思ひ起させる要素を此詩人は持つてゐる。此作家が自己を歌つた場合を我々は知つた。自己を離れた時の業跡を知りたい。「泉と眞珠と木賃宿」には、「放浪記」に見た落付と純粋さを認めない。作者が自己を離れた一つの場台である。然し「植民地で會つた女」は、落付のあるしんみりしたいゝものである。

平林たい子氏の作品には大家の風貌がある。此作家は豐かな天稟を持つてゐる。「敷設列車」、「石鹸工場の同志」、「毆る」、「耕地」におさめられてゐる作品の中で（同じ作品が餘りに多く種々な作品集に入つてゐるが）、無駄な作品は殆とない。「勞働者の妻」、「投げすてよ」、「嘲る」、「施療室にて」、「石鹼工場の同志」、「夜風」、「耕地」、「醬油工場」、「私の友人」、「ルークガーデンの上の月」、「生花と虱」、「足音」など、各々の名をあげれば際限がない。中でも「投げすてよ」、「勞働者の妻」、「嘲る」は實によい。「嘲る」は所謂プロレタリア文學ではない。實に深刻陰慘なもので、新興藝術派の岡田三郎氏の「母」の効果を想ひ出さ　る。――嘲るの中の竹の子を盗みにゆく話は、林氏の「粗忽者の涙」の中にも出て來て、日記の數行に片付けられてゐるが、平林氏は巧みに利用してゐる。（二人の作風の相違を示す迄にあげる）。平林氏の作品には、階級的題材を取つてゐる際にすらも、宣傳煽動を目的にする片々たる鬪爭文學に終らずに、より深刻な、より超階級的な人生の眞理を示した作品が生れる。平林氏は取材の上に偏することがなく、如何なる題材も支配しうる。文章は寧ろ地味でしつかりした力を持ち無駄がなく、作品にのぞむ技巧も確かである。女流作家通癖の薄つぺらな所や、感傷もない。均合を失

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

はぬ客觀的な態度で、事物を描いてゆく。女性に珍らしい例である。氏は單に女流作家中の第一人者である許りでなく、男子の作家達と並べても、群を拔いてゐる。我々は些細な作家的色彩や派を超越して、天分豐かな此女流作家の文學的生涯の長いことゝ大成とを祈つて止まない。我文壇に於ける平林氏の地位を外國に求めるならば、理論家にして創作家のル・メルテンよりも、貴族出ではあるが、人生に對する誤たざる認識によつて、多くの讀者を持つた現今のドイツ最大の女流作家エブナー・エッシエンバッハである。

平尾レート工場姉妹の斗爭

逢阪喜代

七月二十七日化粧品界のオヲソレテイ平尾賛平の經營するレート大阪工場は突然工場規定の改正を發表した。

工場規定の改正？ それは資本家平尾賛平にとつては改正であり改良であつたが其處に働く二百の婦人勞働者には改惡であり實質的賃銀値下げであつた。

佛の顔も三度と云ふが不景氣だ!!。やれ首切り賃銀値下げ、時間延長、臨休、工場閉鎖と様々の型態で押し寄する資本主義的産業合理化に殆んど餓死線に迄追ひ詰められて居るプロレタリアには此の上の待遇改惡は戰はない限り一家心中でもやるか説教強盜にでもならなければ納まらないのである。

平尾レートの姉妹も今回の工場規定改惡に依る收入減には斷乎として闘爭する事になつた。勞働者の唯一の武器であるストライキに參加するもの百八十名、その殆どは男子の隷屬物視されて居た婦人であつた。

平尾の暴逆に對して平尾の姉妹は一個の勞働者として封建的因襲を蹴飛ばして闘爭に乘り出したのである。處が、我々の最も憎むべき裏切者社會民主々義者全國大衆黨のダラ幹共がのそ〳〵と甘い鴨がヒツ掛かつたと云はんばかりにのさばりかへつて來た。

爭議團の戰闘的の姉妹は、彼等民主々義の指導振りに愛想をつかし、七月二十七日以來十日間を經過するに何等闘爭らしい闘爭をしないのに大奮慨なのだ。

傳單一枚はるのでは無し基金袋一つ作成するのぢやない。無論同産業の桃谷順天館、中山太陽堂等同業産業勞働者へのアヂ一つやらないのだ。遂に默し兼ねて、革命的勞働組合全協へ解消すべく戰つて居る大阪全産業勞働組合の青年部の指導を受けて斷然ゼネストを以て戰闘を開始する準備をして居る。

平尾レートの鬼は全從業員の結束に恐れて大阪工場は閉鎖する、全從業員は東京工場へ轉勤しろと云ひ出した。

然しレートは悲想な決意を以て工場移轉絶對反對、工場規定改惡反對を叫んで平尾の鬼をテツテイ的に叩き伏せると戰つて居る。

全國大衆黨ダラ連の叩き出しも近日中にヤツツケル事が出來ると闘爭心に燃え起つて居る。

全日本の婦人勞働者諸姉！

女人藝術誌上を通じて平尾レート爭議團の勝利の爲に徹底的應援を切望する。

一、レート化粧品のボイコット

二、爭議基金の募集

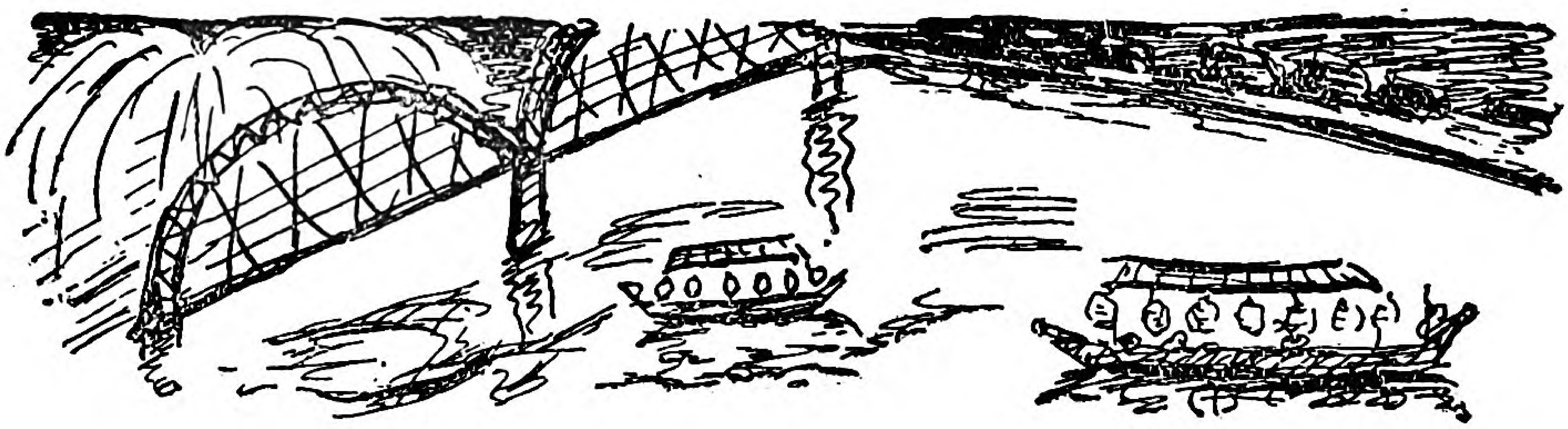
三、激勵文の送附

平尾レート百八十の姉妹は全日本の婦人勞働者を代表して戰つて居るのだから右の方法に基いてストライキが勝つ迄日本の婦人勞働者の堅い握手を求める次第である。

應援先大阪市北區國分寺町六七

大阪全産業勞働組合婦人部へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



霧の花火

今井邦子

七月二十日小雨あるなかに川開きの花火を見て

深き曇りに高くうちあげし花火の音さ霧にひびきおぼろに明かる

雨空に花火ひらきておぼろなり目鏡の玉にさ霧ふりつつ

船の上に大きくひらく花火ちかし霧に浮びて消ゆるたまゆら

霧のなかにたまゆらひらく菊の花こまやかにして消ゆるともしさ

たまゆらの光にはゆる花火の花ともしきかもよ花は消えつつ

つりぼしの光はしましのこりつつ夜の中空(なかぞら)の靜けさにあり

うつし身の吾にのこれる戀心はげしく燃(も)えて花火散りけり

うつし身に沁みておしめり燃え散りてかすかにひらく花火のひかり

前の船にもの食ひやめぬ女等(をみなら)は國なまりにて高く語りつ

うち止めの花火ひゞきてうらさむし河面ひろく船の灯みだる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



埃箱をあさる

後藤かつ子

東京のイーストサイドに對して、又此處は山の手沿線のあらゆる罪悪と不潔と病菌を一つ所にかき集めた様な町なのだ。

その泥沼の様なごみ箱の中にはしひたげられ、搾り取られてぽいと投込まれた人間がうようよと動いてゐる。彼等にはもう働く氣力と意志がなかつた。だから彼等はなるべく身體を酷使しないで食へる方法を考へ出した。そして彼等は寄生虫になつた。

資本主義社會の落す汚物を有難く押し頂いて生活するのだ。彼等は出來るだけ怠けて、ずるけて、盗んで、卑屈に物乞ひをする。ブルジョアジーは彼等を嘲罵しながらも彼等を排斥し様とはしない。ブルジョアジーの傲慢な、氣まぐれな、僞まん的な、ごまかしの喜捨を有難く押し戴いて生活する彼等だ。だから彼等にとつてブルジョアジーは神様より有難い。彼等はプロレタリアートの意識を持たない。ブルジョアジーによつて養はれてゐる犬でしかないのだ。そのかすでしかないのだ。彼等は夜が明けるとぞろぞろと資本主義の體内に食物を求めてはひ出して行く。

大道藝人。夜店商人。チンドン屋。門づけ。乞食、乞食、乞食…………

そして彼等は何かしら持つて來る。何んでも拾つて來る。だから彼等の巣は何時も汚なくつて臭くつて暗い。彼等はその暗い中でいろんな事をする。實際いろんな事を…………

ごみ箱の片隅に落つこちた部落だ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

朝鮮の勞働者のバラックが押しつぶされて並んでゐる。
そこから上手なアクセントで子供の聲が流れ出てくる………
「日本の人口は〇〇〇〇〇にして、其大部分は大和民族、他に少數の朝鮮人と臺灣人種を含む……朝鮮には總督府を置き……」
子供の聲は得意にひゞきわたる。子供は日本の小學校の五年生だそして彼は一番と云ふ有難い成績なのだ。だから親等は喜んで毎日八十錢の土方に安心して雇はれて行くのだ。
或る時この部落に、海の眞蒼に寒い裏日本の方から夏の風の樣にさわやかな紺絣を着た若い女が流れて來た…………
「毒消しはようござんすかねえ?……」
だがその微風の樣な聲は再び部落の外へは流れ出さなかつた。薄氣味悪い部落の暗がりの中に消え込んだまゝ。——。
けれども一番の子供は無心に聲を張上げる。
「第〇〇課朝鮮征伐。豐臣秀吉は…………」。
そして親等は安心して仕事に出掛けて行くのだ……。
ごみ箱の片隅に突立つてゐる建物だ。
赤煉瓦の方が小學校、木造洋館のけちな方が此の町にたつた一つの幼稚園なのだ。幼稚園と云ふよりも託兒所と云つた方がいゝのかも知れない。そして此の二階は母子ホームになつてゐた。
關西の都に發生した或る宗教團體の事業なのだ。其處は他人の便所、他人の臺所、他人の一番いやがる仕事を拾つて喜んでやる間の抜けた人等の團體だ。だから此處の園長も出來るだけごみ箱の中を掃除し清潔にしようとした。幸ひ——母子ホームも託兒所も何時も洪水の樣にはんらんしてゐた。
託兒所には同じ樣にボロを下げた子供がぞろぞろ通つた。若い三人の保姆と園長夫婦の手でも間に合はない程の亂暴な子供等だ。
眼やに、水ばな、垢と泥、しらみ、それからボロ、こんな子供等が本當にぞろぞろとごみ箱の中からはひ出して來て、一日を割合ひ清潔な、遊び道具のある場所で、上品な事を敎へられて行くのだ。だが夕方ごみ箱に歸つて行く子供等は、その中からあらゆる大人の動作と言葉を鋭敏に拾ひ上げて來る。食べ物と遊び道具がない彼等は、空つぽな腹をかゝへてごみ箱の中をあさり廻る。だがごみ箱の中には腹の足しになる樣な物は何も無い。あるものは野卑と汚物と悪戯だけだ。だから彼等もそれを拾つて來て眞似て見るのだ。
「健公んちの盲目のちやんは廿四日の緣日の晩あそこの石段んとこでお貰ひをしてたあ」
「俺だつて見たよ。土の上におでこをすりつけて、どうかどうかつてやつてたあ。おつ母あは他のちやんとくつゝいて赤ん坊を生んで逃げたんだよ」
そしてワァ——。アッハッハ。ペーだ。
鬼熊ごつこをし樣や、泥坊ごつこだよ、てめえの着物はおしめの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

樣だから泥坊になれ。なれつたらこん畜生。なぐる。泣く。わめく

「そんな事をしてはいけません。子供は子供らしい遊びをするものですよ」。

保姆が眞赤になつて叱りつける。

だが彼等は遊び道具も持たないのだ。――

此處にだつてたまには良家の子がゐる。一日三錢の費用を――多は炭火が必要だから五錢なのだ――まとめて月始めに九十錢拂つて來る樣な子供だつてゐる。そんな子供はきまつておとなしい。おとなしいから保姆も可愛いがる。すると他の子供等も自然に彼や彼女をまつり上げて特別にお世辭を云ふ樣になる。

彼や彼女の着物やカバンをなでて見る。お晝の辨當をのぞきに來る。お世辭を云つておかずを一切れ貰つて行つてさも美味相に食ふ。

保姆のKさんはそれが堪らなく情けなく思はれる。彼女は子供等のそんな行爲が彼等の將來を毒する事を考へるのだ。卑屈なルンペンな乞食根性が知らず識らずの内に芽を出してゐる。これでは何時迄經つてもごみ箱の中から正しい階級意識を育て上げる事は出來ない――。Kさんはさう考へる。

Kさんは園長と同じ宗教家ではない。正式の保姆でもない。だから彼女の童話は何か神樣や熊や龜と遠い。反抗が盛られてゐた。

園長は苦い顔をして云ふのだ。

「あなたの信奉する××主義だつて、私の信仰する宗教と別に異つた事はない。私等が絶對に何も持たないといふ事が、此の私等の無所有主義が既に××主義じやないですか？ たゞあなた方はそれを科學的に、私等は宗教的にしてゐるだけなんです。だが子供等にはあなたの方法は惡い。子供等にはどこまでも愛と信仰で接して與れなければ駄目です」

Kさんはふんと笑ふ。何が信仰だ。そんなごまかしはきかない。あたしは此のごみ箱の中に正確な意識の芽を育てる爲に、子供等に本當の事を敎へるだらう。――

子供等は毎日お晝が待ち遠しくて堪らなかつた。彼等は辨當箱をそつと開いて見た。指でなでて見た。鼻をくんくんさせた。だが彼等はそれを机の上に置いて双手を胸の上で組み合せて眼を閉じて唱はねばならなかつた。

「美しき朝も、やすらかな夜も、

食べ物着物、下さる神樣――」

そしてオルガンと共にブーと合掌して、それから貧しい中食に飛つくのだ。だが神樣は彼等に食べ物も與へて下さらない時があつた。お辨當を持たない子供は小學校にも托兒所にもたくさんゐた。

彼等は外に出るとごみ箱の中をぐるぐる廻つて來るのだ。

そして惡い事を拾ひ上げて來るのだ。

だからKさんは考へなければならないのだ。

彼等に食べ物を與れるのは神樣ではない。神樣なんて云ふものは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

支配階級の造り上げた煙草だ。美しい紫の煙だ。支配者はこれに依つて被支配者等をごまかしてゐるのだ。

美しいお姫様と汚たない勞働者がゐたつて、それは前世の應報で神様が造つたのだと。美味しい肉と不味い干物のいわしがあつたつて、それも神様のお志だと……………。

だがそんな事はふつ飛ばして了つて、彼等に不味い干物のいわしやたくあんしか與へて呉れないのも、たゞの飯さえ呉れないのもみんな支配者の策略だと云ふ事を敎へなければならない。神様なんてものでごまかされ、あきらめさせられてはいけない。どこまでも自身の境遇に疑惑を持つて反抗して手を擧げて要求して、そして取返させなければならない。……Kさんはかうしてごみ箱を掘り返し探し廻つて、よい芽を見出さうとした。

その芽はやつと見つかつた。それは五つの敏ちやんだ。敏ちやんは泣き虫でよく小便を垂れ流してはKさんを困らせた、汚たないから他の保姆等はかまはなかつた。だからKざんになついた。

敏ちやんには母がなかつた。死んだのだ。

若い眼鏡をかけた父が朝早く工場へ行く時に背負つて來て、ガス縞のねんねこと一緒に赤い辨當袋を持つた敏ちやんを置いて行つたそして夕方工場の歸りに又背負つて行くのだ。

或る時敏ちやんのお父さんは馬鹿に夕方遅かつた。Kさんは暗い保育室の火鉢の側で歌を唱つて敏ちやんを遊ばせてゐた。

遅くやつて來た父親は、すみませんを何べんも繰返した、そして彼の通つてゐる染料工場にストライキが起りかけてゐるので、と云つて元氣よく微笑した。

Kさんはそれから敏ちやん父子がとても好きになつた。彼女が探してゐる芽がこんな手近な所にあつたのだ。

敏ちやんももう以前の樣には泣かなかつた。

先生しつこと云つて敎へた。父親が遅くとも元氣よくKさんと片言の可愛いゝ唇から、××の歌を吐き出して遊んでゐた。そして父親の姿を見ると飛んで行くのだ。

「先生さようなら」

ねんねこの中から手を擧げて、父親と一緒にKさんに挨拶して歸つて行くのだ……。

二階の母子ホームにもたくさんの父親のない子がゐた。彼等の母親等は彼等を養ふためにやつれ切つて働かねばならなかつた。

張さんと云ふ若い朝鮮の女もゐた。張さんは二つになる女の子を背にくゝりつけて、園の雜多な用事をよく立働いてゐた。日本語の素張らしく話せる女だつた。

兄の朴さんがごみ箱の隅の部落に友達と生んでゐて、勞働をしながら電氣學校に通つてゐたので、暇が有るとよく尋ねて來た。

彼等は靜かな朝鮮語で仲よく愛撫し合つて別れるのだ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

背負ひ商ひの女も多くゐた。

活動の三味線ひきの、にやけた女もゐた。

お光さんは敏ちやんの父親と同じ染料工場の女工だ。四十歳の彼女の腕が四人の子供を支へねばならないのだ。上の男と女の子二人は小學校へ行つてゐて、下の小さい女の子二人が園の託兒所にあづけられた。

子供等は割合小ざつぱりとしたなりをして大變おとなしかつた。晝になると小學校の女の子が來て妹等に飯を食はせた。子供等は夕飯の支度をして暗い室の中で母親の歸りを待つてゐるのだ。

お光さんの働いてゐる工場のストライキだ。お光さんは毎日遲く歸つて來た。彼女は四十年間の苦境の中から拾ひ上げた意志と反抗を持つて、敏ちやんの父親等にもまけないで元氣に戰つた。

だが結果は負けた。そしてお光さんは馘首、境遇が仲間の誰れよりも惡かつたのだ。

「子持ちの女なんか能率が上らないから」だつた――。

こんな時一番下の女の子が病氣で死んだ。

「寒いのにかまわないで放つといて、ストライキなんてに無中になつてるからだ。若い者じやあるまいし」

園長は濟生會の醫者を呼んでやつてからぶつぶつと罵つた。

「放つとくつて云つたつて、子供にかゝり切つてちや食へないんだよ。誰だつて子供は可愛いゝさ。片親のない子なんだもん。だつて働かなけりやどうして食へるんだい。馬鹿にしてらあ、食へさえすりや子供なんて死なしはしないよ」

張さんが勝手元で大聲にわめきたてた。女の子を抱いて眼に一ぱい涙をためて……。

お光さんは眞蒼な顔をして唇をかんでゐた。敏ちやんの父親やKさん等に慰められて小つぽけな子供の葬式が濟むと――Kさんはこゝにもよい芽を見つけた――お光さんは働かねばならなかつた。月二圓の園の室代だつて拂へなかつたのだ。

だが働く口が無かつた。それで…………お光さんはとうとう決心して結婚した。實際さうでもするより他に親子の生きて行く道がなかつたのだ。上の二人の子を遠緣にあたる家にあづけて、女の子一人連れて生活のために、卑屈な結婚をした。――

かうしてKさんの見出した一つの芽は、暴風雨の樣な社會惡の手でもぎとられて了つたのだ。だがお光さんに何を要求出來ると云ふのだ。お光さんは何も持たないのだ。持つてゐた生活も子供も總て押られて了つたじやないか?

ごみ箱の中の病菌を撲滅し樣として役場と警察が騒いだ。だが病菌は横暴に榮養不良な人體に蔓延して行つた。

園長に御願ひがあつて來る人が急に多くなつた。彼等はみんな身體のどこかを病菌にやられてゐた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

彼等は園と同じ樣な團體の簡易な醫師會の濟生會に、園長から紹介狀を書いて貰ひ度いのだ。だが園長は一人一人をくわしく調らべた。生活狀態は？——みんな惡かつた。樂にやつて行かれる程ならば園長に頭を下げたり横平な濟生會の醫者になど見て貰ひ度くはないのだ。

病氣は？——みんなひどかつた。ひどくなければ彼等は決して醫者になど見せやしないんだ。彼等は大抵放つといた。放つとかねばならないのだ。たとへ死んでも仕樣がなかつた。

だが彼等の中——半分は園長にことわられた。

まだまだ生活によゆうが有ると云ふのだ。

「ずるい奴がゐるんだ。そんなのはくせになるからね。」

ごみ箱の中だ。ずるい奴も多かつた。しかし本當に困つてゐるのも多かつた。

Kさんは土人の女の樣に上唇をはれ上らせて、子供を背につるして歸つて行く女房を見送つて暗い氣持ちになつた。

ごみ箱の中で尤もひどい場所が燒けた。

寒い二月だ。

病菌の巣が燒けたので役場と警察では喜んだ。燒けでもしなければ何時迄經つても消滅しない巣だつたから。だが人々はみんな外でふるえてゐた。燒けトタンで假小屋を造る事もゆるされなかつた。

汚たないねまき一枚で辨當も持たない子供等が火事場から母親にどなりつけられて、めそめそと園にやつて來た。その周圍に子供等が集まつて慰めたり罵つたりした。

園長は忙がしくなつた。火事場を見舞つて歩くのだ。そして町の在郷軍人會の若い連中が大八車を引つ張つて來た。園長の指圖で園の中にある特別の蒲團や着物や足袋等が車に一ぱい積み上げられた。

子供等がまわりに集まつて、羨やまし相にしやべり合つた。

「いゝ蒲團ね」

「俺んちのよりいゝや—」

「あたいんちにはもつといゝのが有るわ」

「てめえんちなんかに有るけえ」

「あるわよ—だ」

子供等の中には足袋をはかない子が多かつた。燒け出された子供は寒さにふるえてゐた。

「お前んち燒けたんだらう？」

張さんがをがらの樣な女の子を突ついた。

「うん…………。」

「じや何か貰つて着るといゝよ。こんなじや、寒くてゐられやしない」。張さんはガンガン園長にあてつけた。

「駄目だ。こんな所でやつたつて何んにもなりやしない。こんな

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

連中はずるいから何度でも貰ひ度がるんだから」

そして大八車は山になつてガラガラ引出された。子供等はぞろぞろと車について行つた。

「チェッ、いゝほどこしだよ」

張さんは強く叫んだ。母子ホームの母等もみんな手揃い自分等の衣服を考へた。

貰ひ子が殺された。

よいとまけの女土方があげられた。養育料をつけて貰つた幼兒をからからに、丁度陰干の藥草の樣に黑く干し殺したと云ふのだ。

新聞や婦人雜誌が仰々しく書き立てた。貰ひ子殺しのふてぶてしい鬼女だと云ふのだ。だがそんな鬼女はごみ箱の中に隨分ゐた。

彼女等は次ぎ次ぎにあげられて、皆鬼女と云ふ名を冠せられた。

世間は急にあわて出した。ごみ箱の中には貴婦人や名士の自動車が盛んに出入りした。

園でも緊急に母の會を開いて母性愛を說いた。だが集まるものはいくらもなかつた。彼女等は盛んに流行する母性愛と云ふ言葉を聞きながら別にあわて出しもしなかつた。自分等も食ふに困ればやるかも知れないと考へた。何も食ふ道がない。思案してゐる所に丁度よく落つこちて來た幼兒なのだ。それでも食ふより仕樣がないじやないか？　食ふ方が惡いんじやない。落す方が惡いんだ。

彼女等は茶菓子を頰張りながらこうそぶいた。

だがそれ以上、幼兒をそんな所に落さなければならない樣な、それを食わなければゐられない樣な惡い社會を知らなかつた。

お光さんの子供が二人曲馬團に賣られた。

新聞がそれを叮嚀に結婚してゐるお光さんにまで傳へて呉れた。

遠緣にあたる人にあづけて行つた上の男の子と女の子なのだ。お光さんは眞蒼になつて園にかけて來た。

「だからどんな事があつても子供なんて手離すのは間違つてると云ふんだ。貰ひ子殺しだつて、殺す方も鬼だけど子供を呉れる方だつて鬼だ。まだお前なんて曲馬團だからよかつた樣なものゝ、殺されて了つたらもう駄目じやないか？……」

園長はもう母性愛の說教にあきて了つた。

曲馬團――それは死よりも恐ろしい。ながい間搾られ虐げられて生きて行かねばならない――だがお光さんに何が出來たらう。さうしなければならなかつたのだ。大きな壓迫でさうさせられたのだ。

だがお光さんは立上つた。その大きな壓迫をはね返して立上つた。

子供はやつとお光さんの手に歸つて來た。

お光さんは三人の子供を支へて働き出した。

お光さんは戰ふ相手を知つてゐる。だから今の苦鬪の結果に輝いてゐる勝利の日を期待してゐるのだ。

Kさんのこの芽は案外強かつた。だから暴壓の下からまた伸び出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

したのだ●

張さんの兄さんはもうしばらく姿を見せなかつた。そして朴さんのかわりにその友達が來て張さんを慰めて行つた。

「朴さんは少し手離せない用事があつてね」

張さんは淋しく肯づいてゐた。

だが——或日國に警察の私服が三人來た。

そして張さんを引張つて行つた。私服は女の子を轉がしたまゝ張さんの室をガラガラに引かき廻して行つた。

事件は公表を差止められてゐた。——

一月程經つた。

張さんは眞蒼に細くなつて歸つて來た。眼が洞穴の様になつて了つて人の姿を寫さなかつた。張さんの眼には朴さんの姿より他に寫らなかつた。張さんの唇からは朴さんの事より外に出てこなかつた

張さんはたうとう氣狂ひにされたのだ——

そして事件は大々的に報導された。

『內地を舞臺にした朝鮮共產黨大檢擧、

——日本總局と高麗青年會——

朝鮮共產黨日本總局、高麗共產青年會

日本部に關する治安維持法違反事件は……』

かうして世界勞働階級の集中團體を作り、世界ブルジョア階級の支配打破、プロレタリア獨裁、世界國家の建設等を目的として鬪爭をつゞけて來た朝鮮の黨員等は、東京に於て檢擧されたのだ。

張さんの兄の朴さんも、學生聯盟のヤチエーカーとして働いてゐて檢擧されたのだ。

その友達は殘された。張さんは友達に連れられて、ごみ箱の片隅の部落に行かねばならなかつた。

女の子は幸ひ——幸ひと云ふのは苦し過ぎるが——死んで了つた

氣狂ひになつた張さんを誰れが世話をして呉れると云ふのだ？

七月だ

その部落にもさわやかな風が流れて來た。

汚たない白衣を着た人々が、ぞろぞろと路を押して歩いた。彼等は同胞の敗戰も知らない様に疲れ切つた魂と身體をやつと運んでゐる様に見えた。

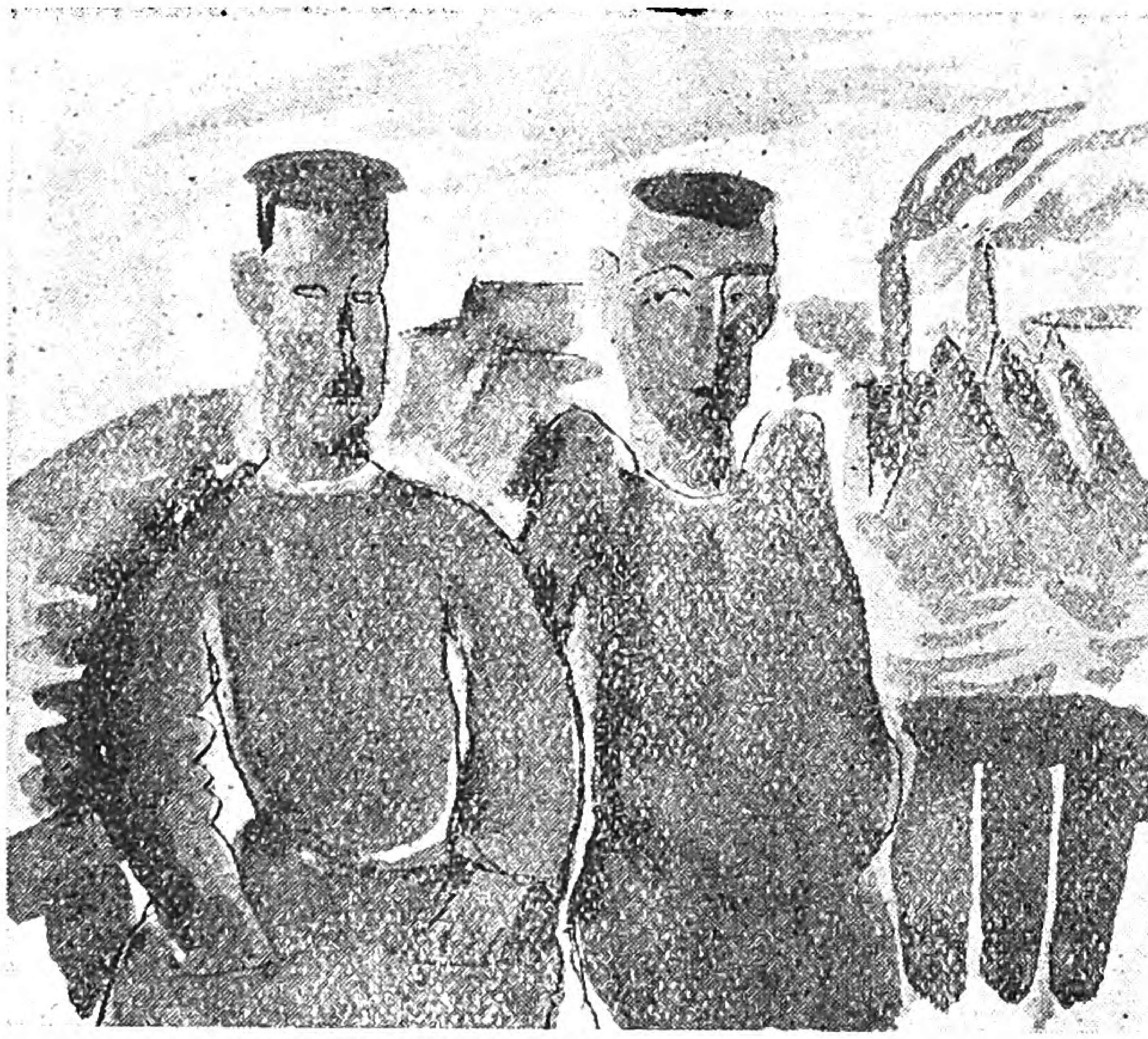
腐つた様に沈滯してゐる空氣だ。

その中に一番の男の子の聲だけが高々と、必要のない日本歷史を讀み上げてゐた。

Kさんにとつては張さんの事件は大きなショックだつた。

Kさんはごみ箱の中からこんな大きなものまで發見した。たとへそれが現在はどんな慘酷にふみにじられてゐようとも、きつと立上る萠芽である事を、Kさんは信じてゐる。一九三〇、七、二〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



強國ハ發展ス

葵イツ子
深澤紅子繪

北海道まで漸く辿りついて、今、夕張の炭山の奥に、馬春甫は坑夫になつて鶴嘴を振り上げては山を砕いてゐる。だが、斯うして暮らす一週間のうちに、もう不安さで心が痺れて仕舞つた。

初めて働くやうになつた日に、隧道口で、頭を割られて血みどろになつた××人の死體が運び出されてゆくのを見た。次の日には、大きい落盤があつて、二人の死體と、顔と腕が血に染つたからだを運ぶのを見た。その次の日も次の日も、吃度一日に一人の怪俄を見た。不具者の多いことも知つた、

日曜の午後、馬春甫は知人の方仁玉と二人で、山を下りて共樂橋まで來て遊んでゐた橋の欄干に凭れて、黒い砂炭を押し流してゆく黒い水、黒い家々の屋根、往來の人々の姿などを眺めてゐたが、矢張り腦裡にはあの暗い、支柱の少ない怖ろしい坑内のことが泛んで來る。春甫は訊いた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

「此頃は矢鱈に怪我をするじやあないか」

「お前は坑夫になつたのは初めてだと言つたなあ、あれは別に此頃といふ譯じやあない、年中あゝだ、一週に一人は死ぬだらうさ、一日に一人は怪俄をするよ」

「さうか」

「朝鮮人の坑夫の役目だらうさ……そりやあ時々は日本人も怪俄をするやうな仕事もするさ……そら、昨日の日暮れに、顔の圓い日本人の藝者が歩いてゐたゞらう、あれは兄が山で腕を取られたんで、遂々あゝいふことをするやうになつたんだ」

「うん、あの藝者か、鼻の上に大きい煤を二つ三つくつゝけてゐた奴だらう」

「さうだよ……夕張の藝者に較べると、朝鮮の妓生は綺麗だなあ」

「全くだ、此の邊の藝者は、晝間は水汲をやつてゐるんだからなあ」

橋の上には大分白い朝鮮服が見へて來た。今日は休みなので、誰も彼もすつかり寛いだ姿である。

誰だか、大分八釜しく騒いで來た。喧嘩らしい、仁玉はその方へ二三歩行つて直ぐ戻つて來て

「この橋に來て立つてゐると、じき喧嘩がしたくなるな、何を思つても腹の立つことばかりの俺達だ」

春甫も肯いた。

「俺も近頃妙になつて來た。お袋のことも氣になるし、子供等にもいつ逢へるのか解らんのだ。こんな所に働いてゐて、一體、先のことはどうすればいゝんだらうと思ふ……

「だからさ、酒も欲しくなりやあ、喧嘩つ早くもなるといふものだ」

向ふの方では、もう擲り合ひをはじめてゐる。仁玉が到頭出掛けて行つた。その一團は段々に増へて、十五人だか、二十人だか、大勢になつて仕舞つた。町の日本人も遠巻きにして見物してゐる。

ナイフが光つた。誰か斬られたらしく聲を挙げた。見てゐると、仁玉が斬られたらしい。春甫の顔は眞赤になつて、直ぐに駈け込んで行つて、いきなり誰といふこと無しに擲り飛ばした。後から頭を擲られたり、胸を突かれたが、怯まずに擲り返して行つた。

腕も疲れて、燃へてゐた怒りも冷めかけた時である。年長者が二三人仲裁に這入つて呉れたから、春甫も退いて、橋に凭りかゝつて休んでゐた。仁玉は少し斬られた左の手をタオルで縛つて、春甫を促すと獵場から歸るやうに爽快な表情で歩き出した。

兩側の日本人の商店からは人が出て見物してゐるのに、別に巡査も來て呉れない。新聞社や檢番や郵便局の前を過ぎると坂になる。登座の前を通つて寺の前の道に來る。左側に五六軒も寺が並んでゐて、その前面は崖になつてゐる。崖には雑草や蕗が一面に生へてゐて、ずつと遠い下の方には澄んだ小さい流れが見へてゐる。坂がや

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

うやう平坦になつたところで左の方に、トタンだの、藁屋根などの朝鮮人の家が現れて來る。

入口の莚を上げて、一人宛這入つてゆく。恰度一つ切りの大きな下げ鍋で、夕飯が煮立つてゐるところである。八疊の部屋に廿人ばかり寢轉んだり、坐つたりして、話聲が入混つて騒がしくて仕様がない。春甫はまだ擲られた頭が、じんじん痛んだ。暫く坐つて頭を抑へてゐたが、故鄕の家のことを思ひ出すと、堪へ難い氣持ちになつて來て、少し頭痛が止むと、立上つて、彼は板壁へいつぱいに掛け並べられてゐる着物の中から、自分の坑内へ穿いてゆくズボンを撰り出して、そのポケットから、二つに折つた葉書と鉛筆を取り出した。

彼は鉛筆を削つてから、家の外へ出て、軒端に蹲つて、空を凝視めてゐた。家族の顔も故鄕の野や山も泛んで來た。

――阿母さんのことを吳々も御賴みする。俺の歸るまでどうか引受けて吳れ、二人の男の子供のことも面倒だらうが賴む、十五日になつて給料を貰つたらすぐに送るから――

と、京城東大門外新設里の弟宛にして書いた。だがその他のことは、どうも報らせたくは無かつた。

彼はまた一人で山を下りて、郵便局へ行つて、その葉書を出して仕舞ふと、檢番の前へ行つて、藝者の出入りをぼんやり覗てゐた。

×

翌朝、新しい白シャツを着て、茶色のズボンをつけた春甫は、いつものやうに鶴嘴を擔いで、炭坑の隧道口を這入つて行つたのであるが、二時間後には、血に染つて、仁玉の背に負はれて出て來た。鐵道線路の脇の坂を下りてゆく間にも、仁玉は時々背中の方の樣子を氣遣つて、

「おい、確乎りして吳れよ、もう直ぐだ」

と呼びかけた。

だが、大きな落盤で、肋骨を三本も折つてゐた春甫は、微かに呻いてゐるばかりで、もう眼を開く力も無くなつてゐた。

炭坑病院の待合室へ下された時、春甫は既に生命を失つてゐた。

仁玉は

「おい、春甫、春甫」

と呼び乍ら、幾度も搖り動かしたが、其のからだは、もう冷たくなつてゐた。

仁玉は大聲で

「哀號！　哀號！」

と泣き叫んでゐる。

待合室の彼方此方にゐる日本人は、見慣れた悲劇を、氣の毒さうに唯遠くから眺めてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

×

新設里の山の中腹である。堀り下げられてゐる穴居の家の中へ、老婆は一人吸ひ込まれたやうに這入つて了つたかと思ふと、また外に出てゐた。彼女は外へ出る度に遠くを見廻して居る。

東大門から通つてゐる、埃つぽい廣い道のところどころに、朝鮮風の家々が、一種の茸のやうに、唯土の上に小さく盛り上つてゐるやうに見へる。

老婆はあの白い埃の道の中に郵便配達の姿を見出した。彼女は一塊の白衣が轉るやうに、非常に早く山を下りて、其處へ行つた。配達夫は段々に遠ざかつてゆく。老婆は大聲で呼び乍ら追ひ駈けた。傍まで行くと、一度檢べて欲しいと哀願した。

「馬春甫とかいふ名か、さあ、どうだか」

と鞄の中を探したが無かつた。老婆の言ふことは漠然としてゐる度々手紙を出すから屹度返事を呉れる時分だといふのであつた。

「そのうち來たら持つて來てやる」

と言つて配達夫は駈けて行つた。老婆は虚ろな表情で見送つてゐたが、振返ると、同じ山の他の穴居の方に向つて上つて行つた。其處には彼女と同じ位の、もう六十に近い老婆が粟を煮てゐた。

人生の終局に近く、薄明の中に漂つてゐる彼女等の神經に來る刺戟は、總てが無限大に擴がつてゆく。

「どうしたら解るだらうね、春甫は一度つ切りより便りを呉れぬが」

老婆はまた言つた。

「それに、こんなに貧乏になると、どうして生きてゐられるかと思つて」

隣の老婆は暗に肯いた。

「それはお互ひよ、もう朝鮮中は貧乏人ばかりになつてゆくといふのぢやないか」

老婆は

「それからね、誰か日本の方へ行く人は無いものだらうか」

「いつか話したね、あの安國洞の金さんの親類の人が近々に行くさうだよ」

老婆は眸を輝かせて聽いた。そして、是非その人に會つて頼みたいと力を籠めて言ふので、二人で明日は行つてみようといふことになる。

老婆は、拾ひ溜めてあつた新聞紙の中から大きいのを一枚取出して、粟を包んで手土産を拵へた。

それから、隣の老婆と共に、あの埃の道を通つて東大門へ行き、其處から安國洞まで電車に乗らず、五時間もかゝつた。

金景三といふ男に逢つてみると、彼は今年廿八、行先は東京市外の目黒で、知人から雇主に頼んで呉れたので、土工の仕事にありつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

いて出掛けてゆくのであつた。

「東京と北海道とはずつと離れてゐるからね」

と斷られた。老婆はまた眞暗な氣持にされて泣いて仕舞つた。

どうしても行つてみて欲しい、同じ日本では無いか、半年後にでも一年後にでも、一度でよいから行つてみて與れと嘆願する。景三も何だかその情味に惹かされた。

「それでは、一年位働いたら、一度北海道へ行つて息子さんに逢つて來て上げよう」

「御願ひします、あの子は優しいから、あなたの仕事もきつと探すでムいませう」

老婆達が歸ると、金は褒の包みを開いて、不圖、その新聞紙を見ると、××に於ける農民の租税表が出てゐるから、段々褒を轉がして寄せ乍ら讀んで行つた。

租税は、一九一〇年には六百萬圓であり、一九二五年には三千五百六十四萬圓を越へてゐる。それから東洋拓殖株式會社の所有耕地は、一九一〇年から累年の增加を示し、一一、〇三五、五町歩が、一九二六年には、九〇、四六二、六町歩になつてゐる。

彼は仰向きに寢轉んで、兩腕を枕にして天井をみた。

苦しめられて來たものだ、附加税、戸税、酒税、登録税、印紙税學校費、會農費、それればかりではない、春借りた一斗の麥を、秋になれば四斗にして返さねばならなかつたのだ――何處か生きてゆけるところもあるだらう――彼は眼を閉じて瞑想して行つた。

景三は東京へ着いて、二ケ月ばかりは土工の仕事もあつたので、目黒の知人の家に住んでゐたが、それから失業して了つた。一時納豆賣りにもなつてみたが、存外賣れぬので、遂々どうすることも出來なくなつて、毎日當もなく深川邊をうろついてゐるやうになつた。

×

老婆の末弟の他寛は、眞夜中に眼が覺めて居た。

一尺ばかりの硝子の天窓から降り注ぐ月光は、穴の底へ擴がつて居た。老衰した姉の寢顔も白々と見へた。

薄團も無しに寢てゐるのだつた。土の上に厚く敷いた藁は軟かいが、一枚の着替を敷いたばかりでは落着いて眠れない。

彼は昨日此處に來てから姉の一家がこんな生活をしてゐるのが氣の毒で堪らなかつた。彼は穴居に這入つたのははじめてゞあつた。彼も數年來、非常に貧しく苦しかつたが、それでもまだ普通の家に住んで來た。最後には、代々耕作して來た土地も家も擔保に入れて取上げられ、決意して家具など全部賣つて旅費を拵らへて、東京に行くことにして出て來たのである。だがその東京にも的は無かつた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

吃度、何をでもして働かうと思ふのであつた。妻は一時この姉に預けて、二十歳になる息子を伴れて行くことにして居た。

甥や、甥の子供、姉、妻、皆の上に憂鬱が被つて、どうすればよいといふ方針は考へられなかつた。矢張り東京へでも行くより他は無いと思つた。

他寛と其子に辨當を拵へて與へると、老婆はまた、春甫に吃度逢つて呉れ、何年後でもよいからと頼んだ。

穴居を出て、山の下まで皆が送つた。誰にも心配が群つて泣くことより解決が無い。

妻を預けることは姉には重荷だと思つたが、この場合方法が無い御願ひしますと言つて他寛は別れて仕舞つた。

他寛は息子を伴れて電車の線路に沿つて、日本人の街の方へ歩いた。遠かつた。いつまでも低い壁で出來た朝鮮人の家が續いてゐる。彼は、夜行に乘るまでに、せめて東拓の建物だけでも見てをきたかつた。

若草町から明治町の方へ出る。日本人の街はどの家も綺麗だつた日本風の家も綏やかに見へるし、洋館も整然として、自動車の通るのも懸け離れた人々のところにある文化であつた。

角の家、周圍が公園のやうになつて大きい西洋館がある。これがあの東拓なんだ。

「東拓だ」

息子は、父の聲の微動を感じて、父の顔をじつと見た。

見てゐると、通りがゝりの人々が、その植込みの間を通つて、建物の一部の深い軒下を斜めに横切つては自由に歩いてゐるので、彼等もそれを眞似て、その美しい外庭に這入つて行つた。

「大きい家だね」

子が父に言つた。

「うん」

他寛の記憶はどれも一時に甦へつて燃へてゐた。毎年毎年、隨分澤山な土地が沒收された。流れ出てゆく弱者は限りが無かつた。この東拓といふのは何處まで強い力を持つてゐるのだらう？　さう思ふと怖ろしくもあつた。

それから、殖産銀行と朝鮮銀行を見物に行つた。

――××人は皆敗かされる。本當に強いものだ、これがその全ての姿だ――

と思ふと熱涙が流れる。何千人の一人自分もまた、今、敗けて、郷土から追はれてゆくのであつた。

朝鮮銀行前の廣場からずつと南山の方へ向つては、近代文化の部分品、郵便局、百貨店などが並んでゐる。もう其の邊には朝鮮人の影は殆んど見へない。彼等は眞直ぐに歩いて南大門の方へ行つた。

幽雅な古代朝鮮の遺物南大門は、時代を隔てた日本人街の中に、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

唯一つ、觀賞用として殘されてゐるのが、懷かしく胸を響かせた。

彼等は門を潜つてみた。電車の線路は少し迂回して通つてゆき、往來の人々は好んで此處を潜つてゆく。

他寛の傍を、日本の婦人が、十歳位の男の子を伴れて通つて行つた。男の子は振向いて母を離れると、「チゲの馬鹿」

と叫んでをいて、また母の手に縋つて行つて仕舞つた。

他寛は少しの荷物を持つて居たので、運搬業と間違へられたらしい。それにしてもまた打たれたやうに感じて仕舞つた。



この繁華な街へ出て來る朝鮮人は、八百屋かチゲである。さう思ふと僅かな子供の聲が痛く心へ刺されて了ふ。

京城驛を夜行で出て、翌日は釜山に着いてゐた。

然し、彼等の渡航は阻止された。彼等は金も無く、內地の雇主の證明も無い。卽ち「漫然渡航する」ことは許されなかつたのである。

同じ汽車で來た人々は、降りるとすぐに關釜聯絡の汽船に乘り込んだ。だが、彼等には、もうこの眼前に現れたこの海が、永遠に越へられぬものになつたのである。

密航の話をして吳れるものもあつたが、

よく聞いてみると、夜中に小舟を出して、翌日になると、此處はもう日本だ、一里も行けば村があると言つて上陸させられる。それは、釜山近くの牧の島であるなど怖ろしいことである。

父と子は釜山の町へ投げ出されたが、此處では、遂に彼等は仕事を發見することは出來なかつた。この町の周圍に溢れてゐる乞食の大群に加つて了つた。

こゝには同じ運命の、渡航を許されなかつた無數の落伍者が集つた。彼は完全に失望した。息子に新しい運命を考へてやることも出來ない。皆が落ちて腐つてゆくより他には無いのである。

×

支那風の提籃に玉子を入れて腕に掛けた老婆は、朝鮮風の白衣のまゝで、奉天の街を歩いてゐた。

彼女の家族は全部チブスに攫はれて行つた。其際、彼女ばかりは小學校の臨時の小使に行つてゐたので、偶然、命を殘したのである誰からも便りは無い。春甫の事も諦めて了つた。知合ひの人々が北滿へ落ちてゆく時に泣き縋つて、遂々奉天まで來たのであつた。

彼女はロシヤ人の洋服屋へ這入つてみたり、日本の花屋へ這入つてみたが、まだ一個も賣れない時がある。急に大勢の足音が聞えて來た。馬車に乗つた支那人が通つたり、支那兵が大勢入り亂れて駈けてゆく。

老婆が道を避けようとする時に、一人の兵士に突當つたので籠から玉子が轉げ出た。彼女は慌てゝ、人々の間を潜つて二つ三つ拾つたが後のはどうする事も出來ない、見てゐるうちに皆踏み壞されて了つた。どうすればよいのか、これを無くしては明日の食物が買へないのだつた。だがもう壞れた玉子さへ見へない位に人數が增へたので、彼女も何が起つたのかと思つて、始めて群衆の方を觀た。

其時には、支那の大總統の怪死體が運ばれたのである。彼は米國から多くの自動車を買入れて、支那に自動車の交通網を作らうとして、暗に劃策してゐた。

それが他の殖民地政策と正面衝突をした。

女人聯盟大阪支部記

大阪の聯盟支部はこの酷暑にも元氣潑溂、綠川氏を初め聯盟員諸氏の熱心な努力で、八月十四日から五日間夏期講座を開いた。

一、自然科學と生理學　西村　眞琴氏
一、現代婦人の問題　大林　宗嗣氏
一、最近ヂヤアナリズムの傾向　藤田進一郎氏
一、資本論解說　小岩井　淨氏

他數氏で會費一圓、午後七時半から九時半まで男女を問はず一般公開講座で大きな反響を呼んでゐる。

京都支部記

京都支部は東京から松村喬子氏を招聘して十四日座談會を開く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



電報とダイヤ

藍川陽

「それが確かだとすれば一寸困りものだな」

妊娠らしい――から云つた秋の腹部にチラと反對的な視線を投げた夫は當惑を顔中に擴げた。

「だがあれが二ヶ月位無くたつてさうとは限らないさ、何んしろこの生活狀態ぢあ身體の調子が狂つてると云つた方が確からしいね」

お互にさう思ひ度かつた。無理にもさう思つた。併し其の次の月も其の次も起るべき筈の生理的現象は起らなかつた。そして秋の下腹部の膨みが少しづゝ目立つて來た。

「こんな話がある、ある闘士の細君がな、矢張妊娠してる時やられたんだ、そして例の通りの拷問さ、そいつが可成手非道かつたんで出るが早いか死産したつて事があつた、お前も又レポでもやつて摑まるんだな」

冗談とも眞面目とも付かない事を云つて夫は寂しく笑つた。

子供が出來る、生活の貧困が之を拒む――例へ階級闘爭をやつてなくても勞働者達の多くが當然過ぎる當然なこの結果を解決しやうとしては無理な手段を取る話はざらにある、あり過ぎる。毎晩高い土堤の上から飛び下りるのを繰り返したり、動搖の激しいバスの終點から終點へ無けなしの財布をはたいて乘り廻る。こんなのは未だ生優しい方なのだ。寢かせた妻君の大きな腹をその夫が力一杯蹴つたり踏んだりする。生れた子を直ぐに殺す、そして引張られる。無事に産んでも育てる事の出來ない子の將來に餓死が待つてゐる事が分つてゐてもブルジョアが自分に都合よく造つた定規のやうな法

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

律は食えない彼等に流す涙を持つてない。

一甘く流産すればいゝが──殊に拷問なんかで死産しやうもんなら親子諸共一遍に參つちやふ」

秋はそれが恐しかつた、彼女はもつと生きてしなければならない仕事が澤山あつた。現在日本の無産者運動には金が無い、まして彼等のやうな端くれの闘士を養ふ餘裕なんか何處を絞つても出ないのだ、生活と運動との調節──彼等はこの苦痛を癌のやうに感じて苦しんだ。

十六の歳から四年間、織物工場で嫌と云ふ程搾取せられて來た秋と硝子工場で片目を失つた安造とは同棲後も益々俺達の階級の敵に挑み續けて來た。工場内の革命的な勞働者達の組合──この非合法な組織に加入して運動する、やつと芽が出掛けたと思ふとドカンと叩き潰される。組合員は勿論馘だ、食えなくなる、この動かす事の出來ない大きな障害物を乘り越えて夫婦は撓まなかつた。食ふ事を確實にやれば運動は出來ない、それだからと云つて食はずには生きてゐられない。長屋から長屋へ工場から工場へ轉々としながら考へた。そして彼等獨特の運動の合理化を捻り出した。夫婦は一心同體、この俗語を無意識の裡に利用したのだ。それは秋が今迄やつて來た仕事に限界を造り生活費を稼ぐ事だつた。安造は相變らず外部の指導者と聯絡を取つて工場内の組織の潛行運動を續けた。秋は小さいセルロイド工場へ通つた、其處で日給七十錢を貰つた、之で二人が食つて行く、食つて行かなければならない。この生活の中へ時々職と住居を失つた同志が轉げ込んで來た、夫婦は飯を芋に代へた。

彼等は生活の暗さと貧しさを呪咀する事を忘れてゐる、それが當然な運命だと諦めてゐるのでは無い、生活に對する呪咀を憎惡に變えて俺達の敵に向つて機關銃のやうに放射するばかりだ、誰が俺達から總べてを奪つて何一つ與へないのか？

彼等は知つてゐる。

俺達の無數の腕が大きな一つの腕になつて俺達を搾る奴を叩きのめすんだ──幾萬の同志の胸と胸とを繋ぐ糸が夫婦の心にも眞赤に燃えて流れてゐるのだ。

プロレタリアートの社會、この未來は歷史的必然だと云ふ、夫婦はこんな理論は知らない、唯彼等の壓迫された過去の生活が彼等の意識を育て上げただけだ、彼等は朗だ。彼等は空腹を抱えて朗に强い。彼等は明日を持つてゐる、輝かしい俺達の明日を信じて苦難を蹴飛して突進してゐるからだ。

姙娠──之は困りものだつた、飯を芋に代えるやうな具合に行かない。

貧しい晩食の匂ひが溝水の溢れた惡臭と混つて渦卷く長屋の夕暮だ、一日の勞働にへとへとになつた菜つ葉服の力弱い足が溝板を叩く、夜鳴き饂飩の爺さんが屋臺店を引張つて出て行く、子供の泣聲

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

――その喧燥の中で秋は共同水道をジャージャー出しながら米を磨いでゐた、夫が歸つて來た、若い男を抱えるやうにして連れてゐる歩く毎に男は唸つた。

「痛むか、もう一寸の間だ我慢しろな」

長い事やられてゐたMだ、あの元氣な顔色は何處で消えたか？

「おいつ、お秋、そんなもの放つといて床を取れ、早く」

叱るやうな安造の聲だ、彼女は家に飛び込むと臟物の食み出た蒲團を押入れから引擦り出した。

「手拭を絞つて來い、えれえ熱だ」

手拭ひを乘せた時濡れた秋の手に觸れたMの額は音を立てさうな程熱かつた。

「非道え事をしやがる、之を見ろ、これを」

安造はMの手をソツト差し出した、固く厚い掌には暗紫色の點點があつた。

「お前さん、そりや一體なんだい」

「燒火箸でやられたんだよ、きつと」

夫婦は一緒に唸つた、袖口の切れたシャツを着てる癖に俺達の敵の手先になつて同志達を拷問するスパイの犬のやうな顏を夫婦は思ひ浮べた、痛くなる程拳を握つた。

「ゐるか」

Yが來た、Yは運動をやりながら小説を書いてゐる。

「隨分非道かつたらしいな」

四疊半一間切りの家だ、狹い枕元へ穴だらけの靴下の足を組んだYは悲痛な眼をMの窶んだ痩顏に落した。Mの唇は熱の爲めに白く乾いてさゝくれ立つてゐた。

「强い身體だから良かつたものゝ、普通の者だつたら駄目となるところだつたな」

「燒火箸でもやられたらしい」

「だがな、彼奴等は馬鹿だよ、三、一五や四、一六の時の樣に俺達を一纏めにしてやつつけたり手襲の時は得たり賢しとばかり出鱈目な條件をでつち上げて取つちめる、さうしてる內に俺達が懲りて運動を諦める位に思つてやがるからな、だがお合憎さ、後から後からと俺達の同志は川のやうに續いてゐるんだ、そして鬪ひ止めやしないのだ。資本家が居る限りな、奴さんそんな事あ氣が付かねえんだ、氣が付いてゝも無理に目を瞑る、そして盲滅法に彈壓の斧を振ふお目出度いもんさ、全く、どしどし流れてる川へ堰をする、水の力は堰かれや堰かれる丈増す、やつつけた心算でゐたら、大間違ひさ、やられる度に俺達の憎惡は何倍にも增すんだからなアハヽヽ」

彈壓が激しくなればなる程俺達の革命は近づいてゐる、Mの枕元で三人は力强い微笑を交した。

「ところでお秋さんは愈々これと決まつたかね」

Yは兩手で腹の上に圓を造つて見せた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

「お目出度いと云ひ度いでせうが大困りさ」
「困るね、そりや、だがへまをやつたもんだな」
Yは輕く笑つた。
「色々と氣は付けてたよ」
夫も微笑した。
「今の內に解決出來たらしたが好いぜ、ところでそれで思ひ出した
Yはポケットから出した新聞を擴げると低聲で讀み出した。
――東京地方裁判所檢事局の市原檢事は數日前から淀橋署に出張し官內西大久保二五一故陸軍步兵中佐宮川貞造未亡人みち子(四二)を招喚秘密裡に取調べ中であるが犯罪の內容はみち子は昨年一月同番地に引越して產調社の看板を揭げ表面通經濟の賣藥をしてゐたが二階六疊の部屋に墮胎器具を備へ付け數百名に對して娠姙五ケ月以內は六十圓、五ケ月以上は百五十圓の墮胎料を取つて手術し胎兒は鋏で寸斷して便所に腐敗させて犯跡をくらましてゐた、每月の收入三千圓以上で豪奢な生活をしてゐたが最近――
「おいおい、なんだいそりや、そんな金があつたら、俺達や困らねえや」
「勿論之はブル達の腐り切つた生活の現れに過ぎないが、勞働者達の爲に眞實の產調社があつて確實な調節法を敎えて吳れるといゝと思つた迄よ」
「だが近頃、ブル達は表面否定しながら自分達の快樂のためにコソコソやつてゐた避姙を俺達の間でもやらせやうとしてるんぢやないか」
「やらせやうとしてる事は確かだ、だが彼奴等は彼奴等の爲にそれを利用してるんだ、子供が殖ゑれば勞働者の生活は益々苦しくなる、賃金値上げ等待遇改善の要求が激しくなる、此奴を恐れてやがるんだ、お前達の生活の緩和の爲に――こんなお爲ごかしがなんになるんだ、俺達が人間らしい生活の出來るやうになるのは彼奴等をぶつ倒してからだ、この社會を底から引繰り返してからだ、俺達はそれを現實の運動のために已むを得ずやるのだ調節をな」
話は傍道に外れるばかりで具體的な解決法は見當らない。
「手遲れだらうか」から考へると秋の氣持は沈んだ。
「おいこれを呑んで見ろ」夫は白い散藥の包みを秋の前に投げ出した、彼女はそれから本能的な恐怖を感じて戰慄した。
「これ、あれなの」
「三ケ月位ぢやまだ人間になつてない血の塊りだとよ、やるなら今の內だからな、思ひ切つて――」
さう云つて夫は出て行つた、藥を帶の間へ入れて秋も工場へ出掛けた。セルロイド人形の頰を赤く染めながら彼女は晝飯の時に吞まうと考へた、晝食後になつた、だが吞めない、未だ血塊に過ぎないと云ふ胎兒に秋は自分に似た眼と夫と似た口を持つた顏を想像した淚が流れて來た、母としての溫い淚だつた、泣きながら彼女は藥り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

をソッと便所に捨てた。

――出來ない、そんな事出來るもんか――

四年餘りも音信を絕つた父親を思ひ出した、それと共に故里の廣々とした靑い田圃を思ひ浮べた。

――働ける間働いて愈々となつたら家へ歸ろう、田舍だつたら金の入らない確な貰ひ手もある――

八ケ月になつた、秋は肩で息をしながら夫に云つた。

「もうそろそろ歸つてお父つさん所で產んで來るわ、あちらで育て、貰ふなり里子に出すなり仕末をつけた方が好かないの」

「お前の親父は確か馬車屋だつたな、歸るもいゝが長い事音信不通だらうそれにお前が歸つたら食ふのに差し支へやしねえか」

「でも田舍へ歸つて養蠶の手傳ひにでも行けば私の食ふ位なんとかなろうよ、それに產む迄の間だからね」

「ぢやさうしろ、俺はYとこの厄介になつてるからな、行き着いたら直ぐ手紙を寄越せ」

無けなしの家財道具を賣り拂つた、仲間にも借りた、秋に往復の旅費を渡した夫は優しく云つた。

「男の子だつたら闘一とつけろよ、旅費は往きだけぢや駄目だ、何時歸らなきあなんねえかも知れないからな」

よれよれになつた木綿の單衣を着て秋は小さい風呂敷包みを抱えると空つぽになつた家を出た。

秋が歸らうとするA村は四國のK市を十里餘も離れた海岸の避村だつた。太平洋の蒼い怒濤が横顏を洗ふ半農半漁のこの部落は秋のゐない四年間にすつかり相貌を變えてゐた、K市へ通じた白い街道を我物顏に砂埃を上げて走つてゐた赤い胴の幌馬車は無くなつてゐた、その代りに海岸傳ひの線路の上をちつぽけな汽車が黑い煙を吐いて走つた、村の入口に白い停車場があつた、其處だら都會の匂ひを持つた文化の飛沫が部落へ流込んだ。娘達は潮に燒けた顏に白粉を塗り避暑に來た町の男達に秋波を流した。部落の料理店は一軒一軒店を閉じた、村の若者達は二時間もすればK市へ出て町の垢拔けのした妓と遊ぶ事が出來たから。女郞達は腐つた身體を抱えて又未開の土地を求めて散つてゐつた。海岸の松林の綠に別莊の建物が白點を落してゐた。村の本通りには氣の利いた喫茶店が出來て靑い灯の點いた窓から夜毎にレコードの歌ふ唄が流れた。

――親父は馬車屋をやめたに違ひない、なんで暮してゐるか――

秋は不安になつた。汽車は月見草の多い砂丘を走つてゐる、陽にギラギラ光る夏の海が見え出した、風は潮の匂ひを運んで來た。停車場を下りると一面の桑畑だ、鰯肥えの惡臭を含んだ新鮮な綠の匂ひが都會の塵に汚れた秋の鼻を快く叩いた。畑を拔けると本通りだ見知り越しの人眼を憚つて田圃へ出た、稻が伸びてゐる、歸つた家は一層古びて傾いた藁屋根にペンペン草が生えてゐる、入口に一本あつた無果花が大きくなつて憂鬱な葉を茂らしてゐる。暗い家へ入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

つた。誰も居ない。醬油色をした疊に坐つた彼女は自分の家でないやうな氣がしてかしこまつてゐた、入口に人の氣配がした、見ると弟の賢だ、ずんと脊丈が延びてゐる、柔順しい狂人の賢は怪訝さうに彼女をヂッと瞶めた。

「賢――姉だよ、忘れたか」

彼女は懷しさを一杯込めて云つた。賢はニヤッと笑つた。女のやうな頰にえくぼが引込んだ。

「お父は」

「濱」

「小さい姉は」

「K市だ」

「遊びに行つてるんか」

「奉公に行つとる」

賢は思ひ出したやうに外へ馳け出して行つた。姉の歸つたのを父親に知らせる心算であらう。

――あれが狂人でなかつたらなあ――

秋は嘆息した。

村の小學校――其處では地主の息子は七點でも滿點で馬車屋の子は滿點でも八十點だ、賢は繪がずば拔けて上手だつたが算術は空つきし駄目だつた。色の黑いオールドミスの女教師は馬車屋の息子には冷淡を通り越して辛く當つた。

「又宿題を忘れて來たの、お前さんは――」

宿題を忘れた罰に賢は放課後誰も居ない教室に立たされた、立つて解けない算術を考へた。

――之をしてしまわなければ歸れない――

窓から赤土の運動場が見える。生徒達の造つた花畠に眞赤なひなげしが燃えてゐる、賢は帳面一杯に大きなひなげしの花を描いた。

「まあ圖々しい、繪を描けと誰が云いました、算術をやるんですでないと何時迄も歸しませんよ」

見廻りに來た女教師は憎惡を含んだ眼で賢を睨みつけた。校庭のポプラーは夕陽に長い黑影を運動場に横たへ始めた、賢は一生懸命考へた。

――元利合計は元金――

何時迄經つても解けない、彼は歸つてから仕事があつた、日暮れ前地主の所の土佐犬を運動に連れて行かなければならない、先生は忘れて歸つたが――暗くなつた教室で賢は焦々した、それ以來彼の頭は變になつた、算術の本を離さなかつた。思ひ出したやうに元利合計を繰り返して視覺の錯亂した兩眼に涙を浮べた。

沖から歸つた親父を賢は引張るやうにして急がせた。

「お秋が歸つて來た、あのお秋が、本當か」

甚吾は眼前が明るくなるやうな氣がした、都會で四年も働いたら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

小金の少しも貯めただらう、垢拔けして奇麗になつてるに違ひない
甚吾は都會を金が苦もなく湧く泉のやうに考へてゐた。

「姉はでかい腹しとるぞ」

賢の言葉に一寸心配になつた、が喜心の方が大きかつた。

「お父う」

秋は親父の顔を見て之だけ云つた、之だけしか云へなかつた。

「お秋か、お前の亭主は丈夫か」

父無し子ではあるまいな——甚吾はかう云ひ度かつたが久し振りに見た娘は強い言葉を投げるには余りに非道い傷悴しやうだつた、薄くなつた眉、高くなつた頬骨、蒼い顔、汚れた縞の細い着物、之が廿一になつた娘の姿と云えやうか。

「お父頼む身二つになる迄置いて呉れ、亭主は一生懸命働いても親子三人では食つてけねえから、一層姙娠した時直ぐ片付けりや良かつたが遂ひ情にほだされて——」

彼女は目を伏せた、年取つた親父の曲りかけた背が悲しかつた。

「馬鹿奴、出來たものはちやんと産んで育てるのが女だぞ」

甚吾は呶鳴つた、古い魚のやうに濁つた眼がキラキラ光つた。

「お前達がよう育てんもんなら俺が生きてる間丈けでも育てる、安心しろ」

秋は親父を拜み度くなつた。

「俺も馬車屋を廢めてから隨分困つたぞ。濱の源旦那に年取つてるからと云ふのを無理に頼んで雇つて貰つてるが喃、若い者の間に立つて働くのは骨ぢやわい、それに沖に出る仕事だから喃」

親父は魚臭ひ手を振り振り話した。

「お富も盆には歸つて來るぞ」

「K市へ奉公に行つてるつてな」

「あゝ彼處で指折りの金持のF家へ行つとる」

「私も居る間は桑摘みでもして働かうよ」

「いや、お前はヂット家に居ろ、働いて身體に障つたらいかん」

長い間都會へ行つてゐた甚の娘が汚い身裝りでおまけに姙娠しで歸つて來た——村人達の輕蔑した眼とこんな言葉を親父は恐れてゐる、秋にはそれがよく分つた。甚吾は朝早くから沖に出る、賢は桑摘みに行く、秋は汚い畳に寢轉んで毎日蒼い空を貪るやうに眺めて暮した。もくもく湧いた白い入道雲に夏が輝いてゐる。子供が産れる迄の間が馬鹿に長いやうに思はれた、都會で一生懸命運動してゐる同志の事を考へると焦々した、出來た兒に直ぐ別れなければならないとも思つた、そして悲しかつた。寂しかつた、親父の甚吾は初孫を手放さずに自分で育て度いと思つてゐた、そして金が入ると賭博をやり始めた。

——出産にだけでも大した金だ——

親父は夢中になつた、終ひには勝負の面白さに引かれて初めの目的をけろつと忘れた、負けたと云つては酒を呑み、勝つたと云つては

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

呑んだ。夜遲く熟柿臭い息を吐きながら歸るやうになつた。
益々暑熱を増した陽光が稻の上にむんむんと照りつけ始めた、停車場は白鳥のやうな輕裝をした町の男女を頻煩に吐き續けて濱が賑つた、或日秋はC市の夫から一通の電報を受け取つた。
——金、五〇、送れ——
秋は困つた、自分に金の出來る余裕の無い事を知つてゐる夫は、藁を掴む氣でかう云つて寄越したに違いない、夫の居る工場は爭議中だ切迫詰つた運動費だらう、秋は電報を抱えて三度の麥飯が砂のやうに喉に引掛つた。
お富がK市から歸つて來た、親子四人は久し振りに暗い灯の下で顏を見合せた、お富は薄いペラペラした着物を着て白粉を眞白に付けてゐた、彼女は姉のみすぼらしい姿を輕蔑し家の汚さを嘆いた。
「姉、もつと奇麗な着物を着てキチンとしろよ」
「これ一枚しかねえよ」
「フン」
お富は低い鼻先で笑つて多額納税者だと云ふ主家の豪奢な家と主人達の贅澤な生活振りを我が事のやうに自慢氣に話した。廣い庭にはテニスコートがある、お孃樣達の學校の迎へ送りは車夫がする。奥樣は香水入りの風呂に入り一瓶四圓も五圓もする白粉を着ける。そして色が拔ける程白い、それは毎朝毎晩レモンを食べてはそれで顏を擦るからだ、お富は話し續ける。
「レモンてなんぞな」
娘の一言毎にホーと唸つては眼を圓くしてゐた親父が聞いた。
「レモンを知らんのかお父、西洋の蜜柑だよ、小つぽけな奴でも一箇十錢もするぞ」
秋は深い憫みの眼で妹を見た。
「これこの指環を見ろよ」
富の差し出した肥えた指に、食いこんだ金指環の寶石がキラキラ光つた。
「これ、ダイヤだぞ、安くしても千圓かな、暗い所でも猫の眼のやうに光るぞ」
「なう——猫の眼のやうにな——」
乘り出した親父の眼は物欲しさうな光で一杯だつた。千圓——秋はぐつと唾を呑んで息を殺した、彼女の頭には夫から來た電報と寶石が代る代る浮んだ。
「わしは奥樣付きだもんでよう面倒を見て呉れるからと云つて之を下さつたんだよ、なあに奥樣はこんなものなんざ十七八も持つてるからね」お富は石の光りを樂しむやうに指を電氣に透した。
「今夜濱に花火があがるぞ、見に行かう」
賢が思ひ出したやうに云つた。
「おゝさうさう、三人で行つて見て來い、お父が留守番をしてやる
姉弟は暗い田を拔け明るい通りを過ぎて海岸へ行つた、そゞろ歩

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

く人の浴衣が闇に白く浮んで花火を待つ人々が黒く密集してゐる。

――お富に事情を話して指環を借りやう――

之ばかり考へて云ひ出す機會を狙つてゐた秋は上の空に歩いた。

人のどよめきを制するやうにポンと花火が上つた。

「おゝ綺麗だ」賢とお富の聲に秋も空を見上げた、眞暗い夜に咲いた花は五色の糸を引いて スーース と流れて消えた。美しく散る花火――秋にはそれがキラキラ光る無數の寶石のやうに見えた。

――云はう――

決心した。

「お富」

「なんだ姉――」

闇の中に必死の輝きを以て自分を瞶める姉の眼があつた、お富は氣味が惡くなつて來た。

「なんだよう姉――そんなに改まつて」

秋はお富の返事が恐しかつた。喉迄出た言葉を又意久地無く呑み込んだ。

「なんでもないよ、ほんとに綺麗だな」

一つの蚊帳の中だ、お富はぐうぐう寢てゐた、その横に並んで妹の手を握つた秋の眼は冴え切つてゐた、彼女はお富の指環を手探りにいじつた。

――明日何氣なく借りる、午後二時の汽車でK市へ出る、四時出帆の船に乘る、次の汽車は三時四十分――大丈夫だ――

秋は自分の立てた計畫を綿密に繰り返した。

朝、彼女は妹に云つた。

「富――姉に今日一日だけその指環を嵌めさせて吳れ、姉なんかの貧乏暮しぢやあ一生觸ることも出來んからね」

秋はかう云つて笑はうとしたが云ふ事を聞かずに顏が痙攣つた。

「あゝ良いともよ、だが失くしたら嫌だよ」

お富は一寸考へて指環を差し出した。そして幼友達を尋ねる爲に念入りに化粧をすると出て行つた。

――許してお吳れ、みんな――

時間が來るのを待ち兼ねて秋は停車場へ急いだ、後から追ひ掛けられるやうな氣がした、驛の固い椅子の上で正面の時計ばかり見てゐた。

――もう後卅分――

秋は時計の針を手摑みにして引き廻し度いやうな焦燥を感じながら人蔭でソッと胎兒の動く大きな腹を抑へた。

「姉は何處へ行つた？　賢知らんか」

「知らん」

夜になつても秋は歸らない、お富は心配になつて來た、彼女は姙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

娠してゐる姉の身體より姉に貸した指環の方が心配だつた。

――どうしたゞらう――

心配の最中に人が尋ねて來た、親父と一緒に馬車屋をしてゐた權爺だ。

「甚さん居るか」

お富は入口へ走り出た

「やあお富さんか、滅法綺麗になつたな、ところで今日晝間驛で秋さんに會つたぞ、一寸急用があつてK市へ行く、今夜歸れねえかも知んねえからつてお前さんに手紙を頼れて來た」

「え」

富は權爺から紙片を引たくつた、それに吸ひ付いた富の眼は血走つて手がぶるぶる顫えた。

――お富、濟ないが指環を借りて行く、姉は金が欲しい、切迫詰つた金が入用なのだ、自分の爲に使ふのぢや無い、この金で澤山の人々が救はれるのだ、何時かお前にも分る時が來る、必ず――許して呉れ、許して呉れ、賢とお父を頼む――

其處へ親父が歸つて來た、朦朧とした眼を据えてフラフラ入つて來た親父の首つ玉へ噛り付いた富は狂人のやうに喚き立てた。

「姉が――姉が指環を持つて逃げた、あのダイヤを――」

親父は全身に冷水を掛けられたやうに醉が一時に醒めた。

「秋が――さうか」

親父は泣き喚くお富をヂッと見ながら腕を組んだ、子を手放さずに自分で育て度いだらう――。

「富、お前が腹を立てるのも無理は無え、だが姉の亭主は產れる子を養ふ事も出來ねえ程貧乏だと云つてたぞ、勘忍してやれ、指環は諦めて呉れ、又一生懸命働いてゐたらその內奥様が下さるよな」

「だがあの指環は――あの指環は――」

泣きながらお富は突然外へ走り出やうとした。

「何處へ行くだ、今から追つかけてももう船は四時に出てゐるんだ奥様への申し譯は何んとかつく、な、お父に免じて堪えて呉れ」

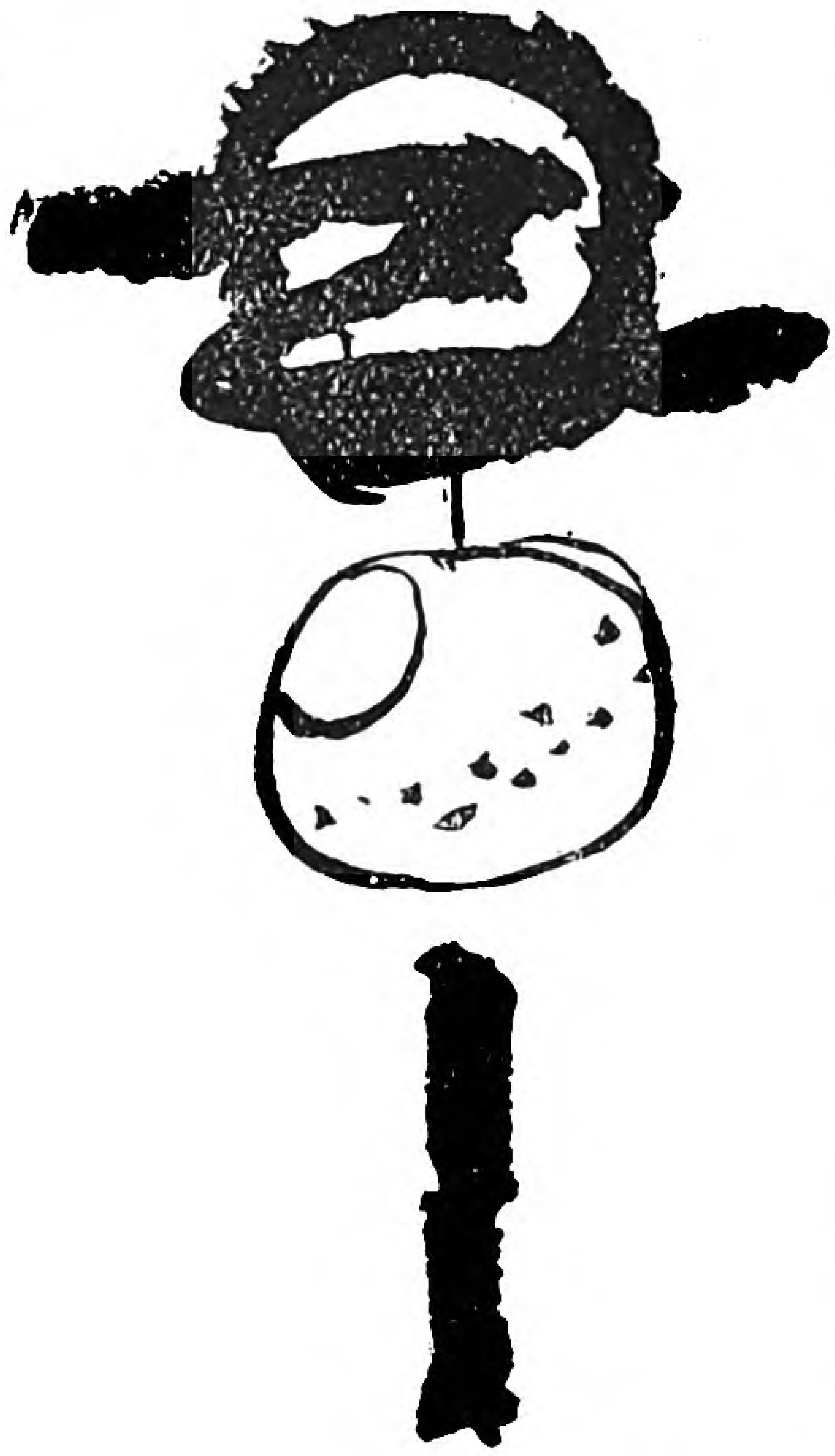
指環は奥様から貰つたのでは無かつた、金庫へ入れる迄假に藏つて置いて呉れと云はれたのを宿下りの日にソッと嵌めて來たのだ。それを嵌めて村人達に見せつけたかつた。

彼女は恐しい結果を豫想して慄えた。

十時四十分、K市行きの終列車だ、それが村端れの踏切りで急停車した、夜の空氣の靜寂を波立たせて非常汽笛が泣いた、不吉な余韻を長く引いてゐる、お富の切斷された胴と兩足、べつとり血に濡れた光る線路、それ等を赤いシグナルが照してゐる、畦を走る村人の黑影が一つ一つ殖えて夜露に重い闇がざわめいて來た。

一九三〇、六、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



寝床のない女

—放浪記—

林芙美子

二月×日

黄水仙の花には、何か思ひ出がある。

窓をあけると、隣の家の座敷に灯がついて、黒い卓子の上に黄水仙が猫のやうに見えた。

階下の臺所から、夕方の美味さうな匂ひと音がする。

二日も飯を食へないジンジンする體を、三疊の部屋に横たへてゐる事は、まるで古風なラッパのやうに埃つぽく悲しくなる。生涯が煙になつて、みんな胃のふへ逆もどりだ。

ところで呆然としたこんな時の空想は、まづ第一に、ゴヤの描いたマヤ夫人の乳色の胸の肉、頬の肉、肩の肉、酢つぱいやうな、美麗なものへ、豪華なものへの反感！　が、ぐんぐん血の塊のやうに押し上げて、私の胃のふは、旅愁にくれてしまつた。

外へ出る。

町には魚の匂ひが流れてゐる。

公園に出ると、夕方の凍つた池の上を、子供達がスケート遊びをしてゐた。

固い飯だつて闘ひはしないのに、荒れてザラザラした唇には、公園の風は痛すぎる。子供のスケート遊びを見てゐると、妙に切ぱ詰つた思ひになつて、涙が出る。どつかへ石をぶつゝけてやりたいな。

耳も鼻も頬も桃のやうに紅くした子供の群が、束子でこするやうに、キユウキユウ厭な音をたゝて、氷の上をすべつてゐる。

一縷の望みを抱いて百瀬さんの家へ行く。

留守。

知つた家へ來て、寒い風に當る事は、餘計腹がへつて苦しい。留守居の爺さんに斷はつて、家へ入れて貰ふ。古呆て妖怪じみた長火鉢の中には、突きさした煙草の吸殼が、しぶきのやうに見えた。

壁に積んである、澤山の本を見てゐると、なぜか、舌に唾が湧いて、此書籍の堆積が妙に私をゆうわくしてしまつた。

どれを見ても、カクテール製法の本ばかり、一册賣つたらどの位

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

になるかしら、支那蕎麥に、てん丼に、ごもく壽司、盗んで、すいてゐる腹を滿たす事は、惡い事ではないやうに思へた。

火のない長火鉢に、兩手をかざしてゐると、その本の群立が、大きい目玉をグリグリさせて、私を笑つてゐるやうに見える。障子の破れが氣妙な風の唄をうたつた。

あゝ結局は、硝子一重さきのものだ。果てしもなく砂に溺れた私の食慾は、風のビンビン吹きまくる公園のベンチに轉ろがるより仕やうがない。

へゝッ！　兎に角、二々が四だ。貳錢銅貨が、すばらしく肥え太つたメン鷄にでも生れかはつてくれないかぎり、私の胃のふは永遠の地獄だ。

歩いて、池の端から千駄木町に行く。恭ちやんの家に寄る。

がらんどうな家の片隅に、恭ちやんも節ちやんも凸坊も火鉢にかじりついてゐた。

這ふやう　氣持ちで、御飯をよばれる。口一杯に御飯を頰ばつてゐる時、節ちやんが、何か一言優さしい言葉をかけてくれた。

何か、胸がヅンと突き上げる氣持ち、口の飯が古綿のやうに擴がつて、火のやうに涙が噴きこぼれた。

鹽つぱい涙をくゝみながら、わんわん泣き笑ひすると、凸坊が驚いて、玩具をほうり出して一緒に泣き出してしまつた。

「オイ！　凸坊！　おばちやんに負けないで、もつともつと大きい聲で泣け、遠慮なんかしないで、汽笛の樣な大きな聲で泣くんだよ。

恭ちやんがキラキラした瞳で凸坊の頭を優しく叩くと、まるで町を吹き流して來る、ぢんたのクラリオネットみたいに、凸坊は節をつけて大聲あげた。

私の胸には、おかしく温いものが流れた。

「時ちやんて娘どうして……。」

「月始めに別れちやつたわ、どこへ行つたんだか、仕合せになつたでせう……。」

「若いから貧乏に負けつちまうのよ。」

赤い毛絲のシャツを二枚持つてゐるから、一枚節ちやんに上げやう、白々とした肌が寒氣だつた。

寢轉ろんで、天井を睨んでゐた恭ちやんが、此頃つくつた詩だと云つて、それを大きい聲で朗讀してくれた。

激しい飛び散るやうな、その詩を聞いてゐると、私一人が飢えるとか飢えないとかの問題が、まるで子供の一文菓子のやうにロマンチックで、感傷的で、私は私の食慾を嘲笑したくなつた。


白粉のツキとツヤとをよくする！
化粧用美顔水
キメを細かに、ツヤをよくし、素顔の美を増すにも最もよい化粧水です

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

正しく盜む事も不道德ではないと思えた。

歸へつて今夜はいゝものを書かう。コオフンしながら、樂しみに夜風のリンリンした町へ出た。

星がラッパを吹いてゐる
突きさしたら血が吹きこぼれさうだ
破れ靴のやうに捨てられた白いベンチの上に
私はまるで淫賣婦のやうな姿體で
無數の星の冷たさを愛してゐる
朝になれば
あんな空の花は消えてしまふぢやないか
誰でもいゝ！
思想も哲學もけいべつしてしまつた
白いベンチの女の上に
臭ひ接吻でも浴びせてくれ
一つの現實は
しばし飢えを滿たしてくれますからね。

家に歸へる事が、むせうに厭になつた。
人間の春秋とは、かくまでも佗しいものか！　ベンチに下駄をぶらさげたまゝ轉がると、星があんまりまともに見えすぎる。
星になつた女！
星から生れた女！
頭がはつきりする事は、風が筒拔けで、馬鹿のやうに悲しくなる。
夜更け。馬に追はれた夢を見る。

隣室の××頭痛し。

二月×日

朝から雪混りの雨。

寢床で當にもならない原稿を書いてゐると、ナ子遊びに來る。

「私どこへも行く所なくなつたのよ、二三日泊めてくれない？」

羽根のもげたこほろぎのやうな彼女の姿體から、押花のやうな匂ひをかひだ。

「お米も何もないのよ、それでよかつたら何日でも泊つてゐらつしやい。」

「カフエーの客つて、みんなジュウね、××と鼻ばかり赤かくしてゐて、眞實なんて爪の垢ほどもありやアしないんだから……。」

「カフエーの客でなくたつて、いま時は、物々交換でなくちや……せち辛いのよ。」

「あんなとこで働くの、體より神經の方が先に參いつちやうわね。」

ナ子は、帶を昆布卷きのやうにクルクル卷くと、枕のかはりにして、私の裾に足を延ばして蒲團へもぐり込んで來た。

「あゝ極樂！　極樂！」

すべすべと柔いナ子のふくらつはぎに私の足がさはると、彼女は込み上げて來る子供の様な笑ひ聲で、クックッおかしさうに笑つた。

寒い夜氣に當つて、硝子窓がピンピン音をたてゝゐる。

家を持たない女が、寢床を持たない女が、可愛らしい女が、安心して裾にさしあつて寢てゐる。私はたまらなくなつて、飛びおきると、火鉢にドンドン新聞をまるめて焚いた。

「どう？　少しは暖い！」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

「大丈夫よ……。」
ナ子は蒲團を頬迄しづり上げると、虫の様に泣き出してしまつた。
午前一時。
二人で支那そばを食べる。
朝から何もたべてゐなかつた私は、その支那そばがみんな火になるやうな氣がした。
炬燵がなくとも、二人でさしあつて蒲團にはいつてゐると、平和な氣持ちになる。いゝものを根限り書かう――。

二月八日
朝六枚ばかりの短編を書きあげる。
此六枚ばかりのものを持つて、雜誌社をまはる事は憂鬱になつて來た。ナ子食パンを一斤買つて來る。
古新聞を焚いて茶をわかしてゐると、暗澹とした氣持ちになつて、一切合切が、うたかたの泡より儚なく、めんどくさく思えて來る。
「私つくづく家でも持つて落ちつきたくなつたわ、風呂敷一ッさげてあつちこつち、カフエーや、バーをめがけて歩くの心細くなつて來たの……。」
「私なんか、家なんかちつとも持ちたくなんぞならないわ。此まゝ煙のやうに呆つと消えられるものなら、その方がづゝといゝ」
「つまらないわね。」
「いつそ、世界中の人間が、一日に二時間だけ働くやうになれば、あとは野や山に裸で踊れるぢやないの、生活とは？ なんて、めんどくさい事考へなくてもいゝのにね。」
階下より部屋代をさいそくされる。
カフエー時代に、私に安ものゝ、バアニテイケースをくれた男があつたが、あの男にでも金をかりやうかしら……。
「あゝあの人！ あの人ならいゝわ、ゆみちやんに參つてたんだから……」
ハガキを出す。
神様！ こんな事が惡い事だとお叱り下さいますな。

二月×日
思ひあまつて、夜、森川町の秋聲氏のお宅に行く。
國へ歸へると嘘を言つて金を借りるより仕方がない。自分の原稿なんか、頼む事は、あんまりはづかしい氣がするし、レモンを輪切りにしたやうな電氣ストーヴが赤くかくかく燃えて、部屋の中は、私の心と五百里位は離れてゐる。
扉の同人で、若い青年がはいつて來た、名前を紹介されたが、秋


色の白くない方
アブラ性の方に
特に適する白粉
肌色美顔水
不思議に生地から白い様な美しいお化粧が出來ます。
姉妹品に肌色美顔粉白粉あり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

聲氏の聲が小さかつたので聞きとれなかつた。
金の話も結局駄目になつて、後で這入て來た順子さんの華やかな笑聲に押されて、青年と私と、秋聲氏と順子さんと四人は外に出た。
「ね、先生！　おしる粉でも食べませうよ。」
順子さんが夜會巻き風な髪に手をかざして秋聲氏の細い肩に凭れて歩いてゐる。私は鎖につながれた犬の感じがしないでもなかつたが、非常に腹がすいてゐたし、甘いものへの私の食慾は、あさましく犬の感じにまでおちてしまつた。
誰かに甘えて、私もおしる粉を一緒に食べる人をさがすかな。四人は、燕樂軒の横の坂をおりて、梅園と云ふ、待合のやうなおしる粉屋へはいる。黒い卓子について、つまみのしその實を噛むと、あゝ腹いつぱい茶づけが食べてみたいなと思つた。
しる粉屋を出ると、青年と別れて、私達三人は、小石川の紅梅亭に行く。賀々壽々の新内と、三好の醉つぱらひに一寸涙ぐましくなつて、いゝ氣持ちであつた。
少しばかりの金があれば、こんなにも樂しい思ひが出來る。まさか紳士と淑女に連れそつて來た私が、お茶づけを腹いつぱい食いたい事にお伽話のやうな空想を抱いてゐると誰が思ふだらうか！
順子さんは、よせも退屈したと云ふ。三人は雨のそぼ降る肴町の裏通りを歩いた。
「ね、先生！　私こんどの××の小說の題なんてつけませう、考へてみて頂戴な、流れるまゝには少しチンプだつたから……。」
順子さんの薄い肩が、カウモリのやうに見えた。
團子坂のエビスで紅茶を呑むと、順子さんは、寒いから、何か寄せ鍋でもつゝきたいと云ふ。
「どこが美味いか知つてらつしやる？」
秋聲氏は子供のやうに目をしばしばさせて、「そうね……。」私はお二人に別れやうと思つた。
二人に別れて、小糠雨をナちやんの羽織に浴びながら、團子坂の文房具屋で、原稿用紙を一帖買つてかへる。――八錢也――
ワァッ！　と體中の汚れた息を吐き出しながら、まるで尾を振る犬みないな女だと私は私を大聲あげて嘲笑つてやつた。
歸へつたら、部屋の火鉢に、パチパチ切り炭が彈けてゐて、カレーの匂ひがぐつぐつ泡をふいてゐた。
見知らない赤いメリンスの風呂敷が部屋の隅に轉がつて、新らしい蛇の目の傘がしつとり濡れたまゝ緣側に立てかけてあつた。
隣室では又今夜も秋刀魚か、ナちやんの羽織を壁にかけてゐるとクックッナちやんが笑ひながら梯子段を上つて來る。
「お芳ちやんがたづねて來てね、二人で風呂へ行つたの。」皆カフエーの友達、此女は英百合子に似てゐて、肌の美しい女だつた。
「ナちやんも出てしまうし、面白くないから出て來ちやつたわ、二日程泊めて下さいね。」まるで綿でも詰つてるかの樣に大きい髷なしをセルロイドの櫛でときつけながら、
「女ばかりもいゝものね……時ちやん此間あつてよ。どうも思はしくないから、又カフエーへ逆もどりしやうかつて云つてたわ。」
お芳さんが米も、煮えてゐるカレーも炭も買つてくれたんだと云つてナ子がかひがひしく茶ブ臺に茶碗をそろえてゐた。
久し振りに明るい氣持ちになる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

敷蒲團がせまいので、晝夜帶をそばに敷て、私が眞中、三人並んで寢る事にした。何處か三疊の部屋いつぱいが女の息ではち切れそうな思ひだつた。

高いところからおつこちるやうな夢ばかり見る。●

三月×日

新聞社に原稿あづけて歸へつて來ると、ハガキが一枚來てゐた。今夜來ると云ふ、あの男からの速達だ。

ナちやんも芳ちやんも仕事を見つけに行つたのか、部屋の中は火が消えたやうに淋しかつた。

あんな男に金を借してくれなんて言へたもんではないぢやないかナちやんに相談してみやうかしら……。

妙に胸がさはがしくなる。

あのヴァニテイケースだつて、ほてい屋の開業日だつて云ふので、物好きに買つて來た何割引きかのものなのんだ。そうして、隅然に私の番だつたので、くれたやうなもの〻、別にあつちからも、こつちからも路傍の人以外に、何でもありはしない。

あんはハガキ一本で來ると云ふ速達、それにあつちの人はもうかなりな年だし、私は歯がズキズキする程胸さはがしくなつてしまつた。

夜――。霰まじりの雪が降りだした。

女達はまだ歸へつて來ない。

雪を浴びた林檎の果實籠をさげて、ヴァニテイケースをくれた男來る。神様よ笑はないで下さい。私の本能なんてこんなに汚れたものではないのです。私は沈默つて兩手を火鉢にかざしてゐた。

「い〻部屋にゐるんだね。」

此男は、まるで妾の家へでもやつて來たかの如く、オーヴァをぬぐと、近々と顔をさしよせて、

「そんなに困つてゐるの……。」と云ふ。

「拾圓位ならいつでも借してあげるよ。」

暗いガラス戸をかすめて雪がちらしのやうに通つて行く。

私の兩手を、男は自分の大き兩手でパンのやうにはさむと、アイマイな言葉で「ね！」と云つた。私はたまらなく憎しみを感じると、涙を振りほどきながら、男に云つた。

「私は淫賣婦ぢやないんですよ。食へないから、お金だけが借してほしかつたのです。」

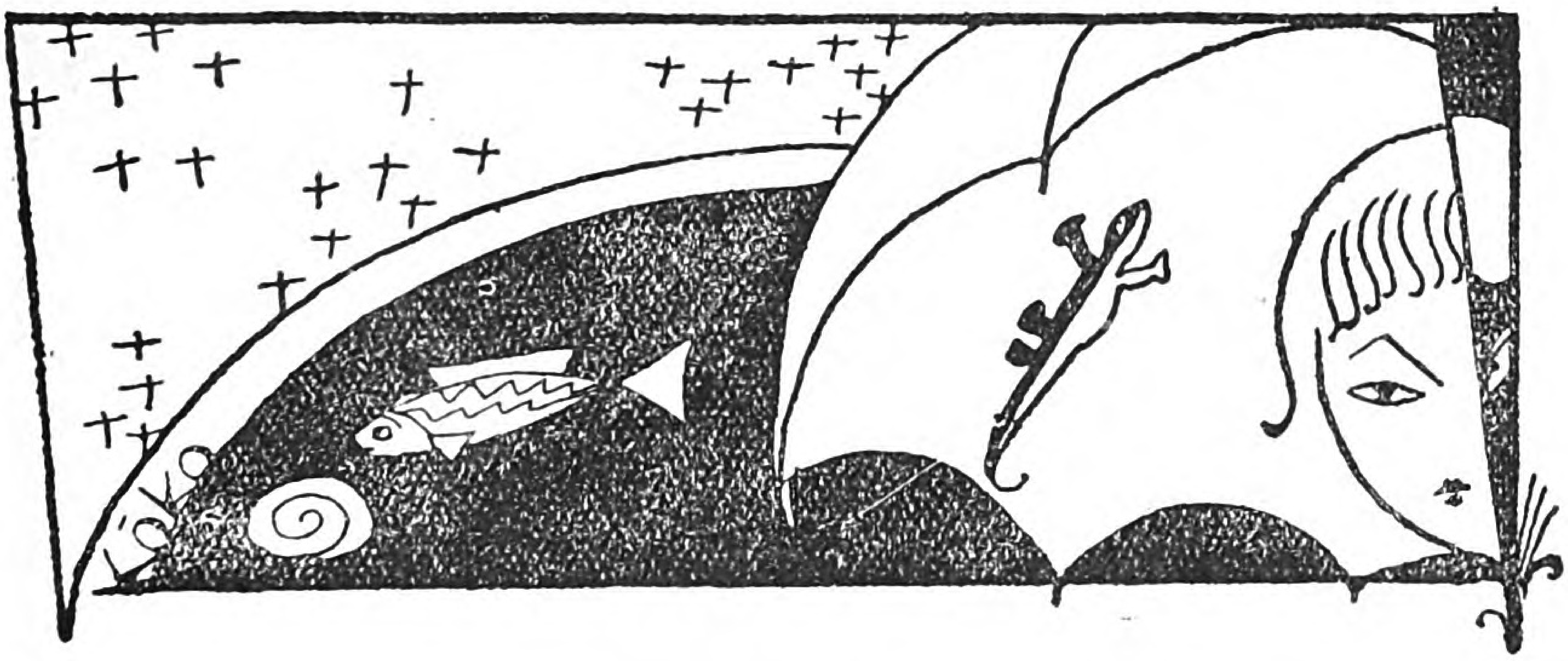
隣室で、妻君のクスクス笑ふ聲が聞こえる。

「誰です笑つてゐるのは！ 笑らひたければ私の前で笑つて下さい！ 蔭でなぞ笑ふのは止して下さい！」

男の出て行つた後、私は二階から果物籠を地球のやうにほうり投げてやつた。


化粧水を兼た類のない白粉
白色美顔水
最も進歩した科學的水白粉
數滴で一二分で目の覺めるやうなお化粧が出來、生地迄美しくする類のない白粉

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



温泉場騷動

—一景—

首藤嘉子

人物

池邊あき　三十五、六歳
同　迪子　娘　十五歳
同　遣一　息子　九歳
新井源太郎　四十歳
同　史郎　息子　十二歳
其の他、同宿の士官、女教員、商人、學生、老婆、娘、尼僧、會社員、長唄の師匠、旅館の内儀、番頭、下婢、大道商人、藝人、通行人等。

時——八月の末頃　午後から夜にかけて。

B温泉場の、或る旅館の二階の一室、兩側は襖により、隣室と仕切られ、正面奥は廊下を隔てた手摺で、向ひの家の土産物の看板等が見えてゐる。程よき調度。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

迪子――(寢ころんで足をばた〳〵させながら、葉書を書いてゐる)ウン、それから？　母さん、

あき――(鏡臺に向ひ髮を撫でつけながら、會話の合間〳〵にパフで白粉を念入りにはたく) それから、つと、それからね、今手許には(讀み上げるやうに言ふ) 十圓札一枚と、他には白銅が二つ三つあるきりです。これでは二、三日の宿賃どころか、三人の歸へる旅費もありません。そう書いてね。後はどうでも迪ちやんは作文が上手だから、どうでもいゝよ。なるたけね、悲しさうにお父さん困りますからこの葉書着き次第、お金を送つてくれとええ、なるたけ泣きつくやうに書いてよ、あゝ、そいから、と、ね、もうお父さんにもお金がなかつたら、歸へる船賃だけでも工面してと、そう書いとけばいゝわ。どうでもうまい工合に文を作つてね。

迪子――書いてよ、

あき――どう？　一遍讀んでみてごらん。

迪子――だつてえ、私、仕様がないから、今お母さんが言つてたのを皆書いといたわよ。

あき――どう、さ、讀んでごらんよ。

迪子――(讀みかける) お父さん、もうそろそろ、お家へ歸へりたくなりました。今手許には十圓札一枚と他に白銅が二つ三つあるきりです。これでは二、三日の宿賃どころか、三人の歸へる旅費もありません。

この時、表の方でズシン〳〵と曳摺る錫杖の音と、ホラ貝の音とが聞える、子供達の喊聲。

迪子――あ、又來た。お坊さんよ。觀音さんを背中にくつゝけた。

迪子手摺に飛んで行つて下を見下ろす。

遺一――母さん、僕う、また、うんこしたい、

あき――(鏡臺を片付けて)そら、もう朝から三度目だつせ。そりやきつと、あんまり海水浴へ行つて、冷えてしまつたんだよ、仕様がないねえ、大丈夫かい？ (遺一について退場)

史郎、廊下より、ちらと顏を出す。

迪子――アラ (頓驚に) あんた！　いらつしやいな。

史郎、海水着姿で登場

史郎――あんた行かない？　海へ、行かない？

迪子――(はしやぎ切つて手を打ちながら)行くわ。(着物をぬぎかける) 一寸待つてゝね、いゝ子だから。

水着に着換へ、二人手を組んで走りかけたが、迪子は先刻の葉書を取りに歸へり、大急ぎで愉快な聲を擧げながら退場、

あき遺一登場、

あき――あのお轉婆さん、仕様のない子だねえ、又、お隣りの坊ちやんと――(遺一を蒲團にねかしつける)さ、お前は溫良しいからね、お藥を呑んで。

商人、廊下を通りかゝり、あきの目に觸れる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

あき――まあ、一寸お話しなさいましよ、いゝんでしよ、一寸あなたお交際(つきあひ)といふもんがあるんですもの。お菓子なとお一つ。あら、お這入りなさいましつたら。そんな所に立つていらつしちや――私が氣が退けるぢや御座いませんか。どうぞ、あなた、御遠慮なく、あなた、

商人――(觀念して、頭を掻き〲廊下口に坐りこむ)どうも、えらい、奥さんに逢ふともう、あきまへん。どだい……あ、坊々(ぼんぼん)はどつかお悪いんで？

あき――左様でございますよ、あなた、四五日前から睡むさうに始終うつら〱して居りましてね、朝は、あなた、毎日八時の、

商人――(手を握る)簡單、簡單。ほゝう、それで下痢でも？

あき――はい、その下痢があなた大變な、今日は朝から、あなた、もう行き通しでございましてね、行つては――

商人――(腰を浮かして)ははあ、ははあ、さよでつか。それは、はや、どうも、えらい……(煙草入れを置き忘れて去る)

あき――アラ、あの人こんなものを忘れて。ちよいと、もし、ちよいと――(追つて退場)

尼僧、長唄の師匠廊下を歩いてくる。

尼僧――ナムマイダ、ナムマイダ。(部屋を覗き)今お話のは此家の――？

師匠――しつ！(覗きこみ)あゝ留守と見えますいな。えゝ、えゝこゝのがな、それは〱いやらしい程に、でございますんでござんすよ。温泉なんかでは目に附きまして、大評判でござんすのよ

尼僧――しつ！壁に耳でございやすから。ナムマイダ……

師匠――(口ずさむ)夕立や、さつと降りくる閨の戸に、ピカ〱おゝこわ、雷神さんは怖けれど、私しが……(二人退場)

新井、あき、登場、

あき――まあ、そう仰有るもんぢや御座いませんわ、お宜ろしいぢやごさいませんか。ま、一寸、お這入りなして……あなた。

新井――私は明日立たうと思ひましてな。

あき――あら、ま、それは又急な――。私に隠していらしたんですわね。私、恨みますわ。折角こうしてお馴染になつて、あなた、海には毎日御一緒に行く、散歩はする、地獄巡りには行く。お芝居には行く――折角これまでになりましたのに、辛うございますわねそんなら私も明日引き上げやうかしら。

新井――あんさんは未だ四五日は逗留するとお言ひなんしたやありませんかいな。

あき――えゝ、今まではそう思つていましたけどね、あなたがお立ちでは、お話し相手もなく、淋しくていたゝまれませんもの。どうして又、そんなに急いで、あなた、まだ四五日はお宜ろしいぢやございませんか。

新井――(どぎまぎして)えゝと、もう、金もなうなつてしまひまし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

たでな。私なんか田舍もんにはこうして何もしずにブラ〳〵逗留なんかすんのは何やこう、勿體ない氣がしましてなア、早う歸へつて家業をせいださん事にや、皆が干上つてしまひますのんで。

あき——そう、ねえ。田舍の方はそれがあるんで困りものですわね（これ見よといふ表情になり）私共は、主人が船長なんで御座いますからね。あなた、船長は船で一番のまあ、土地で申せば殿樣一國の主でございますわね。それなんで御座いますよ。それも、あなた、遠洋航海と申しましてねオヤ、御存じございませんの？あなた、宅は、アメリカやあのロシヤをぐるつと、廻るそんな大きな船の船長をしてゐるんでございますよ。

新井——（もじ〳〵し出す）ハ、ン。

あき——船長といふものは大した偉いものでございましてね。あなた、アメリカの…………

遣一——（先刻から目を覺まして頭を擡げていたが）母ちやん、うまい事言つてらあ。父ちやん、アメリカぢやないんだよ、朝鮮なんだよ。母ちやん。チヨーセンだよ。母ちやん。

あき——（睨みつける）默つといで。えゝ、アメリカから歸へります度にあなた、珍らしい寶石や、犬や、布地を、ね、

遣一——嘘いつてらア。飴だい。あの松葉の入つた——飴だい。

あき——お默りつたら！　それでね、私宅の生活費はあなた、月に八百圓は下つた事が御座いませんのですよ。田舍と違つて都會でござんすからね。八百圓なくつてはやつていけないんでございますよ。この間もね浴衣を着やうとして出してみますとあなた、袂の中に、十圓札が五枚、紙に丸めて入つてゐるんぢや御座いませんか。おかしくてね、去年からまる一年、知らずにいたんで御座いませう。早速あなた慈善鍋へ投げ入れて參りましてね。いゝ功德になつたと喜んでゐるんでございますよ。

新井——奧さん、私共では到底、そんな贅澤な事は思ひも寄らんこつて……明日はもう……思ひ切つて引き上げる事に——

あき——お名殘り惜しうござんすわねえ。ではこう致しましたらどうでせう。失禮では御座いますが、お歸へりになりますのにはどうせお土産物もお入りでせうし……そのお代にしましても、それから、もう三、四日、ねえ、せめて私共が引き上げます日迄いらして、御一緒に歸へる事に……その間のお宿賃は、私の方から、と、こう……失禮でございますが。

新井——そんな事をしていたゞいては、私共が……何ですから、あの、是非とも明日。

あき——（焦れて）お堅いんでございますわね。あなた、三日や四日、早くお歸へりになつた所で、あなた、奧樣が待つていらつしやるといふ譯でもなし……ねえ、そうなさいましよ。私、實のところ、今お別れしますのが辛い氣が致しましてね、私の方にしましても、宅が海員なんでございますもの、しよつちゆう留守勝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

ちで淋しい……

新井――奥さんに會つてはかなひませんわ。ま、よく考へる事にしまして……（立つ）

あき――どうぞ、明日なんて、それだけは、惡い事を申しません、お思ひ止まりなすつて…あ、温泉？　いらつしやるのでせう？私もお供を。

新井――（はら〱して）いえ、内湯の方へ。

あき――そう、それは恰度ようございましたわ。内湯なら尚更ら。お供致しますわ。

（化粧道具をもつて、そゝくさと肩を並べ二人退場）

右手襖開く、忍び足にて學生二人出てくる。

學生の一――しつ、しつ、あゝよかつた（遣一の寢顏を覗き込）寢てる、寢てる、な、オイ、面白いだろ。

學生の二――（病氣らしく痩せて黑足袋を穿いてゐる）ウン、盗み傚きつて奴あ面白いもんだなア。やつちよる、やつちよる。

學生の一――あれが實にやりきれんだわい。男と女との間といふもんわ。ハツハツ……以後君も愼み給へ、と言ふんだ。

學生の二――以後つて、僕その以前に何があつた？　アーン、君もそんな不敬な言葉は愼むが宜からうぞ。（急に悄氣て）困つたなア、もう一遍郵便局へ行つて來てくれるか。

學生の一――君、僕を見給へな、君のお供を仰せつかつて來たんだぜ。野球も何も抛つたらかしにしてよ。それが見てみい。金が缺乏してからに、病人の君には温泉や海は宜からうが、この鯱裂れさうな僕のやうなピン〱した者が――實際こう身動きも出來ずぢや病氣になつてしまふぜ。おい！　腕が鳴る！　この腕が!!野球――。ウム、武者振ひだ。ウム！（力任せに柱に獅噛みつき動かす）

學生の二――おい、おい、（蒼白になつて、學生の一に縋りつく）君、君、止せよ僕は地震には、神經が……

表で大きな聲がする。

若い女の聲――おつかさん、よく動搖れたぢや。

老婆の聲――ウン、ひでえ地震ぢやつたわいぢや。

若い女の聲――もう止んだがか？

老婆の聲――もう、ウン、大丈夫だらうぢや。

學生の一、二、手欄に凭れ腹を抱へて笑ひだす。

若い女の聲――あゝら、ほんじや、今のはデシンぢやなかつたがか？

老婆の聲――おにかえの生徒さんが、どあばれたじや。の？

若い女の聲――ほうけい？　そんぢや周章るこつてねえかつたんぢや。

二人、タオルを腰に結び退場、表を、三味線、太鼓の亂調子と、黄色い唄聲、はやし聲がしてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

間史郎、迪子登場

迪子――フン、そんなら、もう一寸してから行つたらいゝわ。今の娘ね、唄は拙いけど、それは踊りが巧いのよ。でも、いつ見ても、泥鰌抄ひか、紀伊の國ばかしか踊つていないのよ。私、博多節が好きなんだけど。

史郎――博多節つて？

迪子――あんた、知らないの？　唄つてみませうか。髮のほつれは（唄ふ）枕のとがよ、つてのよ。

史郎――それから？

迪子――そいから？　しらない。耻づかしいわよ。一人の時はいくらでも唄ふけど。

史郎――あんた、よく知つてるんだなア、そんなもん。

迪子――私、もつと〳〵澤山知つてるわ。だつてね、家に父さん滅多にいないでしよ。母さんたらね、毎晩、近所の人と三味線を彈いたり、御馳走たべたりしてるの、そいで……そいでよ。私も何日の間にか覺えてしまふわよ。

史郎――いゝなア、僕んち、田舍だから、それに母ちやん死んでから、つまんないんだよ。何んにも面白い事なんかないんだもの。

迪子――可哀そうにねえ。でもね（機嫌をとるやうに史郎の肩に手を廻し）うちだつても、今さつきポストへ入れたでせう。あの葉書ね、あれで四遍も同じやうなの、父さんに出してるのよ。お金がないから送れつて。そいでも、なか〳〵送つてこないの。だから私、困つてしまふわ。溫泉へ行つて、お菓子食べたいなア、つて思つても、母さん、勿體ない、いけませんつて――。たつた十錢ぢやないの。けち〳〵してんのよ。私ね、お友達んとこへ葉書出すいふてもね、一枚の葉書は一錢五厘するつて――ヘン、始めつから葉書は一錢五厘に決まつてるわね、その一錢五厘が勿體ないんですつて。

史郎――僕んちのお父さんにお金、借りたらいゝのに、

迪子――アラ、あんたのお父さん　お金もち？

史郎――ウン、どつさりお金、蟇口に入れて、腹卷きん中にも札を卷いてるよ。そしてね、毎晩、お床の中で、勘定してから睡るの。

迪子――いゝわねえ、私のとこなんか、此處へ來るのも、父さんと母さんと、大喧嘩して、やつと母さんが勝つて來たのよ。父さん身分がなんとか、かんとかつて、ブリ〳〵怒つてたわよ。

史郎――父さん、何處い行つたらう。

迪子――うちの母さんも居ないわ。恰度いゝわ。此處へきて寢轉ばない？　そしてお話しするの、

史郎――だつて――、女の子と寢轉ぶなんて僕、耻づかしいや、（立つてゐる）

迪子――（腹匍ひになつて、見上げながら）いゝわよ。あんた、うちの母さんと、あんたのお父さんと、いつもこうして話してるんだ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

ものう。こゝへいらつしやい。

史郎――ウン（同じやうに腹匍ひになる）でも、おかしいなア、何だか。女の子と――

迪子――遣一ちやん、ようく睡むつてるわ。あのね、私、あんた好きよ。

史郎――ウン？

迪子――あのね、私ね、あんたがね、私を、あんたつて呼ぶでせうそれがね、始めのうち――今でもだけれど、ね、そう呼ばれる度に、胸がドキン〱して、嬉しい氣もちになつてしまふのよ。だつてえ、誰でもあんたの年位ひの人は、遣一ちやんでも、私を姉さんつて呼ぶでせう。それに、あんただけは――

史郎――でも、僕う。

迪子――あんね、私ね、そら、こないだ、皆で自動車で地獄巡りをしたでせう。あの時にね。ほら、よその小父さんが、あんたと私が並んで坐つている所をパチンと、寫眞機でとつたでせう。あの時ね、私ね、もう嬉しくつてたまんなかつたのよ。なぜだか。

史郎――なぜ？

迪子――私も解らないのよ。何故だか――あんたは？　ね、嬉しくなかつた？

史郎――ウ、ン

迪子――ね、嬉しかつた？　ねえ

史郎――ウン、嬉しい。

迪子――アラ、そう。嬉しい！　私と同じね、ね、私、あんたを可愛いがつたげるわ。一緒に温泉へ行きませうか。

史郎――だつて僕う、女の子となんかア。

迪子――いやな人ねえ、うちの母さんとあんたんちのお父さんと、毎日行つてるぢやないの、だから――

史郎――ウン？

迪子――だから私も、あんたを連れてつたげるのよ。いくでしよ。

女敎員。士官、廊下を通つてくる。

女敎員――御免下さいまし（行き過ぎやうとして）おや、お母様は？（二人の子供をじろじろ見詰める）お母様は、

迪子――知らないわ。

女敎員――（士官に）だからね（意味あり氣に目配（メクバセ）して）この有様よ。

迪子――（史郎に）行きませう、ね、温泉へ。

女敎員――あのね、お孃さん、お母様がお歸へりになりましたらねこう申し上げといて下さい。私達はね、今から新館の方へ引き移る事になりましたので、どうか、あの、お暇の時に一度お出で下さいましつて。一寸ばかり、お話ししたい事もありますからね、チヨツ（舌打ち）又二人連れで出かけてるんだらう。（聲高に）頼みましたよ。

二人退場。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

迴す——いやな先生ねえ、ね、あんた、行きませう。(史郎を促がして退場)

表に湧き返へるやうに賑やかな、囃しの聲。學生、會社員、商人等、手欄によつてきて錢を紙に包み投げやる、上からも(三階) 頻りに、紙にひねつた銅貨落ち來る。一しきり喝采、陽氣な歌聲、喊聲等。

新井、あき、登場。手拭ひを手欄に掛け、湯上りの血色の好い顔を光らせ、部屋へ入ることもならず佇立つてゐるが、却てあきはつん〳〵して先きに部屋へ入り、新井を手招ぎして、ぴつしやり廊下と合ひの障子を締める。

戸の外の割れるやうな拍手と、哄笑とで幕

二　景

海邊に近い溫泉場獨得の、せゝこましい土産物屋の立ち並んだ町、波の音が聞えてゐる。扇團片手の通行人が引切りなしに行き來してゐる。夜である。

商人——いゝ相手が出來て、こんな嬉しい事はおまへんわ、あつしや、商賣人でな、無學だす。そやけんど、無學、無學て、さう頭ごなしに馬鹿にはしてもらひまへんとこ。この頃ではな、何んぼ商人やいふたところで新聞といふ奴、な、あれを讀む。そひたら何んでも解りまつせ。先づ、この頃では、社會主義、赤やな、あんさん、黒、黒、となんで黒といふのやと聞いてみたら、なァる。クロポトキン。これで赤に對抗して黒といふ。うまいこじつけやな。これは感心仕まつた。いや。ほんまでさ。な、何でも一九三〇年型やと、時代の尖端をいかんならん。尖端も尖端、あんまり尖端いふて滑りすぎるとセンタクが利き過ぎつて去年の浴衣がボロになる。わつはつはつ……。こう見えても、何だす。あつしや、英語も少しは手にとつて勉強した事もあるんだすわ。知つてまつせ。犬はドッグ、猫はキャット、鼠はヘン、うゝん、それから、う、……机はヂスクス、ペンはペンやな、時計がウォウッ、うゝ……それから……

學生の一——うまいぞ。(二と肱突き合ひする)

商人——そう、そう、忘れるところやつた。あの、學生さん、よう新聞なんかに、レデーメードつて書いたりまんなァ。あれだけはどない考へても解りまへんわ。あれ何ちゆう譯や? 敎へてんか

學生の二——あれはね、小父さん

學生の一——(抑へて) フンあれか、あれはね、こう言ふんだよ。レデイつて貴婦人だろう?

商人——フン、フン

學生の一——それから (くすりと笑ひ) メードつて女中といふ譯さ合せて貴婦人と女中。さあ、これを何と解く——

商人——謎みたいに氣色の惡い。何んや、貴婦人と女中——二つ合

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

はして、

學生の一——何になると思ふ。こうだよ。上も、下もつてなるだらう。だから、上も下も、

商人——上も下も、

學生の一——女の事は頭の天邊から足の爪先までといふ事さ。

商人——なアる。ハ、、アン。それで解つた。女の事は頭の天邊から足の先きまで揃へてあるといふことだな、フ、、ン、そうか、いやえらいおゝきに、はゞかりさん。

學生の一——その通り、その通り、

三人退場。ある店頭より、ラジオのジャズ、ゆるがすやうに流れでる。通行人浮き足となる。大道商人、夕涼みの澤山の男女、子供達に取り圍まれ、杖を振り廻し、舞臺を横切りつゝ聲を嗄らして叫ぶ。

大道商——エッヘン。諸君。今から、僕は諸君に嘗て現はさなかつた大祕密の、素振らしいものを今夜に限り、いゝか、今夜は特別に公開しやう。もう明日は僕はこの町を去る心算でおるから再び、諸君とは相見るの機會がなからうと思ふ。だによつて、今夜集まつて下さつた諸君は何といふ幸福に惠まれた人々だらう。今から僕は公開せられざるものを公開して、諸君に萬分の一の禮を述べたいのであるんである。待つてくれ給へ。えゝと、鰻と梅干の食ひ合せの事は諸君もよく御承知の事と思ふ、が、今夜は特別を以て、その他の食ひ合せ、恐るべき、諸君の命を立ち所に奪ひ、精神的、肉體的の苦痛の最も恐しい食ひ合せの、祕法を敎へて進ぜる。そも〳〵、諸君！ 氷といふものはですな、諸君(退場)

突然賑やかに、三味太鼓の音と共に、下卑た唄聲して、派手な風態の二人の女の子をつれて、一組みの男女の藝人登場。男は四ツ竹を、女は編笠被つて三味線、年少の女の子は太鼓それに合はして一人の女の子は、えつさあさあと甲高い聲を放つて踊り出す。群集の大半は寄つてきて見物する、

やゝあつて廸子、史郎登場、

史郎——暗くなつてきた。ねえ、もう歸らうや。

廸子——うゝん。もつと歩きませうよ。私ね、もつと〳〵いゝ所知つてんのよ。そこへ連れてつたげませう。いゝとこよ。ね、汽車の待合室なの、二階へ上るとね、こんな(手を擴げ)大きな椅子があるのよ。そこへ坐つてお菓子たべませう。いゝこと？

史郎——僕う、腹へつたア。

廸子——いゝ子、いゝ子、もう直ぐだから、ねえ、私本當にあんた好きなのよ。ほらこのお菓子、待合室へ這入つて仲よく食べつこしませうね。

史郎——あの海の先まで行つたの怖わかつたねえ。

廸子——あんた、男の癖に怖いの？ 私は何ともなくつてよ。私が

従いているから大丈夫、でもねえ、

史郎――ウン

廸子――私ねえ、この間ね、あのお部屋で夕方だつたわ、一人ぼつちで寢轉んでゐたのよ。そしたらね、あなた、私少さな時、お祖母さんと一緒にお寺へ行つて地獄の繪を見た事があつたの。その繪つたらね、とても怖くつて……體中が慄えてくるのよ。見てるとね。女の人が眞裸になつて髪を振り亂して火の海へ陷ちてくるのがあつたわ。鬼に追ひかけられて針の山へとびこんでいつたりするのも――ねえ、人間つてどうせ誰でも死んでしまふものでせう。私が死んでしまつたら……まあ、どうしやう、あんな火の海や針の山へ……怖いわこわいわ、私そう考へると體が震へてきて止まらなかつたの……私が死んだら……私はどうなるのかしら……あんたそう考へない?

史郎――ウン、病氣になつた時、そんな事考へた事ある。死ぬのは怖いなア、一人ぼつちだもの。

廸子――死ぬ時は二人一緒に死にましやうか。

史郎――だけど、何日死ぬか解らないぢやないの。

廸子――そうねえ、あんたお家どこ?

史郎――宇部だよ、宇部の炭坑のある所。

廸子――ウベつてどこ? 遠いわね、私んとこは神戸よ、

史郎――神戸なら僕行つた事があるよ。

廸子――今度きたら私の家へいらつしやいねきつと、よ。そして、あんた、名前何ていふの?

史郎――史郎……

廸子――史郎さん、いゝ名ね、忘れないわ、(退場)

踊りの群もそろ〳〵引きこんでゆく、暫く舞臺靜寂、汽笛の音、微かに汽車の響き。新井、あき、遼一登場

あき――あんな絞りの浴衣が八圓も十圓もしますつてねえ、一つ廸子にも買つてやらうと思つて居りますの。あなた、角の、大きな黄楊の櫛や簪なんか賣つてる店の隣りに、九十何圓かの錦紗の細かい絞りの帶が出てましたでしよ。あれはあなたなんかに恰度お似合ひなんですがね。

新井――ウウ、めつそうもない。私なんかア、こんな、木綿の兵子帶で結構でさあね。

遼一――母ちやん、今さつきの乞食ね、あれね、僕にね、僕が通るといつつもニタニタ笑ふんだよ。

あき――乞食なんか、お前さん見ず知らずの……

新井――えゝ、なん云ひなすた? 水入らずの!

あき――乞食と? いゝえ、あなた馬鹿らしい、見ず知らずのと云つたんでございますよ。さ、これから納涼臺へでも參りませうかね、あなた。

慌たゞしく、女教員、宿の内儀や下婢共と登場。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

女敎員――あ、よかつた。よかつた――どんなに探したことか――こんな所に、まあ、あなた方は呑氣さうに――

あき――先生、足袋はだしで、まあ、一體何事が起きたんでございませう。隨分お苦しさうに……息が……

女敎員――何事つて、何事つて……(フウ、フウ息を吐いてゐる)

內儀――旦那樣、奥樣、大變な、お宅の……

女敎員――ま、私が言ひます。新井さんの坊ちやんと、池邊さんの孃さんとが……

新井、あき――(同時に) え? うちの子が――

內儀――大變なんでござんすよ。まあ、坊ちやんと……

女敎員――お靜かに。私が目付けたんですから、私が先きに傳へる權利を持つていますからね。まあ、かうなんですよ。私が主人と夜の海邊を語らひながら散歩しておりましたんですよ。昏れなんだ夕闇に、ふつと私が目を遠く海の彼方にやつて、それから々に轉じまして、堤防の一點に來ました時、まあ驚くぢやありませんか。その一番端の岩に二人の子供が腰を下ろしまして(新井あき、目混せする) 互ひに肩を抱き合ひ、泣いているではありませんか。それは他でもない。お二方のお子供さんでした。私があつと聲を立てゝ、再び目を開いた時は、既に二人の影も姿も見えません。

あき――(おろ〳〵聲になり)影も姿も――おゝ、……(咳くやうに)若しも……あれが死にでもしたら金――

新井――(走りかける)どうかして助かる工夫は――?

女敎員――ま、お靜まりなさい。船は出しましたしね。只今大々的捜査中なんですからね、御心配は入りません。たしかに死體は上つてくるでせう。これは考へてみますに、あなた方はお子さんの躾が大變惡るかつた事をお感じになりはしませんか。大體、あなた方のその品行は何といふ事です。奥さん、男女七歳にして席を

番頭登場

內儀――どうだつた?

番頭――駄目です。もう潮が滿ちて……船は六つも出して一生懸命に搜してるのんですが……

あき――(聲を上げて泣く)

新井――(敢然と、走り出しながら)もつと船を出してくれ! 船を泳ぎの上手な者は海へ入つくれ! まだ今のうちなら命があるかもわからん。誰か! おい、誰か! 子供を救つてきてくれ! 子供を――金はいくらでもある。(蟇口を出し、札を何枚も振り上げる) 百圓でも、三百圓でも、五百圓でも……

あき、呆然とそれを見戍つてゐる。皆、新井に跟いて海邊へ走り出す。

迪子、史郎登場、この場の光景に呆氣にとられて、怖わ〳〵手を組み合はせながら、皆の後に立つて瞻めてゐる。幕

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



實話三篇

無政府的な學校の搾取

林　君枝

謹嚴篤實な有名な女流教育者である吉岡彌生女史を校長と仰ぐ東京女子醫學專門學校。毎年、入學式の當日には次の樣な宣言がある。『人間である以上、何かに付けて過誤が無いとは云はれませんし、生徒の失策に付いては學校も可成寛大な處置をとるつもりですが思想的な問題に於いては斷然たる處置をとります。之は新たに入學なさる皆さんにも、御出席下さいました御父兄にも豫め申し上げて置きます。』

そこで七百人以上の學生諸君は『思想的には至極穩健で何の不平不滿もなく、搾取に甘んじつゝ通學してる。――それは外見のこと、彼女等も科學者である以上プロレタリアの慈父マルクスの示した眞理に呼びさまされずに未だに深い眠りに落ちてる譯は無い。數多い生徒の間から何時とはなく湧き始めた一脈の力強い流れ――併しこれは言及すべき事でも無く私に與へられた問題でも無い。

不平不滿と云へば、單に日常とやかく口の端に昇る皮相的なものでさへおびたゞしいものである。其の原因は簡單に云へばブルジョア道德の美名（？）に隱れて學校の方針の實際が徹頭徹尾營利主義である事に盡きるであらう。之を具體的に、系統的に書き續けるには餘りにも膨大な紙數を費さねばならぬであ

讀者通信

京都　眞澄

私は京都のある學校へ行つてる者です。月々十日頃にお小遣を頂く私は、飛立つ思ひで女人藝術を買ひに行きます。私の住んでゐる所は田舍ですから、新聞屋をかねた本屋がたつた一軒あるきりなのですから、あるのは婦人雜誌がせい〳〵なのです。私は何日もこんな田舍にも女人藝術があつたらと愚痴ばかりこぼしてをります。でも田舍から京都まで汽車通學して居る間に幾人もお友達を作りました。そして私の買つた本を、はじめは貸してあげたりして居ましたが、此頃では皆が各一册づゝ買ふまで熱心になつて來ました。私はまだ〳〵確かな、しつかりしたお友達を多く〳〵作ります。そして何か事がある時には大勢して皆樣の指揮の下に集まります。

横濱　菊地　昌子

女人聯盟は女性のめざましい社會的進出や向上のために何等かの力となり度い將來は聯盟員のために研究機關を設け云々といふお言葉を拜讀して、多大の期待を持つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



らうし、それだけの餘裕のある體でもないから單に大小の不平不滿を文字通り羅列してみよう。

先づ第一に服裝問題。學校に集まつてるのが十八九から二十三四の若い女性である以上よく制服の事が問題にされる。醫專の制服制帽で地方に行つたら――否、地方まで行かなくとも、四谷、牛込區を一歩踏み出したら通行人が申し合はせた樣に異樣な目をして振返る程、超時代的な奇怪極るものである。手取早く云へば、チユーインガムの廣告の樣なと說明すれば一番通りがいゝ。

寄宿舍は通學には勿論、それ以外の外出にもその制服でなければ一切許されない。

ある時、十數人の生徒が吉岡女史の住き協力者である舍監に外出の時は制服でなくとも――と願ひ出た所

「貴女方は外で惡い事をなさる御心算でなかつたら制服でも構はないでせう？」

と云ふ返事で意氣地無くも二の句がつげなかつたさうである。

それで彼女等は苦しまぎれに（淸盛公）をやる。（淸盛公）とは御好みの型の洋服を着てオーバーや、コートを上からまとひ、素知らぬ顏で關所を通り拔けてから、脫ぎ捨てるといふ方法なのである。夏冬のもので七拾圓學校を通じて指定の洋服屋に支拂はせられるが他の洋服屋に見せた所、「勉强して五十圓でさせて頂きます。」との話だつた。その差の金額は如何なるのか、善良な生徒等の知る由もない。

全校寄宿舍制度（市內及び近郊に自宅のある者は特に許す。）は學校の方針が如何に營利主義であるかを――學生の品行及び勉學又は思想的な傾向を責任持つて監督すると云ふ表面的な理由はあれ――最も如實に物語つてゐる。寄宿舍は鐵筋の五階建で、陸軍經理學校の傾向ひに異彩を放つてゐる。床はコルク敷で暖房裝置もよく整つてゐるが、一の部屋に七八人も押し込められるのは、何かにつけて不便な事が多い。部屋代が七圓、食費が十八圓、それに每年入舍する時に備品代と稱し十五圓支拂はせられる。これが多數の生徒であるだけに寄宿舍だけでも一ヶ月の收入は素晴らしいものだらうと思へるが、事のある度に學校の經濟力が許さぬと云ふ言葉を聞かねば

てをります。私達の社會的知識をひろめるため、また硏究心のために一例に過ぎませんが、例へば左の樣な場所を圑體で見得る或は知り得る機會を作つて頂けないでせうか。

裁判所、感化院、養老院、貧民窟、孤兒院、新聞社、雜誌書籍印刷所、特種な學校、託兒所、工場、など、そしてたゞ見る丈でなくその度每にそれについての硏究をしたら、可なり得るところがあるかと思ふのです。必ずしも良い意味のばかりではありませんが――。

もう一つ、講演、講習會によつて便宜をはかつて下さるも有がたいことですが、熱心に希望する人達によつて社會問題硏究、藝術、哲學の樣な部門にわかれて定期的に會合して、その道の權威者に問ふやうな事が實現され得るならば、女人聯盟員に加入することをどんなに感謝するでせう。

沖繩　西村その子

靑空の下にミン〳〵蟬が松の木の間に優さしく啼いてをります。然しもう窓の外ではカチ〳〵蟬がやかましく啼き初めました。沖繩はとても暑いのです。凉を求めて夜の散步にさ迷ひ乍ら、ついでに女人藝術を手に入れて家へ歸りま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



ならぬのは、寧ろ不思議である。其れにも拘らず昨夜の御膳に上つたライスカレーが、其の儘明朝の味噌汁に化けて居たり、煮物から蠅が出たりするのも珍しくなく「寄宿舍のものは不味くて食べられない！」と悲鳴を上げる生徒も少なくは無い。時たま、無記名投票で副食物の改良が望まれるが何時までたつても實行されさうも無い。唯ある校風會の席上で「味や外見は自信があるとは云ひ得ないが營養價の點に於いては職掌柄、科學的に研究して居り、過度の勉強をせねばならぬ皆さんに適當なものを上げて居ります。」

と吉岡校長が辯解めいた口調で仰言つたのを聞いたのみである。

「自家用のガソリン代を節約しなくつたつて如何にかなりさうなものね。」と氣の弱い學生の一人が私語いてゐた。

校風會とは學期四圓の會費を徵收され卒業生、在校生、教授、講師、及びその他の關係者が月に一回第一土曜日の午後三時から三階の講堂に集められ、彌生女史の訓話を拜聽させられたり、低級な餘興を見せて貰つたり——生徒がそのクラスを代表して演壇に立つが天降りで何時も同じ樣なメムバーの優等生が『我々は學生たる本分を忠實に果し、母校を愛し、忠良な日本國民にならねばならない。』と云ふ結論を與へられるか、遠足の報告に止まるもので、如何なる場合も生徒の意見は歪められ或は全然容れられないのが常である。——それで午後十一時頃まで引き止められるのは通學生は殊にやり切れない事である。出席せぬのが最善の方法なのだが、若しエスケープする現場でも見付からうものなら（うちの生徒たる資格の無い人）ときつ、お叱りを受けねばならぬ。兎に角、有難迷惑な機關である。

或る校風會の席で吉岡女史の話が生徒の健康に觸れて來た。

「五年間でひと樣の生命をあづかる責任の重い、一人前の醫者になる爲には、他校とは比較にならぬ程、激しい勉強をせねばならない、それに皆さんの大部分は田舍から出て來た人であり、急に埃の多い汚れた東京の空氣を呼吸する事等で、殊に學期試驗の邊りから健康を害する人が續出するのは、非常に嘆かはしい事である。それは思ふに我が校に運動場

す。皆樣の勤勉振り、發展振り、只ゞ敬服致してをります。レポいつもお送り下さいますので、皆樣の近況が見えるやうで嬉しく感じました。支部の發展も目覺ましい行進を續けられる樣で、私達日本の小さな片隅で、それを羨やましくじつと空術を眺めてゐるばかりです。然しこの島の二三の書店には大分女人藝術を見受けますので、やつぱし買ひ手は居るなと思ひました。そしてかくれたる愛讀者が澤山居る事を私は切に思ひました。

大阪　名古屋子

待ちに待つた女人藝術を三度本屋に行つて、やつと手に入れました、そして何より先に私の目に就いたものは希望社の內面暴露の記事でした、あれを讀むとまだ十四五才の小供の頃を思ひ出します、女學校二年の時に受持の先生から教へられて希望社に入會致しましたが二ケ月にして私は止めました。

それは希望社がまだやつと全國的に手を擴げ樣としてゐる時でした、處が受持の先生に賴まれて一度そのパンフレットの樣なものを會員に送るとて手傳わされた事があります、その時、何氣なく先生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



が無く、運動不足である事が大きな原因になつてゐます。就いては運動場を購求して皆さんの健康増進を計りたいと思ひます。」

此處迄は口に出さぬまでも誰しも異議なし！と云ふ表情をして居た。だが次が悪い。

「そこで皆さんが卒業する時納めて頂く事になつてゐる同窓會費百圓と、もう五十圓、之は寄附と云ふ事にして納めて頂きたいのです。だが、けして強ひてと云ふのではありません。何れ投票で皆さん自身でその賛否を定めて頂く事にします。」

だが一同は投票と聞いてホッとしたのだつた。生徒は主に上層プチブルの家庭の者が多いのだが、學費のかゝる兄弟が他にあつたりして月々の送金で大概は精一杯の者もけして少くはない。年額百五拾圓の授業料、それに校風會費、舍費、實驗費、級費、試驗料（前期後期で五十圓）それ丈でも充分、青息吐息の家庭さへある。

投票の結果は卒業を目前に控えてるクラスの少數者を除いては、百五人の級に、賛意を表した者は、片手の指にも足りない位だつた。それにも拘らず、數日後・父兄の所に、

『此度の計畫には生徒も滿場一致で賛意を表したから、明年三月までに百五十圓納められ度い。但し事情のある人は、三期に分納して差支へ無し。』と云ふ意味の事を印刷した紙が配達された。

「之では話が違ふ。」と膨れ面をして生徒は口々に不平を洩らしたが極度に抑壓、善良を強ひられてゐる生徒であるが故に、それ丈の事であつた。

「此の前も寄宿舍の傍に病院を建てるので、百圓とられたさうよ。どうしても卒業するまでには一度やられると覺悟した方が穩當ね。」と或る上級生の話だつた。

グランドは醫專の裏手の中學の校庭を買ふと云ふ話だが、買つたのじやあない、借りてる丈だと云ふ說もあるが、事實をよく知らないので何とも云ひ兼ねる。

搾取方法は實に徹底したもので微に入り細に渡つて行はれる。

六月と十二月には黒板の隅に「使傭人の慰勞金二十錢づゝ何日まで御納め下さい。」と掲示される。一人二十錢でも全額一萬四千圓になる。又、古い卒業生の話しだが、吉岡女史

のテーブルの上を見ますと、先生宛に希望社からの手紙が來て居りました何分小供心の事とて希望社と言へば直ぐ氣になつてふと讀んで見ました、すると入會する時に先生から「先生は人の爲めに成る事だからと思つて皆の心の修養の爲めに入會をすゝめるのですから修養になる事だから是非入會しなさい」と言われたので、その當時私達のクラスの三分の二迄は希望社の修養會員になりましたが、その手紙の内要を今は明瞭に覺えては居りませんが、何んでも、その大意は、「會員は希望とのぞみの二册の購讀者として、その會員の購讀を募つて頂けたらその收入の半額は貴下の收入として……」云々としてありました、私は吃驚してしまひました、私達が入會する時には先生は入會金毎月十錢と二册の本の半ケ年分出してそれは全部女工さん達と一諸に修養會を開く會費として先納しました。

先生は何處迄も人の爲めとばかりの話しでしたから全くその通りと思つてゐましたが、その收入の半額が先生の收入になるのですもの先生が學校の授業を忘れて希望社の讀者を募るのに努力したのに無理はありまんでした、學校の女

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



の夫君御逝去の時、預けてある學費（寄宿生の親から學資を送つて來ると强制的に學校の會計に預けられる。之も巧妙な營利主義の一の表はれだと云つてもよからう。）の中から五圓づゝ、香奠を俸引してあつたさうだ。

それでゐて何時も云はれてることは、學校の經濟能力の不充分と云ふ事だ。之は全く生徒一同には合點のゆかぬ事である。敎室も之でも專問學校かと思ふ程、貧弱なものである。が改良されようともしない。

學校當局の此の横暴も（けつして過言では無い。）今迄他に競走者が無かつた事が大いに原因してるであらうが、今日では、勝るとも劣らない、帝國女子醫專が市外大森にあり既に第一回卒業生を送り、尙大阪にも同樣に一昨年から設立された事に依り、或はいくらか緩和されるかも知れない。

之迄の事に少しの抗議もなし得ない程、何が之まで東京女子醫專の生徒をして因循にしてゐたか？

然し之から如何なコースを辿るか？

其の分析こそ重要な事であらうが此處では羅列に止めて置く。

智識、學術の商品化、學者連の墮落而してその反動化は所謂現在の第三期の段階に於ては强くなる一方であらうし、又勞働者農民を始め學生の左翼化も避くべくもない。

壊れない三角——の2

森川みつる

帝國ゴム製品會社の重役室では爭議團の安田と重役の平川とはお互ひに一歩たりとも許すまいと机を隔てゝアトモスフイアーを鋭く尖らせてゐた。平川は右手に卓上電話をつぶれそうになる程握り占めてゐた、安田は、平川の一擧一動を見逃さなかつた。

の先生ですからすつかり信じてゐますと、その手紙の下に後藤より〇〇子先生へとして一これを御身に送る一としてありました。

その後すつかり私は希望社がいやになつてしまつて友人等も二三人だけ殘して皆止めてしまひました、十四五才の事とて何となく意識的な氣持はなかつたのですが兎も角私はその後ばく然とした不滿の氣持で止めました、こんな譯で八月號の希望社の記事を見て全く幸福であつたと思ひます、二ケ月でもあんな社に這入つてゐたかと思ふと腹立しくもあります。

大分縣　木屋　榮子

私も六月號から愛讀者の一人として參加する事になりました、實はもつと早く讀まして頂きたいと思ふて居りましたけれど殘念な事には湯の町たる別府市の書店に御座いませんでしたので此度中津市へ參りましてから京町富士書店の方へお願ひして毎月注文して頂く樣に致して居ります、讀んで居る内に大いへん興味が出來て參りました、世間が不景氣になればなるほど私共の樣な職業婦人に必要であります、此から先は益々女人藝術社の發展する樣讀者の一人として影乍らお祈りします。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



ケタタマシク鈴が鳴つた。

「ア、モシモシ、ハイ平川で御ざいます、ハイ、唯今、ハイ、その——ハイ、實は、——ハイ、ハイ、かしこまりました」

平川は額の汗を拭き電話を簡單に切つた、

「君、重役君、どうだね、社長の電話らしいが、今度の爭議は、何處迄も我々の方の言ふ通りに出來なければ、職工全部が同盟退社と言ふ事になるのだが、いゝですか」

「いや、返事は追つて、兩三日中に此方も社長と相談をして、兩者に都合よく協定出來る樣にするから、それ迄待つて呉れ給へ、此方も職工が全部同盟退社となれば、明日から生產が出來なくなるから、それも困るからな」

「そんな事は此方は知らないんだ、兎も角三日ですね」

長い間この重役室で、怒鳴つてゐた安田もとう〱一先引擧げた。

幾百の勞働者達は安田を守りながら工場の方へなだれた。

「おい安田、どうだ、どうなつたのだ」

「どうもこうもあるものか、全く煮え切らない重役の奴さ、それよりもお前達は、全部皆を工場の南の廣場に集合させて呉れ、そして我々の行動に就いて皆が、一人たりとも異議のない樣に結束せねばならぬのだ」

皆んなは、よれ〱になつた菜葉服と土でごて〱に汚れたゴム靴を引づつて、廣場に集つた、

「全部で幾人だ、なに三人足りない」

「立川の奴は昨日から、爭議がある爲めに働けないと言つてゐたが、裏切つたらしいな」

「立川がゐないのだ、だが五百人足らずの俺達ぢやないか、五人もゐなけりや、誰々だか直ぐわかるよ」

「立川の奴は裏切つたのだ」

「自分だけの事しか考へないでゐるんだ」

「誰の爲めの爭議だ」

「こんな奴がゐるから俺達の仕事の實が擧らないんだ」

「押込め、立川の家へ押込め」

「立川をとつちめろ」

「裏切り者だ」

「まあ待た、立川達が五人位裏切つた處で、何の仕事が出來るんだ」

伊豆　杉山美都枝

八月號の雜誌有難う存じました。雜誌を手にしますごとに、社長樣はじめ皆樣の御苦心の程が伺はれて涙ぐましくなつてしまひます。

キチン〱と期日までに發行する事もどんなにか大へんなことだらうと存じます。

八月號の口繪の小池みどり樣の御姿、なつかしく拜見いたしました。

山と海と蜜柑の孤村にも學校が休みになると一諸にブルジョア追隨者達の蒼白い顏が表れてまいりました。眞白に白粉をぬつた小ブル達は砂にねそべつて黑い顏と赤い髮の毛をした百姓の子供を不思議そうに見つめて居ます。

その白い肩に水着の跡をつけることに、百パーセントの誇を持つ彼女等の前を私の子供達は、勇敢に砂を蹴つて步きます　こうして毎日午後になると水泳の練習をして居ります。どんな暑い日でも海邊は、水の中は涼しいです。避暑海水浴、ブルジョアは全くよいことを考へたものです。

それから夕方の七時頃まで、學期末の事務、完全な十二時間勞働です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



「おい、皆集まれ——今日は最後の打合せだ」

安田はセメンダルの上に立つて叫んだ。

「今、平川重役は、三日間に協定出來る樣に考へて置くと言ふ事だ、何時迄あの部屋で、我張つてゐても仕方がないから、兎も角出て來たが、協定をするとか、考へて置くとか言つた時には、何時だつていゝ條件を持出した例はないんだ、その協定だとか言ふ時には、きつと此方の方へ、そつと皆の前にいゝ條件を付ける、例へば、お前は今、皆から手を切つて明日から仕事をして吳れ、そうすれば、お前は、日給五十錢增だと言ふ樣にきまつてゐるんだ、それが一番我々には恐ろしいんだ、この中にそれ位の事で、我々同志を裏切る奴は居ないと思ふんだが、もしこれがこの三百人だけの唯單なる爭議であるから、大した問題ではないが、國家同志の戰爭であつて見よ、敵の國に自分は他の兵士の知らない間に、幾千金を拂つて、味方の弱點を知らせてやるのと同じじやないか。そんな事で、戰爭が出來ると思つてゐるだらうか、我々のこの爭議も、單なる帝國ゴム會社だけではないのだ、日本全體の同志への手本となる固い結束なのだ、忘れるなよ、我々の獨裁の日の近付きつゝある事を、決して一人たりとも、この網の目を破る者があつてはならないのだ、何處までもお互ひの手と胸を確かり握り合つておれ」

安田の聲は血の出る樣に悲壯な程の叫びだ、年の行つた職工共は、油でよれ〳〵の菜葉服の袖で目をこすつた、若い者達は相呼應した、この中に急を聞いて太田と大平との二人はいよ〳〵この爭議の團結力を增す爲めに、そして、彼れ等に、團結によつて、不滿を體系づけ、理論付ける爲めに安田の次に交る交る叫んだ。

この時、時機はよし、これ等ナッパ服と同じ樣な服裝をした五人のスパイは太田と大平を目がけて突如飛びかゝつた。

「スパイだ、やつ付けろ〳〵」

この大廣場は雜然として戰場化した。

だが結局二人共その時には工場の脇をゆうゆうとして歩いてゐた。

そして安田の外五名の爭議團の主腦部はとうとう檢束されて行つた。

長い間工場の煙突は煙を見せなかつた。

八月は一ケ月の休暇がありますので、私は、逆流して東京へまゐります。せめて一ケ月だけでもよい刺戟を得るために。女人藝術社の講演會等の時も、病氣より他は一日の缺勤さへ出來ないのですから、どんなにやきもきしてみた所で何にもならないので、實に殘念に思つて居ります。何か御手つだひするような仕事がありましたらぜひさせて頂きたいと存じます。何でもいたします。

群馬縣　横堀　恒子

女藝を讀む度に感じます。もつと〝キドリ〟をおとしてほしい、或る種のインテリのよみものであるばかしではならない。もつと裸になれないものか苦しい程の熱力はあふれないものか……と。

外國ものの紹介よりも日本勞働者の汗からにじみ出す眞實の叫びであつてほしい。大衆的に親しみやすい、無産婦人の生命をこめたひたむきな姿であつてほしい……と私はかぎりなく女藝を愛してゐます。愛するものから少しでもよそよそしさをうける事は苦痛です。暑さに負けず御苦鬪を祈ります。

山口縣　松ノ木

女人藝術早速お惠み下さいまし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



漸く檢束の紐を解かれて安田達が歸つて來た時には七十名の首が切られてゐた。
安田は再び爭議を開始した。

爭議の解決が付いてその結果は、重役平川の行方不明に依つて明かに爭議團の勝利を示してゐた。

今日からは新しく帝國ゴム會社の煙が空を覆つた。夕方になると菜葉服の一行は、去る總選擧に無產黨から立候補して落選した古川周吉のたて看板の骨を持ち出して、新聞紙を張り付けて書いた。

> 平川を叩き出せ、今回帝國ゴム製品會社から多くの失業者を出さんとした重役平川は爭議團の固い結束の元に、對決しかねて行方不明なり、右平川を發見せし者は速刻爭議團の方へ突出されたし
>
> 帝國ゴム爭議團本部

こんな立看板が町の要所要所に立つた。

三

再びカフエーアカツキの二階は、若いゴムミニスト達の會合が血を踊らせてゐた。
同志達は一人二人と二階に集合した。
何時もより人員はうんと增してゐた。
阿部は勿論房江を同志の一人として、連れて行つた。大平は何時もの樣に、落窪んだ目をこの二階に運んでゐた。
突さの事とて、房江は驚いた。

「あらッ、……大平さん……」

「やあ——どうして」

「隨分久し振りです」

「どうして此處へ來たのです」

「あの、阿部さんと」

「えッ、阿部君と」

「ええ、私、今日からこの中へ入れて頂くつもりです、私も變りましたでせう」

「そうですか、——而し、あなたがこゝへ來るなんて全く豫想意外ですね」

「御覧なさい、この着物を、……あなたは、私を、とても駄目だと思つてゐらしたかも知れないけど、私はとても熱心ですよ」

「意外だ、そして以外だ」

何と言ふ會合だ、房江はわざと木綿着物をたたいて見せた。

て有難う、故郷の山の中「希望社を神聖化して」ゐる若い人達の眼を醒ましてやりませう。(此後もこの種のものをどしどしと)誌について實際…これからの女は難かしい用語も讀みこなす必要」はますますありますが、まだ世間の步みはそれより前ではないかと思はれます。もつと近寄り易いものにして欲しいと望みます。もつと地方の町にも田舍にも行き渡らなければなりません。この町あたりでも中々に「女人藝術ッテ？」と云ふ人の方が多い樣です。まして故鄉の村等では推して知るべしです。私達新興女性のものとして極力宣傳して行きますから出來る丈の御配慮を望みます。

山梨縣　園原　福子

炎暑の折柄皆樣御丈夫で御精勵の御喜び申上ます。自分で一錢も得ることの出來ない貧しい私は久し振で三週年記念號を手にしてよろこびの余り一氣に讀下しました。鄉里を信州の下諏訪に持つ私は此不景氣　職を失なつた可哀相な母や妹を見つめてあへいで居ります。でも社宅生活の私は不生產者丈に表面は呑氣です。山梨にはまだ支部は生れ相にも有りませぬか笛吹の峡をさぐりに御出で下さ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



「大平さん、これであなたは私と前と同じ樣に付合つて下さるでせう」

「而し、僕はさつぱりわからん」

「私阿部さんと同じ二階を借りてゐますのよ襖を一つ隔てゝね」

「ええツ、ぢや、貴女は家にゐないのですか」

「父達は知らないのです。落選したからその不平を種にして私は家出をしました」

「そうでした、君のお父さんは落選したのですね」

「父も後になつて、無產黨から立てばよかつたと言つてましたわ」

「冗談でせうよ」

「信じられないとおつしやるの、何時もちつとも變らない方ですね」

「まさかね」

先程から何處かへ行つてゐた阿部が來た、阿部は二人が知り合ひである事を聞いて驚いた。

「處で、大平、僕は今度會社の首が切れそうだ」

「どうしてだ」

「何んでも、思想的に見られてゐるらしいんだ」

「增々壓迫か」

「此の間の歸りの事が知れてゐるらしいんだ」

「成る程、おい、阿部、同じ首になるんだつたら少し位は痛い目に會はして置けよ」

「勿論だ」

「さあ、もう皆集つた樣だ、そろ〳〵はじめ樣ぢやないか」

「もう七時を十分過ぎてゐるぞ」

大田は上るなり直ぐ言つた。

「皆席に付いて吳れ、今夜は新しい同志があるから少し早く開くんだ」

この夜、女の同志は三人あつた、房江もそのうちの一人であつた。

勿論ゴム會社の爭議が論議された。

それから×、××事件の爲めの同志への寄附金が集められた。房江は持つてゐるだけの金を出してしまつた。

人員紹介に當つて大平が一名宛の名を呼んだ。房江を紹介する時突然、大平の前にあつた赤インクが大平の手に持つてゐたペン軸に當つて倒れた。

いませ、ブタ小屋でも掃除して御待ちいたしませう、三週年記念を御祝ひします。

東京　山口　保子

講演會の結果報告を拜見致しました。色々と皆様のお骨折りを謝します、講演會の盛大でありました事私の一番嬉しく思ひましたのは戸川靜子さんの女人聯盟についてといふ御講話でした。私未だ女人聯盟の眞の意が解らないで居たのです。御講話を伺つてほんとうに力強く手を取り合つて行くべきだと思ふとほんとに嬉しく思ひました。文學演劇美術に色々な御講話ほんとうに意義深き講演會で有ましたのを深く御禮申上げます。小池みどりさんがいけない伯父さんに泣かされたと出て居ましたが私もあの時ほんとに口惜く思ひました。講演會の前日前女性進出行進曲の練習に一時まで御出で下さいとの御葉書、時計を見れば三時、二時間早ければとずい分つまりませんでした。

大阪　逢阪　薊

何時からか、一度お便りさせて頂こうと思ひ乍ら勇氣のないのと、筆無精の性質とが私に毎月毎月お便りすることをのばせて終ひました。六月號にありました、加

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



赤インクは何の遠慮もなく、机の上から床の上にあたりを一面に眞赤にしてしまつた。

誰かゞ叫んだ。

「俺達の吉兆だ」

「一朝事が起つたら、俺達はこのインクの樣に忽ち全國を眞赤に塗るんだ」

「傑作だ」

人員紹介も終つてから、阿部と房江と大平は共に歩んだ。

「大平さん今度こそは見捨てない樣に指導して下さいね」

「全くすまない事をした」

「でも過去は過去です」

「あんたも變りましたね」

「時代にだけは付いて行きたいのです」

「ます／＼僕に似てゐるイズムだ」

「勿論私は、今だにあなたの事は忘れてゐません」

「言はないで下さい！——なあ、阿部」

「何んだ」

「房江さんがまさか、こんなに早く僕等の仲間に成らうとは！……」

「そんな事はもう中止……………同志よ固く結べぢやないの」

「覺えてゐるんですかあの歌を」

「そうです、あの歌を書いて頂いた時の事も」

「そうかね、……」

「おい、大平、後に氣を付けろ、後に」

「何んだ」

「どうやらスパイだ」

「嗅ぎ付けたのか」

「知らない顔して行きませう」

「話しを換へた換へた」

「曉の前から付いて來てゐるんだ」

「よし、房江さん、僕は全く阿部君の前だが、僕はあなたの全責任をこれから持ちませう」

「まあ、ありがとう、ありがとう——大平さん、……………！私、………神樣や佛樣を信じません、近頃の樣に、唯物論だとか何とか言ふ人達は宗教を馬鹿にしてゐます、けど、私はあんな思想的な而も左傾者共の言葉なんか藥にしたくも信じられない」

「勿論だよ、僕等の家は立派な大谷派だ」

「僕んとこは弘法樣だ、眞言宗だ、俺の親父は弘法大師が大好きなんだ」

三人はスパイが近付いた時大聲にわざと話

入申込票も切りぬき乍らそのまゝにしております。毎月／＼雜誌を拜讀してゐます私には、とうとう何かを云はずにはおけない氣持が一杯涌いて來ました。で、今月號の加入申込票を同封致しましてちよつとお便りさせて頂きます。とても皆樣と共に戰ふ事の出來る程、凡てに認識してゐない私ですが、凡て〻、清算されてゐない私ですが、何卒聯盟の一員にお加へ入れ下さいませ。

毎月、號をかさねるにしたがつて、編輯振りの、あざやかな處をお見せ下さるのを、一番うれしく思ひます。町にゐるとは申せ、シゲキのない生活をしてゐる私には「女人藝術」は凡ての點に於て、アッピールさせられます。變人かも知れませんが婦人の月刊雜誌に、何の興味も抱かない私は、今の處、「女藝」が唯一の雜誌なんです。今後如何に發展されるかを期待致しております。

先月號から、書かれてゐます寨川女史の「希望社の件」大いに、暴露して下さいませ、先月と今月を拜讀致しまして、後藤靜香の如何に、人をだますことの上手か、と云ふことに感心して終ひました。靜香を神の如くに信じてゐる、

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



した。間もなくスパイは引返した。
三人は胸を撫で下ろして後を見返つた。その時には大平の下宿を二丁程も通り越してゐた。
「非合法的なやり方だ」
「カモフラジーと言ふ處だ」
「ホヽヽ、仲々うまく行きましたわ」
「その意氣、その意氣」
空には澄切つた夜更の街を滿月が見守つてゐる樣に見えた。
だが、間もなく、其の夜、カフエーアカツキの前で、同志五六人が檢束された事は、翌朝大平も阿部も房江も同志から聞いた。
赤インク顛覆以後、間もなく大平と阿部と房江の三人は文化村の入口で朗かな共同生活を營んだ。
一九三〇、四、二五

不具者

木原零子

『もう大概で落着きたいなあ！』
今日も又雨だと言ふので十二時も直ぐだと言ふのにまだ垢じみた蒲團にだらしなく身體を延ばしたまさ子は獨り言を言つてゐた。
隣室から洩れて來る妹の豐子の相變らずの淋しい咳が續くのを微か乍らも聽いてゐると知らず識らず眉をひそめ度くなるの　つたもう家を明けて四日にもなる父親のこと、貧しい中からでも高等小學校位はと思つて通はしてゐる妹の厚子の學校から來た父兄呼出狀の事――それが何の用事であるかは解つて居た。今朝も厚子は泣き乍ら月謝の滯納の爲父受持ちの先生から皮肉を聞かねばならぬ事を言つてゐた。――天井をぼんやり見つめてゐると其等の事が次から次へと思ひ浮かばれてゆくのだつた。そして倘更ら起き上る元

多くの純情な學徒は、これを讀んだら、キット目覺めることゝ思ひます。現に當地におきましては、中學校、大學校の學生が集り、靜香をいただいて、希望社大阪府學生聯盟、と云ふものを組織して、各學校に修養會を造つて、大いに精神運動（と云ふ名のもとに）自社の宣傳をやつてゐます。機關紙の「近畿希望の學生」と云ふのを讀みまして、素川氏のをお讀致しますと、ふき出したくなる位ひです。宣傳する主義が、修身書に、かはつてゐる爲め校長も、府のお役人樣も、大變すゝめてゐらしやいます。目出度き人々の集りか、と舌を出したくなりますね。大いに暴露して下さいます樣願います。（私がかつて希望社の甘言にだまされて一年余り誌友にされた時の苦しみを味つたから、こんなことを申したのです。）
此の頃は、のつてゐませんがお正月あたりによく出てゐました、地方の聯盟員の方々の御寫眞ですがあれをお見受しますと、失禮乍ら、皆んな、うれしがりの方の樣に思ひました。余りにも、鬪爭的氣分の出てゐないことでした。ある地方の方々のには、私は、こんな、お孃さんがたに、ほんとうの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



氣を拔けてしまはせて嫌が上にも懶くさせた。

下水道！だが流れ場所を持たない下水道！其處に計らずも取り落された魚の如だ。折角の水の中でも生きてはゆけない。右を向いても左を向いても溝水だ。

だが今金があれば――。さうだ。金だ！金だ！

金が無ければどうにもならないのだ。だが、その金もたうてい自分達の力では出來ないのだ。今の彼女は誰でもよい、それこそ誰でもよい、男であれば――が現れて自分と結婚して呉れたら。そしてこのどんづまりから救つて呉れたら。

併し、自分の望んでゐるのは金だけだらうか。金を持つた男で誠實を持つた男を搜すのは駱駝が針のメドを通るよりもつと難しい仕事だ。加てゝ、自分は殆ど治癒の見込みのない半聾だ。自分のほんのちよつぴり殘されてゐる若さと美しさとが踏み躙られたら弊履の如くに捨てられる。よくある筋だ。

貧乏！

放蕩親父！

肺病の妹！

そして聾！

これでは話にならないのが當り前の事だ。

『ハ、、、、おかしくなる』悲しむ心も憤ない心も起らなかつた。餘り慘めな自分自身に對して、まるで運命を自分が造りでもした如くに嘲笑するのみだつた。

何時もまさ子の物思ひはこゝまで來るとこの通りのけりが着く。

『姉さん！どうしたの？』隣りの部屋から豐子が出せる限りの大きい聲を張り上げて心配さうに聲を懸けた。併し半聾の上魂が拔けたやうになつてゐるまさ子には到底聞える筈もなかつた。

だが暫くすると何思つたかまさ子はフハッと身體を捻ぢて腹這ひに蒲團から拔け出して襖を明けた。

『面白いことを思ひついた』

『何を？』

『結婚！結婚！それが二人で一人の夫を持つのよ』

『え？』豐子は流石眞面目に首をかしげて聽いた。

『ね！世間には一人位二人の爲救ひ主が現れ

プロレタリアートの苦しみが判るものかと、むしろ、あざけりたい位ひの反抗心を起しました。マージヤンもやられるだらうし、美容院へもお通ひなされる樣なそのタイプを見ました時、これでは、まだ〳〵ほんとうに私等の味方でないと思ひました。認識不足だと、云はれるかも知れませんが、私等は、机上の上の說でなく實行的に、大いに闘爭せねばならないと思ひます。

今月の逢阪喜代氏の「社會民衆婦人同盟を叩き潰せ」大いに賛成です。あゝしたものに、諸ケン姉等、だまされるなかれと、私も叫ひたい位いです。

いろ〳〵申上げたいこともありますが暇間を持たない私故、又後日、お便りさせて頂きます。

札幌　小林すみ子

暑中御見舞申上げます。

昨日は御誌を有難う存じました。

何時も變らぬ皆々樣の御健闘ぶり本當に賴母しく思ひます。海に山にと浮かれてゐる間に、どうかその意氣で三伏の暑熱も克服して了つて我等女性の爲お闘ひ下さい。

先日札幌の聯盟員大野滋子さん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



てもよいと思はない？だけど二人とも一人づゝでは一人並みでないから一緒にして』

豐子は之には明るく吹き出して了つた。

『姉さんらしいことを言つて――でもね共有にしたらそりや姉さんの方が――』

『肥つてゐるからつて言ふの？だけどこれぢやね』と言つて耳をパチ〳〵平手で打つた。

妹の言葉はよく解らなかつた。だが、その面に表はれた暗い陰とその唇の動きで豐子の心をよぎつた氣持を十分に讀めたまさ子は悪いことを言つたと悔いた。蒼ざめてはゐるが姉妹三人中で一番美しいと評判だつた豐子だ。乙女らしい、特に美しい娘の美しい夢を抱いてゐたゞらうに、日に日に細くなつてまるで赤ん坊の太さもない程のその腕も幸福をつかむ爲に備へられてゐたものだらうに。

自分の爲には涙したこともないまさ子ではあるがいとしい妹の爲、目頭がグッーと熱くなるのを堪えることは出來なかつた。

とは言へ――まさ子が落着きたい、つまり結婚したいと望む心は、單に、一家の爲といふ殊勝な眞面目な心からばかりで無い事、他にもつと大きい慾が動いてゐるのは否定し得ない事實だつた。

一度は男を知つた女。あのむせ返る様な情痴の世界に醉ひしほれたことのあるまさ子だつた。五年前、耳がこれほど悪くならないで、健康と若さに惠まれて、まだ父親が彼女等一家のよき母親でもあり父親でもあつた頃、好きな男を養子に迎えた事があつた。ある會社の書記をしてゐて、養子などには珍らしい程よく出來た人物だと父も親類も悦んで呉れた結婚だつた。

だが、それほど出來た男の夫も、流石、貧乏とは戰ひ得なかつた。併もその上、結婚によつて急に悪化したまさ子の耳は、出來る限りの治療はしたにも拘らず、遂にどの醫者も匙を投出して半聾になつてしまつた。そして男は旅先きから一本の手紙を寄越したまゝ逃げ出してしまつた。後からその男の知り合ひの辯護士が法律上の手續きを濟ました。

『男つてね。ほんとに凝り凝りしたでせうね？』と、彼女の苦しめる時の友だと自稱してゐるオールドミスのキリスト教婦人傳道師が、自分が神學生時代に戀した男から捨てられた時の話をお自惚半分で聞かした後でさう

におめにかゝりました。大變元氣な方でとつぱなから私は、「ブルジヨアのお嬢さんですね」などとこき下されてしまひました。子供時代の私ならいざ知らず今でもさう見えるのかしらと苦笑――否少々悲観しました。けれどその元氣――又もや私の眞似しがる癖が出て了ひました。もう大野さんからお聞き及びかも知れませんが、小樽には相當聯盟員がいらつしやる様ですが當市には私達の外に一人今の所三人きりです。本屋に月極讀者の住所名前をきかせて貰はうとしましたが私共をどう思つてゐるのやらあいまいな返事をしてゝ、聞かせてくれませんでした。で近所のよく知つてゐる本屋さんに今調べてくれる様たのんであります。そこではとつてゐる方が五人あるさうです。當市は、大きなカフエダンス場、トーキーとモダニテイを取入れる事は決して吝でないのに、女性の知的要求が余りにも貧しくて淋しく感ぜられます。一體に北海道の女性達は呑氣な様に思へますね。私もよきお友達を得ましたから歸京するまでゝもいゝから精々氣を入れて誌友附加運動にならうことなら座談會位までこぎつけたいと思つて居ります。北

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



慰める積りで言つた時・成程この顔では例へ表面の美醜を問はぬ牧師になつたその戀人だつて愛憎がつきたのも道理だと思つたが、自分の耳の事や家庭の事等考へると、やはり自分も又當り前だと思つた。それでも男が欲しかつた。あさましいのかも知れないが、世のあらゆる慾望を捨てた解脱の境にはとても思ひも及ばない事だつた。

一家の爲、弱い身體を無視し乍ら豐子が彼女の持つ美貌を唯一の資本として、カフエーに働き初めて、遂には、胸を犯されて病に倒れてしまつた妹が可哀想でならなかつた。だが豐子をいとほしむ傍ら、まさ子自身も可哀想だと思はずには居れなかつた。まだ若さはある。積もる苦勞が目の淵に小皺は寄せても白粉の一刷けは、大概の男の心に好奇心位は起させるに十分である。だのに、貧乏で野暮では幸運なんて向いて來やしない。

× ×

十年前、しつかり者の母親が死んでからといふもの引しまりのない父親が、然も何日も何日も家を明け通しの家庭は普通の家庭では見られぬ程不秩序だつた。五十も越えた年をして一年半餘りも、とても手の屆かぬと知れ切つてゐるS市の一流の藝妓の若狹といふ女に執心して、老ひの身を主人の同情で傭つて貰つてゐるある小さい活版所の註文取りで得る僅かの報酬も殆ど使ひ果してゐるので、時たま家に歸つて娘達にガミ〳〵叱つてみてもフフンーと聞き流してゐるだけだつた。

それでもまさ子は自分の經驗を通して父親のさうした痴話も同情が持てた。

年頃の娘三人もゐて、併も貧乏では後添ひに來て呉れる者もある筈がない、まあ母親が亡くなつて七八年間、大人しくしてゐたことを自分達の爲だと感謝してもよいと思つた。金が欲しくて、男が欲しくて年が暮れた。

× ×

新しい年、昭和四年が明けた。今年こそは？と毎年年頭は考へてみる希望も計畫も今年はなかつた。他所並に買つてきた廿錢がとの餅と黑豆が、正月の御馳走だつた。

豐子は、死期に一歩近づいた如なもので最早少しも起き上れなかつた。

父親は僅かばかりの手當で活版所を追はれて、毎日蒲團にもぐり込んで暮し初めた。

海道の、殊に札幌の愛讀者諸姉よ、私共の企てに贊成なすつて聯盟に加入して下さい。そして力强い團結の一歩を踏み出しませう！

佐世保 谷山 靜子

女人藝術をお送り下さいまして有難うございます。希望社の內幕をさらけ出して下さるなんて痛快です。私の友人に希望社の聯盟員が居りますが私がもつてゐた女人藝術を眺めて、何だつてこのやうに惡口をかくのかつてとてものケンマクでしたので私が知つてるかぎりおしやべりしますと一週間後には彼女の机にも女人藝術がのつてをりましたからつい笑ひ出した程です。此の地の人は女學校を出て自分の家に大人しく、くつゝいてゐてお琴お花を最上の理想とする人がまだ〳〵多いらしゆうございます。初めて女人藝術をよんでおどろいてゐる位でございます。佐世保を女人藝術の讀者ばかりにしたらなあと思ふとビラでもまいてどなりあるきたい様です。長崎は長崎で舍監がとても分らず屋で困ります。女人藝術をよむと人間が惡くなると申します。そして希望社のものならよめ〳〵とすゝめるのだからたまりません。

京都 牧 綾子

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



明けて十六になつた末の厚子も三月が卒業だと思ひ乍ら、どうにもならず、とうとう退かしてしまつた。

まさ子が就職口捜しに繁華な街から小暗い横道に至る迄、テクテクと歩き初めたのは、まだ七日も過ぎぬ時だつた。S市名物の空ッ風が雪を含んで吹きまくつてゐる中を薄い色褪せた肩掛に面を深く包んで袖かき合せて歩く姿はまだ正月氣分の漂つてゐる街には似つかはしいものでなかつた。

先づ、近くの製綿工場の女工募集の廣告を頼りに行つてみた。耳が悪くても手仕事だから、大丈夫だらうとは思つてゐたが、いざ門をくぐるとなると何となく逡巡せずには居れなかつた。五年前の彼女ならいざ知らず、今の彼女には、働かねば食べてゆけないといふ確固とした原因故に動いてゐるのである以上、卑しい仕事でなければ、何でもするといふ覺悟はあつたものゝ、女學校時代の友人達の顔が、一列に並んで自分を眺めてゐる様な錯覺を感じたが、それは、正月休暇が済んで工場に歸つてきた女工達が訪問者を珍し氣に見つめてゐるのだつた。まさ子は、その錯覺を拂ひのけでもする様に身體をブルッと震はせて自分に元氣づけて受付口に行つた。

應接室と書かれてある部屋に通されて待つてゐる間もなく、小肥りの髪をベタ〳〵に撫で付けた中年男がニヤ〳〵唇のあたりに卑しい笑ひをし乍ら入つて來た。

勿論、ほんのりとつけた白粉が生地の白さを極立たせたまさ子の顔に、好色的な瞳を向けてゐた係りも、やがて、彼の質問に譯も解らぬ陳腐な答へをするまさ子に遂に立腹してしまつた。

『駄目！駄目！つんぼちや機械に手を噛まれらあ！』と殊更らに彼女の耳許に大きく怒鳴つていたづら氣に耳を引つぱつて應接間を出て行つた。

『ああ！耳！耳！』殘されたまさ子は暫くは椅子から立上る元氣もなかつた。

やがて、再び女工達の不思議さうな瞳に見送られ乍ら門を出た。背中を煉瓦塀にもたせ乍らまさ子は赤い財布を取り出した。中から彼女の掌に一枚一枚と取り出されたものは近頃の新聞の求人欄の切り抜きだつた。まさ子は、無駄足を踏まぬ様に近い順にそれを並

レポ早速お送り下さいまして嬉しゆございます。お禮、こんなに遅くなつて、なんともすみません。なにしろ私の自由な時間を二十四時間の中、ホンの十時間程しか持ちませんので、本の頁を五六枚くるのに三時間程つかへば後は疲れて寢てしまふのです。

× ×

色々な職場を持つ人々がソレ〳〵の組合を持ち、力強く働き闘つてゐられる有様を想つては、まだ〳〵ルンペンな生活をひきづつている自分がツク〳〵恥しい次第です。

毎日々々、働いても〳〵ウダツの上らない貧乏に、へたばりかけては、ムチ打つてゐますけれど、迹はまだ私達の組合を持ちません、私達を指導して呉れる人も、私達の職場にはいまのところありません。

プチブル根性のサン〳〵と充ちあふれたデパートなどでは、所詮のぞめない事かも知れませんが

――

今、私には「女人藝術」が唯一の力です。

廣島縣　登　靜江

先月の女人藝術で廣島女人聯盟支部の創設を知り或る强さを感じ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



べると、全部廻つてみる決心をした。

嚴格さうな御老人には衿を直して、肥つた中年男には幾分か媚を見せて、解りの良さそうなおかみさんには碎けて、肝强さうな若奥樣には慇懃に、と、女店員から女中、家政婦の口と、切り拔いた六枚程は凡て步いた。だが、或處では同情深い言葉で斷られ、或處では、一言ではねつけられた。重い足どりで陰氣な家に歸つた。

明くる日も又、切り拔きを抱いて步いた。

そして斷られてスゴ〳〵歸つた。

又その翌日も、そして駄目だつた。

全部で三十軒位ではあつたがS市の殆ど端から端と五六日根氣强く步き廻つた揚句が得たものは、極度の疲勞と鉛の如な、心丈だつた。父親ハ最後の金も最早、殘り僅かだつた。

『仕立物致します』重い足どりで歸つてきたある日、まさ子は、大發見でもした如に大元氣に反物紙を軒先きに吊るしては置いたが、家主の家から、メリンスの蟲喰ひの單衣が來たゞけだつた。勿論一文にもならなかつた。

厚子の『米がもう少ししかない』と言ふ聲を蒲團の中から父親は聞き乍ら、いらいらしてゐるらしかつた。

夜になると豐子はきまつて『うちが死ねばこんな苦勞は掛けんのに』と嘆いてゐた。けれども決して豐子は死を望んではなかつた。も一度！と言ふ果敢無い望みに彼女の夢を描いてゐた。どんづまりと思つた去年よりもつとそのどんづまりだつた。

併し今のまさ子には淚が消えてゐた、他人の運命でもみてゐる如なゆとりすらあるのに彼女自身すら不思議な氣持がした。

冷血！になつてきたのか知ら？と思つた。

『傷心が冷血を生むことはよくあることだ。だが、それはいけない。傷心が隣人愛に目覺めて喜びに生きる其處にまで到達なさい』

且つてまさ子が男に捨てられて次から次に起つて來る不幸に打ちひしがれて、疲れた惱み拔いた魂の慰安所を、キリスト敎に求めた頃、若い神學校を出て間もない牧師がさう言つて呉れたことがあつた。その頃の彼女には、眞劍にその言葉を味ふ眞面目さがあつた。そして尊い金言として彼女の生活を支配してゐた。だが現在の彼女はその言葉を反對側から裏書きしつゝあつた。

てゐます。二時間餘り發動船に搖れゝば行ける廣島に：：

でも私は島の女敎員であり、職を失つた父と、母の無い三人の弟妹とにかこまれての明暮れです、女人聯盟の講演會が私の生活より遠いものである氣がして寂しみを感じてゐます。

八月號は殊に私達敎員會の感想が多くてうれしく讀みました、勤勞敎育！　思想善導！　錚錚やかましい私のまわりです。私たちの上にもギロリとこはいお目目が光ります。敎員と言ふ者、何につけても不利な立場です。七月と、八月との素川絹子氏の希望社の反動事業網いく川もくり返してよみました。島でも希望社精神は大したものです。月一回相互修養會を（泉の花によつて、大道とかはりましたが）女子青年團として開きます（團員は九分まで女工です）私は苦笑しつゝでもとても苦しい心で列席します。職場を失ふことは、それ自身が一つの敗北だと思ひますので表面善良なる女敎師を裝つてゐなければなりません、私の住んでゐる島は縣下でも有名な紡績工場のあるところ、産業合理化、操短、賃金割引、馘首、それらで極度におのゝいてる島の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



『隣人愛に目覺めよか！まづ魂の救ひか？否、まづ己れを生かせか？まづパンを與へよか？どちらだつて構やしない』

十日餘りの失望と疲勞が結局かうして割合ひに落着いた氣持ちを與へやうとは、想像も及ばぬことだつた。

生命を懸けたサイコロであるのに、まるで機械人形の如に無表情に冷然とコロッ！とそれを投げ出すとかきく賭博者の心境、今の彼女は、誇張なしに解る如な氣がした。

一昨年は泣いた。不幸を。

去年は先きのことを考へては焦つた。そして金が欲しくて結婚がしたかつた。

今は、過去も思ひ出せなかつた。現在が無かつた。先きのことも考へなかつた。一切が彼女の腦裡にセピア色の幔幕となつて擴がつてゐるに過ぎなかつた。

生も無であると共に死も又無だつた。

『虚無！ニヒリスト！』まさ子は意識してゐた。『とうとうやつてきた。ニヒリズムが徹底してきた』と思つた瞬間、『自分でまだニヒリストになつたと意識してゐる。これではまだまだ！』とつぶやいた。

うどん玉を財布の底をはたいて買つてきて豐子の枕許で親子四人で食べた。

梅干許りの近頃に久し振りの御馳走だつた。

まさ子は丼を抱く樣にかゝえて、つまんでゐつまんでもつるつる箸から落ちるうどんを見つめて口にも入れずに微笑んでゐた。

『思ひ出し笑ひは罪うてよ！姉さん！』珍しく元氣な聲を豐子が呼びかけたが、聽えぬまさ子は、矢張りうどんを箸に掛けては落しかけては落して唇には靜かな微笑を浮ばせてゐた。豐子と厚子は顏を見合せてクスッ！と笑つて姉の顏を見つめてゐた。父親は默々として箸を運ばせてゐた。暫くすると――

『沈默倶樂部の給仕女になら屆つて貰へるけれど――』妹達の顏に視線を向けた。

『まあ！どこにそんなクラブがあるの？』

『今日ね、本屋で新青年を立ち讀みしてゐたら――』

『あつたつて？本ぢや仕方がないわ』

『ウフ、、、』

『ハ、、、、』

うどんは超スピードで口の中に滑り込んだ。

（一九三〇、五）

人たちです。聯盟の方々の御導きによつて、今後を強いものにして行きたいとつたない便りを書きました、また私のまわりの狀態をくわしくお知らせしたいと思つてゐます、廣島支部の方たちから特に御指導を願ひます、御奮進を祈ります、私も四十日の休暇を有意義に過したいと心がけてゐます。

ボルネオ　柿崎しげ子

女人藝術五月號まだ着きませんから御手數でも一度御調べの上お送り願ひます。六月號は本日懷しく入手いたしました。

號と共に益々誌面が充實して來ますので嬉しく愛讀いたして居ります、あらゆる方面に反動的に後れ勝ちな日本の女性も曝露的な貴誌の刺戟によりだん〳〵思想的に啓發され自分達の問題を各自自分達の立場から批評的に取り扱ふ樣になれば自然一般生活も改善されこの極度に行き詰つた社會も良き方向に打開され行く事と心強く感じて居ります。ボルネオは今乾燥季の始めで朝夕は丁度內地の秋を思はせる樣な涼しさです。

皆樣御健鬪を祈ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

婦人彙報

▲ドイツの失業者

ドイツの大會社シーメンスは去る廿六日全職工七萬人中の一割約七千名に對して解雇を申し渡した。これに前後してアルゲマイネ・エレクトリチテーツ會社でも使用人總數の一割二分に對し解雇を發表し其他多數の大會社も相次いで減員を行ひつゝある。これはドイツ産業界の不況を如實に物語るもので失業者は春迄に三百萬に達する見込みだと云はれてゐる。近來益々革命化されつゝあるドイツのプロレタリアに如何なる刺戟を與へるか注目に價するものである。

▲京成電車ストライキ

三人の馘首に始つた京成電車の爭議團は去る二十六日押上本社で後藤専務との會見が決裂したため各支部に動員の指令を發し東京から多數の應援團が電車に乗込み不穩の形勢が漲つたので會社側では百余名の警備隊（實は暴力團）を雇入れ各電車・停留場に配置し又警官をも乗込ませ極力警戒中、押上發千葉行電車が荒川停留場を發車すると裏切車掌渡來井喜一は何者にか腹部を短刀様のもので突刺された。此の騒ぎ中又他の裏切は左腕二ヶ所を斬られ、乗客は大騒ぎし停電した際に犯人は逃走した。會社側では爭議團の仕業と睨み十數名の壯漢を爭議團本部へあばれ込ませたので遂に血の雨を降らさん形勢になつたが漸く鎭撫された。スキャップ達はこの爲極度の不安に驅られ同夜は運轉を中止したとは實に愉快ではないか。

▲嚴戒された反戰デー

國際共産黨が第一モットーとする帝國主義戰爭反對運動は八月一日第二回國際反戰デーを期し大いに示威すべく我國極左團内諸團體はビラや機關紙によつて反戰デーの組織的計畫をしてゐたが警視廳はこれを不穩とし憲兵隊とも連絡して關係團體の嚴戒に努めた。又六月十五日以後モスクワに開催されたプロフィンテルン（赤色國際勞働聯合）第六回大會に協議會等の極左方面から七名の日本代表が潜行入露してゐる事が判明したので特高課では血眼で警戒し大活動を開始してゐたが旭川憲兵隊では初年兵某が第七師團に入隊し外部と連絡をとつて一日の反戰デーに參畫してゐた事が判明した。軍隊に喰ひ込む事は彼等にとつて實に恐ろしい事なのだ。

▲小作人警察を襲撃

山梨縣中巨摩郡大鎌田村地主襲撃事件に關し日農の貢川、玉幡、龍王、大鎌田組合員等約二百余名は八日夜八時頃所轄署を襲撃し留置者の奪還運動を行つた。署長は大いに驚き病氣拘引中の組合員を釋放する旨言明したので一同は農民歌を高唱しつゝ解散した。

▲一本立ち出來ぬ世帶

市社會局の要保護世帶調査は此程漸く完成した。それによると市内に於て保護を要する世帶は實に二萬六百十一で男三萬九千六百六十六人、女四萬百九十八人、計七萬九千八百六十四人に達してゐる。近時頻發する家庭悲劇はこうした世帶から生じ易い事をおそ蒔きながら悟り社會局ではリストを作り保護法を講ずる由だがそんなに簡單に救へるものならよろしくお願ひしますと云ひ度くなる。

▲朝鮮の郡廳を襲ふ

成鏡南道端川郡では森林組合反對問題に端を發し、同地方群集二千餘名は手に手に棍棒ツルハシ等を持ち端川郡廳を包圍、警察署を占領して暴行、投石に及び警察側では警官三十餘名實彈を發射し、警察側警部十名負傷し、暴徒側死者四名重輕傷者廿六名を出した。

▲無産三派の合同

日本大衆黨、全國民衆黨、無産政黨統一協議會（東京無産黨、勞農大衆黨、岩手無産黨、奈良統一無産黨）の中間無産黨三派の合同大會は去る二十日芝の協調會館に於て物々しい警戒裡に行はれた。黨名は本稱「全國大衆黨」略稱「大衆黨」と決定した。

▲工場が吐く惱みの騒音

工業の發達から都會は騒音神經病時代となつた。この騒音防止については各方面で考察されてゐるが工場から發するものが主要なもので、重工業の工場附近の住民は何とかして貰ひたいと陳情してゐるが警視廳保安部工場課　は積極的に騒音防止に乗り出す事になつた。近所では土臺がゆるんだり赤ん坊が病氣になつたりするそうだが中で働く者はどれ程身神に打撃を受けるか、こつちの方も少し考へてはどうだらうか。

▲暑休中の學生を監視

息づまる様な生活苦は學生の思想上にも鮮明に反映する事はやむを得ず急激に尖鋭化し學校騒動を頻發せしめ五月下旬から約二ヶ月間に、生徒の自治權獲得を中心として起つた三校の盟休　富山高校の校長排斥事件、新聞發行停止問

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

題にからむ浦和高校盟休事件等を始め日大、岩手醫專、八高、四高、一高、五高、松江、松山、佐賀の各高校、早大、京大、大谷同志社各大學並に京都佛教專門の十七校に及んだ。そこで文部省では暑休に入つて學校當局の監視から脱し自由になつてどんな陰謀が企策されぬとも限らぬとて各學校に指令を發し特高課と聯絡をとり學生の一擧手一投足につき嚴重な監視を始めたとは何と夏とは云ひながら暑苦しい事ではないか。

▲長沙共産軍突如振ひ立つ

世界諸强國の搾取に惱まされ續けて居た支那に突如長沙共産軍が蜂起し、長沙日本領事館英米教會等は二十四日朝燒拂はれた事明白となり江岸通の英商怡昭洋行も燒拂はれ各所に赤旗翻り長沙は全く共産軍の天下となつた。又一日の八一記念日（反戰デー）を控へて支那當局は三十一日朝八時から四十八時間特別戒嚴令を布いたが共産軍は益々戰線をかため非常な意氣込みを示した。この機に乘じ上海郵政總務局從業員八百余名も共産黨の指令を受け過般來北平天津從業員と連絡し不穩の色を示してゐたが三十一日早朝十ヶ條の要求を二十四時間の期限付で提出したが當局の態度は煮え切らず八一記念日に至り總罷業の形勢となつた又共産軍は民船に石を積み込み霞泥港に沈め水道を閉鎖せんとの計畫がある等共産軍の勢は益々猛烈なので政府側では萬難を廢し極力一致してこれの擊退にあたる事に決したとの事であるが何四日には紅軍第二軍の兵力は約二萬で根據地たる湖北西部を離れ沙市方面を東進しつつある模樣で武漢襲擊を目的としてゐるらしくこれは從前より計畫されてゐた事が判明した。又一方このごだ〳〵に乘じ武漢奪取運動を計畫してゐる由で政府側は二重の脅威を受けてゐる。共産軍は共産土賊等と惡名を負されてゐるが中々組織的で勢力强く、いざとなればブルジョア諸强國がよつてたかつて叩き潰す事と豫想されるが萬一成功したらばアジアの大部は共産國が占める事になる譯だ。

▲白米値上げ

この不景氣に食へない者だらけだと云ふのにお米の値段がどんどん上る。五月から六月以來四度目の値上げで十キロに付最初に比べて二十八錢の高値である。理由は各地方の洪水騷ぎで稻の被害を見込した爲で、期米は天候不良と政府が投出した古米五十萬石の反動的現象で一石に付一圓四十錢の暴騰、正米も小賣商の淸算高にあふられて暴騰を見るに至つた由だが一般の農産物が滅茶々々に下つてゐるのにどうした事だか、食へない者は益々喰へず 苦しくなれば米騷動も起さずにはゐられまい。

▲ランプに還る村

熊谷町を中心とする養蠶地方は農産物慘落から窮狀甚だしく、最近稅金滯納者續出し僅一二燈の電燈料金さへ支拂へず電燈會社から送電を中止され否應なしにランプ時代に逆る村も隨所に見られる。これは目下秋蠶期にある農家には大打擊であるが一方農民は不況大策と稱して電燈料金不拂同盟を結び支拂延期を陳情するやらいろ〳〵對策を巡らしてゐる。

▲大阪に共産組合の村生る

大阪市の一角で十家族六十人のメリヤス業者が共産的組合を作りあげ樣としてゐる。この組合は同工業者中の稻内、森本氏等十名が二年間に亘つて苦心研究した末作り上たもので、私有財産なく一切自分の物を組合に提供し出資高の如何によらず利益を平等に分配する。臺所も共同で一つ炊事場で料理し組合の食堂で食事する。病人は組合費用で負擔し組合員が脫退する時は理由の如何に拘らず五百圓以上千圓迄の金額を沒收し個人の財産を認ない。平等に分配した後の利益は六歲以上の小兒の諸費用に充て六才以下の小兒は組合が無償で育てる等の制度である。稻內 森本兩氏はロバート・オーエンの企てに共鳴する一方深刻な不景氣を切拔ける方法として共同經營が有利だと氣付いたからだそうであるが、資本主義埒内に於ても一時的には此の種の共産團體も可能であるらしいが、一度その根本的なものに觸れる事になれば一と堪りに潰されてしまふだらう事は明らかである。

▲反マルクス學者へ御褒美

文部省では思想善導の一端として昨年から各專門學校大學教授中の精神科學研究の奬勵金として金五萬圓を補助してゐるが今年はマルクス研究が數件加へられてゐる所がそれらは鳥取高農教授井森陸平、和歌山高商教授山本勝市、早大教授五來欣造、慶大豫科教授蓑田胸喜の諸氏でいづれも反マルクス主義の御連中なので正しいマルキシズムの批判が得らるゝかどうか頗る怪しい。文部省の所謂思想善導の本體が見えすいて面白い。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER

編輯後記

冬でも汗の左内坂を炎天下にのぼらせるのは自分が家に座つてゐるだけそれだけすまない。みんなのためにどうしたら夏休みを多くする事が出來るかとやつて見ると七月はどうやら十三日分ケダセた。そこでも一ツ短時間執務を考へる。女人藝術社は午後三時からの出勤でルーズのやうに思はれてゐたから、ウンと奮發して午前九時からお晝前だけ。ところがどうも九時キチンとは集らないまあ十時？　でも朝涼は頭がはつきりしてゐて事務の進むこと進むこと嬉しいやうだ。この意氣！　なる可く仕事は短時間で熱心にやる事だ。休めば休んだだけ元氣があふれてくる。この九月號を出したあとの休養はやがて十月號に素晴しくあらはれるでせう。それから八月號の風船のついてる頁の「給料日」といふのは堀百合子さんのです、終りに讀者みなさんの御健康をいのります。弱蟲の私も暑さにまけず、來月はよい案がうかみさうなのでニコニコしてゐます。（時雨）

私は冬生れの故か毎年夏は、がらにもなくねついて了ふくせがついて今年もこの一日二日一寸まいつてゐます。しかしふとんの中でうじ〳〵してゐるよりもしやんと起きて仕事をした方が、やせがまんでなくからだがしつかりするやうです。來月號は又新らしいこゝろみの下にすばらしいものとするべく、今からいろ〳〵計劃してゐます。御期待下さい。（美子）

燒きつくばかりに照り返つたアスフワルトの上を蹴る時カーツカツとからだ中がもえるやうだ。此んな他動的なものでなく心の底から湧きあがつた熱と血潮を握つて躍進したい。まだふり落せない暗さを蹴飛ばして――未來の建設を目ざして日一日と新しい聯盟員が此の羅針盤に飛び込んでくる、ほんとに嬉しい。

そこで聯盟員の方々にお願ひ御住所移轉の時はお手數でも、是非御一報戴きたい。レポートが歸つてくると送つたものは殘念ですから。（美智）

もう編輯後記を書く頃になつて仕舞つた。脣の上で秋が立つと私の氣持もどことなく秋を感じる。自分の世界の終りかけてゐる樣に蟬が死物狂ひで鳴き立てる。體から汗をさそひ出すやうだ。本が出來て暇になつたら私は海にとんで行かう。野蠻人の樣に健康でそして幸はせでありたい。ともすればゆるみがちな夏の眞盛りにみんなが一生懸命に作つた九月號をみて下さい。夏だつて冬だつて左内坂が汗のしぼり機だつて何だつて、つらい事も發送の本の中にうづまつて郵便局に行く時には消し飛んで仕舞ふもん。私一人が暑いのではないと云ふ事、私はとかくそれを忘れがちでいけない。それから振替で誌代を排込まれる方達に、裏面に必ず何月號から何月號まで代金とか、何月號分とか明記して下さい。そちらの希望がこちらにはつきり解らないといふ事は氣持の惡い事ですから。（みどり）

昭和五年八月十五日印刷
昭和五年九月一日發行（每月一回一日發行）

送料一部 壹錢五厘

定價	
1部	40錢
6部	2.40錢
12部	4.80錢

一 誌代の拂込みは成可く振替利用を乞ふ
一 郵便切手代用は一割增の事。

發行兼印刷者――長谷川ヤス子
編輯者――素川絹子
印刷所――秀英舍
大賣捌――東京堂・北隆館・大東館・東海堂

發行所 東京市牛込區左內町三十一番地 女人藝術社
振替東京七五八二五 電話牛込(24)一七八九

もう立秋だと聞いて驚いた。そう云へばその頃から少し涼しい風が吹き出した樣にも思へる。併しまだなか〳〵暑い。此頃は午前中出勤で暑い暑いを繰かへしながらもかなり充實して出來上りさうだ勿論私達の眞の要求にはまだ〳〵遠いが一歩でもそれに近づいて行きたいものだ。聯盟の仕事ももつとぐんぐんやりたいと思つてゐる大阪では八月十四日から五日間夏季大學を開くとの事。東京でも大いに發奮して久しい懸案中であつた讀書會を秋から始め樣と計畫中だ。又九月下旬にはプロキノ映畫とチャンバラで大々的に映畫會をする事になつた。近在の愛讀者の御　援を待つ。（優子）

暑い毎日暑い日の間にも、立秋の爽やかな秋風の吹く日があつた。油蟬とかな〳〵が生命短か氣にやかましく鳴き立てる、編輯室でもやうやく九月號が出來上りつつある。そして皆はもう九月日比谷音樂堂でする皆のプロレタリヤ映畫會の事と、十月の暴露實話號の話をしてゐる。それから投書原稿には必ず一々住所氏名を書き込む事をお願ひする。澤山の事なので時々氏名を紛失して困ることがありますから（素子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF COLORADO BOULDER